2019年度

東京医科歯科大学全学共通科目

東京医科歯科大学教養部

目次

哲学Ⅰ 6
哲学Ⅱ 8
倫理学Ⅰ 10
倫理学Ⅱ 12
心理学Ⅰ 14
心理学Ⅱ 16
宗教学Ⅰ 17
宗教学Ⅱ 19
芸術Ⅰ 21
芸術Ⅱ 23
歴史学AⅠ 25
科学史Ⅰ 27
科学史Ⅱ 29
文学AⅠ 31
文学AⅡ 33
法学Ⅰ 35
法学Ⅰ（憲法） 37
法学Ⅱ 39
政治学Ⅰ 41
政治学Ⅱ 43
経済学Ⅰ 45
経済学Ⅱ 47
社会学AⅠ 49
社会学AⅡ 51
社会思想史Ⅰ 53
社会思想史Ⅱ 55
文化人類学Ⅰ 57
文化人類学Ⅱ 59
社会科学特論Ⅰ 61
社会科学特論Ⅱ 63
Japanese Culture and SocietyⅠ 65
Japanese Culture and SocietyⅡ 67
グローバル教養科目・Linguistics 69
グローバル教養科目・Men and Women in the Modern World 71
グローバル教養科目・Let's active-read on "Ethics in the Real World" 73
グローバル教養科目・Understanding Globalization 75
グローバル教養科目・Japanese linguistics 77
グローバル教養科目・Monsters in Japanese Popular Culture 79
グローバル教養科目・Philosophy and the Trolley Problem 81
グローバル教養科目・Rethinking the Scientific Revolution 83
物理学入門 85
生物学入門 86
化学入門 88
数学ⅠM 90
数学ⅠD 92
数学ⅠT 94
物理学ⅠM 96
物理学ⅠD・T 98
数学Ⅱ（β） 100
数学Ⅱ（γ） 102
物理学ⅡM 104

物理学ⅡD・T....106
統計学（α）....108
統計学（β）....110
化学（一般化学）M....112
化学（一般化学）D....115
化学（一般化学）T....118
化学基礎(α)....121
化学基礎(β)....123
生物学....125
生物学（細胞・遺伝子）M....127
生物学（細胞・遺伝子）DT....129
生物学（構造・機能）M....131
生物学（構造・機能）DT....133
細胞生物学基礎....135
人体の生物学基礎....137
英語....139
英語a....140
英語a....142
英語a....144
英語a....146
英語a....148
英語a....150
英語a....152
英語a....154
英語a....156
英語a....158
英語a....160
英語a....162
英語a....164
英語b....166
英語b....168
英語b....170
英語b....172
英語b....174
英語b....176
英語b....178
英語b....180
英語b....182
英語b....184
英語b....186
英語b....188
英語b....190
英語c....192
英語c....194
英語c....196
英語c....198
英語c....200
英語c....202
英語c....204
英語c....206
英語c....208
英語c....210
英語c....212

英語 c....214
英語 c....216
英語 d....218
英語 d....220
英語 d....222
英語 d....224
英語 d....226
英語 d....228
英語 d....230
英語 d....232
英語 d....234
英語 d....236
英語 d....238
英語 d....240
英語 d....242
日本語 a....244
日本語 b....245
日本語 c....246
日本語 d....247
ドイツ語 a....248
ドイツ語 a....252
ドイツ語 a....255
ドイツ語 a....259
ドイツ語 a....262
ドイツ語 a....266
ドイツ語 b....270
ドイツ語 b....273
ドイツ語 b....277
ドイツ語 b....281
ドイツ語 b....284
ドイツ語 b....288
ドイツ語 c....291
ドイツ語 c....294
ドイツ語 c....297
ドイツ語 c....300
ドイツ語 c....303
ドイツ語 c....306
ドイツ語 d....309
ドイツ語 d....313
ドイツ語 d....317
ドイツ語 d....321
ドイツ語 d....324
ドイツ語 d....327
フランス語 a....331
フランス語 a....334
フランス語 b....337
フランス語 b....340
フランス語 c....343
フランス語 c....346
フランス語 d....349
フランス語 d....352
フランス語 d....355
フランス語 d....358

中国語ａ....361
中国語ａ....363
中国語ｂ....365
中国語ｂ....367
スペイン語ａ....369
スペイン語ｂ....371
スペイン語ｃ....373
スペイン語ｄ....375
物理学実験....377
化学実験....380
生物学実験....383
サイエンス PBL 入門....385
科学基礎実験Ｔ....388
科学基礎実験Ｎ・Ｏ・Ｋ....390
科学基礎演習....392
情報科学Ｎ....394
情報科学Ｔ....396
情報科学Ｏ・Ｋ....398
情報処理(α)....400
情報処理(β)....402
スポーツ・健康科学....404
スポーツ・健康科学....406
フィットネスマネージメント....408
フィットネスマネージメント（前期　木3）....410
フィットネスマネージメント（前期　木４）....412
フィットネスマネージメント（前期　金3）....414
フィットネスマネージメント（前期　金４）....416
フィットネスマネージメント（夏季集中）....418
フィットネスマネージメント（後期　木Ａ）....420
フィットネスマネージメント（後期　木Ｂ）....422
フィットネスマネージメント（後期　金Ａ）....424
フィットネスマネージメント（後期　金Ｂ）....426
Ｓ・メンタルトレーニング....428
Ｓ・ニュースで読む中国....430
Ｓ・英語で学ぶ医学哲学....431
Ｓ・フランスとヨーロッパの現在....433
Ｒ・講義と実習によるバイオサイエンス１....435
Ｓ・Essentials of Molecular and Cellular Biology....437
Ｒ・離散構造....440
Ｓ・現代中国社会研究....442
Ｓ・平面と立体の幾何学....444
Ｓ・タンパク質の科学....446
Ｓ・分子分光学演習：基礎編....448
Ｓ・基礎力学....450
Ｓ・水の科学....452
Ｓ・Topics in the News....454
Ｓ・Writing in English....456
Ｓ・Calculus for medical students....458
Ｓ・英語で学ぶ力学....460
Ｓ・現代ﾊﾟﾌｫｰﾐﾝｸﾞｱｰﾂ入門....461
Ｓ・ウニの発生と海産生物の観察実習....463
Ｓ・Essentials of Medical Language....465
Ｓ・イギリス文学講読....467

S・彫刻（塑造）.....468
S・生体分子分光学演習.....469
S・フランス語でニュースを読む.....471
R・けいすけのドイツ旅行.....474
S・糖の科学.....478
S・数学解析.....480
S・実用統計学.....482
S・Discussions on Human Behavior.....484
S・一般化学演習.....486
S・Basic Concepts in Physics.....488
R・講義と実習によるバイオサイエンス 2.....490
S・翻訳演習.....492
S・十進ＢＡＳＩＣで学ぶ幾何学デザイン.....494
教養総合講座.....496

時間割番号	000001				
科目名	哲学Ⅰ				
担当教員	田中　智彦				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

◇ 曜日・時間:月曜1限

◇ 対象学科:全学科

◇ 受入人数:15名程度

◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表1-7)人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

人間はどのようにものごとを考え、感じ、そして行動するのか——誰しも一度ならず思い浮かべたことのある問いだろう。哲学も古来、その問いをめぐり思考を重ねてきた。哲学者や思想家が特別だったわけではない。他の人たちが「当たり前のこと」「わかったこと」にしてしまうところで、ただ彼らはそうせずに、その問いにもう一歩ふみこんで、答えを求めてさらに先へと、思考を深めていったにすぎない。そうした哲学の歩みは今日、私たちに何を教えてくれるだろうか。現代思想の入門書を手がかりに、それを受講者みなでじっくり読み解くことを通じて、「人間とはどのような存在なのか」をあらためて問い、考えてゆくことにしたい。

授業の到達目標

(1)哲学・思想の入門書を「読める」ようになること。

(2)現代哲学・思想の「問いの立て方」と「論点」について基本的な理解を得ること。

(3)批判的に問いを立て、考えるための基本的な構えを身につけること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	09:10-10:40	9番教室	田中　智彦
2	4/22	09:10-10:40	9番教室	田中　智彦
3	5/6	09:10-10:40	9番教室	田中　智彦
4	5/13	09:10-10:40	9番教室	田中　智彦
5	5/20	09:10-10:40	9番教室	田中　智彦
6	5/27	09:10-10:40	9番教室	田中　智彦
7	6/3	09:10-10:40	9番教室	田中　智彦
8	6/10	09:10-10:40	9番教室	田中　智彦
9	6/17	09:10-10:40	9番教室	田中　智彦
10	6/24	09:10-10:40	9番教室	田中　智彦
11	7/1	09:10-10:40	9番教室	田中　智彦
12	7/8	09:10-10:40	9番教室	田中　智彦
13	7/15	09:10-10:40	9番教室	田中　智彦
14	7/22	09:10-10:40	9番教室	田中　智彦
15	7/29	09:10-10:40	9番教室	田中　智彦

授業方法

授業はセミナー形式で進める。テキスト(入門書)は一章ずつ、みなで読み進めてゆく。受講者には授業の前に、テキストの該当箇所をあらかじめ読み、疑問点やコメントを書いて提出することが求められる。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。

授業内容

(1)近代の西洋哲学・思想は「人間」について何を、どのように問い、考えたか。

(例:ヘーゲル、マルクス、ニーチェ)

(2)現代の西洋哲学・思想は「人間」について何を、どのように問い、考えたか。

(例:フーコー、レヴィ=ストロース、ラカン)

(3)上の(1)(2)から、「人間」とはどのような存在であると考えられるか。

成績評価の方法

◇評価:期末レポート　60%

授業への参加度　40%(事前課題への取り組み、議論への参加度など)

◇再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

受講者には授業の前に、テキストの該当箇所をあらかじめ読み、疑問点やコメントを書いて提出することが求められる。それはまず自分なりにテキストを理解し、その時点での到達点を言葉にした上で授業に臨むということである。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。こうしたプロセスを経ることで、自分の「読み」の深さを省みるとともに、他の「読み」の可能性にも自分を開いていけるようになる。そのためにも、準備段階から授業における解説・議論までの能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。

試験の受験資格

◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則 3 分の 2 以上の出席

教科書

寝ながら学べる構造主義／内田樹:文芸春秋, 2002

テキストの他にも文献等を用いる。その場合は随時コピーを配布する。

参考書

参考書等は授業の中で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。

連絡先

田中　智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

田中　智彦:

前期:毎週月曜日　12:30～13:30　管理研究棟 2 階　哲学研究室

後期:第 1・第 3 水曜日　12:30～15:00　管理研究棟 2 階　哲学研究室

時間割番号	000002				
科目名	哲学Ⅱ				
担当教員	田中 智彦				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

◇ 曜日・時間: 月曜 1 限

◇ 対象学科: 全学科

◇ 受入人数: 15 名程度

◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する

別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 1-7) 人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

「身体」は、西欧の言語では body(英), corpus(仏), Körper(独)のように、物体一般と同じ語で示される。だから特に「人間の身体」を表そうとするなら、living body や human body と記すことになる。他方、「身」という日本語はどうだろうか。「身なり」「身がまえ」「身を立てる」「身のほど知らず」「身につまされる」「身を入れる」のように、時には姿かたちを、時には心のもち方を、あるいは社会的な自己、個としての自己を表し、また心身の区別を越えた広い意味をもつこともある。「身」はただの物質としての「身体」ではない。そこには、現に生きられ、経験されている身体へのまなざしがある。そして現代の西欧哲学・思想は、ある意味、こうした「身」のありようを捉え、表現することを求めて、思索を重ねてきたところがある。

これはもちろん「日本(語)はすぐれている」などといった話ではない。むしろ日本の場合、その「近代化」「西欧化」の帰結として、「身」という身体へのまなざしは文化からも社会からも、すでに失われつつあるとも見なせるだろう。実際、人びとの「身体」の考え方、あつかい方は、個人においても、また医療においても、living body の見方が当たり前になってはいないだろうか。しかしそうなったのは、日本だけでなく西欧にあっても、近代になってからのことにすぎない。言い換えるなら、個人においても医療においても今「当たり前」となっている身体の考え方・あつかい方は、それがけっして「当たり前」ではないことのいわば無知の上に成り立っているのである。

こうしたことは身体について、また現代の医療や文化、社会について、何を教えるのだろうか。そこにはどのような問うべきこと、検討するべきことがあるのだろうか。身体をめぐる哲学と思想史の入門書を手がかりに、それを受講者みなでじっくり読み解くことを通じて、「身体」へのまなざしから「人間とはどのような存在なのか」をあらためて問い、考えてゆくことにしたい。

授業の到達目標

(1) 哲学・思想(史)の入門書を「読める」ようになること。

(2) 現代哲学・思想の「問いの立て方」と「論点」について基本的な理解を得ること。

(3) 批判的に問いを立て、考えるための基本的な構えを身につけること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦
2	10/7	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦
3	10/21	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦
4	10/28	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦
5	11/11	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦
6	11/18	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦
7	11/25	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦
8	12/2	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦
9	12/9	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦
10	12/16	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦
11	12/23	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦
12	1/6	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦
13	1/20	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦
14	1/27	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦
15	2/3	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦

授業方法

授業はセミナー形式で進める。テキスト(入門書)は一章ずつ、みなで読み進めてゆく。受講者には授業の前に、テキストの該当箇所をあらかじめ読み、疑問点やコメントを書いて提出することが求められる。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。

授業内容

(1)近代化の過程で「身体」はどのように変容してきた(させられてきた)か。

(2)そのような「身体」の変容をもたらした思想的・歴史的・文明的な要因は何か。

(3)その帰結として今日、「身体」はどのような問題をかかえているか。

(4)そうした問題を解きほぐしてゆくとき、「身体」の理解はどのように変わってゆくか。

成績評価の方法

◇評価:期末レポート 60%

授業への参加度 40%(事前課題への取り組み、議論への参加度など)

◇再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

受講者には授業の前に、テキストの該当箇所をあらかじめ読み、疑問点やコメントを書いて提出することが求められる。それはまず自分なりにテキストを理解し、その時点での到達点を言葉にした上で授業に臨むということである。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。こうしたプロセスを経ることで、自分の「読み」の深さを省みるとともに、他の「読み」の可能性にも自分を開いていけるようになる。そのためにも、準備段階から授業における解説・議論までの能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。

試験の受験資格

◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則として3分の2以上の出席

教科書

身体の零度——何が近代を成立させたか/三浦雅士:講談社, 1994

悲鳴をあげる身体/鷲田清一:PHP研究所, 1998

テキストの他にも文献等を用いる。その場合は随時コピーを配布する。

参考書

参考書等は授業の中で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。

連絡先

田中 智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

田中 智彦:

前期:毎週月曜日 12:30〜13:30 管理研究棟2階 哲学研究室

後期:第1・第3水曜日 12:30〜15:00 管理研究棟2階 哲学研究室

時間割番号	000003				
科目名	倫理学Ⅰ				
担当教員	田中　智彦				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

◇ 曜日・時間：金曜２限

◇ 対象学科：全学科

◇ 科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表 1-5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 1-9）市民としての倫理観を養う

別表 1-10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

私たちは今日、「いのち」と「ひと」をめぐって倫理的にどのような状況にあるのだろうか。またその状況は、どのようにして今日あるようになったのだろうか。そしてそれは、どのような明日をもたらしうるのだろうか。

この授業ではこうした問いについて考えてゆきたい。その過程において、私たちの生・病・老・死を取り囲んでいるいわば「4 つの bio」――生権力（biopower）・生政治（biopolitics）・生命倫理（bioethics）・生命科学技術（biotechnology）――を歴史的・批判的に検討することになるだろう。

したがって、倫理の諸理論を概説するという形はとらない。むしろ過去の、また現在の具体的な事例をとりあげ、そこにどのような問題を見いだすか、それらをどのように考えるかに関して一つの視座を示してゆく。そしてそのことを通じて、「限りあるいのちをいかに生きるべきか」「いのちに関わる医療者はいかにあるべきか」という問いを、受講者一人ひとりが自ら探究する手がかりを提供したいと思っている。

授業の到達目標

(1)「倫理的に考える」ために必要な知的構えの基本を身につけること。

(2)「いのち」と「ひと」をめぐり現代にはどのような問題があるのかを、なぜそうなったのかという理由・来歴とともに理解すること。

(3)「医療者になる」とはどういうことかについてあらためて考え、理解を深めること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
2	4/19	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
3	4/26	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
4	5/10	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
5	5/17	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
6	5/24	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
7	5/31	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
8	6/7	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
9	6/14	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
10	6/21	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
11	6/28	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
12	7/5	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
13	7/12	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
14	7/19	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
15	7/26	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦

授業方法

授業は講義形式で行う（ただし受講者が少ない場合には、セミナー形式に変更することもありうる）。授業ではパワーポイントとレジュメを併用し、折々にドキュメンタリー等の視聴覚資料も用いる。

授業内容

次の大きく4つのテーマを軸に、また相互に関連づけながら検討してゆく。

1）生権力・生政治の歴史

2）生権力・生政治の現在

3）生命倫理の意義と限界

4）生命科学技術のゆくえ
そしてそれらをふまえて、いのちをめぐる倫理はどのように語られうるか、語られなければならないかを考察してゆく。

成績評価の方法

◇評価：期末レポート　70%
　　授業への参加度　30%
◇再評価：有（レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

　この授業は講義形式をとるが、メインとなるのはたんなる知識の伝達などではなく、問いかけとその積み重ねであり、そうして視野を広げ、深めてゆこうとする試みである。そうであるからこそ受講者には、ともすれば今からすでに「専門」へと閉じてゆきかねない自らの視野を、大きく開かれたものにするようこの機会を活用してもらいたい。そのためにも、授業に能動的に参加し、そこで提示される問いや視点についてじっくりと考え、それを専門課程で学ぶことと自ら結びつけてゆく姿勢が望まれる。

試験の受験資格

◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格：原則として 3 分の 2 以上の出席

教科書

教科書は用いず、必要な文献・資料はコピーして配布する。

参考書

メタバイオエシックスの構築へ――生命倫理を問いなおす／小松美彦, 香川知晶 編著：NTT 出版, 2010
いのちの選択――今、考えたい脳死・臓器移植／小松美彦, 市野川容孝, 田中智彦 編：岩波書店, 2010
精神医学とナチズム――裁かれるユング、ハイデガー／小俣和一郎：講談社, 1997
死と身体――コミュニケーションの磁場／内田樹：医学書院, 2004
死なないでいる理由／鷲田清一：角川学芸出版, 2008
その他の参考書等は授業の中で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。

連絡先

田中　智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

田中　智彦:
前期：毎週月曜日　12：30～13：30　管理研究棟 2 階　哲学研究室
後期：第 1・第 3 水曜日　12：30～15：00　管理研究棟 2 階　哲学研究室

時間割番号	000004				
科目名	倫理学Ⅱ				
担当教員	田中　智彦				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

◇ 曜日・時間:金曜 2 限

◇ 対象学科:全学科

◇ 受入人数:15 名程度

◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 1-7)人間の心への理解を深める

別表 1-9)市民としての倫理観を養う

授業の目的、概要等

医療が「患者を助けたい」という医療者の善意にもとづき、また支えられていることは、誰しもが認めるところだろう。にもかかわらず、医療が、医療者が、いのちや人間の尊厳を――時にはいのちや人間それ自体を――深く損なうようなことが繰り返されてきたし、今もなくなってはいない。なぜなのだろうか。

医療過誤のことを言っているのではない。一部の「悪い」医療者がした犯罪的な行為や、よその国・地域の出来事を言っているのでもない。例えば、患者の一生にわたる強制隔離、強制労働、強制断種と中絶、そして裁判なしの処罰――それは日本の医療が、医療者が行ったことであり、その多くはむしろ「善意」の人たちだった。また、そうした一連の行為・施策を法的に正当化しさえした「らい予防法」と「優生保護法」が廃止されたのは、戦後半世紀も過ぎた 1996 年のことだった。

こうしたことは過去の不幸な出来事であり、もう済んだことなのだろうか。これからはもうそうしたことは起こらないのだろうか。だが「過去に目を閉ざす者は、現在に対してもやはり盲目となる」と言う。そうであるとするなら、むしろ今こそ、あらためて問わなければならないだろう――なぜそのようなことが起こりえたのか、と。そして、同じようなことが繰り返されるのを押しとどめるには何が必要なのか、と。

この授業では、ハンセン病の問題を手がかりに、文献・資料を受講者みなで読み解くことを通じて、上の一連の問いを考えてゆく。それは、いのちと人間の尊厳を真に守ろうとするなら、医療に、また医療者に求められることは何なのかを問い、その答えを見いだそうとすることでもある。

授業の到達目標

(1)「倫理的に考える」ために必要な知的構えの基本を身につけること。

(2)医学・医療の過去の問題と向き合い、その理由と来歴を理解すること。

(3)そこから医学・医療の現在と未来とをよりよくするための視点を得ること。

(4)「医療者になる」とはどういうことかについてあらためて考え、理解を深めること。

(5)「いのち」と「人間」の尊厳についてあらためて考え、理解を深めること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
2	10/11	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
3	10/18	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
4	10/25	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
5	11/1	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
6	11/8	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
7	11/15	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
8	11/22	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
9	11/29	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
10	12/6	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
11	12/13	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
12	12/20	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
13	1/10	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
14	1/17	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦
15	1/24	10:50-12:20	11 番教室	田中　智彦

授業方法

授業はセミナー形式で進める。テキスト(文献)は一章ずつ、みなで読み進めてゆく。受講者には授業の前に、テキストの該当箇所を

あらかじめ読み、疑問点やコメントを書いて提出することが求められる。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。

授業内容

昨年度の授業で扱った文献・資料は次の通り。

映画『あん』と原作『あん』(ドリアン助川、ポプラ文庫、2015 年)
荒井英子『ハンセン病とキリスト教』(岩波書店、1996 年)から二つの章
映画『風の舞』『谺雄二 ハンセン病とともに生きる』(元患者のドキュメンタリー)
無らい県運動研究会編『ハンセン病絶対隔離政策と日本社会』(六花出版、2014 年)から二つの論文
香川知晶「「積極的に知らせる必要はない」検査――優生思想と生命倫理」(『生命倫理の源流』岩波書店、2014 年)
橘直矢「生と死と麻酔医と」(『内科』1969 年 5 月号)
鷲田清一『死なないでいる理由』(角川文庫、2008 年)から二つの章
内田樹『死と身体――コミュニケーションの磁場』(医学書院、2004 年)から一つの章

なお、今年度の授業で一部の文献・資料を入れ替えることもありうる。

成績評価の方法

◇評価:期末レポート 60%
　　授業への参加度 40%(事前課題への取り組み、議論への参加度など)
◇再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

受講者には授業の前に、テキスト(文献)の該当箇所をあらかじめ読み、疑問点やコメントを書いて提出することが求められる。それはまず自分なりにテキストを理解し、その時点での到達点を言葉にした上で授業に臨むということである。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。こうしたプロセスを経ることで、自分の「読み」の深さを省みるとともに、他の「読み」の他の可能性にも自分を開いていけるようになる。そのためにも、準備段階から授業における解説・議論までの能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。

試験の受験資格

◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則 3 分の 2 以上の出席

教科書

文献・資料はコピーして配布する。

参考書

隔離の記憶――ハンセン病といのちと希望と／高木智子:彩流社, 2015
上記文献(『隔離の記憶』)は授業期間中、受講者全員に一冊ずつ貸与する。
その他の参考書等は授業の中で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。

連絡先

田中 智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

田中 智彦:
前期:毎週月曜日 12:30～13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室
後期:第 1・第 3 水曜日 12:30～15:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号	000005				
科目名	心理学Ⅰ				
担当教員	佐藤 舞				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間: 月曜 2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1−7) 人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。このため、扱う領域は多岐にわたり、複数の分野に細分化されています。「心理学Ⅰ」では、それらのなかでも、より基礎的な内容を中心に取り上げます。これまでに集積されてきた知の体系に触れることで、人間理解を深めることを目的とします。

授業の到達目標

心理学の基本的な原理を理解し、心にまつわるさまざまな問題を科学的に捉える考え方を身につけることを目標とします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	10:50−12:20	1番教室	佐藤 舞
2	4/22	10:50−12:20	1番教室	佐藤 舞
3	5/6	10:50−12:20	1番教室	佐藤 舞
4	5/13	10:50−12:20	1番教室	佐藤 舞
5	5/20	10:50−12:20	1番教室	佐藤 舞
6	5/27	10:50−12:20	1番教室	佐藤 舞
7	6/3	10:50−12:20	1番教室	佐藤 舞
8	6/10	10:50−12:20	1番教室	佐藤 舞
9	6/17	10:50−12:20	1番教室	佐藤 舞
10	6/24	10:50−12:20	1番教室	佐藤 舞
11	7/1	10:50−12:20	1番教室	佐藤 舞
12	7/8	10:50−12:20	1番教室	佐藤 舞
13	7/15	10:50−12:20	1番教室	佐藤 舞
14	7/22	10:50−12:20	1番教室	佐藤 舞
15	7/29	10:50−12:20	1番教室	佐藤 舞

授業方法

講義形式

授業内容

第1回: ガイダンス
第2回: 感覚と知覚
第3回: 記憶
第4—6回: 学習
第7回: 思考
第8回: 知能
第9—10回: 動機づけ
第11—12回: 感情
第13—14回: ストレスと健康
第15回: まとめ

成績評価の方法

評価 : 試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の小課題) 30% 知識の確実な習得を重視します。
再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習は求めません。適宜必要に応じて復習してください。

教科書

特に指定しません。必要な資料は配布します。
参考書 講義の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 ・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。

時間割番号	000006				
科目名	心理学Ⅱ				
担当教員	佐藤 舞				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間: 月曜 2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1−7) 人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。このため、扱う領域は多岐にわたり、複数の分野に細分化されています。「心理学Ⅱ」では、それらのなかでも、より応用的な内容を中心に取り上げます。これまでに集積されてきた知の体系に触れることで、人間理解を深めることを目的とします。

授業の到達目標

心理学の基本的な原理を理解し、心にまつわるさまざまな問題を科学的に捉える考え方を身につけることを目標とします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	10:50−12:20	1 番教室	佐藤 舞
2	10/7	10:50−12:20	1 番教室	佐藤 舞
3	10/21	10:50−12:20	1 番教室	佐藤 舞
4	10/28	10:50−12:20	1 番教室	佐藤 舞
5	11/11	10:50−12:20	1 番教室	佐藤 舞
6	11/18	10:50−12:20	1 番教室	佐藤 舞
7	11/25	10:50−12:20	1 番教室	佐藤 舞
8	12/2	10:50−12:20	1 番教室	佐藤 舞
9	12/9	10:50−12:20	1 番教室	佐藤 舞
10	12/16	10:50−12:20	1 番教室	佐藤 舞
11	12/23	10:50−12:20	1 番教室	佐藤 舞
12	1/6	10:50−12:20	1 番教室	佐藤 舞
13	1/20	10:50−12:20	1 番教室	佐藤 舞
14	1/27	10:50−12:20	1 番教室	佐藤 舞
15	2/3	10:50−12:20	1 番教室	佐藤 舞

授業方法

講義形式

授業内容

第 1 回:ガイダンス

第 2—3 回:パーソナリティ

第 4—7 回:発達

第 8—10 回:臨床

第 11—14 回:社会

第 15 回:まとめ

成績評価の方法

評価 : 試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の小課題) 30% 知識の確実な習得を重視します。

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習は求めません。適宜必要に応じて復習してください。

教科書

特に指定しません。必要な資料は配布します。

参考書

講義の中で随時紹介します。

履修上の注意事項

・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。

時間割番号	000007				
科目名	宗教学Ⅰ				
担当教員	宮田　義矢				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間：金曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1－3)、1－4)、1－5)

授業の目的、概要等

目的：諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。無宗教者人口が7～8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。概要：授業では世界宗教を事例に宗教学の様々なアプローチついて学んでいきます。

授業の到達目標

宗教学的な考え方に基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
2	4/19	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
3	4/26	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
4	5/10	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
5	5/17	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
6	5/24	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
7	5/31	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
8	6/7	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
9	6/14	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
10	6/21	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
11	6/28	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
12	7/5	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
13	7/12	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
14	7/19	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
15	7/26	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢

授業方法

パワーポイントを用い、講義形式で行いますが、到達目標で掲げた「宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること」を達成するため、講義内容に即したテーマについて、適宜リアクションペーパーを提出して頂きます。授業内で提起される問題について、考える姿勢で臨んでください。

授業内容

1. ガイダンス：宗教学のスタンス、講義内容、成績評価について
2. 「宗教」とは何か：地域・文化から宗教を見る
3. ユダヤ教①：「唯一神」とは何者か
4. ユダヤ教②：「唯一神」と「選びの民」の歴史
5. キリスト教①：「唯一神」とイエスの教え
6. キリスト教②：三位一体の「唯一神」
7. キリスト教③：三大宗派の展開
8. イスラーム①：「唯一神」対偶像
9. イスラーム②：「唯一神」の世界化
10. イスラーム③：宗教を通じた異文化理解
11. 仏教①：「仏」の登場
12. 仏教②：「仏」の悟りとは何か
13. 仏教③：三大潮流の「仏」の位置づけ
14. 聖地と巡礼：「宗教」を通じて見ることの意義
15. 授業内試験：試験と授業のまとめ

成績評価の方法

評価 ： 試験 50% ・ その他(リアクションペーパー、小レポート)50%

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

各回の講義をテーマにしたがって要約し、宗教学的視点を養うようにしてください。

教科書

教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。

履修上の注意事項

リアクション・ペーパーの配分が大きいため、授業への出席状況が、成績評価に反映します。欠席・遅刻のないよう、心がけてください。出欠は、教員がとる出欠(リアクション・ペーパー、出席カード)を優先します。期末試験を受験するには、原則として、授業回数の 2/3 の出席が必要です。

時間割番号	000008				
科目名	宗教学Ⅱ				
担当教員	宮田　義矢				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間：金曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1－3)、1－4)、1－5)

授業の目的、概要等

目的：諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。無宗教者人口が7～8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。概要：授業では、宗教の関わる出来事・事件等を事例に宗教学の様々なアプローチついて学んでいきます。

授業の到達目標

宗教学的な考え方に基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
2	10/11	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
3	10/18	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
4	10/25	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
5	11/1	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
6	11/8	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
7	11/15	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
8	11/22	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
9	11/29	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
10	12/6	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
11	12/13	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
12	12/20	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
13	1/10	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
14	1/17	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢
15	1/24	10:50-12:20	7番教室	宮田　義矢

授業方法

パワーポイントを用い、講義形式で行いますが、到達目標で掲げた「宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること」を達成するため、講義内容に即したテーマについて、適宜リアクションペーパーを提出して頂きます。授業内で提起される問題について、考える姿勢で臨んでください。

授業内容

1. ガイダンス：宗教学のスタンス、講義内容、成績評価について
2. 「無宗教」の日本人：「無宗教」意識の来源
3. 日本の宗教①：神道と仏教
4. 日本の宗教②：近代以降の日本宗教
5. メディアと宗教：宗教事件の報道
6. 「カルト」問題：どこからが「カルト」なのか
7. 宗教心理学：心理現象としての宗教理解
8. 死後生信仰：死後生信仰の展開
9. 神話：聖典と現代の宗教問題
10. 修行：宗教の現代的展開
11. 死生観：現代的な死生観の構築
12. シャーマニズム：憑依から預言まで
13. シャーマニズム：こっくりさんと近代
14. スピリチュアル：「宗教」を通じて見ることの意義
15. 授業内試験：試験と授業のまとめ

成績評価の方法

評価 ： 試験 50% ・ その他(リアクションペーパー、小レポート)50%
再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

各回の講義をテーマにしたがって要約し、宗教学的視点を養うようにしてください。

教科書

教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。

履修上の注意事項

リアクション・ペーパーの配分が大きいため、授業への出席状況が、成績評価に反映します。欠席・遅刻のないよう、心がけてください。出欠は、教員がとる出欠(リアクション・ペーパー、出席カード)を優先します。期末試験を受験するには、原則として、授業回数の 2/3 の出席が必要です。

時間割番号	000009				
科目名	芸術Ⅰ				
担当教員	木津 文哉, 豊福 誠, 齋藤 典彦, 押元 一敏, 武内 優記, 横山 麻衣				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:金曜2限

対象学科:医学科・歯学科

募集人数:20 人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-6

主な講義場所

第 1～9 回:10 番教室

第 10～15 回:13 番教室

授業の目的、概要等

絵画、彫刻、工芸、デザイン、映像メディア等の芸術における様々な分野の表現について講義と実習を通して学ぶ。芸術の視点から、人間、社会、歴史、分野、表現等について幅広く捉え、特に人間と美術の関わりについて探求する。

授業の到達目標

人間活動としての芸術とその歴史、表現について理解する。人間と美術の関わりについて理解する。特定分野の表現を実習で実現できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	10 番教室	武内 優記
2	4/19	10:50-12:20	10 番教室	押元 一敏
3	4/26	10:50-12:20	10 番教室	押元 一敏
4	5/10	10:50-12:20	10 番教室	木津 文哉
5	5/17	10:50-12:20	10 番教室	木津 文哉
6	5/24	10:50-12:20	10 番教室	齋藤 典彦
7	5/31	10:50-12:20	10 番教室	齋藤 典彦
8	6/7	10:50-12:20	10 番教室	齋藤 典彦
9	6/14	10:50-12:20	10 番教室	齋藤 典彦
10	6/21	10:50-12:20		横山 麻衣
11	6/28	10:50-12:20		横山 麻衣
12	7/5	10:50-12:20		横山 麻衣
13	7/12	10:50-12:20		横山 麻衣
14	7/19	10:50-12:20		横山 麻衣
15	7/26	10:50-12:20		横山 麻衣

授業方法

初回にガイダンスを行う。全 15 回の授業うち、1-9 回は各専門分野の講師による講義。10-15 回はデッサン実習とする。

授業内容

第 1 回:ガイダンス、彫刻論

第 2・3 回:映像メディア論

第 4・5 回:デザイン論

第 6・7 回:絵画論

第 8・9 回:工芸論

第 10～15 回:デッサン実習

成績評価の方法

評価 : 試験 % ・ レポート 60% ・ その他(デッサン実習) 40% オムニバス形式の授業であり、授業への参加度を重視する。

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

各回、美術の専門分野をもった教員による講義となる。自主的に美術館や博物館等で興味のある美術・工芸に関わる作品を幅広く鑑賞しておく事が望ましい。

履修上の注意事項

レポート提出には 3 分の 2 以上の出席が必要

備考

キーワード:芸術

時間割番号	000040				
科目名	芸術Ⅱ				
担当教員	室田　尚子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間：金曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1−6）

授業の目的、概要等

目的：オペラとは何か、その歴史や発展の過程を通してオペラの魅力と芸術的価値を知る。概要：現在でも欧米では、オペラに精通しているかどうかがその人の教養を測る一つの物差しとなるケースがある。それほど、西洋芸術音楽の中でもオペラは特別な位置を占めるている。本講義では各時代ごとの代表的なオペラ作品を鑑賞してその特徴を知るとともに、「音楽」「美術」「文学」「演劇」が一つになった「総合芸術」であるオペラの魅力や芸術的価値について考察する。

授業の到達目標

1）オペラの成り立ちや歴史を知ること。

2）オペラを構成している様々な要素について、実際の作品を通して学ぶこと。　　3）音楽鑑賞を通して感じたり考えたりしたことを、他者に的確に伝えられるように言語化すること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	10:50−12:20	1 番教室	室田　尚子
2	10/11	10:50−12:20	1 番教室	室田　尚子
3	10/18	10:50−12:20	1 番教室	室田　尚子
4	10/25	10:50−12:20	1 番教室	室田　尚子
5	11/1	10:50−12:20	1 番教室	室田　尚子
6	11/8	10:50−12:20	1 番教室	室田　尚子
7	11/15	10:50−12:20	1 番教室	室田　尚子
8	11/22	10:50−12:20	1 番教室	室田　尚子
9	11/29	10:50−12:20	1 番教室	室田　尚子
10	12/6	10:50−12:20	1 番教室	室田　尚子
11	12/13	10:50−12:20	1 番教室	室田　尚子
12	12/20	10:50−12:20	1 番教室	室田　尚子
13	1/10	10:50−12:20	1 番教室	室田　尚子
14	1/17	10:50−12:20	1 番教室	室田　尚子
15	1/24	10:50−12:20	1 番教室	室田　尚子

授業方法

CD や DVD を鑑賞しながらの講義。適宜、作品の感想や考察を提出してもらう。

授業内容

1. 授業内容についてのガイダンス
2. バロック・オペラ～ヘンデル『ジュリアス・シーザー』
3. 声とドラマの一体化～モーツァルト『フィガロの結婚』
4. ベルカント・オペラ①～ドニゼッティ『愛の妙薬』
5. ベルカント・オペラ②～ベッリーニ『ノルマ』
6. イタリア・オペラの改革者～ヴェルディ『椿姫』
7. オペレッタの世界～ヨハン・シュトラウス『こうもり』
8. 19 世紀フランス・オペラの世界①～マスネ『マノン』
9. 19 世紀フランス・オペラの世界②～ビゼー『カルメン』
10. オペラとジャポニスム～プッチーニ『蝶々夫人』
11. ヴェリズモ・オペラ～レオンカヴァッロ『道化師』
12. 西洋音楽史の転換点～ワーグナー『トリスタンとイゾルデ』
13. オペラの革新～ドビュッシー『ペレアスとメリザンド』
14. 20 世紀オペラ～ベルク『ルル』
15. 学期末試験

成績評価の方法

評価 ： 筆記試験 70% ・ その他(授業への参加度) 30%　知識の確実な習得を重視する
再評価:　 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習は特に必要なし。復習については、授業で鑑賞した作品を自分でもう一度鑑賞し直し、授業内容について自筆でノートにまとめておくことが望ましい。

教科書

特に指定しない

参考書

『オペラの館がお待ちかね』室田尚子著(清流出版、2012 年)、『オペラワンダーランド(ぴあムック)』(2016 年)

履修上の注意事項

・出欠は教員が調査票によって取るものを優先させる。 ・鑑賞が中心の授業なので、きちんと出席し授業を受けることが何よりも重要である。 ・原則として授業開始 30 分を過ぎてからの遅刻は認めない。 ・授業はパワーポイントによって行うが、その内容を配布することはしないので各自ノートをとること。 ・授業中パワーポイントの画面を撮影することは禁止する。 ・出席日数が授業日数の3分の 2 に満たない場合は期末試験の受験を認めない。

備考

キーワード:音楽、クラシック、オペラ、オペレッタ、舞台

時間割番号	000012				
科目名	歴史学A Ⅰ				
担当教員	濱本 真実				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間: 金曜 2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1－3） 人間の歴史的営みを理解する

3－4） 外国文化を理解する

授業の目的、概要等

＜ロシアとアジアの近現代史＞ 19 世紀、アジアは「西洋の衝撃」という近代化の波に洗われ、多くの国がヨーロッパ強国の植民地、半植民地となった。ヨーロッパとアジアの間に位置するロシアは、西欧より遅れたものの、アジア諸国より早く近代化を成し遂げ、中央アジアを植民地化することに成功した。しかしロシアでは、1917 年に社会主義革命が実現し、西欧とは異なった社会が作り上げられていった。そして 20 世紀は、資本主義国対社会主義国という構図で世界が動き、ソ連崩壊後の 21 世紀は、「アジアの世紀」と言われている。このような、西欧諸国中心の 19 世紀から、資本主義・社会主義陣営対立の時代を経て、アジアが台頭するという現在までの歴史の流れを、ロシアとアジアを軸に深く理解することは、現代世界を理解する上で重要な視座を与えてくれる。講義では、「西洋の衝撃」のはじまりからソ連崩壊によって大きく変化するアジアの近現代史を、ロシア、ソ連の動きに注目しながら考えていきたい。

授業の到達目標

1. 近現代史を、個々の事件の積み重ねとしてではなく、構造的にとらえられるようになる。

2. 現代社会の成り立ちを理解することにより、今後の国際情勢の動きについてある程度の見通しを得られるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	6 番教室	濱本 真実
2	4/19	10:50-12:20	6 番教室	濱本 真実
3	4/26	10:50-12:20	6 番教室	濱本 真実
4	5/10	10:50-12:20	6 番教室	濱本 真実
5	5/17	10:50-12:20	6 番教室	濱本 真実
6	5/24	10:50-12:20	6 番教室	濱本 真実
7	5/31	10:50-12:20	6 番教室	濱本 真実
8	6/7	10:50-12:20	6 番教室	濱本 真実
9	6/14	10:50-12:20	6 番教室	濱本 真実
10	6/21	10:50-12:20	6 番教室	濱本 真実
11	6/28	10:50-12:20	6 番教室	濱本 真実
12	7/5	10:50-12:20	6 番教室	濱本 真実
13	7/12	10:50-12:20	6 番教室	濱本 真実
14	7/19	10:50-12:20	6 番教室	濱本 真実
15	7/26	10:50-12:20	6 番教室	濱本 真実

授業方法

講義

授業内容

1. ガイダンス
2. なぜ 19 世紀は「ヨーロッパの世紀」になったのか？
3. 「西洋の衝撃」とアジア
4. ロシアの近代化と社会的な歪み
5. 第一次世界大戦とアジア
6. ロシア革命
7. 戦間期のロシア
8. 戦間期のアジア
9. 第二次世界大戦
10. 冷戦
11. アジア諸国と社会主義
12. ソ連崩壊
13. イスラームとアメリカ

14. 中国の台頭
15. まとめ

成績評価の方法

評価 : 試験 80 % ・ レポート 0% ・ 出欠、コメントシートの回答などの授業への参加度） 20 %
再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

近現代史の知識が乏しい受講者は、本シラバスに「参考書」として挙げた文献を読んで予習しておくことが望ましい。
授業の理解が難しい場合は、授業中に配布するプリントに挙げる参考文献を利用しての復習が必要になる。

試験の受験資格

原則的に3分の2以上の出席を試験の受験資格とする。

教科書

特になし。毎回プリントを配布する。

参考書

木畑洋一『二〇世紀の歴史』 岩波新書、2014 年
三谷博他編『大人のための近現代史 19 世紀編』 東京大学出版会、2009 年
和田春樹他著『東アジア近現代通史――19 世紀から現在まで(上・下)』岩波書店、2014 年

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。

備考

キーワード:ロシア、アジア、ソ連、近代化、革命、社会主義、イスラーム

時間割番号	000014				
科目名	科学史Ⅰ				
担当教員	田中 丹史				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:金曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－3 人間の歴史的営みを理解する

授業の目的、概要等

現代社会において科学技術が重要な役割を担っているのは言うまでもない。本講義では、歴史学のアプローチから科学や技術が過去にどのような意義を持っていたのかを分析する。その上で現代社会における科学技術の特徴や科学技術と市民社会との関係を考察することを目標としている。

授業の到達目標

1. 科学史・技術史の基礎を理解する。
2. 現代社会における科学技術の意義を考察できる。
3. 医療の概史を知ることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	9番教室	第1回:ガイダンス(本講義の目的)	田中 丹史
2	4/19	10:50-12:20	9番教室	第2回:古代ギリシャ・ローマと科学・技術	田中 丹史
3	4/26	10:50-12:20	9番教室	第3回:古代ギリシャ・ローマ医学史:ヒポクラテスとガレノス	田中 丹史
4	5/10	10:50-12:20	9番教室	第4回:病院と医学史	田中 丹史
5	5/17	10:50-12:20	9番教室	第5回:中世の産業革命と12世紀ルネサンス	田中 丹史
6	5/24	10:50-12:20	9番教室	第6回:疾病史:ペストとコレラ	田中 丹史
7	5/31	10:50-12:20	9番教室	第7回:ルネサンスと科学・技術	田中 丹史
8	6/7	10:50-12:20	9番教室	第8回:科学革命	田中 丹史
9	6/14	10:50-12:20	9番教室	第9回:産業革命と科学・技術、19世紀以降のエンジニア	田中 丹史
10	6/21	10:50-12:20	9番教室	第10回:科学の職業化と専門化	田中 丹史
11	6/28	10:50-12:20	9番教室	第11回:20世紀以降の科学技術政策	田中 丹史
12	7/5	10:50-12:20	9番教室	第12回:医療政策の展開	田中 丹史
13	7/12	10:50-12:20	9番教室	第13回:日本の公害	田中 丹史
14	7/19	10:50-12:20	9番教室	第14回:日本の科学技術の歴史	田中 丹史
15	7/26	10:50-12:20	9番教室	第15回:日本の薬害	田中 丹史

授業方法

板書を中心とする講義形式をとる。ただし適宜リアクションペーパーを配布し、アクティブラーニングも実施する。

成績評価の方法

評価 : 試験 % ・ レポート 100% ・ その他( ) %

授業で得た知識を用いて発展的に思考することを求める。再評価: 有(再評価方法 レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業中に指示した文献等を使い、各自で予習・復習してください。
教科書 なし
参考書 橋本毅彦『〈科学の発想〉をたずねて：自然哲学から現代科学まで』左右社, 2010. 中島秀人『社会の中の科学』放送大学教育振興会, 2008.
履修上の注意事項 出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先します。

時間割番号	000015				
科目名	科学史Ⅱ				
担当教員	田中 丹史				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:金曜 2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－3 人間の歴史的営みを理解する

授業の目的、概要等

本講義では現代社会における先端科学技術をめぐる議論の中でもとくに重要な対象となっている環境問題をテーマとして取り上げる。分析視角としては社会的な決定手続きや倫理の観点を重視しつつ、豊富な事例分析に基づき議論を進めていく予定である。

授業の到達目標

1. 現代の環境問題の基礎を理解する。
2. 環境問題に関する社会的手続きについて理解する。
3. 環境倫理の基礎を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/4	10:50-12:20	9 番教室	第 1 回:ガイダンス(本講義の目的)	田中 丹史
2	10/11	10:50-12:20	9 番教室	第 2 回:水俣病の歴史的考察	田中 丹史
3	10/18	10:50-12:20	9 番教室	第 3 回:水俣病の歴史的考察(2)	田中 丹史
4	10/25	10:50-12:20	9 番教室	第 4 回:水俣病とイタイイタイ病の比較検討	田中 丹史
5	11/1	10:50-12:20	9 番教室	第 5 回:地球温暖化論とコミュニケーション	田中 丹史
6	11/8	10:50-12:20	9 番教室	第 6 回:地球温暖化論と科学諮問・国際関係	田中 丹史
7	11/15	10:50-12:20	9 番教室	第 7 回:環境リスクマネジメントの概論	田中 丹史
8	11/22	10:50-12:20	9 番教室	第 8 回:生物多様性の基礎	田中 丹史
9	11/29	10:50-12:20	9 番教室	第 9 回:遺伝資源へのアクセスと利益配分	田中 丹史
10	12/6	10:50-12:20	9 番教室	第 10 回:生物多様性と希少種の保全・保護	田中 丹史
11	12/13	10:50-12:20	9 番教室	第 11 回:アメリカの自然の権利訴訟	田中 丹史
12	12/20	10:50-12:20	9 番教室	第 12 回:日本の自然の権利訴訟	田中 丹史
13	1/10	10:50-12:20	9 番教室	第 13 回:動物の権利論の概説	田中 丹史
14	1/17	10:50-12:20	9 番教室	第 14 回:動物の権利論と生命操作	田中 丹史
15	1/24	10:50-12:20	9 番教室	第 15 回:環境倫理概論	田中 丹史

授業方法

板書を中心とする講義形式をとる。ただし適宜リアクションペーパーを配布し、アクティブラーニングも実施する。

成績評価の方法

評価 : 試験 % ・ レポート 100% ・ その他( ) %

授業で得た知識を用いて発展的に思考することを求める。再評価: 有(再評価方法 レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示 授業中に指示した文献等を使い、各自で予習・復習してください。
教科書 なし
参考書 授業中に指示します。
履修上の注意事項 出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先します。

時間割番号	000016				
科目名	文学ＡⅠ				
担当教員	木村　政樹				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:　月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1−7）人間の心への理解を深める

2−3）言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

3−2）自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける

授業の目的、概要等

この授業では、日本近代文学について「科学」という観点から考えることを目的とする。「科学」と「文学」の関係は、歴史的にいってどのようなものとして展開したのだろうか。これは極めて重要な問題だと考えられるが、なにか出来合いの答えが用意されているわけではない。そこで、近代日本の科学史と文学史の文脈が絡み合うテクストをいくつか読み解いていくことを通して、この重大テーマについて改めて具体的に考えてみたい。

授業の到達目標

①近代日本の科学史と文学史についての基本的な知識を習得する

②文学作品を批判的に分析する力を身につける

③文学研究のレポートの書き方を身につける

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
2	4/22	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
3	5/6	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
4	5/13	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
5	5/20	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
6	5/27	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
7	6/3	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
8	6/10	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
9	6/17	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
10	6/24	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
11	7/1	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
12	7/8	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
13	7/15	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
14	7/22	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
15	7/29	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹

授業方法

講義形式で行なう。受講者は毎回リアクションペーパーを提出する必要がある。

授業内容

第1回　イントロダクション

第2回　文系と理系について

第3回　進化論について

第4回　「神経」と文学

第5回　森鷗外と医学

第6回　エミール・ゾラの受容

第7回　結核と文学

第8回　泉鏡花「外科室」

第9回　夏目漱石「趣味の遺伝」

第10回　志賀直哉「濁つた頭」

第11回　有島武郎「実験室」

第12回　横光利一「機械」

第13回　葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」

第14回　宮沢賢治の作品（1）

第15回 宮沢賢治の作品(2)
成績評価の方法 評価 : 試験　0% ・ レポート　60% ・ その他(授業中の課題、授業への取り組み)　40% 再評価:　有(再評価方法 再レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 ①取り扱う文学作品は授業中に配布するので、事前に読んでおくこと　②配布プリントを再読すること
教科書 なし
参考書 授業中に指示する
履修上の注意事項 出席管理システムより、教員が取る出欠を優先させる。

時間割番号	000017				
科目名	文学AⅡ				
担当教員	木村　政樹				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:　月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1−7)人間の心への理解を深める

2−3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

3−2)自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける

授業の目的、概要等

この授業では、日本近代文学について「都市」という観点から考えることを目的とする。近代日本における「都市」の成立は、「文学」と切り離すことのできない現象である。また、テクストのなかにみられる「都市」像を解読することは、文学作品のもつ力を捉えるうえで極めて重要なことである。いくつかの具体的な作品を読み解きながら、「文学」と「都市」の関係について考察していきたい。

授業の到達目標

①都市論についての基礎的な知識を習得する

②文学作品を批判的に分析する力を身につける

③文学研究のレポートの書き方を身につける

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
2	10/7	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
3	10/21	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
4	10/28	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
5	11/11	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
6	11/18	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
7	11/25	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
8	12/2	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
9	12/9	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
10	12/16	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
11	12/23	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
12	1/6	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
13	1/20	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
14	1/27	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹
15	2/3	10:50−12:20	10 番教室	木村　政樹

授業方法

講義形式で行なう。受講者は毎回リアクションペーパーを提出する必要がある。

授業内容

第1回　イントロダクション

第2回　「都市論」について

第3回　高等遊民とはなにか

第4回　近代日本の出版文化

第5回　森鷗外「舞姫」

第6回　田山花袋「少女病」

第7回　谷崎潤一郎「秘密」

第8回　江戸川乱歩「D 坂の殺人事件」

第9回　萩原朔太郎の詩

第10回　萩原恭次郎の詩

第11回　坂口安吾「日本文化私観」

第12回　戦後の探偵小説と〈都市〉

第13回　村上龍

第14回　村上春樹

第15回　日本現代小説と「都市」

成績評価の方法

評価 ： 試験　0% ・ レポート　　60% ・ その他(授業中の課題、授業への取り組み)　40%

再評価:　有(再評価方法　再レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

①取り扱う文学作品は授業中に配布するので、事前に読んでおくこと　　②配布プリントを再読すること

教科書

なし

参考書

授業中に指示する

履修上の注意事項

出席管理システムより、教員が取る出欠を優先させる。

時間割番号	000020				
科目名	法学Ⅰ				
担当教員	飛田 綾子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間: 金曜 2限

対象学科:医学部医学科・医学部保健衛生学科検査技術学専攻・歯学部歯学科・歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。1-9)市民としての倫理観を養う。

授業の目的、概要等

社会に生きる限り、人は法と無関係ではいられません。法によって自分の自由が制限されたり、反対に自由が守られたりと様々です。法的な争い事は裁判所で法を適用して結論が出されますが、時に理不尽に思われるような結論もあります。例えば自分のプライバシーを暴くような報道であっても、それを報じる雑誌の差し止めはなかなか認められません。また、一票の較差の問題でも「法の下の平等に反している」と結論が下されながらも、実際に選挙がやり直されたことは未だありません。確かにこうした事例は、自分には縁遠く思えるかもしれませんが、憲法はあらゆる自由や権利が法的問題となる時に、元締めのような役割を担っています。よって憲法は自分と無関係だとは言えません。この授業では「法とは何か」という話から始め、日本国憲法の保障する人権の具体的内容や海外との相違点などトピックを、具体例を挙げながら説明します。「法学Ⅰ」のみの受講も歓迎しますが、できれば後期に開講される「法学Ⅱ」(国会等の統治機構や平和主義についての講義)も併せて履修すると理解が深まると思います。

授業の到達目標

(1)日本国憲法の基本的原則を理解し、人権に関する基本知識を身に着ける。

(2)比較法的観点を持ちつつ、望ましい人権保障のあり方について自分の考えを持ち、説明できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	1番教室	飛田 綾子
2	4/19	10:50-12:20	1番教室	飛田 綾子
3	4/26	10:50-12:20	1番教室	飛田 綾子
4	5/10	10:50-12:20	1番教室	飛田 綾子
5	5/17	10:50-12:20	1番教室	飛田 綾子
6	5/24	10:50-12:20	1番教室	飛田 綾子
7	5/31	10:50-12:20	1番教室	飛田 綾子
8	6/7	10:50-12:20	1番教室	飛田 綾子
9	6/14	10:50-12:20	1番教室	飛田 綾子
10	6/21	10:50-12:20	1番教室	飛田 綾子
11	6/28	10:50-12:20	1番教室	飛田 綾子
12	7/5	10:50-12:20	1番教室	飛田 綾子
13	7/12	10:50-12:20	1番教室	飛田 綾子
14	7/19	10:50-12:20	1番教室	飛田 綾子
15	7/26	10:50-12:20	1番教室	飛田 綾子

授業方法

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。授業内容の確認や、授業で得た知識を基に日々伝えられるニュースへの応用を考えてもらうアクティブラーニング形式を適宜取り入れます。

授業内容

第1回 ガイダンス 授業の目的・進め方 参考文献等の紹介／ 第2回 法とは何か／法と道徳の違い／権利と義務／人身の自由①(刑事手続きで保障される権利) 第 3 回 国務請求権(刑事補償請求権、請願権) 第4回 国務請求権(国家賠償請求権)／参政権①(選挙権の原則) 第5回 参政権②(一票の較差)／経済的自由権①(職業選択の自由) 第6回 経済的自由②(財産権の保障)／社会権①(生存権) 第7回 社会権②(教育を受ける権利、労働権) 第8回 思想・良心の自由(日の丸・君が代強制問題など)／信教の自由①(学校教育と信教の自由) 第 9 回 信教の自由②(靖国神社公式参拝問題など)／ 学問の自由(科学技術の発展と生命倫理の関係) 第10回 表現の自由(報道の自由、名誉毀損・性表現の規制の是非など) 第11回 集会・結社の自由／包括的権利(プライバシーの権利、自己決定権など) 第12回 法の下の平等(再婚禁止期間・夫婦別姓問題など) 第13回 基本的人権のまとめ①(外国人

の人権など） 第 14 回 基本的人権のまとめ②（公共の福祉の解釈の変遷、私人間効力など） 第 15 回 まとめ（個人の尊重とは何か）と理解度の確認

成績評価の方法

評価 ： 試験 0 % ・ レポート 65% ・ その他（アクティブラーニング形式を取り入れた確認小テスト等） 35 %

再評価: 有（再評価方法:レポート） ・ 無

日本国憲法の保障する人権に関する知識の確実な習得と、著名な判例を糸口に、人権が保障されることの意義や大原則を考察し、文章で伝えられることを重視する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認することは非常に有用です。また、日頃から様々なニュースに関心を払うようにしてください。一票の較差から、TV 番組の演出への批判など、政治・社会問題も含めたあらゆるニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけてください。

教科書

特に指定しません。

参考書

初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門（第 5 版）』有斐閣、2017 年。安念潤司・小山剛・青井美帆・宍戸常寿・山本龍彦『憲法を学ぶための基礎知識 論点 日本国憲法（第 2 版）』東京法令出版、2014 年。棟居快行・松井茂記・赤坂正浩・笹田栄司・常本照樹・市川正人編『基本的人権の事件簿（第 5 版）』有斐閣、2015 年。芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法（第 6 版）』岩波書店、2015 年。渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法 1 人権（第 6 版）』有斐閣、2016 年。野中俊彦・江橋崇編著（渋谷秀樹補訂）『憲法判例集（第 11 版）』有斐閣、2016 年。

履修上の注意事項

①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。②教員の出欠調査は、確認小テスト等で行います。（小テスト等は適宜行います。実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。）③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。④授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。

備考

キーワード：立憲主義、民主主義、基本的人権、個人の尊重

時間割番号	000026				
科目名	法学Ⅰ（憲法）				
担当教員	飛田 綾子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間: 水曜 3限

対象学科:医学部保健衛生学科看護学専攻・歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。1-9)市民としての倫理観を養う。

授業の目的、概要等

日本の防衛政策や芸能人の恋愛ニュースまで、ネット、テレビや新聞には、日々様々なニュースがあふれています。こうしたニュースは、自分には縁遠いものに見えるかもしれません。ですが、防衛政策は日常生活の基盤となるものです。また「芸能情報など下らない、法律で規制すべき」と考える人は多いでしょうが、表現の自由のありかたという広い視点から見れば簡単に結論は出ませんし、自分と無関係とも言えません。もちろん憲法とは大いに関係のある問題です。よって憲法を学ぶことは、自分自身のためになるのです。一方で近年は特に、日本国憲法の改正の必要性が叫ばれています。この問題を考えるには憲法の基本知識や議論の積み重ねを理解することが必要です。本授業では、生存権の保障や外国人の人権、地方自治などのテーマを、著名な裁判例を多く取り上げながら日本国憲法の全体像を示していきます。適宜、各国憲法や日本の戦後史についても言及したいと思います。

授業の到達目標

⑴日本国憲法の保障する人権の内容や、国会、内閣、裁判所の統治機構についての基本知識を身につける。
⑵表現の自由の規制の是非、成年後見人制度の問題点、日本の平和主義のあり方などのテーマを、憲法の基礎知識を踏まえて考察し、説明できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/17	13:10-14:40	1番教室	飛田 綾子
2	4/24	13:10-14:40	1番教室	飛田 綾子
3	5/8	13:10-14:40	1番教室	飛田 綾子
4	5/15	13:10-14:40	1番教室	飛田 綾子
5	5/22	13:10-14:40	1番教室	飛田 綾子
6	5/29	13:10-14:40	1番教室	飛田 綾子
7	6/5	13:10-14:40	1番教室	飛田 綾子
8	6/12	13:10-14:40	1番教室	飛田 綾子
9	6/19	13:10-14:40	1番教室	飛田 綾子
10	6/26	13:10-14:40	1番教室	飛田 綾子
11	7/3	13:10-14:40	1番教室	飛田 綾子
12	7/10	13:10-14:40	1番教室	飛田 綾子
13	7/17	13:10-14:40	1番教室	飛田 綾子
14	7/24	13:10-14:40	1番教室	飛田 綾子
15	7/31	13:10-14:40	1番教室	飛田 綾子

授業方法

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。授業内容の確認や、授業で得た知識を基に、日々伝えられるニュースへとの応用を考えてもらうアクティブラーニング形式を適宜取り入れます。

授業内容

第1回 ガイダンス 授業の目的、進め方、参考文献の紹介／憲法の存在意義／人身の自由(刑事裁判について)／国務請求権①(刑事補償請求権など)第2回 国務請求権②(国家賠償請求権)／参政権(選挙の原則、一票の較差)第3回 社会権(生存権・教育を受ける権利、労働基本権)／経済的自由①(職業選択の自由) 第4回 経済的自由②(財産権)／思想・良心の自由(日の丸・君が代の強制問題など)／信教の自由①(学校教育と信教の自由など)第5回 信教の自由②(靖国神社公式参拝問題など)／学問の自由(先端医療技術の法的規制の問題など)第6回 表現の自由①(表現の自由の重要性、報道の自由、名誉毀損的表現への規制の是非など)第7回 表現の自由②(集会・結社の自由など)／包括的権利(プライバシーの権利、自己決定権など)第8回 法の下の平等(夫婦別姓・再

婚禁止期間の判例など）／基本的人権のまとめ（外国人の人権、成年後見人制度など）第 9 回 日本憲法史／天皇制 第 10 回 平和主義（憲法 9 条の解釈・平和安全法制の概要など）第 11 回 統治機構 権力分立／国会（衆参両院の役割分担など）第 12 回 内閣（内閣総理大臣の権限強化の是非など）第 13 回 裁判所（裁判員制度・司法の独立など）／違憲審査制度 第 14 回 地方自治（道州制の是非など）／財政（公金支出の禁止など） 第 15 回 まとめと理解度の確認

成績評価の方法

評価 : 試験 0 % ・ レポート 60 % ・ その他（アクティブラーニング形式を取り入れた確認小テスト等） 40%

再評価: 有（再評価方法:レポート） ・ 無 日本国憲法に関する知識の確実な習得と、著名な判例を題材にし、憲法の存在意義や社会での役割についての自分の考えを文章で伝えられることを重視する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認することは非常に有用です。また、日頃からあらゆるニュースに関心を払うようにして下さい。憲法や裁判に関するニュースだけでなく、政治・社会問題も含めたニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけること。

教科書

特に指定しません。

参考書

初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門（第 5 版）』有斐閣、2017 年。安念潤司・小山剛・青井美帆・宍戸常寿・山本龍彦『憲法を学ぶための基礎知識 論点 日本国憲法（第 2 版）』東京法令出版、2014 年。芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法（第 6 版）』岩波書店、2015 年。野中俊彦・江橋崇編著（渋谷秀樹補訂）『憲法判例集（第 11 版）』有斐閣、2016 年。

履修上の注意事項

①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。②教員の出欠調査は、確認小テスト等で行います。（小テスト等は適宜行います。実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。）③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。④授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。

備考

キーワード:立憲主義、民主主義、基本的人権、政治制度

時間割番号	000021				
科目名	法学Ⅱ				
担当教員	飛田 綾子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間: 金曜 2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。

1-9)市民としての倫理観を養う。

授業の目的、概要等

日本の安全保障体制のあり方や天皇退位に伴う儀式のあり方など、憲法に関係する様々なニュースが日々伝えられている一方で、現憲法の改正の必要性が盛んに叫ばれています。こうしたニュースを深く理解し、改正の必要性を冷静に考察するためには、憲法に関する基礎知識が必要です。この授業では、国会、内閣、裁判所の持つ権限やお互いのチェック機能、平和主義に関する解釈や著名な裁判、地方自治のあり方などについて説明します。現実の政治との接点を持ちながら適宜、他国との比較も行いたいと思います。「法学Ⅱ」のみの履修も歓迎しますが、前期の「法学Ⅰ」(人権についての講義)と併せて履修するとより理解が深まると思います。

授業の到達目標

(1)日本国憲法の、国会や内閣など統治機構分野に関する基本的知識を、他国との比較法的視点を持ちながら身につける。

(2)憲法改正や平和主義などの論点について、憲法学の基本的知識を踏まえた上で自らの考えを持ち、説明できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	10:50-12:20	8番教室	飛田 綾子
2	10/11	10:50-12:20	8番教室	飛田 綾子
3	10/18	10:50-12:20	8番教室	飛田 綾子
4	10/25	10:50-12:20	8番教室	飛田 綾子
5	11/1	10:50-12:20	8番教室	飛田 綾子
6	11/8	10:50-12:20	8番教室	飛田 綾子
7	11/15	10:50-12:20	8番教室	飛田 綾子
8	11/22	10:50-12:20	8番教室	飛田 綾子
9	11/29	10:50-12:20	8番教室	飛田 綾子
10	12/6	10:50-12:20	8番教室	飛田 綾子
11	12/13	10:50-12:20	8番教室	飛田 綾子
12	12/20	10:50-12:20	8番教室	飛田 綾子
13	1/10	10:50-12:20	8番教室	飛田 綾子
14	1/17	10:50-12:20	8番教室	飛田 綾子
15	1/24	10:50-12:20	8番教室	飛田 綾子

授業方法

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。授業内容の確認や、授業で得た知識を基に日々伝えられるニュースへの応用を考えてもらうアクティブラーニング形式を適宜取り入れます。

授業内容

第1回 ガイダンス 授業の目的・概要／参考文献の紹介 第2回 立憲主義とは何か／憲法とは何か(憲法の種類・区別の仕方等) 第3回 国会①(国民の代表の意味、国会の地位など)第4回 国会②(国会・議院の権限) 第5回 内閣(議院内閣制、内閣の組織と権能) 第6回 裁判所(司法権の範囲と限界、裁判所の権限、司法権の独立など) 第7回 権力分立(各国との相違) 第8回 日本憲法史(ドイツ、イタリアとの比較) 第9回 天皇制(天皇は君主か元首か、天皇制の果たす役割) 第10回 平和主義①(自衛隊の合憲性、著名な裁判、日本の国防についての基本的考えなど) 第11回 平和主義②(平和安全法制の概要、各国との比較など) 第12回 地方自治(道州制の可否など) 第13回 財政(政教分離との関連など) 第14回 違憲審査制度(米独仏との比較)／憲法の保障・憲法改正 第15回 全体のまとめ・理解度の確認

成績評価の方法

試験　0 % ・ レポート 65　% ・ その他(アクティブラーニング方式を取り入れた確認小テスト等) 35　%
再評価:　有(再評価方法 レポート)　・ 無
日本国憲法が国会や内閣、裁判所といった統治機構に与えている権限や平和主義に関する判例などの基本知識の習得を重視する。また、そうした基本知識を踏まえた上で、望ましい制度の在り方を考察し、文章で伝えられることを重視する。

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示
予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認することは非常に有用です。また、日頃から様々なニュースに関心を払うようにしてください。日本だけでなく海外の政治・社会状況を知り、日本との相違点や共通点を考え、憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけてください。

教科書
特に指定しません。

参考書
初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門(第 4 版補訂版)』有斐閣、2014 年。渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法 2 統治(第 6 版)』有斐閣、2016 年。笹田栄司・原田一明・山崎友也・遠藤美奈『トピックからはじめる統治制度』有斐閣、2015 年。安念潤司・小山剛・青井未帆・山本龍彦編『憲法を学ぶための基礎知識 論点 日本国憲法(第 2 版)』東京法令出版、2014 年。芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法(第 6 版)』岩波書店、2015 年。

履修上の注意事項
①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。②教員の出欠調査は、確認小テスト等で行います。(小テスト等は適宜行います。実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。)③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。④授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。

備考
キーワード:立憲主義、平和主義、民主主義、政治制度、憲法改正

時間割番号	000022				
科目名	政治学Ⅰ				
担当教員	面 一也				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間: 月曜 2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

3-5)国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

本授業では、必ずしも政治学専攻でない学生向けに書かれた入門書を手がかりとしながら(教科書でなく参考書として)、現代政治の理論と現実を全般的に概観する。政治は生きものなので、書物には載っていない現在進行形のアクチュアルな諸問題も、可能なかぎり積極的に取り扱う。授業全体を通じて、現在の政治が直面している課題と、望ましい未来の政治のあり方について、批判的に考察を進めたい。なお本授業では、国内体制を中心に取り上げる。

授業の到達目標

1 現代の政治理論と現実政治の動向を理解する。

2 アクチュアルな政治問題の争点を把握する。

3 現在の政治と未来の政治に関する批判的考察力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
2	4/22	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
3	5/6	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
4	5/13	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
5	5/20	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
6	5/27	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
7	6/3	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
8	6/10	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
9	6/17	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
10	6/24	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
11	7/1	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
12	7/8	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
13	7/15	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
14	7/22	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
15	7/29	10:50-12:20	9 番教室	面 一也

授業方法

講義形式で行なう。アクティヴ・ラーニングを踏まえ、質疑応答やリアクション・ペーパーの提出を予定している。

授業内容

第 1 回 イントロダクション:授業の概要と進め方、教材などについて

第 2 回 権力と自由:政治学における最も基本的な枠組み

第 3 回 国家、集団、個人:三つの関係の問い直し、新たな国家の役割

第 4 回 法と政治:法との関係から見える、政治の位置

第 5 回 政治と非政治:非政治の領域から浮き彫りになる、政治の特性

第 6 回 デモクラシーの思想:古代と近代におけるデモクラシーの異同

第 7 回 リベラル・デモクラシーの発展:現代における多様な諸類型

第 8 回 福祉国家の諸問題:転換期にある現代国家の現状、または壊れゆく諸制度

第 9 回 非民主的体制:独裁、軍政、一党支配など、デモクラシーから取り残された人びと

第 10 回 政治教育:デモクラシーを担う人びとの育成のあり方

第 11 回 日本の政党政治:とくに現代日本の政党政治の問題

第 12 回 政治家と官僚:自民党長期政権の特徴、それに代わる政治構造の探求

第 13 回 政治参加と選挙:日本の有権者の投票行動

第 14 回 マス・メディアと政治:政権支持率や選挙結果への影響を中心に

第 15 回 期末筆記試験の予定
成績評価の方法 評価 ： 試験 80 % ・ レポート　 % ・ その他(質疑応答、リアクション・ペーパー) 20 % 再評価:　有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 復習に多くの時間を割くことを推奨する。復習の際には、ノートや資料を見返しながら、授業の全体的な流れをまず把握して、総論から各論の確認へ向かうとよい。また、復習は次回授業の重要な土台になるため、予習の意味も兼ねて、次回授業までに復習を済ませると理想的である。
教科書 教科書を使用しない。代わりに、参考書に関連する配布資料を適宜用いる。
参考書 苅部直、宇野重規、中本義彦『政治学をつかむ』(有斐閣、2011 年)。
履修上の注意事項 教員自身が取る出欠を優先させる。

時間割番号	000023				
科目名	政治学Ⅱ				
担当教員	面 一也				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間: 月曜 2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

3-5)国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

本授業では、必ずしも政治学専攻でない学生向けに書かれた入門書を手がかりとしながら(教科書でなく参考書として)、現代政治の理論と現実を全般的に概観する。政治は生きものなので、書物には載っていない現在進行形のアクチュアルな諸問題も、可能なかぎり積極的に取り扱う。授業全体を通じて、現在の政治が直面している課題と、望ましい未来の政治のあり方について、批判的に考察を進めたい。なお本授業では、国際体制を中心に取り上げる。

授業の到達目標

1 現代の政治理論と現実政治の動向を理解する。

2 アクチュアルな政治問題の争点を把握する。

3 現在の政治と未来の政治に関する批判的考察力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
2	10/7	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
3	10/21	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
4	10/28	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
5	11/11	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
6	11/18	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
7	11/25	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
8	12/2	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
9	12/9	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
10	12/16	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
11	12/23	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
12	1/6	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
13	1/20	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
14	1/27	10:50-12:20	9 番教室	面 一也
15	2/3	10:50-12:20	9 番教室	面 一也

授業方法

講義形式で行なう。アクティヴ・ラーニングを踏まえ、質疑応答やリアクション・ペーパーの提出を予定している。

授業内容

第 1 回 イントロダクション:授業の概要と進め方、教材などについて

第 2 回 世界の中の日本:日本の外交史と直面する諸課題

第 3 回 戦後日本の政治学:現実政治との交錯

第 4 回 ウェストファリア体制:現在の国際システムの基礎、バランス・オブ・パワー(恐怖の均衡)と集団安全保障

第 5 回 ナショナリズム:国際秩序を形成するのか、妨害するのか

第 6 回 科学テクノロジーと政治:軍事技術の発展と奇襲、核兵器はなくせるか

第 7 回 デモクラティック・ ピース:民主国同士は戦争しないという仮説をめぐって

第 8 回 人道的介入:人権擁護のための軍事介入、平和のための戦争

第 9 回 地域政治 1 アメリカ:グローバリゼーションの光と影

第 10 回 地域 2 EU:移民問題から排他主義へ

第 11 回 戦争責任問題:日本の司法、政府、市民の対応を中心に(慰安婦、徴用工裁判など)

第 12 回 地域 3　ASEAN:東アジアの奇跡、日本の関わりと中国の台頭

第 13 回 環境問題と政治:関係主体や合意形成をめぐる諸困難

第 14 回 ジェンダーの政治:フェミニズムからマイノリティー全般の権利問題へ

第 15 回 期末筆記試験の予定

成績評価の方法

評価 : 試験 80 % ・ レポート % ・ その他(質疑応答、リアクション・ペーパー) 20 %

再評価: 有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

復習に多くの時間を割くことを推奨する。復習の際には、ノートや資料を見返しながら、授業の全体的な流れをまず把握して、総論から各論の確認へ向かうとよい。また、復習は次回授業の重要な土台になるため、予習の意味も兼ねて、次回授業までに復習を済ませると理想的である。

教科書

教科書を使用しない。代わりに、参考書に関連する配布資料を適宜用いる。

参考書

苅部直、宇野重規、中本義彦『政治学をつかむ』(有斐閣、2011 年)。

履修上の注意事項

教員自身が取る出欠を優先させる。

時間割番号	000024				
科目名	経済学Ⅰ				
担当教員	田場　弓子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:　月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-3)

授業の目的、概要等

経済学の考え方及び分析ツールを用いて、国際経済の中で起こっている様々な経済現象を理解できるようになることを目的とします。例えば、各国はなぜ自由貿易協定を結ぼうとするのか。各国政府はどのような貿易政策を実施しているのか、それらの貿易政策は各国の経済にどのような影響を与えるのかなどを扱います。

授業の到達目標

国際貿易の成り立ち、貿易政策の手段及びその効果を経済学的に理解し、短絡的な議論に惑わされることなく自分なりの意見を持てるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	7番教室	田場　弓子
2	4/22	10:50-12:20	7番教室	田場　弓子
3	5/6	10:50-12:20	7番教室	田場　弓子
4	5/13	10:50-12:20	7番教室	田場　弓子
5	5/20	10:50-12:20	7番教室	田場　弓子
6	5/27	10:50-12:20	7番教室	田場　弓子
7	6/3	10:50-12:20	7番教室	田場　弓子
8	6/10	10:50-12:20	7番教室	田場　弓子
9	6/17	10:50-12:20	7番教室	田場　弓子
10	6/24	10:50-12:20	7番教室	田場　弓子
11	7/1	10:50-12:20	7番教室	田場　弓子
12	7/8	10:50-12:20	7番教室	田場　弓子
13	7/15	10:50-12:20	7番教室	田場　弓子
14	7/22	10:50-12:20	7番教室	田場　弓子
15	7/29	10:50-12:20	7番教室	田場　弓子

授業方法

基本的には、講義形式で行いますが、問題を解いてもらい、答えてもらうことも多くあります。

授業内容

第1回　ガイダンス:日本を取り巻く国際的な経済取引
第2回　比較優位と絶対優位
第3回　リカードモデル:技術格差と貿易パターン
第4回　部分均衡分析1:効用と需要
第5回　部分均衡分析2:生産費用と供給
第6回　部分均衡分析3:消費者余剰、生産者余剰
第7回　貿易政策1:輸出入関税・補助金政策
第8回　中間試験と解説
第9回　国内産業保護政策
第10回　不完全競争下の関税政策
第11回　ブランダースペンサーモデル
第12回　貿易協定
第13回　国際要素移動1:海外直接投資
第14回　国際要素移動2:国際労働移動
第15回　まとめ

成績評価の方法

評価　:　試験100%　・　レポート　　%　・　その他(　　)　　%

再評価:　　有(再評価方法)　　・　無

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は特に必要ありませんが、復習する際には、授業で配布した資料を再度確認し理解を深めてください。
教科書 資料を配布します。
参考書 石川城太・菊池徹・椋寛　著『国際経済学をつかむ』有斐閣
備考 経済学　国際貿易　貿易政策　自由貿易

時間割番号	000025				
科目名	経済学Ⅱ				
担当教員	田場　弓子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:　月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-3)

授業の目的、概要等

マクロ経済学は現実と密接に関係しています。例えば、マクロ経済学で観察される現象として、物価が上昇し続けるインフレーションや、逆に物価が下がり続けるデフレーションがあります。これらの現象はなぜ起こるのでしょうか。また、政府は財政政策や金融政策を行っていますが、これらの政策は実体経済にどのようなルートを通じて影響を与えるのでしょうか？この他にも、GDP の水準を決めているのは何か、金利の変動はなぜ起こるのか、貯蓄率と経済成長とはどう関係しているのかなどを学びます。

授業の到達目標

世の中で実際に起こっている経済現象について、マクロ経済学の考え方を用いて理解できるようになることを目標とします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	10:50-12:20	7 番教室	田場　弓子
2	10/7	10:50-12:20	7 番教室	田場　弓子
3	10/21	10:50-12:20	7 番教室	田場　弓子
4	10/28	10:50-12:20	7 番教室	田場　弓子
5	11/11	10:50-12:20	7 番教室	田場　弓子
6	11/18	10:50-12:20	7 番教室	田場　弓子
7	11/25	10:50-12:20	7 番教室	田場　弓子
8	12/2	10:50-12:20	7 番教室	田場　弓子
9	12/9	10:50-12:20	7 番教室	田場　弓子
10	12/16	10:50-12:20	7 番教室	田場　弓子
11	12/23	10:50-12:20	7 番教室	田場　弓子
12	1/6	10:50-12:20	7 番教室	田場　弓子
13	1/20	10:50-12:20	7 番教室	田場　弓子
14	1/27	10:50-12:20	7 番教室	田場　弓子
15	2/3	10:50-12:20	7 番教室	田場　弓子

授業方法

基本的には、講義形式で行いますが、問題を解いてもらい、答えてもらうことも多くあります。

授業内容

第1回　イントロダクション
第2回　国内総生産
第3回　国民所得
第4回　貨幣数量説
第5回　インフレと利子率
第6回　為替レート
第7回　開放経済:小国
第8回　摩擦的失業
第9回　構造的失業
第10回　総需要と総供給
第11回　安定化政策
第12回　財市場と IS 曲線
第13回　貨幣市場と LM 曲線
第14回　IS-LM モデルの応用
第15回　まとめ

成績評価の方法

評価　:　試験 100%　・　レポート　　%　・　その他(　　)　　%

再評価:　有(再評価方法)　・　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習は特に必要ありませんが、復習する際には、授業で配布した資料を再度確認し理解を深めてください。

教科書

資料を配布します。

参考書

N. グレゴリー・マンキュー 「マンキューマクロ経済学 I」第4版 東洋経済新報社 2017

備考

経済学　マクロ経済学　GDP 失業　財政政策　金融政策

時間割番号	000027				
科目名	社会学A Ⅰ				
担当教員	大倉 韻				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間: 月曜 1 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

4-4)情報についての基本技能を身につける

授業の目的、概要等

急速に変化を続ける現代社会において、我々を取り巻く環境や人々のものの考え方などを知るために実施される社会調査(世論調査・アンケート・インタビューなど)の重要性はますます増加している。またインターネットや情報通信機器の普及により、個人でも容易に社会調査を実施できるようになっている。だが、それらの中にはデータの集め方や質問文、分析結果の読み取り方などが適切でないために誤った結論を出してしまっているものが少なくない。

この授業では、社会調査に関する基本的な事項を学習する。具体的には社会調査の歴史と意義、各種調査方法とそのメリット・デメリット、調査の企画・設計・仮説構築、調査倫理、実査、データの分析、などを扱う。また質の高い社会調査を詳細に検討することで、そうした調査がどのように設計・実施・分析・記述されているのかを理解する。

そうした学習を通じて、必要に応じて適切な社会調査を行えるようになるための基礎知識を習得するのみならず、誤った統計を見抜き、正しい情報を読み解く能力、すなわちリサーチ・リテラシーをも習得することが本授業の目的である。

授業の到達目標

〇社会調査の基本的な知識を習得し、既存の調査を正しく読み解けるようになること。

〇社会調査をおこなうために必要な、問題設定・調査設計・実施・分析・記述などの基本的な考え方を習得すること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
2	4/22	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
3	5/6	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
4	5/13	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
5	5/20	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
6	5/27	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
7	6/3	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
8	6/10	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
9	6/17	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
10	6/24	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
11	7/1	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
12	7/8	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
13	7/15	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
14	7/22	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
15	7/29	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻

授業方法

1～11 回目の授業は講義形式でおこなう。資料は毎回配布する。12～15 回目の授業では社会調査を用いた文献を講読しディベートをおこなうセミナー形式をとる。リアクションペーパーの内容について次回授業時に言及することがある。

授業内容

第 1 回:ガイダンス

第 2 回:社会調査とは何か／社会調査の用途と歴史

第 3 回:調査内容と対象の決定／調査の実施と処理

第 4 回:結果の集計と分析

第 5 回:聴き取り調査／調査報告をまとめる

第 6 回:様々な社会調査／社会調査の課題

第 7 回:統計分析の基礎／クロス集計

第 8 回:平均の差の検定と分散分析／単回帰分析

第 9 回:相関と偏相関／重回帰分析とダミー変数

第 10 回:パス解析／クラスター分析
第 11 回:主成分分析／因子分析
第 12 回:文献講読 1
第 13 回:文献講読 2
第 14 回:文献講読 3
第 15 回:文献講読 4

成績評価の方法

講義形式だが、受講者の積極的な授業参加を高く評価する。そのため、成績評価は次のようにおこなう。
評価:レポート 40%、授業への参加度 60%(リアクションペーパー、文献講読への参加など)
再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

講義については予習は特に必要ありませんが、復習をしっかりおこない疑問点があれば次回授業時に質問してください。また日常生活で目にする統計データが信用できるものかどうか注意深く観察し、リサーチ・リテラシーを養うことをおすすめします。

文献講読については予習として事前に文献を読み込み、疑問点や議論したい点を考えておいてください。

教科書

なし(授業中に資料を配布する)

参考書

原純輔・浅川達人『社会調査』放送大学教育振興会、2005 年。
村瀬洋一・高田洋・廣瀬毅士『SPSS による多変量解析』オーム社、2007 年。
それ以外にも授業内で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。

時間割番号	000029				
科目名	社会学AⅡ				
担当教員	大倉 韻				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間: 月曜１限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

授業の目的、概要等

社会学は文字どおりわれわれの生きる社会について研究する学問だが、社会は常に変化し続けるため、また社会を研究しようとする我々も社会の中に含まれているため、さらにまた社会のどの部分にどのように注目するかによって分析視角が様々に異なるため、社会学の研究方法は極めて多岐にわたっている。

この授業では、社会学の成り立ちを踏まえた上で代表的な社会理論を紹介する。またそれら社会理論を現代社会に当てはめて考えることで、われわれがふだん「当たり前」と考えているさまざまな社会秩序が成立している背景を明らかにする。加えて入門的な文献を講読することで、社会学の幅広い領域の一端に触れてもらうことを目標とする。

授業の到達目標

〇社会学の基本的な知識を習得し、社会学的なものの見方を身につけること。

〇社会学的なものの見方にもとづいて現代社会を読み解く能力を身につけること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
2	10/7	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
3	10/21	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
4	10/28	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
5	11/11	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
6	11/18	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
7	11/25	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
8	12/2	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
9	12/9	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
10	12/16	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
11	12/23	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
12	1/6	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
13	1/20	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
14	1/27	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻
15	2/3	09:10-10:40	6 番教室	大倉 韻

授業内容

第１回:ガイダンス

第２回:社会学史概括

第３回:自殺とアノミー／社会システムの機能分化

第４回:複雑性の縮減／合理的選択

第５回:物象化と疎外／宗教と社会

第６回:イデオロギーと相関主義／コミュニケーション的行為

第７回:権力と主体／相互作用

第８回:現象学／相互作用と自己

第９回:構築される社会／スティグマとラベリング

第１０回:エスノメソドロジー／文化資本

第１１回:再帰的近代

第１２回:文献講読１

第１３回:文献講読２

第１４回:文献講読３

第１５回:文献講読４

成績評価の方法

講義形式だが、受講者の積極的な授業参加を高く評価する。そのため、成績評価は次のようにおこなう。

評価:レポート 40%、授業への参加度 60%(リアクションペーパー、文献講読への参加など)

再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

講義については予習は特に必要ありませんが、復習をしっかりおこない疑問点があれば次回授業時に質問してください。また自分の周囲のさまざまな現象について、授業で学んだ分析視角を当てはめて解釈する練習をすることをおすすめします。

文献講読については予習として事前に文献を読み込み、疑問点や議論したい点を考えておいてください。

教科書

なし(授業中に資料を配布する)

参考書

那須壽編『クロニクル社会学』有斐閣、1997 年。

それ以外にも授業内で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。

時間割番号	000030				
科目名	社会思想史Ⅰ				
担当教員	上田 悠久				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:金曜1限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－2)、1－3)、1－5)、1－9)

授業の目的、概要等

人々はどうすれば共に生きることができるのか。西洋の哲学者や思想家は古代以来、「社会」に生きる人間のあり方について論じてきた。こうした探究は、現代に生きる我々が「社会」との関わり方を考えるヒントを与えている。本講義では「社会」に関する古代から初期近代までの西洋の代表的な思想を学ぶことで、学生一人ひとりが「社会」との関わりについて自覚的に、かつ自分の力で考える力を養うことを目指す。

授業の到達目標

・古代から初期近代までの社会思想史の全体像を把握すること。

・社会について問題意識をもち、自らの力で批判的に考察する力を獲得すること。

・講義の内容を手がかりに、自分の力で文献を読み、自分の言葉で論じることができるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
2	4/19	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
3	4/26	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
4	5/10	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
5	5/17	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
6	5/24	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
7	5/31	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
8	6/7	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
9	6/14	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
10	6/21	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
11	6/28	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
12	7/5	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
13	7/12	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
14	7/19	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
15	7/26	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久

授業方法

講義形式で行う。ただし質疑応答の時間やリアクション・ペーパーなどを活用し、受講生との対話を重視する。

授業内容

1. イントロダクション
2. 古代ギリシアの社会とデモクラシー
3. プラトンの正義論と政治論
4. アリストテレスの正義論と政治論
5. 古代ギリシアにおける政治と哲学
6. 古代ローマ共和制の思想
7. 中世キリスト教社会における政治と宗教
8. 主権概念と国家概念の形成
9. マキアヴェッリの統治論
10. 共和主義と人文主義の展開
11. 科学革命の時代
12. ホッブズの科学的政治学
13. ホッブズの政治社会論
14. ホッブズにおける政治と宗教
15. まとめ:古代の社会と近代の社会

成績評価の方法

評価 : 試験またはレポート 70% ・ その他(リアクションペーパー・授業への貢献) 30%

再評価:　有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料を配ることがあるので、その際は講義までに読んでおくこと。講義後は、講義中にとったノートや配布資料を見返すだけでなく、講義で紹介したテクストや参考文献を自分自身で読み、理解を深めてほしい。

教科書

特定のテキストは用いない。随時資料を配布する。

参考書

坂本達哉『社会思想の歴史―マキアヴェリからロールズまで』名古屋大学出版会、2014 年。

川出良枝・山岡龍一『西洋政治思想史―視座と論点』岩波書店、2012 年。

宇野重規『西洋政治思想史』有斐閣、2013 年。

この他の文献については講義の中で紹介する。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用する。レポート提出や期末考査・再試験等の受験には、原則として3分の2以上の出席が必要である。また毎回リアクション・ペーパーを書いてもらう。

時間割番号	000031				
科目名	社会思想史Ⅱ				
担当教員	上田 悠久				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:金曜1限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－2)、1－3)、1－5)、1－9)

授業の目的、概要等

人間が欲望に従い自己利益を追求する性質を持つのであれば、果たして人間は「社会」を営むことができるのだろうか。それともそうした人間観こそ見直されるべきなのか。古代以来の社会思想の探究は、近代社会の発展とともに重要度を増していった。本講義では近代以降の西洋の社会思想史を「市民社会」をキーワードに概観し、近代「社会」の中に生きる我々が、「社会」との関わりについて自覚的に、かつ自分の力で考える力を養うことを目指す。

授業の到達目標

・近代以降の社会思想史の全体像を把握すること。

・社会について問題意識をもち、自らの力で批判的に考察する力を獲得すること。

・講義の内容を手がかりに、自分の力で文献を読み、自分の言葉で論じることができるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
2	10/11	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
3	10/18	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
4	10/25	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
5	11/1	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
6	11/8	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
7	11/15	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
8	11/22	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
9	11/29	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
10	12/6	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
11	12/13	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
12	12/20	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
13	1/10	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
14	1/17	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久
15	1/24	09:10-10:40	3番教室	上田 悠久

授業方法

講義形式で行う。ただし質疑応答の時間やリアクション・ペーパーなどを活用し、受講生との対話を重視する。

授業内容

1. イントロダクション
2. 市民社会論の系譜
3. ロックの市民社会論
4. ロックにおける自由と寛容
5. 18世紀の文明社会論と啓蒙
6. ヒュームとスミスの文明社会論
7. ルソーの文明社会批判
8. ルソーの社会契約説
9. 19世紀の市民社会論
10. J. S. ミルの自由論
11. 社会思想史における女性
12. ウェーバーと近代社会
13. 20世紀の市民社会論
14. ロールズの正義論
15. まとめ:21世紀の市民社会

成績評価の方法

評価 : 試験またはレポート 70% ・ その他(リアクションペーパー・授業への貢献) 30%

再評価:　有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料を配ることがあるので、その際は講義までに読んでおくこと。講義後は、講義中にとったノートや配布資料を見返すだけでなく、講義で紹介したテクストや参考文献を自分自身で読み、理解を深めてほしい。

教科書

特定のテキストは用いない。随時資料を配布する。

参考書

坂本達哉『社会思想の歴史―マキアヴェリからロールズまで』名古屋大学出版会、2014 年。

川出良枝・山岡龍一『西洋政治思想史―視座と論点』岩波書店、2012 年。

宇野重規『西洋政治思想史』有斐閣、2013 年。

この他の文献については講義の中で紹介する。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用する。レポート提出や期末考査・再試験等の受験には、原則として3分の2以上の出席が必要である。また毎回リアクション・ペーパーを書いてもらう。

時間割番号	000032				
科目名	文化人類学Ⅰ				
担当教員	三谷　純子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:　月曜２限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2:社会制度や仕組みについての基本を理解する 1-4異なる空間の文化を理解する 1-5 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る1－7人間の心への理解を深める 3-4 外国文化を理解する3－5国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

未来を担う子どもの主体性や尊厳を尊重し、彼らの参加を含む子どもの権利の促進を図りながら持続可能な開発を目指す基盤となる子どもの権利条約や制度を先ず知ります。主に生きる権利に関し、具体的な例を通じて、文化を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対に正しい即座の解 決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とします。

授業の到達目標

目標1. 子どもの権利条約の概要、子ども支援に関する国際社会の枠組み、MDG(ミレニアム開発目標)・SDG(持続可能な開発目標)と子どもの権利の関係につ いて説明できる。

目標2. 世界の子どもの権利の現状と解決への取り組みについて具体例をあげて説明できる。

目標3. 文化と開発の複雑な関係について具体例をあげて説明できる。

目標4. 自分の意見を明確に主張し、他人の意見をよく聞いて、議論した結果をわかりやすく発表できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	2番教室	三谷　純子
2	4/22	10:50-12:20	2番教室	三谷　純子
3	5/6	10:50-12:20	2番教室	三谷　純子
4	5/13	10:50-12:20	2番教室	三谷　純子
5	5/20	10:50-12:20	2番教室	三谷　純子
6	5/27	10:50-12:20	2番教室	三谷　純子
7	6/3	10:50-12:20	2番教室	三谷　純子
8	6/10	10:50-12:20	2番教室	三谷　純子
9	6/17	10:50-12:20	2番教室	三谷　純子
10	6/24	10:50-12:20	2番教室	三谷　純子
11	7/1	10:50-12:20	2番教室	三谷　純子
12	7/8	10:50-12:20	2番教室	三谷　純子
13	7/15	10:50-12:20	2番教室	三谷　純子
14	7/22	10:50-12:20	2番教室	三谷　純子
15	7/29	10:50-12:20	2番教室	三谷　純子

授業方法

講義、ビデオ視聴、資料解読、授業中のグループワークによる発表

授業内容

1. イントロダクション・授業の概要説明・子どもの概念
2. ユニセフの概要と主要なパートナー・メディアの倫理規定
3. 子どもの権利条約と３つの選択議定書
4. MDG・SDGと公平性
5. 子ども権利の主要な指標からみた子どもの現状
6. 粉ミルクと企業の社会的責任
7. 予防接種と社会動員

8＆9. 水と衛生＆ジェンダー

10. エボラ対策
11. HIV/AIDS
12. FGM （女性器切除）
13. 児童労働

14. いじめ・虐待　15. まとめ

成績評価の方法

評価:試験50%・授業中のグループワークへの参加・発言・フィードバックシート・ニュースモニタリング等50%

再評価:　有　レポート

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業中のグループワークのために資料や短いビデオを見てくることを課す場合があります。週に1つは世界の子どもに関するニュースを読んで授業と関連させて考えてください徒と関連させて考えてください。

教科書

授業中に、主にユニセフや国連、世界銀行等の最新の英文資料を教員が日本語でまとめたパワポのプリントや資料を配布するので A4フォルダーを用意してください。英語のグラフを使うことがあります。日本語翻訳を無料でダウンロードできる場合は適宜お知らせします。

参考書

www.unicef.orjp/library で『ユニセフ世界子ども白書』日本語版過去10年分と先進国の子どもに関する日本語報告のダウンロード可。報告書や最新データは www.unicef.org や www.childinfo.org/mics.html や、WHO、CDC、WB、Save the Childrenl 等のHPで。UNICEFの概説は、Richard Jolly UNICEF: Global Governance that works. Routledge 2014 がわかりやすいです。

履修上の注意事項

出欠は、授業の最後に提出するフィードバックシートの提出の有無を優先させます。グループワークの支障になるので遅刻しないように注意してください。医学や看護の専門領域ではなく、政策決定に関するアドボカシー、行動を変えるための広報、社会動　員、メディアや各種団体との協働、資金調達、企業の社会的責任等について取り上げます。

備考

受講者の希望を反映し、取り上げる具体例を変更することがあります。

時間割番号	000035				
科目名	文化人類学Ⅱ				
担当教員	三谷　純子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:　月曜２限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2:社会制度や仕組みについての基本を理解する 1-4異なる空間の文化を理解する 1-5 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る１－７人間の心への理解を深める 3-4 外国文化を理解する３－５国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

戦争や紛争、不安定な治安、深刻な差別や迫害、極度の貧困、国家間の法律の違い等は、子どもの守られる権利や育つ権利に大きく影響します。日本も国際社会で一層の役割を果たすことが期待されています。またグルーバル化に伴い、日本で暮らす外国にルーツを持つ子どもも増えており、将来、皆さんの医療関係の仕事や地域社会の生活でも、相互理解を深めることが重要になると考えられます。この授業では、半分が子どもである難民や、移民、無国籍・無戸籍の子どもを含む人々を取り上げ、文化や経済、治安を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対に正しい即座の解決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とします。

授業の到達目標

目標1. 子どもの保護の中でも難民・移民・無国籍に関する現状及び関係する国際法や国際社会の対応の枠組み、課題について説明できる。

目標2. 上記の問題に関し、日本と関わりがあることを理解し、日本の取り組みや課題について説明できる。

目標3. 自分の意見を明確に主張し、他人の意見をよく聞いて、議論した結果をわかりやすく発表できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	10:50-12:20	8 番教室	三谷　純子
2	10/7	10:50-12:20	8 番教室	三谷　純子
3	10/21	10:50-12:20	8 番教室	三谷　純子
4	10/28	10:50-12:20	8 番教室	三谷　純子
5	11/11	10:50-12:20	8 番教室	三谷　純子
6	11/18	10:50-12:20	8 番教室	三谷　純子
7	11/25	10:50-12:20	8 番教室	三谷　純子
8	12/2	10:50-12:20	8 番教室	三谷　純子
9	12/9	10:50-12:20	8 番教室	三谷　純子
10	12/16	10:50-12:20	8 番教室	三谷　純子
11	12/23	10:50-12:20	8 番教室	三谷　純子
12	1/6	10:50-12:20	8 番教室	三谷　純子
13	1/20	10:50-12:20	8 番教室	三谷　純子
14	1/27	10:50-12:20	8 番教室	三谷　純子
15	2/3	10:50-12:20	8 番教室	三谷　純子

授業方法

講義、ビデオ視聴、資料解読、授業中のグループワークによる発表

授業内容

1. イントロダクション(シラバスの説明・質疑応答)
2. 各自の名の由来・日本と世界の名を巡る多様な文化
3. 世界の出生登録の現状と国際社会の取り組み
4. 日本の無戸籍
5. 無国籍に関する国際条約と国際社会の取り組み
6. 国籍を希求する人々と無国籍のままを望む人々.
6. 難民の地位に関する条約と定義、難民概念の拡大、
8. 3 つの恒久的解決と難民に関するグローバルコンパクト
9. 日本の難民認定制度の現状と課題
11. Migrants の定義と移民の概念、統計

12. 移民理論と移住労働者の権利
13. 日本の外国人労働者とこども
14. 当事者の視点
15. まとめ

成績評価の方法

評価:試験60% ・ 授業中のグループワークへの参加・発言・フィードバックシート、ニュースモニタリング等 40% 再評価:有(レポート

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業中のグループワークのために資料や短いビデオを見てくることを課す場合があります。週に一つは世界の難民、移民、無国籍に関連するニュースを読んで授業と関連させて考えてください。

教科書

授業中に、主に UNHCR IOM や国連等の最新の英文資料を教員が日本語でまとめたパワポのプリントや資料を配布するので A4フォルダーを用意してください。英語のグラフを使うことがあります。日本語翻訳を無料でダウンロードできる場合は適宜お知らせします。

参考書

難民レジームの歴史は、UNHCR『世界難民白書2000 人道行動の50年史』日本語版、時事通信社、2001 年。人の移動の概説は、S. カースルズ他『国際移民の時代』第4版、名古屋大学出版会、2011 年。日本の難民・移民について読みやすい本は、藤原良雄他編「なぜ今移民問題か」藤原書店 2014,駒井洋監修佐々木てる「マルチ・エスニックジャパニーズ:00系日本人の変革力」 明石書店 2016 滝澤三郎他編著「難民を知るための基礎知識」明石書店 2017 井戸まさえ「日本の無戸籍者」岩波新書 2017,荒巻重人他 「外国人の子ども白書」明石書店 2017 他に UNICEF, UNOCHA, UNHCR, UN, IOM, ILO,世界銀行等 のHP。 世界の無国籍は www.institutesi.org、 日本の難民や無国籍は www.refugee.or.jp や www.stateless-network.com 等。

履修上の注意事項

出欠は、授業の最後に提出するフィードバックシートの提出の有無を優先させます。グループワークの支障になるので遅刻しないように注意してください。前期より講義の割合が高くなります。2回目の授業の前に、自分の名前の由来をご家族に聞いておいてください。

備考

難民移民無国籍に関する問題の当事者又は元当事者の話を聞く機会を設ける予定です。

時間割番号	000036				
科目名	社会科学特論Ⅰ				
担当教員	濱本 真実				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間: 月曜２限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

１－３)人間の歴史的営みを理解する

１－４)異なる空間の文化を理解する

３－４)外国文化を理解する

授業の目的、概要等

イスラームと聞くと、多くの人は中東を思い浮かべるだろうが、中央ユーラシアやロシアにも多くのイスラーム教徒(ムスリム)が居住している。

ロシアは現在では多宗教国家を標榜しているが、20 世紀初頭まで、ながらくキリスト教の正教(東方正教)を国教としてきた国であり、ロシア帝国下のイスラーム教徒は、キリスト教徒を君主とする国で自らのイスラームの信仰を護っていたのだった。

本講義では、かつてロシア帝国に含まれた中央ユーラシア諸地域とロシアのイスラーム教徒に焦点を当てながら、両地域の相互関係や、日本ではなじみの薄いキリスト教の正教とイスラームという二つの宗教について学ぶ。そして、イスラーム教徒とキリスト教徒の共生という問題を考える。

授業の到達目標

1. 中央ユーラシアの文化と歴史、さらに、中央ユーラシアとロシアの深く長い関係について理解を深める。
2. キリスト教の正教(東方正教)とイスラームという2つの宗教について理解を深める。
3. イスラーム教徒とキリスト教徒の共生の歴史を、ロシア(ロシア帝国、ソ連、現在のロシア連邦)を例に理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実
2	4/22	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実
3	5/6	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実
4	5/13	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実
5	5/20	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実
6	5/27	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実
7	6/3	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実
8	6/10	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実
9	6/17	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実
10	6/24	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実
11	7/1	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実
12	7/8	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実
13	7/15	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実
14	7/22	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実
15	7/29	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実

授業方法

講義

授業内容

1. ガイダンス
2. イスラームとは？
3. イスラーム圏の拡大
4. 中央ユーラシアのイスラーム化とテュルク化
5. キリスト教の正教(東方正教)とは？
6. ロシアのキリスト教化
7. ロシア帝国の中央ユーラシア征服(1)

8.　ロシア帝国の中央ユーラシア征服（2）
9. ロシア帝国支配下の中央ユーラシア
10. ロシア革命とイスラーム
11. ソビエト政権下のイスラーム教徒
12. 現代の中央ユーラシア（1）
13. 現代の中央ユーラシア（2）
14. 現代ロシアにおけるイスラーム教徒とキリスト教徒の共生
15. まとめ

成績評価の方法

評価 ： 試験 80 % ・ レポート　　% ・ 出欠、コメントシートの回答などの平常点）　20 %
再評価: 有（試験もしくはレポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

イスラーム史とロシア史の知識が乏しい受講者は、それぞれの概説書を読んで予習しておくことが望ましい。
授業の理解が難しい場合は、授業中に配布するプリントに挙げられる参考文献を利用しての復習が必要になる。

教科書

特になし。毎回プリントを配布する。

参考書

毎回の授業で、授業内容に関する参考書を指示する。

他科目との関連

原則必要なし

履修上の注意事項

原則的に3分の2以上の出席を試験の受験資格とする。

備考

キーワード：イスラーム、キリスト教、正教、東方正教、ロシア、ソ連、中央アジア、中央ユーラシア

時間割番号	000037				
科目名	社会科学特論Ⅱ				
担当教員	尾内 隆之				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:金曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1−10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

2−5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う

授業の目的、概要等

戦後日本で起きた公害や重大事故をはじめ，先端医療や人工知能など、科学技術をめぐって現代社会に生起するさまざまな問題を社会科学的な観点から分析し、これからの科学技術ガバナンスに求められる要件を考察します。

授業の到達目標

科学技術の価値や意義、およびそのリスクへの対応の在り方を社会科学的観点から分析する手法を知り、その意義への理解を深める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	09:10−10:40	2番教室	尾内 隆之
2	10/7	09:10−10:40	2番教室	尾内 隆之
3	10/21	09:10−10:40	2番教室	尾内 隆之
4	10/28	09:10−10:40	2番教室	尾内 隆之
5	11/11	09:10−10:40	2番教室	尾内 隆之
6	11/18	09:10−10:40	2番教室	尾内 隆之
7	11/25	09:10−10:40	2番教室	尾内 隆之
8	12/2	09:10−10:40	2番教室	尾内 隆之
9	12/9	09:10−10:40	2番教室	尾内 隆之
10	12/16	09:10−10:40	2番教室	尾内 隆之
11	12/23	09:10−10:40	2番教室	尾内 隆之
12	1/6	09:10−10:40	2番教室	尾内 隆之
13	1/20	09:10−10:40	2番教室	尾内 隆之
14	1/27	09:10−10:40	2番教室	尾内 隆之
15	2/3	09:10−10:40	2番教室	尾内 隆之

授業方法

講義と演習の混合形式です。

講義パートではレジュメ等を配布し、適宜、映像を使います。

演習パートでは，グループディスカッションをベースに，ショートスピーチ，チームディベートなど，受講人数に応じたスタイルをとります。

また，講義内容に関わる社会的課題を自分で見つけ，調べ，発表する機会を設けます。

授業内容

①イントロダクション、②グループ討論で考える科学の不定性、③公害と科学、④環境問題と科学、⑤生殖医療、⑥脳死・臓器移植、⑦人工知能、⑧低頻度巨大災害、⑨〜⑫演習、⑬リスクコミュニケーション、⑭〜⑮プレゼンテーション(科学の不定性と社会的意思決定の諸課題)

成績評価の方法

評価 : レポート 50% ・ その他(平常授業課題，授業への貢献度)50%

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

講義パート，演習パートともに毎回，次回へ向けた課題を指示するので，予習・復習として必ず取り組むこと。

教科書

平田光司・本堂毅・尾内隆之・中島貴子編（2017）『科学の不定性と社会：現代の科学リテラシー』信山社。

参考書

開講後に随時指示する

履修上の注意事項

教員が毎回、出欠を確認し、その記録を優先します。毎回授業終了時にリアクションペーパーを書いてもらうので、その内容も成績評価の「平常授業課題」に含みます。

備考

キーワード：科学の不定性、トランスサイエンス、リスクガバナンス

時間割番号	000845				
科目名	Japanese Culture and Society Ⅰ				
担当教員	今村 圭介				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

主な講義場所

3番教室

授業の目的、概要等

文化、社会という概念は、個人の経験に基づく相対的なものであり、様々な視点や比較を通すことで、明確になってくるものです。「文化」「社会」という言葉でさえ、明治初期に"culture", "society"から翻訳されて日本語に入った借用語です。

本授業では、外国人から見た日本文化・社会の様々な側面をドキュメンタリー映画、ブログ、雑誌記事、本など様々な媒体から学び、ディスカッションをしていきます。

この授業は、基本的に英語で行いますが、補助的に日本語も使います。

また、基本的には入学時の TOEFL のスコアが 530 以下の学生を対象に行います。530 以上の学生は後期に英語のみで行う Japanese culture and society Ⅱ を受講してください。TOEFL スコア 530 以上でも英語に自信がなく、本授業を受けたい学生は初回授業の時に相談してください。

授業の到達目標

1.日本文化社会に対する新しい視点を獲得する。

2.日本文化社会の諸側面に関して英語で意見を述べることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介
2	4/22	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介
3	5/6	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介
4	5/13	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介
5	5/20	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介
6	5/27	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介
7	6/3	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介
8	6/10	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介
9	6/17	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介
10	6/24	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介
11	7/1	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介
12	7/8	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介
13	7/15	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介
14	7/22	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介
15	7/29	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介

授業方法

Lecture

Reading

Discussion

Presentation

授業内容

1. Introduction/Orientation

2. Enhancing cultural awareness

3. Japan from views of foreigners

4. Japan from views of foreigners 2

5. Guest speaker

6. Cultural differences and culture shock

7. Implicit / Explicit communication

8. Collective Assimilation / Individualism: The concept of wa

9. Collective Assimilation / Individualism: Within business culture

10. Leadership, hierarchy and power

11. Gender roles and equality

12. Guest speaker

13. Relationships in Japan

14. Oral presentations

15. Summary/ Reflection

成績評価の方法

授業参加度 40 %

課題 30 %

プレゼンテーション 30%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and active participation are both essential for this course.

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

参考書

Exploring Culture／Gert Jan Hofstede, Paul B. Pedersen, Geert Hofstede：Intercultural Press, Inc., 2002

The Japanese mind : undrestanding contemporary Japanese culture／Roger J. Daivis／,Osamu Ikeno／,, 2002 :英治出版

他科目との関連

Japanese culture and Society Ⅰと Japanese culture and society Ⅱの重複受講は認められません。

履修上の注意事項

本授業は基本的には入学時の TOEFL のスコアが 530 以下の学生を対象に行います。530 以上の学生は後期に英語のみで行う Japanese culture and society Ⅱを受講してください。

連絡先

今村 圭介:Imamura.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

今村 圭介:毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000846				
科目名	Japanese Culture and Society Ⅱ				
担当教員	今村 圭介				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

授業の目的、概要等

Culture and Society are concepts relative to one's own experience which can be elaborated through multiple perspectives and comparison. In fact, bunka(文化): culture and shakai(社会): society, are both translated words created only after contact with the West during the Meiji era. In this course we will discuss Japanese culture and society through comparison and through the lens of foreigners, using resources such as documentaries, news articles, books, social media and guest speakers. We will explore various aspects of Japanese culture and society through discussion on the materials provided in class. Students are encouraged to have active discussion in English.

授業の到達目標

The objectives of this course are:

1.To gain new perspective on our own culture and society

2.To be able to discuss and state own opinions on various aspects of Japan

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	10:50-12:20	3番教室	今村 圭介
2	10/7	10:50-12:20	3番教室	今村 圭介
3	10/21	10:50-12:20	3番教室	今村 圭介
4	10/28	10:50-12:20	3番教室	今村 圭介
5	11/11	10:50-12:20	3番教室	今村 圭介
6	11/18	10:50-12:20	3番教室	今村 圭介
7	11/25	10:50-12:20	3番教室	今村 圭介
8	12/2	10:50-12:20	3番教室	今村 圭介
9	12/9	10:50-12:20	3番教室	今村 圭介
10	12/16	10:50-12:20	3番教室	今村 圭介
11	12/23	10:50-12:20	3番教室	今村 圭介
12	1/6	10:50-12:20	3番教室	今村 圭介
13	1/20	10:50-12:20	3番教室	今村 圭介
14	1/27	10:50-12:20	3番教室	今村 圭介
15	2/3	10:50-12:20	3番教室	今村 圭介

授業方法

Lecture

Reading

Discussion

Presentation

授業内容

1. Introduction/Orientation
2. Enhancing cultural awareness
3. Japan from views of foreigners
4. Japan from views of foreigners 2
5. Guest speaker
6. Culture: The rules of the social game
7. Cultural differences and culture shock
8. Implicit / Explicit communication
9. Collective Assimilation / Individualism
10. Leadership, hierarchy and power
11. Gender roles and equality
12. Guest speaker
13. Relationships in Japan
14. Oral presentations

15. Summary/ Reflection

成績評価の方法

Class Participation 40 %

Presentation 30%

Final Essay 30%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and active participation are both essential for this course.

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

参考書

Exploring Culture／Gert Jan Hofstede, Paul B. Pedersen, Geert Hofstede：Intercultural Press, Inc., 2002

The Japanese mind : undrestanding contemporary Japanese culture／Roger J. Daivis／,Osamu Ikeno／,, 2002

他科目との関連

Japanese culture and Society Ⅰと Japanese culture and society Ⅱの重複受講は認められません。

履修上の注意事項

本授業は基本的には入学時の TOEFL のスコアが 530 以上の学生を対象に行います。530 以下の学生は前期に英語と日本語を交えて行う Japanese culture and society Ⅰを受講してください。

連絡先

今村 圭介:Imamura.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

今村 圭介:毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000857				
科目名	グローバル教養科目・Linguistics				
担当教員	今村 圭介				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

主な講義場所

3 番教室

授業の目的、概要等

This course will explore the relation between language and society. Since language is used as a means of communication within a society, it carries social functions and is used to convey social meanings. In this course, we will learn sociolinguistic theories and discuss topics using examples from various languages, particularly the ones we know, English and Japanese. We will discuss questions such as: Why do men and women speak differently? What influences us to speak differently in everyday life? How do people use different languages in a multilingual community?

授業の到達目標

Course objectives:

1. To understand the interplay of language and society.

2. To acquire analytical perspective on everyday language.

3. To deepen our understanding of different languages and cultures.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介
2	4/22	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介
3	5/6	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介
4	5/13	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介
5	5/20	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介
6	5/27	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介
7	6/3	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介
8	6/10	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介
9	6/17	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介
10	6/24	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介
11	7/1	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介
12	7/8	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介
13	7/15	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介
14	7/22	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介
15	7/29	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介

授業方法

Lectures

Readings

Discussion

授業内容

1. Introduction

2. Language variation within community

3. Language variation within community

4. Language variation within community

5. Linguistic variety and multilingual nation

6. Linguistic variety and multilingual nation

7. Linguistic variety and multilingual nation

8. Regional and social dialects

9. Regional and social dialects

10. Guest speaker: TBA

11. Ethnicity and social network

12. Ethnicity and social network

13. Language maintenance and shift

14. Language maintenance and shift

15. Final Exam

成績評価の方法

Participation: 40%

Final Exam: 30%

Final Essay: 30%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and active participation are both essential for this course.

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

参考書

Holmes, J . & Wilson, N (2017) An Introduction to Sociolinguistics (Learning about Language) 5th edition, Routledge

履修上の注意事項

This course is targeted for students who are taking the upper level English class, and not recommended for students whose TOEFL score is under 530. Lectures are given in English and students are encouraged to discuss in English. If you are not confident in listening/speaking in English but willing to enroll in this course, please consult the lecturer in the first class.

連絡先

今村 圭介:Imamura.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

今村 圭介:毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000919				
科目名	グローバル教養科目・Men and Women in the Modern World				
担当教員	CARLSON REBECCA LYNN				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

授業の目的、概要等

What does it mean to be a man or women in the world today? Is gender universal? How is it related to biology? What is the difference between masculinity and femininity? This course will explore the answers to these questions by comparing definitions and experiences of gender around the world. Students will then analyze their own ideas and perceptions of gender in contemporary Japan.

授業の到達目標

At the end of the course, students will be able to:

1. Think critically about concepts of gender and gender roles in contemporary society and self-reflect on current assumptions
2. Understand and discuss basic social science approaches to gender such as social norms and socialization and apply these critical thinking concepts to new topics independently
3. Improve oral and written communication in English through in class discussions and other assignments

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
2	4/22	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
3	5/6	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
4	5/13	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
5	5/20	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
6	5/27	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
7	6/3	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
8	6/10	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
9	6/17	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
10	6/24	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
11	7/1	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
12	7/8	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
13	7/15	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
14	7/22	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
15	7/29	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN

授業方法

Discussion

Reading comprehension, summaries and research

Presentations

Other in class activities

授業内容

(Subject to change)

Week 1 / April 15: Introduction

LGBTQ in the US

Week 2 / April 22: Biology and Gender

Week 3 / May 6: The Third Gender in India

Week 4 / May 13: Religion and Sexuality

Machismo in Mexico

Week 5 / May 20: Social Norms of Masculinity

Week 6 / May 27: Ikumen in Japan

Week 7 / June 3: Gender Stratification in Language

Low Fertility Rates in Japan

Week 8 / June 10: The Birth of the Salaryman/Housewife Family

Week 9 / June 17: Government Policy Making and Gender

Week 10 / June 24: The Labors of Motherhood

Marriage in China

Week 11 / July 1: Changing Gender Norms

Week 12 / July 8: The Cost of Marriage in Egypt

Week 13 / July 15: Dating Apps in Japan

Week 14 / July 22: Final Presentations

Week 15 / July 29: Review and Final Papers DUE

成績評価の方法

Attendance and in class participation: 30%

Homework and in class presentations: 30%

Final presentation: 20%

Final critical analysis paper: 20%

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation with in class discussions is essential.

If students are absent, they will receive a zero for that session's participation and attendance score.

If students fail to turn in homework assignments on time, they will be accepted for half-credit only when submitted

in person at the beginning of the following week's session. HOMEWORK WILL NOT BE ACCEPTED BY EMAIL.

Homework assignments more than one week late, or not turned in as hardcopy, will not be accepted and will receive a zero.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

Attendance to two-thirds of the course is required to receive credit.

教科書

Assigned readings will be given in class or distributed via email.

履修上の注意事項

All lecture, readings materials and discussion topics for this course are in English.

連絡先

CARLSON　REBECCA　LYNN:carlson.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

CARLSON　REBECCA　LYNN:By appointment

時間割番号	000903				
科目名	グローバル教養科目・Let's active-read on "Ethics in the Real World"				
担当教員	高江 可奈子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

月曜 1 限

1-1 言語を通した人間の創造的営みを理解する

1-5 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

1-9 市民としての倫理観を養う

3-1 国際的に活躍するための語学力を養う

授業の目的、概要等

In this course we will be reading "Ethics in the Real World" written by Peter Singer. The book contains Singer's brief essays on various topics in ethics. The course has three aims: 1) to learn the characteristics of 'ethical' issues 2) to acquire 'active-reading' skills in English, and 3) to engage in discussions in English.

授業の到達目標

Through this course, students will be able to

1) understand the characteristics of ethical issues and how they are conveyed in writing.

2) acquire active-reading skills in english.

3) express their ideas/thoughts and participate in discussions in english.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
2	4/19	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
3	4/26	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
4	5/10	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
5	5/17	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
6	5/24	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
7	5/31	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
8	6/7	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
9	6/14	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
10	6/21	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
11	6/28	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
12	7/5	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
13	7/12	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
14	7/19	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
15	7/26	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子

授業方法

The class consists of a brief lecture on an assigned reading material and classroom discussion.

授業内容

1. Introduction

2. Does Anything Matter?

3. Is There Moral Progress?

4. Godless Morality

5. Are We Ready for a "Morality Pill"?

6. Thinking About the Dead

7. Should This Be The Last Generation?

8. Ciltural Bias Against Whaling?

9. A Case For Veganism/In Vitro Meat

10. Chimpanzees Are People, Too

11. The Mercy Killing of Newborns

12. Bioethics and Public Health

13. Bioethics and Public Health

14. Bioethics and Public Health

15. Bioethics and Public Health

成績評価の方法

評価 : Class Attendance and Participation in Discussions 60% ・ Short Essay 40%

再評価: 有(再評価方法) ・ 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

・Students are expected to make active engagement in classroom discussions. ・Students are expected to read an assigned essay in advance of class.

教科書

"Ethics in the Real World: 82 Brief Essays on Things That Matter" by Peter Singer

履修上の注意事項

・This course is delivered in English. ・Submission of an 'in-class' question sheet counts as attendance in this course (instead of the University's Attendance Management System). ・ Students are marked absent from class if they are more than 20 minutes late.

備考

キーワード:ethics, discussion, 倫理、ディスカッション、アクティブ・ラーニング

時間割番号	000902				
科目名	グローバル教養科目・Understanding Globalization				
担当教員	原田 健二朗				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間: 金曜１限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

１－２)社会制度や仕組みについての基本を理解する

３－１)国際的に活躍するための語学力を養う

３－５)国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

This course explores one of the most defining features of today's world, which is 'globalization'. Globalization has brought us a growing sense of interdependence and interconnectedness, and created both opportunities and challenges around the world.

By reading the very introductory textbook on globalization, students will learn various aspects of globalization from historical, economic, political, cultural and ecological perspectives.

At the end of the course, students are expected to submit a short essay based on what they have learned through this course.

授業の到達目標

Students completing this course will be able to:

1. Gain wider understanding of globalization and world affairs in general
2. Express their own opinions on the place of Japan in the globalizing world
3. Improve their communication skills in English

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
2	4/19	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
3	4/26	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
4	5/10	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
5	5/17	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
6	5/24	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
7	5/31	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
8	6/7	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
9	6/14	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
10	6/21	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
11	6/28	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
12	7/5	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
13	7/12	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
14	7/19	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
15	7/26	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗

授業方法

This course is basically a 'reading seminar', but combines seminars with lectures.

Each session usually starts with a short introductory lecture by the instructor and is followed by discussions on the text among all participants.

授業内容

1. Introduction
2. Globalization: A Contested Concept (I)
3. Globalization: A Contested Concept (II)
4. Globalization and History (I)
5. Globalization and History (II)
6. The Economic Dimension of Globalization (I)
7. The Economic Dimension of Globalization (II)
8. The Political Dimension of Globalization (I)
9. The Political Dimension of Globalization (II)
10. The Cultural Dimension of Globalization
11. The Ecological Dimension of Globalization

12. Ideologies of Globalization (I)

13. Ideologies of Globalization (II)

14. The Future of Globalization

15. Concluding Session

成績評価の方法

Attendance and participation: 60%

Final essay: 40%

*As this course is delivered in a seminar format, your active participation in discussion is essential.

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Students are required to come to class having read the assigned text and prepared to discuss.

教科書

Globalization : a very short introduction／Manfred B. Steger,Steger, Manfred B, 1961−,: Oxford University Press, 2017

履修上の注意事項

This course will be conducted in English. To receive credit, students must attend two-thirds of all classes and submit a short essay at the end of the semester.

時間割番号	000877				
科目名	グローバル教養科目・Japanese linguistics				
担当教員	今村 圭介				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

主な講義場所

3番教室

授業の目的、概要等

Just like any other language, the Japanese language has its own unique characteristics. However, as native speakers there is a tendency not to notice the uniqueness. When posed with questions from Japanese learners, it is often challenging to explain certain concepts and rules. Analyzing the Japanese from a linguistic perspective gives native speakers a deeper understanding. This course aims to provide students with an objective perspective and knowledge of the Japanese language. A typical class includes introduction questions/discussion and lectures on the target topic. The class will be held in English and students will be encouraged to discuss in English. Therefore students are expected to have adequate competence in English.

授業の到達目標

Course objectives are:

1. To deepen understanding of the Japanese language with comparison to other languages.
2. To gain linguistic understanding of the Japanese language.
3. To develop analytical skill of all languages.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	09:10-10:40	3番教室	今村 圭介
2	10/7	09:10-10:40	3番教室	今村 圭介
3	10/21	09:10-10:40	3番教室	今村 圭介
4	10/28	09:10-10:40	3番教室	今村 圭介
5	11/11	09:10-10:40	3番教室	今村 圭介
6	11/18	09:10-10:40	3番教室	今村 圭介
7	11/25	09:10-10:40	3番教室	今村 圭介
8	12/2	09:10-10:40	3番教室	今村 圭介
9	12/9	09:10-10:40	3番教室	今村 圭介
10	12/16	09:10-10:40	3番教室	今村 圭介
11	12/23	09:10-10:40	3番教室	今村 圭介
12	1/6	09:10-10:40	3番教室	今村 圭介
13	1/20	09:10-10:40	3番教室	今村 圭介
14	1/27	09:10-10:40	3番教室	今村 圭介
15	2/3	09:10-10:40	3番教室	今村 圭介

授業方法

Lecture

Discussion

Reading

授業内容

1. Orientation/ Introduction
2. Japanese and world languages
3. Japanese sounds
4. Accent/Intonation
5. Writing system
6. Lexicon (vocabulary)
7. Grammar 1
8. Grammar 2
9. Grammar 3
10. Honorifics

11. Dialects

12. Language change

13. Second language acquisition

14. Review

15. Final exam

成績評価の方法

Participation 40%

Final Exam 30%

Final Essay 30%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and active participation are both essential for this course.

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

参考書

Japanese : a linguistic introduction／Yoko Hasegawa,：Cambridge University Press, 2015

履修上の注意事項

This course is targeted for students who are taking the upper level English class, and not recommended for students whose TOEFL score is under 530. Lectures are given in English and students are encouraged to discuss in English. If you are not confident in listening/speaking in English but willing to enroll in this course, please consult the lecturer in the first class.

連絡先

今村 圭介:Imamura.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

今村 圭介:毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000906				
科目名	グローバル教養科目・Monsters in Japanese Popular Culture				
担当教員	CARLSON REBECCA LYNN				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

授業の目的、概要等

From oral traditions and folklore to modern mass-market media, monsters are as much about how we define ourselves as they are about how we circumscribe and contain the other. They can take many forms: horrific or beautiful, tangible or immaterial, gentle or violent. They can represent our fantasies and desires as much as our fears and anxieties.

In this course we will study a range of examples from anime and manga, movies and literature, even popular music and fashion. Students will analyze monsters in Japanese popular culture with a focus on the sociocultural and historic contexts that have given rise and popularity to specific forms and functions.

授業の到達目標

At the end of the course, students will be able to:

1. Think critically about the representations of monsters in mass media and their connection to sociocultural and historical contexts
2. Apply concepts learned in the course to new topics independently
3. Improve oral communication in English through discussions and refine presentation skills

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
2	10/7	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
3	10/21	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
4	10/28	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
5	11/11	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
6	11/18	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
7	11/25	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
8	12/2	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
9	12/9	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
10	12/16	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
11	12/23	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
12	1/6	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
13	1/20	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
14	1/27	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN
15	2/3	10:50-12:20	12 番教室	CARLSON REBECCA LYNN

授業方法

Group and class-wide discussion

Reading comprehension and research

Presentations

Other in class activities

授業内容

Week 1 / September 30: Greeting and Introduction: What are Monsters?

Week 2 / October 7: Historic Precedents: Yōkai in Folklore, Yōkai Today

Week 3 / October 21: Post-war and the West

Week 4 / October 28: Themes of Transformation

Week 5 / November 11: Themes of Hybridity

Week 6 / November 18: Themes of Perversion

Week 7 / November 25: Student Reviews

Week 8 / December 2: Monsters of disease

Week 9 / December 9: Monsters of the Atomic Age

Week 10 / December 16: Global Kaiju

Week 11 / December 23: Monster Cute

Week 12 / January 6: Monsters of the Information Age

Week 13 / January 20: Cyborgs, Machines and the Post-human

Week 14 / January 27: Looking forward: Monsters of Tomorrow?

Week 15 / February 3: Final Presentations

成績評価の方法

Attendance and in class participation: 40%

Homework, Student Reviews and other assignments: 20%

Critical Essay: 20%

Final Presentation: 20%

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation with in class discussions is essential.

If students are absent, they will receive a zero for that session's participation and attendance score.

If students fail to turn in homework assignments on time, they will be accepted for half-credit only when submitted

in person at the beginning of the following week's session. HOMEWORK WILL NOT BE ACCEPTED BY EMAIL.

Homework assignments more than one week late, or not turned in as hardcopy, will not be accepted and will receive a zero.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

Attendance to two-thirds of the course is required to receive credit.

教科書

Assigned readings will be given in class or distributed via email.

履修上の注意事項

All lecture, readings materials and discussion topics for this course are in English.

連絡先

CARLSON　REBECCA　LYNN:carlson.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

CARLSON　REBECCA　LYNN:By appointment

時間割番号	000905				
科目名	グローバル教養科目・Philosophy and the Trolley Problem				
担当教員	高江 可奈子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

月曜 1 限

1-1 言語を通した人間の創造的営みを理解する

1-5 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

1-9 市民としての倫理観を養う

3-1 国際的に活躍するための語学力を養う

授業の目的、概要等

In this course we will be reading "Would You Kill The Fat Man?". Through reading the book, students will be introduced to philosophical arguments and will learn how to engage in philosophy. The course has three aims: 1) to understand philosophical/ethical issues relating the Trolley Problem 2) to acquire 'active-reading' skills in philosophical readings, and 3) to engage in discussions in English.

授業の到達目標

Through this course, students will be able to

1) understand philosophical/ethical issues relating to the Trolley Problem and explain them in their own words.

2) acquire active-reading skills in english.

3) express their ideas/thoughts and participate in discussions in english.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
2	10/11	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
3	10/18	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
4	10/25	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
5	11/1	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
6	11/8	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
7	11/15	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
8	11/22	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
9	11/29	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
10	12/6	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
11	12/13	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
12	12/20	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
13	1/10	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
14	1/17	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子
15	1/24	09:10-10:40	6 番教室	高江 可奈子

授業方法

The class consists of a brief lecture on an assigned reading material and classroom discussion.

授業内容

1. Introduction
2. CH.1
3. CH2
4. CH.3
5. CH.4
6. CH.5
7. CH.6
8. CH.7
9. CH.8
10. CH.9
11. CH.10
12. CH.11
13. CH.12
14. CH.13

15. CH.14
成績評価の方法 Class Attendance and Participation in Discussions 60% ・ Short Essay 40%
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 ・Students are expected to make active engagement in classroom discussions. ・Students are expected to read an assigned material in advance of class.
教科書 "Would You Kill the Fat Man?: The Trolley Problem and What Your Answer Tells Us About Right and Wrong" by David Edmonds
履修上の注意事項 ・This course is delivered in English. ・Submission of an 'in-class' question sheet counts as attendance in this course (instead of the University's Attendance Management System). ・ Students are marked absent from class if they are more than 20 minutes late.
備考 discussion, philosophy, 哲学、ディスカッション、アクティブ・ラーニング

時間割番号	000904				
科目名	グローバル教養科目・Rethinking the Scientific Revolution				
担当教員	原田 健二朗				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間: 金曜１限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

１－３)人間の歴史的営みを理解する

１－10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

３－１)国際的に活躍するための語学力を養う

授業の目的、概要等

This course will examine the most significant period in the history of science: the 'Scientific Revolution'. The period called the Scientific Revolution saw a radical shift in our understanding of the universe and became the basis for contemporary scientific developments.

By reading the introductory textbook on the subject, students will learn basic ideas behind modern science in various fields such as astronomy, physics, chemistry, biology and medicine.

At the end of the course, students will submit a short essay based on what they have learned through this course.

授業の到達目標

Students completing this course will be able to:

1. Demonstrate broader knowledge of major figures, concepts and events that brought about modern science
2. Think critically about science and its place in our society and the world
3. Improve their communication skills in English

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
2	10/11	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
3	10/18	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
4	10/25	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
5	11/1	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
6	11/8	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
7	11/15	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
8	11/22	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
9	11/29	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
10	12/6	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
11	12/13	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
12	12/20	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
13	1/10	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
14	1/17	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗
15	1/24	09:10-10:40	2番教室	原田 健二朗

授業方法

This course is basically a 'reading seminar', but combines seminars with lectures.

Each session usually starts with a short introductory lecture by the instructor and is followed by discussions on the text among all participants.

授業内容

1. Introduction
2. What is the 'Scientific Revolution'?
3. New Worlds and Old Worlds (I)
4. New Worlds and Old Worlds (II)
5. The Connected World (I)
6. The Connected World (II)
7. The Superlunar World (I)
8. The Superlunar World (II)
9. The Sublunar World (I)
10. The Sublunar World (II)
11. The Microcosm and the Living World (I)

12. The Microcosm and the Living World (Ⅱ)

13. Building a World of Science (Ⅰ)

14. Building a World of Science (Ⅱ)

15. Concluding Session

成績評価の方法

Attendance and participation: 60%

Final essay: 40%

*As this course is delivered in a seminar format, your active participation in discussion is essential.

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Students are required to come to class having read the assigned text and prepared to discuss.

教科書

Lawrence M. Principe, The Scientific Revolution: A Very Short Introduction (Oxford University Press, 2011).

履修上の注意事項

This course will be conducted in English. To receive credit, students must attend two-thirds of all classes and submit a short essay at the end of the semester.

時間割番号	000044				
科目名	物理学入門				
担当教員	堤 康雅				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

対象学科:医学科・歯学科・検査技術学専攻

受講資格:入試で化学・生物を選択した人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表4－1)

授業の目的、概要等

物理学は自然科学の中でもっとも基礎的な学問のひとつです。物理学の基礎知識および物理学的なものの見方は、高度なテクノロジーを基づく理工系や医療分野には必須の概念です。本講義は、入試で物理を選択しなかった人(高校で物理を選択しなかった人や物理は履修したが理解が不十分な人)向けに物理学入門講義を行います。

授業の到達目標

1. 位置、速度、加速度の概念を理解する
2. 物体が受ける力を見つけ、運動方程式を立式できるようになる
3. 仕事、力学的エネルギー、運動量の概念を理解する
4. 電気と磁気の基本を理解する
5. 波動の基礎概念を理解する

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/23	09:10-14:40	9 番教室	物理学入門 1-3	力と運動	堤 康雅
4-6	5/7	09:10-14:40	9 番教室	物理学入門 4-6	等速円運動、単振動、仕事とエネルギー	堤 康雅
7-9	5/14	09:10-14:40	9 番教室	物理学入門 7-9	電気と磁気	堤 康雅
10-11	5/28	09:10-12:20	9 番教室	物理学入門 10-11	波動	堤 康雅
12	6/4	09:10-10:40	9 番教室	物理学入門 12	試験	堤 康雅

授業方法

講義と演習

授業内容

第1回-3回 力と運動

第4回-6回 等速円運動、単振動、仕事とエネルギー

第7回-9回 電気と磁気

第10-11回 波動

第12回 試験

成績評価の方法

授業の到達目標の達成度を主にテスト形式で評価する。

評価 : 試験 60%、 その他 : 小テスト 40%

再評価: 有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

毎週実施する小テストに備えて授業の予習と復習を十分に行うこと。

教科書

これだけはおさえたい物理／金原粲 編著,曽江久美, 筑紫格, 馬場茂, 藤井恵子 著:実教出版, 2009

参考書

もういちど読む数研の高校物理／数研出版編集部 編,:数研出版, 2012

もういちど読む数研の高校物理／数研出版編集部 編,:数研出版, 2012

連絡先

hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000041				
科目名	生物学入門				
担当教員	時本 楠緒子, 永野 昌俊				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

火曜日 1～3 時限(4/23・5/7・5/14)、1～2 時限(5/28)、1 時限(6/4)

対象学科:医学科・歯学科・検査技術学専攻

受講資格:入学試験で生物学を選択しなかった者

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):4-1

授業の目的、概要等

この授業では、入学試験で生物学を選択しなかった学生を対象とする。

生物の形および機能の単位である「細胞」に関する基本的な知識を習得することと、代謝と遺伝の基本的な仕組みを理解し、説明できることを目的とする。

授業の到達目標

1. 細胞の基本構造と細胞内小器官の機能を説明することができる。
2. 生物を構成する物質の種類と機能を説明することができる。
3. 代謝と遺伝の仕組みを説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/23	09:10-10:40	1 番教室, 7 番教室	永野 昌俊, 時本 楠緒子
2	4/23	10:50-12:20	1 番教室, 7 番教室	永野 昌俊, 時本 楠緒子
3	4/23	13:10-14:40	1 番教室, 7 番教室	永野 昌俊, 時本 楠緒子
4	5/7	09:10-10:40	1 番教室, 7 番教室	永野 昌俊, 時本 楠緒子
5	5/7	10:50-12:20	1 番教室, 7 番教室	永野 昌俊, 時本 楠緒子
6	5/7	13:10-14:40	1 番教室, 7 番教室	永野 昌俊, 時本 楠緒子
7	5/14	09:10-10:40	1 番教室, 7 番教室	永野 昌俊, 時本 楠緒子
8	5/14	10:50-12:20	1 番教室, 7 番教室	永野 昌俊, 時本 楠緒子
9	5/14	13:10-14:40	1 番教室, 7 番教室	永野 昌俊, 時本 楠緒子
10	5/28	09:10-10:40	1 番教室, 7 番教室	永野 昌俊, 時本 楠緒子
11	5/28	10:50-12:20	1 番教室, 7 番教室	永野 昌俊, 時本 楠緒子
12	6/4	09:10-10:40	1 番教室, 7 番教室	永野 昌俊, 時本 楠緒子
13	6/11	09:10-10:40	1 番教室, 7 番教室	永野 昌俊, 時本 楠緒子

授業方法

講義形式

授業内容

第 1 回 個体の階層構造、基本的な組織、細胞膜

第 2 回 核と細胞内小器官

第 3 回 細胞骨格、細胞接着

第 4 回 生体の構成元素、タンパク質

第 5 回 核酸、糖質、脂質

第 6 回 酵素反応
第 7 回 筋収縮
第 8 回 糖質の代謝
第 9 回 脂質の代謝、タンパク質の代謝
第 10 回 染色体、メンデルの法則
第 11 回 細胞周期、体細胞分裂
第 12 回 DNA の複製、細胞の死

成績評価の方法

知識の習得を主な目的とするため、以下の方法で評価する。
評価 : 試験 85% ・ レポート 0% ・ その他(小テスト) 15%
再評価 : 有(再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

アクティブラーニング:有
毎週の講義の最後に翌週の講義で取り扱う項目を示すので、その内容について各自で自己学習を行うこと。
翌週の最初にその内容についての小テストを行い、その後の講義で詳しく解説する。

教科書

第 3 版 はじめの一歩の生化学・分子生物学／前野正夫・磯川桂太郎:羊土社, 2016
ヒューマンバイオロジー／Sylvia S. Mader:医学書院, 2005

参考書

「Essential 細胞生物学 第 3 版」 Bruce Alberts 他 著 中村桂子 他 訳 南江堂 2012

履修上の注意事項

期末試験の受験資格は「東京医科歯科大学試験規則」による。

時間割番号	000043				
科目名	化学入門				
担当教員	奈良 雅之, 勝又 敏行				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間:火曜日 1～4 限(前期分割 A)

・対象学科:医学科・歯学科・保健衛生学科検査技術学専攻

・受験資格:入学試験で化学を選択しなかった者

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表4−1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる

授業の目的、概要等

入試で化学を選択しなかったものに対し、高校卒業レベルの化学の知識を身につけるために開講する。高校レベルの化学を理解していないと、学部レベルはもちろん、大学教養レベルの化学(一般化学、化学実験など)すらついていけなくなるであろう。この授業では物理化学の基礎の他に、無機化学、有機化学の基礎も扱う。

授業の到達目標

高校卒業レベルの化学の知識を身につけ、大学での講義に対応できるようになることを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/23	09:10−10:40	2 番教室	物質の構造	物質の構成要素:元素・単体・化合物、原子と分子	奈良 雅之, 勝又 敏行
2	4/23	10:50−12:20	2 番教室	物質の構造	物質の構成要素:元素・単体・化合物、原子と分子	奈良 雅之, 勝又 敏行
3	4/23	13:10−14:40	2 番教室	有機化合物	有機化合物の特徴と分類	奈良 雅之, 勝又 敏行
4	4/23	14:50−16:20	2 番教室	有機化合物	有機化合物の特徴と分類	奈良 雅之, 勝又 敏行
5	5/7	09:10−10:40	2 番教室	有機化合物	脂肪族炭化水素	奈良 雅之, 勝又 敏行
6	5/7	10:50−12:20	2 番教室	有機化合物	脂肪族炭化水素	奈良 雅之, 勝又 敏行
7	5/7	13:10−14:40	2 番教室	物質の状態	物質の状態変化と粒子の運動:物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、	奈良 雅之, 勝又 敏行
8	5/7	14:50−16:20	2 番教室	物質の状態	気体:気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、 溶液:溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド	奈良 雅之, 勝又 敏行
9	5/14	09:10−10:40	2 番教室	有機化合物	酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物	奈良 雅之, 勝又 敏行
10	5/14	10:50−12:20	2 番教室	高分子化合物	高分子化合物の特徴と分類	奈良 雅之, 勝又 敏行
11	5/14	13:10−14:40	2 番教室	物質の変化	化学反応と熱:熱化学方程式・結合エネルギー	奈良 雅之, 勝又 敏行
12	5/14	14:50−16:20	2 番教室	物質の変化	化学反応と熱:熱化学方程式・結合エネルギー	奈良 雅之, 勝又 敏行

授業方法

講義を基本とするが、適宜演習問題を解くことによりアクティブラーニングを取り入れる

授業内容

1. 物質の構造　物質の構成要素:元素・単体・化合物、原子と分子

化学結合、化学量論:原子量・分子量・式量、化学反応式

2. 物質の状態　物質の状態変化と粒子の運動:物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、

気体:気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、

溶液:溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド

3. 物質の変化　化学反応と熱:熱化学方程式・結合エネルギー、
酸と塩基の反応:水素イオン濃度とpH・中和反応と中和滴定、
酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡
4. 単体と無機化合物　周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素
5. 有機化合物　有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物
6. 高分子化合物　高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物

成績評価の方法

評価:試験 100%・レポート 0%
再評価:有(再評価方法:再試験)

化学の基礎を理解することが重要なので、試験のみによる評価を行う。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

テキストを事前に読んで、解り難かったところを把握しておいてください。

試験の受験資格

定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席

教科書

系統看護学講座／奈良, 雅之,:医学書院, 2018

参考書

化学／岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著,:医歯薬出版, 2005
化学入門／下井守, 村田滋 著,:東京化学同人, 2013
化学入門／大野公一 [ほか]著,:共立出版, 1997
一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳:オーム社, 1995
大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一, 村田滋, 錦織紳一 著,大野, 公一, 1945-,村田, 滋, 1956-,錦織, 紳一, 1953-,:共立出版, 2005

他科目との関連

一般化学を理解するためのバックグランドとなる。

連絡先

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp
奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室
奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000269		
科目名	数学ＩＭ		
担当教員	中口 悦史		
開講時期	前期	対象年次	1

対象学科:医学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2−1), 4−2)

授業の目的、概要等

諸科学の基本的な数学的方法である線形代数学と微分積分学の概要を学ぶ。線形代数学では行列と行列式, 連立一次方程式の解, 行列の固有値の基礎と計算法を通して, 線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微分積分学では, 高校で学んだ1変数関数の微積分を基に, 多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して, 極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。さらに, それらの物理学, 化学, 経済学など諸分野への応用を学ぶ。

授業の到達目標

基本的な線形演算と, 多変数の微積分における基本的な公式を理解し, 的確に運用することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	13:10−14:40	1番教室	行列の定義と演算(1)	中口 悦史
2	4/22	13:10−14:40	1番教室	行列の定義と演算(2)	中口 悦史
3	5/6	13:10−14:40	1番教室	連立一次方程式(1)	中口 悦史
4	5/13	13:10−14:40	1番教室	連立一次方程式(2)	中口 悦史
5	5/20	13:10−14:40	1番教室	連立一次方程式(3)	中口 悦史
6	5/27	13:10−14:40	1番教室	行列式の定義と計算(1)	中口 悦史
7	6/3	13:10−14:40	1番教室	行列式の定義と計算(2)	中口 悦史
8	6/10	13:10−14:40	1番教室	線形写像と固有値(1)	中口 悦史
9	6/17	13:10−14:40	1番教室	線形写像と固有値(2)	中口 悦史
10	6/24	13:10−14:40	1番教室	1変数関数の微積分(復習)	中口 悦史
11	7/1	13:10−14:40	1番教室	多変数(主に2変数)関数の偏微分(1)	中口 悦史
12	7/8	13:10−14:40	1番教室	多変数(主に2変数)関数の偏微分(2)	中口 悦史
13	7/15	13:10−14:40	1番教室	多変数(主に2変数)関数の重積分(1)	中口 悦史
14	7/22	13:10−14:40	1番教室	多変数(主に2変数)関数の重積分(2)	中口 悦史
15	7/29	13:10−14:40	1番教室	総合演習	中口 悦史

授業方法

主に板書による講義によって進め, 毎回授業の最後にクイズ(5分間演習)を行う。

授業内容

第1部 線形代数概説(9回程度)

(1−1) 行列の定義と演算(2回程度)

(1−2) 連立一次方程式(3回程度)

(1−3) 行列式の定義と計算(2回程度)

(1−4) 線形写像と固有値(2回程度)

第2部 多変数の微積分(5回程度)

(2−1) 1変数関数の微積分(復習)(1回程度)

(2−2) 多変数(主に2変数)関数の偏微分(2回程度)

(2−3) 多変数(主に2変数)関数の重積分(2回程度)

成績評価の方法

評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 20%

再評価: 有(筆記試験)

試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は，問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ，論証や計算の精確さを総合的に評価するために，期末に筆記試験によって行う。
「試験の受験資格」を満たし，かつ期末試験を受験したもののみを，評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表２」による

準備学習などについての具体的な指示

高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回のクイズも復習することが望ましい。
必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに出席回のクイズ提出。

教科書

数学入門 Ⅱ ～偏微分・重積分・線形代数～（大学生のための基礎シリーズ6）／上村豊，坪井堅二 著：東京化学同人，2004

参考書

数学入門 （大学生のための基礎シリーズ1）／上村豊，坪井堅二 著：東京化学同人，2002
数学概論 ー線形代数／微分積分ー／田代嘉宏：裳華房，1993
教養の線形代数／村上正康，佐藤恒雄，野澤宗平，稲葉尚志 共著：培風館，2008
線形代数学入門 ー平面上の1次変換と空間図形からー／桑村雅隆：裳華房，2016
微積分の基礎／浦川肇：朝倉書店，2006
初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [ほか]共著：培風館，1999
微分積分学／難波誠：裳華房，1996
現代の古典解析 ： 微積分基礎課程／森毅：筑摩書房，2006
定本解析概論／高木貞治：岩波書店，2010

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと，各回のクイズ提出による確認を併用する。

連絡先

nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・水 12:00～13:00，いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000270		
科目名	数学ＩＤ		
担当教員	中口 悦史		
開講時期	前期	対象年次	1

対象学科:歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2−1), 4−2)

授業の目的、概要等

諸科学の基本的な数学的方法である線形代数学と微分積分学の概要を学ぶ。線形代数学では行列と行列式, 連立一次方程式の解, 行列の固有値の基礎と計算法を通して, 線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微分積分学では, 高校で学んだ1変数関数の微積分を基に, 多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して, 極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。さらに, それらの物理学, 化学, 経済学など諸分野への応用を学ぶ。

授業の到達目標

基本的な線形演算と, 多変数の微積分における基本的な公式を理解し, 的確に運用することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	09:10−10:40	7番教室	行列の定義と演算(1)	中口 悦史
2	4/24	09:10−10:40	7番教室	行列の定義と演算(2)	中口 悦史
3	5/8	09:10−10:40	7番教室	連立一次方程式(1)	中口 悦史
4	5/15	09:10−10:40	7番教室	連立一次方程式(2)	中口 悦史
5	5/22	09:10−10:40	7番教室	連立一次方程式(3)	中口 悦史
6	5/29	09:10−10:40	7番教室	行列式の定義と計算(1)	中口 悦史
7	6/5	09:10−10:40	7番教室	行列式の定義と計算(2)	中口 悦史
8	6/12	09:10−10:40	7番教室	線形写像と固有値(1)	中口 悦史
9	6/19	09:10−10:40	7番教室	線形写像と固有値(2)	中口 悦史
10	6/26	09:10−10:40	7番教室	1変数関数の微積分(復習)	中口 悦史
11	7/3	09:10−10:40	7番教室	多変数(主に2変数)関数の偏微分(1)	中口 悦史
12	7/10	09:10−10:40	7番教室	多変数(主に2変数)関数の偏微分(2)	中口 悦史
13	7/17	09:10−10:40	7番教室	多変数(主に2変数)関数の重積分(1)	中口 悦史
14	7/24	09:10−10:40	7番教室	多変数(主に2変数)関数の重積分(2)	中口 悦史
15	7/31	09:10−10:40	7番教室	総合演習	中口 悦史

授業方法

主に板書による講義によって進め, 毎回授業の最後にクイズ(5分間演習)を行う。

授業内容

第1部 線形代数概説(9回程度)

(1−1) 行列の定義と演算(2回程度)

(1−2) 連立一次方程式(3回程度)

(1−3) 行列式の定義と計算(2回程度)

(1−4) 線形写像と固有値(2回程度)

第2部 多変数の微積分(5回程度)

(2−1) 1変数関数の微積分(復習)(1回程度)

(2−2) 多変数(主に2変数)関数の偏微分(2回程度)

(2−3) 多変数(主に2変数)関数の重積分(2回程度)

成績評価の方法

評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 20%

再評価: 有(筆記試験)

試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は，問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ，論証や計算の精確さを総合的に評価するために，期末に筆記試験によって行う。
「試験の受験資格」を満たし，かつ期末試験を受験したもののみを，評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表２」による

準備学習などについての具体的な指示

高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回のクイズも復習することが望ましい。
必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに出席回のクイズ提出。

教科書

数学入門 Ⅱ ～偏微分・重積分・線形代数～（大学生のための基礎シリーズ6）／上村豊，坪井堅二 著：東京化学同人，2004

参考書

数学入門 （大学生のための基礎シリーズ1）／上村豊，坪井堅二 著：東京化学同人，2002
数学概論 ー線形代数／微分積分ー／田代嘉宏：裳華房，1993
教養の線形代数／村上正康，佐藤恒雄，野澤宗平，稲葉尚志 共著：培風館，2008
線形代数学入門 ー平面上の1次変換と空間図形からー／桑村雅隆：裳華房，2016
微積分の基礎／浦川肇：朝倉書店，2006
初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [ほか]共著：培風館，1999
微分積分学／難波誠：裳華房，1996
現代の古典解析 ： 微積分基礎課程／森毅：筑摩書房，2006
定本解析概論／高木貞治：岩波書店，2010

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと，各回のクイズ提出による確認を併用する。

連絡先

nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・水 12:00～13:00，いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000271		
科目名	数学ＩＴ		
担当教員	中口 悦史		
開講時期	前期	対象年次	1

対象学科：保健衛生学科検査技術学専攻

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：2−1)，4−2)

授業の目的、概要等

諸科学の基本的な数学的方法である線形代数学と微分積分学の概要を学ぶ。線形代数学では行列と行列式，連立一次方程式の解，行列の固有値の基礎と計算法を通して，線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微分積分学では，高校で学んだ1変数関数の微積分を基に，多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して，極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。さらに，それらの物理学，化学，経済学など諸分野への応用を学ぶ。

授業の到達目標

基本的な線形演算と，多変数の微積分における基本的な公式を理解し，的確に運用することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/11	13:10−14:40	6 番教室	行列の定義と演算(1)	中口 悦史
2	4/18	13:10−14:40	6 番教室	行列の定義と演算(2)	中口 悦史
3	4/25	13:10−14:40	6 番教室	連立一次方程式(1)	中口 悦史
4	5/9	13:10−14:40	6 番教室	連立一次方程式(2)	中口 悦史
5	5/16	13:10−14:40	6 番教室	連立一次方程式(3)	中口 悦史
6	5/23	13:10−14:40	6 番教室	行列式の定義と計算(1)	中口 悦史
7	5/30	13:10−14:40	6 番教室	行列式の定義と計算(2)	中口 悦史
8	6/6	13:10−14:40	6 番教室	線形写像と固有値(1)	中口 悦史
9	6/13	13:10−14:40	6 番教室	線形写像と固有値(2)	中口 悦史
10	6/20	13:10−14:40	6 番教室	1変数関数の微積分(復習)	中口 悦史
11	6/27	13:10−14:40	6 番教室	多変数(主に2変数)関数の偏微分(1)	中口 悦史
12	7/4	13:10−14:40	6 番教室	多変数(主に2変数)関数の偏微分(2)	中口 悦史
13	7/11	13:10−14:40	6 番教室	多変数(主に2変数)関数の重積分(1)	中口 悦史
14	7/18	13:10−14:40	6 番教室	多変数(主に2変数)関数の重積分(2)	中口 悦史
15	7/25	13:10−14:40	6 番教室	総合演習	中口 悦史

授業方法

主に板書による講義によって進め，毎回授業の最後にクイズ(5分間演習)を行う。

授業内容

第1部 線形代数概説(9回程度)

(1−1) 行列の定義と演算(2回程度)

(1−2) 連立一次方程式(3回程度)

(1−3) 行列式の定義と計算(2回程度)

(1−4) 線形写像と固有値(2回程度)

第2部 多変数の微積分(5回程度)

(2−1) 1変数関数の微積分(復習)(1回程度)

(2−2) 多変数(主に2変数)関数の偏微分(2回程度)

(2−3) 多変数(主に2変数)関数の重積分(2回程度)

成績評価の方法

評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 20%

再評価: 有(筆記試験)

試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は，問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ，論証や計算の精確さを総合的に評価するために，期末に筆記試験によって行う。
「試験の受験資格」を満たし，かつ期末試験を受験したもののみを，評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表２」による

準備学習などについての具体的な指示

高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回のクイズも復習することが望ましい。
必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに出席回のクイズ提出。

教科書

数学入門 Ⅱ ～偏微分・重積分・線形代数～（大学生のための基礎シリーズ6）／上村豊，坪井堅二 著：東京化学同人，2004

参考書

数学入門 （大学生のための基礎シリーズ1）／上村豊，坪井堅二 著：東京化学同人，2002
数学概論 ー線形代数／微分積分ー／田代嘉宏：裳華房，1993
教養の線形代数／村上正康，佐藤恒雄，野澤宗平，稲葉尚志 共著：培風館，2008
線形代数学入門 ー平面上の1次変換と空間図形からー／桑村雅隆：裳華房，2016
微積分の基礎／浦川肇：朝倉書店，2006
初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [ほか]共著：培風館，1999
微分積分学／難波誠：裳華房，1996
現代の古典解析 ： 微積分基礎課程／森毅：筑摩書房，2006
定本解析概論／高木貞治：岩波書店，2010

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと，各回のクイズ提出による確認を併用する。

連絡先

nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・水 12:00～13:00，いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000257		
科目名	物理学ＩＭ		
担当教員	檜枝 光憲		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間:水曜4限

対象学科:医学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)、別表4－2)

授業の目的、概要等

力学は電磁気学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。物体の落下運動など目で見える力学現象は皆さんの身の回りで起こることであり馴染みがあるでしょう。すでに高校物理でも力学を学び、様々な物体の運動(投げたボールの軌跡、人工衛星の軌道、バネの振動など)の未来の状況(たとえば位置と速度)がわかってしまうことに感動した諸君も多いかもしれません。本講義では微積分を使って大学レベルに発展させ、様々な物体の運動の解析に応用できるようにしていきます。

授業の到達目標

物体の運動が微分方程式で書けることを理解する。

様々な保存則が導出できることを理解する。

ニュートンの運動方程式(微分方程式)と様々な保存則を使い、いろいろな力学系の運動を解析できるようになる。

剛体の力学の基礎を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	14:50-16:20	1番教室	第1回	物理のための数学基礎	檜枝 光憲
2	4/24	14:50-16:20	1番教室	第2回	力と運動1:運動と微積分	檜枝 光憲
3	5/8	14:50-16:20	1番教室	第3回	力と運動2:運動方程式	檜枝 光憲
4	5/15	14:50-16:20	1番教室	第4回	力と運動3: エネルギー保存則、束縛運動	檜枝 光憲
5	5/22	14:50-16:20	1番教室	第5回	単振動と指数関数による解法、減衰振動	檜枝 光憲
6	5/29	14:50-16:20	1番教室	第6回	強制振動	檜枝 光憲
7	6/5	14:50-16:20	1番教室	第7回	非慣性系と座標変換	檜枝 光憲
8	6/12	14:50-16:20	1番教室	第8回	仕事と線積分、保存力	檜枝 光憲
9	6/19	14:50-16:20	1番教室	第9回	中間テスト	檜枝 光憲
10	6/26	14:50-16:20	1番教室	第10回	惑星の運動、角運動量保存	檜枝 光憲
11	7/3	14:50-16:20	1番教室	第11回	剛体の力学1	檜枝 光憲
12	7/10	14:50-16:20	1番教室	第12回	剛体の力学2	檜枝 光憲
13	7/17	14:50-16:20	1番教室	第13回	剛体の力学3	檜枝 光憲
14	7/24	14:50-16:20	1番教室	第14回	期末テスト	檜枝 光憲
15	7/31	14:50-16:20	1番教室	第15回	まとめ	檜枝 光憲

授業方法

講義と演習

授業内容

1 物理のための数学基礎

2 力と運動1:運動と微積分

3 力と運動2:運動方程式

4 力と運動3: エネルギー保存則、束縛運動

5 単振動と指数関数による解法、減衰振動

6 強制振動

7 非慣性系と座標変換

8 仕事と線積分、保存力

9 中間テスト

10 惑星の運動、角運動量保存

11 剛体の力学1

12 剛体の力学2

13 剛体の力学3

14 期末テスト
15 まとめ

成績評価の方法

授業の到達目標の達成度を主に中間・期末テストおよび授業内演習の提出状況により評価する。

評価 : 試験 80%
その他 20%（演習の提出状況等）
再評価: 有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業後にきちんと復習すること。

教科書

力学／川村清 著:裳華房, 1998

参考書

基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著,:培風館, 2016

連絡先

hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000258		
科目名	物理学ＩＤ･T		
担当教員	越野 和樹, 増田 俊平		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間:時間割を参照のこと

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表2－1)

別表4－2)

授業の目的、概要等

ボールの運動から太陽のまわりを回る惑星の運動にいたるまで、我々の身の回りで見られる殆どの運動は、17世紀にニュートンによりまとめられた「ニュートン力学」によって定量的に説明できます。ニュートン力学によれば、運動方程式や万有引力の法則などの数個の基本法則に基づいて、あらゆる物理現象を統一的かつ定量的に説明することができます。また、基本法則を発展させることによって、エネルギー保存のような新しい概念を導出することができます。力学を学ぶことによって、物体の運動の基本法則を知ると同時に、基本法則に基づいて物理現象を理解しようとする考え方や、基本法則をどのように具体的事象に適用してゆくかを学びます。具体的には、(ｉ)物体の運動が微分方程式という言葉で表現されること、(ii)基本方程式から様々な保存則が導かれること、(iii)それらを適用して実際の物体の運動を予言すること、を学びます。

物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。

授業の到達目標

ニュートン力学の提供する世界観を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には,

- 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されることを理解する。
- 基本方程式から様々な保存則を導出する。
- 運動方程式や保存則を適用して実際の物体の運動を予言できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	14:50-16:20	7番教室	第1回	運動と力	越野 和樹
2	4/24	14:50-16:20	7番教室	第2回	運動と力	越野 和樹
3	5/8	14:50-16:20	7番教室	第3回	運動と力	越野 和樹
4	5/15	14:50-16:20	7番教室	第4回	さまざまな力	越野 和樹
5	5/22	14:50-16:20	7番教室	第5回	さまざまな力	越野 和樹
6	5/29	14:50-16:20	7番教室	第6回	さまざまな力	越野 和樹
7	6/5	14:50-16:20	7番教室	第7回	エネルギー保存則	増田 俊平
8	6/12	14:50-16:20	7番教室	第8回	エネルギー保存則	増田 俊平
9	6/19	14:50-16:20	7番教室	第9回	運動量保存則	増田 俊平
10	6/26	14:50-16:20	7番教室	第10回	運動量保存則	増田 俊平
11	7/3	14:50-16:20	7番教室	第11回	さまざまな運動	増田 俊平
12	7/10	14:50-16:20	7番教室	第12回	さまざまな運動	増田 俊平
13	7/17	14:50-16:20	7番教室	第13回	剛体の力学	増田 俊平
14	7/24	14:50-16:20	7番教室	第14回	期末テスト	越野 和樹
15	7/31	14:50-16:20	7番教室	第15回	まとめ	越野 和樹

授業方法

講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による

授業内容

運動と力／さまざまな力／エネルギー保存則・運動量保存則／さまざまな運動

成績評価の方法

評価:期末考査および授業への参加度

再評価:上記評価が6割未満の者に対して再試験を行う

授業内容の理解度を測るために期末考査や演習を行い，その成績および授業への参加度で評価を行う.

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 講義資料をあらかじめダウンロードし（URLは別途指示）印刷しておくことを前提とする.
試験の受験資格 初回の講義において説明する
教科書 基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著,:培風館, 2016
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる.

時間割番号	000289		
科目名	数学Ⅱ（β）		
担当教員	徳永 伸一		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間：水曜4限

対象学科・専攻：医学科、歯学科

授業の目的、概要等

グラフ理論を中心とする離散数学を学習します。

「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」と呼びます。離散数学で扱う最も基本的かつ重要な構造の1つが「グラフ」（中学・高校で習う「関数のグラフ」とは異なる概念）であり、これを研究対象とする分野が「グラフ理論」です。たとえば「すべての地図は4色で色分けできる」という有名な「4色定理」は、グラフ理論の言葉を用いれば「すべての平面的グラフは 4-彩色可能」と表現することができます。4色定理の証明は長大ですが、その基本的なアイディアや興味深い一般化は、複雑な数式等を用いずに、誰でも理解することができます。

グラフはまた、データ構造・ネットワーク構造や分子構造等を数学的に抽象化したものと見なすこともできますので、近年大きく発展し、様々な分野で応用されています。しかし本科目では必ずしも「応用」は重視せず、4色定理を始めとする、グラフ理論およびその周辺の興味深いトピックをいくつか取り上げて学習し、それらを通じて、数式を伴わない数学的論理を、正確に理解し考察する能力を身に付けることを大きな目的とします。

さらに、直観的に理解可能な未解決問題が多数知られていることも、この分野の大きな魅力です。そういった「正解が用意されていない問題」に対して主体的にアプローチすることで、受講者の皆さんのリサーチ・マインドが育まれることを期待しています。

数学好きな人はもちろん、「これまで学校で習ってきた数学はあまり好きではない・得意ではない」という人にこそ、お勧めしたい科目です。

授業の到達目標

4色定理やグラフ理論のいくつかの基本的な定理について、その背景や証明のアイディアを理解し、関連する問題、一般化された問題、未解決問題について考察する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/2	14:50-16:20	9番教室	徳永 伸一
2	10/9	14:50-16:20	9番教室	徳永 伸一
3	10/16	14:50-16:20	9番教室	徳永 伸一
4	10/23	14:50-16:20	9番教室	徳永 伸一
5	10/30	14:50-16:20	9番教室	徳永 伸一
6	11/6	14:50-16:20	9番教室	徳永 伸一
7	11/13	14:50-16:20	9番教室	徳永 伸一
8	11/20	14:50-16:20	9番教室	徳永 伸一
9	11/27	14:50-16:20	9番教室	徳永 伸一
10	12/4	14:50-16:20	9番教室	徳永 伸一
11	12/11	14:50-16:20	9番教室	徳永 伸一
12	12/18	14:50-16:20	9番教室	徳永 伸一
13	1/8	14:50-16:20	9番教室	徳永 伸一
14	1/15	14:50-16:20	9番教室	徳永 伸一
15	1/22	14:50-16:20	9番教室	徳永 伸一

授業方法

講義と演習による。

授業内容

以下のトピック（予定）について順次解説し、関連する問題による演習を行います。

・グラフの基礎概念

・一筆描き問題、ハミルトン問題

・ドミノ敷き詰め問題、結婚定理

・グラフのラベル付け問題
・美術館問題
・4色定理とその一般化、周辺の問題

成績評価の方法

授業への参加姿勢、演習・レポート・ノート提出によって総合的に評価します。
また履修者が一定数を越えた場合、全員または評価が一定基準に達していない学生を対象に、試験を行う可能性があります。

準備学習などについての具体的な指示

事前の予備知識等は必要ありませんが、授業は段階的に進めていきますので、各回の復習をしっかり行ってください。

参考書

グラフ理論(増補改訂版)／惠羅博, 土屋守正 著,:産業図書, 2010
グラフ理論／R.ディーステル 著,根上生也, 太田克弘 訳,:シュプリンガー・フェアラーク東京, 2000
幾何学的グラフ理論／前原濶, 根上生也 著,:朝倉書店, 1992
離散構造／根上生也 著,:共立出版, 1993

他科目との関連

前期の「R・離散構造」と関連する問題を一部扱う予定です。

履修上の注意事項

授業時間内に行う演習を重視しているため、欠席は評価上の大きなマイナスになります。

連絡先

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:
水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:
金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前にＥメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000290		
科目名	数学Ⅱ(ｳ)		
担当教員	中口 悦史		
開講時期	後期	対象年次	1

対象学科:医学科・歯学科

募集人数:40名程度

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2−1), 4−2)

授業の目的、概要等

前期「数学Ⅰ」からの発展の1分野として, 複素解析の基礎を学習する。複素解析は複素数を変数として複素数の値をとる関数, すなわち複素関数の解析学である。複素関数は, ある領域内で1回複素微分可能であれば, その領域内では何回でも微分も積分もできるという, 実関数とは異なる興味深い性質を持つ。物理学や工学への応用も重要であるが, この授業では, 複素解析の美しい理論体系を体験してほしい。

授業の到達目標

複素関数の微積分を含む基本的な計算ができる。複素関数の解析性について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	14:50−16:20	10 番教室	複素数と複素平面(1)	中口 悦史
2	10/9	14:50−16:20	10 番教室	複素数と複素平面(2)	中口 悦史
3	10/16	14:50−16:20	10 番教室	複素数と複素平面(3)	中口 悦史
4	10/23	14:50−16:20	10 番教室	正則関数(1)	中口 悦史
5	10/30	14:50−16:20	10 番教室	正則関数(2)	中口 悦史
6	11/6	14:50−16:20	10 番教室	正則関数(3)	中口 悦史
7	11/13	14:50−16:20	10 番教室	正則関数(4)	中口 悦史
8	11/20	14:50−16:20	10 番教室	複素積分(1)	中口 悦史
9	11/27	14:50−16:20	10 番教室	複素積分(2)	中口 悦史
10	12/4	14:50−16:20	10 番教室	複素積分(3)	中口 悦史
11	12/11	14:50−16:20	10 番教室	級数展開と特異点(1)	中口 悦史
12	12/18	14:50−16:20	10 番教室	級数展開と特異点(2)	中口 悦史
13	1/8	14:50−16:20	10 番教室	級数展開と特異点(3)	中口 悦史
14	1/15	14:50−16:20	10 番教室	多価関数とリーマン面	中口 悦史
15	1/22	14:50−16:20	10 番教室	総合演習	中口 悦史

授業方法

主に板書による講義によって進め, 毎回授業の最後にクイズ(5分間演習)を行う。

授業内容

(1) 複素数と複素平面(3回程度)

複素数の演算, 極形式と1のべき乗根, ガウス平面上の図形, リーマン球面と無限遠点

(2) 正則関数(4回程度)

複素関数の連続性, 初等的関数, 複素微分と正則性, 等角写像, 一次変換

(3) 複素積分(3回程度)

線積分(経路積分), コーシーの積分定理, コーシーの積分表示式, 最大値の原理

(4) 級数展開と特異点(3回程度)

べき級数と収束域, ローラン展開, 零点と一致の定理, 特異点と留数, 初等的関数の級数展開, 解析接続

(5) 多価関数とリーマン面(1回程度)

対数関数と主値, べき乗関数と価数, 分枝とリーマン面

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート 0% ・ その他(授業内演習) 50%

再評価: 有(筆記試験)

試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は, 問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ, 論証や計算の精確さを総合的に評価するために, 期末に筆記試験によって行う。期末試験に代えて発表(板書)形式の総合演習を行うことがある。

「試験の受験資格」を満たし, かつ期末試験を受験したもののみを, 評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

これまでに学習した数学の内容をよく復習しておくこと。毎回の演習課題も復習することが望ましい。必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席, ならびに出席回のクイズ提出。

教科書

初等関数論／林一道 著,:裳華房, 1992

参考書

複素解析 : 1 変数解析関数／笠原乾吉 著,:筑摩書房, 2016

複素解析入門 = Introduction to Complex Analysis／原惟行, 松永秀章 著,:共立出版, 2014

複素解析へのアプローチ／山本稔, 坂田定久 共著,:裳華房, 1992

複素解析／矢野健太郎, 石原繁 共著,:裳華房, 1995

複素解析概論 : 数学の基礎的諸分野への現代的入門／野口潤次郎 著,:裳華房, 1993

複素関数入門／神保道夫 著,:岩波書店, 2003

複素解析／L.V.アールフォルス 著,笠原乾吉 訳,:現代数学社, 1982

複素関数論の基礎／山本直樹 著,:裳華房, 2015

絶版の参考書(図書館分館に所蔵有り):

1. 森 正武, 杉原 正顯『複素関数論』岩波書店(オンデマンド出版有り)

2. 小平邦彦『複素解析』(岩波基礎数学選書)岩波書店

3. L.シュヴァルツ, 清水英男『複素関数』東京図書

4. H.カルタン, 高橋禮司『複素函数論』岩波書店

他にも図書館分館に多数の関連蔵書があるので探索すること。

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと, 各回のクイズ提出による確認を併用する。

連絡先

nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000260		
科目名	物理学ⅡM		
担当教員	檜枝 光憲		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間:水曜4限

対象学科:医学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)、別表4－2)

授業の目的、概要等

電磁気学は力学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。リニアモーターカーやハイブリッド車用モーターなどほとんどの電気・電子技術が電磁気学と関係しています。また、医療技術や人体においても電流、磁気、電磁波など電磁気学は重要な要素であると言って良いでしょう。しかしながら、電磁気学は力学と比較すると難しいという印象があるようです。その理由は、私たちは物体を動かしたり力をかけたりなど日常的に力学現象を経験しているのに対して、電磁気学については日常の中で経験している実感が皆無であるためと思われます(例えば電場や磁場というのは電荷や電流によって空間に生じる変化であり目に見えない)。本講義では電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を丁寧に説明し、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出していきます。さらに電磁波の波動方程式を導き、音波と波動性という共通概念で書かれることを学んでいきます。

授業の到達目標

電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を学び、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出できるようになる。また学んだ知識を応用し、いろいろな電磁気学現象を解析できるようになる。

さらに電磁波と音波が同じ波動性という共通の概念で書かれることを学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	14:50-16:20	1番教室	第1回	イントロダクション : ベクトル解析 発散と回転	檜枝 光憲
2	10/9	14:50-16:20	1番教室	第2回	静電場1 : 積分形のガウスの法則	檜枝 光憲
3	10/16	14:50-16:20	1番教室	第3回	静電場2 : 微分形のガウスの法則	檜枝 光憲
4	10/23	14:50-16:20	1番教室	第4回	静電場3 : 静電ポテンシャル(電位)	檜枝 光憲
5	10/30	14:50-16:20	1番教室	第5回	電気双極子	檜枝 光憲
6	11/6	14:50-16:20	1番教室	第6回	コンデンサーと静電場エネルギー	檜枝 光憲
7	11/13	14:50-16:20	1番教室	第7回	静磁場1 : 磁場に関するガウスの法則	檜枝 光憲
8	11/20	14:50-16:20	1番教室	第8回	中間テスト	檜枝 光憲
9	11/27	14:50-16:20	1番教室	第9回	静磁場2 : アンペールの法則、ビオ・サバールの法則	檜枝 光憲
10	12/4	14:50-16:20	1番教室	第10回	時間的に変動する電場と磁場	檜枝 光憲
11	12/11	14:50-16:20	1番教室	第11回	電磁波の波動方程式	檜枝 光憲
12	12/18	14:50-16:20	1番教室	第12回	物質中の波動 : 音波の波動方程式	檜枝 光憲
13	1/8	14:50-16:20	1番教室	第13回	物質中の波動2 : 音波の反射・透過	檜枝 光憲
14	1/15	14:50-16:20	1番教室	第14回	期末テスト	檜枝 光憲
15	1/22	14:50-16:20	1番教室	第15回	まとめ	檜枝 光憲

授業方法

講義と演習

授業内容

1. イントロダクション : ベクトル解析 発散と回転
2. 静電場1 : 積分形のガウスの法則
3. 静電場2 : 微分形のガウスの法則
4. 静電場3 : 静電ポテンシャル(電位)
5. 電気双極子

6. コンデンサーと静電場エネルギー
7. 静磁場 1 ： 磁場に関するガウスの法則
8. 中間テスト
9. 静磁場 2 ： アンペールの法則、ビオ・サバールの法則
10. 時間的に変動する電場と磁場
11. 電磁波の波動方程式
12. 物質中の波動 ： 音波の波動方程式
13. 物質中の波動 2 ： 音波の反射・透過
14. 期末テスト
15. まとめ

成績評価の方法

授業の到達目標の達成度を主に中間・期末テストおよび授業内演習の提出状況により評価する。

評価 ： 試験 80%
その他 20%（演習の提出状況等）
再評価: 有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業後はきちんと復習すること。

参考書

電磁気学の考え方／砂川 重信／著,:岩波書店, 1993
物理学／小出昭一郎 著,:裳華房, 1997
振動と波／長岡洋介 著,:裳華房, 1992

連絡先

hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000261		
科目名	物理学ⅡD･T		
担当教員	越野 和樹		
開講時期	後期	対象年次	1

･曜日･時間:時間割を参照のこと

･科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表2－1)

別表4－2)

授業の目的、概要等

電界の基本概念、時間的に変化しない(定常的な)電荷分布とそれが作る電界との定量的な関係、自由電荷を有する導体が作る電界および導体を組み合わせたコンデンサー、電荷分布によるエネルギー、についての基本を学ぶ。さらに、磁束密度の基本概念、電流に作用する力と磁束密度との定量的な関係、定常的な電流分布とそれが作る磁束密度との定量的な関係、についての基本を学ぶ。
物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。

授業の到達目標

マックスウェル方程式(積分形)による電磁気学の体系を理解し，その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には，「単純な電荷分布が作る電界」「電位と電界との関係」「コンデンサー」「磁束密度が電流に及ぼす力」「電流分布が作る磁束密度」といった項目について，基本的な考え方を理解し、これらに関しての応用問題を解決できるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	14:50-16:20	7番教室	第1回	静電気	越野 和樹
2	10/9	14:50-16:20	7番教室	第2回	静電気	越野 和樹
3	10/16	14:50-16:20	7番教室	第3回	静電気	越野 和樹
4	10/23	14:50-16:20	7番教室	第4回	コンデンサー	越野 和樹
5	10/30	14:50-16:20	7番教室	第5回	コンデンサー	越野 和樹
6	11/6	14:50-16:20	7番教室	第6回	コンデンサー	越野 和樹
7	11/13	14:50-16:20	7番教室	第7回	電流	越野 和樹
8	11/20	14:50-16:20	7番教室	第8回	電流	越野 和樹
9	11/27	14:50-16:20	7番教室	第9回	電流	越野 和樹
10	12/4	14:50-16:20	7番教室	第10回	磁界と電磁誘導	越野 和樹
11	12/11	14:50-16:20	7番教室	第11回	磁界と電磁誘導	越野 和樹
12	12/18	14:50-16:20	7番教室	第12回	交流と電磁波	越野 和樹
13	1/8	14:50-16:20	7番教室	第13回	交流と電磁波	越野 和樹
14	1/15	14:50-16:20	7番教室	第14回	期末テスト	越野 和樹
15	1/22	14:50-16:20	7番教室	第15回	まとめ	越野 和樹

授業方法

講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による

授業内容

静電気／コンデンサー／電流／磁界と電磁誘導／交流と電磁波

成績評価の方法

評価:期末考査および授業への参加度

再評価:期末考査が6割未満の者に対して再試験を行う

授業内容の理解度を測るために期末考査や演習を行い，その成績および授業への参加度で評価を行う.

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする.

試験の受験資格

初回の講義において説明する

参考書
グラフィック講義電磁気学の基礎／和田純夫 著,:サイエンス社, 2011
履修上の注意事項
出欠管理システムの記録より，教員がとる出欠を優先させる.
連絡先
ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000047		
科目名	統計学(α)		
担当教員	阪口　昌彦		
開講時期	後期	対象年次	1

対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科(クラス分けは別途指示する)

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2−1), 2−3), 4−4)

授業の目的、概要等

科学の言語とも言われる統計学の基礎と, その理解に必要な確率論の初歩を学び, 統計学に対する理解を深める。高校で学んだ確率・統計から発展して, 統計的検定法までを学ぶ。

授業の到達目標

基本的な確率計算と, 平均および比率の推定と検定を行なうことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	10/3	09:10−10:40	7番教室	集合論の言葉と確率論の言葉の違い、確率の定義の色々	阪口　昌彦
2	10/10	09:10−10:40	7番教室	条件付確率、ベイズの定理	阪口　昌彦
3	10/17	09:10−10:40	7番教室	確率変数と確率分布、その特性値	阪口　昌彦
4	10/24	09:10−10:40	7番教室	代表的な離散型確率分布	阪口　昌彦
5	10/31	09:10−10:40	7番教室	代表的な連続型確率分布	阪口　昌彦
6	11/7	09:10−10:40	7番教室	正規分布の性質	阪口　昌彦
7	11/14	09:10−10:40	7番教室	極限定理	阪口　昌彦
8	11/21	09:10−10:40	7番教室	中間考査	阪口　昌彦
9	11/28	09:10−10:40	7番教室	統計学の世界入門	阪口　昌彦
10	12/5	09:10−10:40	7番教室	図表化と数値要約	阪口　昌彦
11	12/12	09:10−10:40	7番教室	点推定と推定量が満たして欲しい性質	阪口　昌彦
12	12/19	09:10−10:40	7番教室	区間推定	阪口　昌彦
13	1/9	09:10−10:40	7番教室	実験計画の初歩	阪口　昌彦
14	1/16	09:10−10:40	7番教室	検定	阪口　昌彦
15	1/23	09:10−10:40	7番教室	総合演習	阪口　昌彦

授業方法

主に板書による講義によって進め, 毎回授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行う。

授業内容

(1) 集合と確率の言葉の違いと確率のいくつかの定義(1回程度)

(2) 条件付確率の定義、ベイズの定理とそれを活用した問題(1回程度)

(3) 確率変数の定義とその特性値(期待値と分散)の定義(1回程度)

(4) 代表的な確率分布とその特性値の計算(2回程度)

(5) 正規分布の性質(再生性、上側100α点)、確率変数の標準化(2回程度)

(6) チェビシェフの不等式、大数の法則、中心極限定理(1回程度)

(7) 記述統計(図表化と数値要約)(1回程度)

(8) 母集団と標本、母数と推定量、推定量に必要な性質(不偏性、一致性、有効性)(1回程度)

(9) 区間推定(2回程度)

(10) 初歩的な検定(フィッシャーの直接確率検定、カイ2乗検定、z検定、t検定、F検定)とその他の統計手法の紹介(2回程度)

成績評価の方法

評価 : 試験 75%(中間25%・期末50%) ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 25%

再評価: 有(筆記試験)

試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は, 授業の理解度や定理・公式等の運用の適切さ, 論証の精確さ等を総合的に評価するために, 中間考査と期末考査の2回に分けて, いずれも筆記試験によって行う。

「試験の受験資格」を満たし, かつ, 中間考査と期末考査の両方を受験したもののみを, 評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回のクイズも復習することが望ましい。

必要に応じて下記参考書等により各自演習すること。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席, ならびに出席回のクイズ提出。

教科書

特に指定しない。

参考書

統計学入門／東京大学教養学部統計学教室 編,東京大学,:東京大学出版会, 1991

確率と統計の基礎・基本／馬場裕 著,馬場, 裕, 1953-,:牧野書店, 2002

入門統計学 : 検定から多変量解析・実験計画法まで／栗原伸一 著,栗原, 伸一, 1966-,:オーム社, 2011

数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山舘周恒, 熊坂一成 著,井川, 俊彦, 1948-,清田, 正夫, 1953-,徳永, 伸一,:医歯薬出版, 2005

初等統計学／P.G.ホーエル 著,浅井 晃 共訳,村上 正康 共訳,P.G.ホーエル,浅井晃,村上正康,:培風館, 1985

統計学演習／村上正康, 安田正実 共著,村上, 正康,安田, 正実,:培風館, 1989

人文・社会科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編,:東京大学出版会, 1994

自然科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編,:東京大学出版会, 1992

バイオサイエンスの統計学／市原清志著,市原, 清志(1950-),:南江堂, 1990-02

医学への統計学／古川俊之 監修,丹後俊郎 著,古川, 俊之, 1931-,丹後, 俊郎, 1950-,:朝倉書店, 2013

その他, 保健統計関係の参考書:

・遠藤和男『保健統計学テキスト : 医療技術・健康科学・看護系のための』
  考古堂書店, 2010 年, ISBN: 9784874997468

・縣俊彦『やさしい保健統計学』
  南江堂, 2013 年, ISBN: 9784524268214

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと, 各回のクイズ提出による確認を併用する。

時間割番号	000048		
科目名	統計学(β)		
担当教員	阪口　昌彦		
開講時期	後期	対象年次	1

対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科(クラス分けは別途指示する)

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2−1), 2−3), 4−4)

授業の目的、概要等

科学の言語とも言われる統計学の基礎と, その理解に必要な確率論の初歩を学び, 統計学に対する理解を深める。高校で学んだ確率・統計から発展して, 統計的検定法までを学ぶ。

授業の到達目標

基本的な確率計算と, 平均および比率の推定と検定を行なうことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	10/3	10:50−12:20	7番教室	集合論の言葉と確率論の言葉の違い、確率の定義の色々	阪口　昌彦
2	10/10	10:50−12:20	7番教室	条件付確率、ベイズの定理	阪口　昌彦
3	10/17	10:50−12:20	7番教室	確率変数と確率分布、その特性値	阪口　昌彦
4	10/24	10:50−12:20	7番教室	代表的な離散型確率分布	阪口　昌彦
5	10/31	10:50−12:20	7番教室	代表的な連続型確率分布	阪口　昌彦
6	11/7	10:50−12:20	7番教室	正規分布の性質	阪口　昌彦
7	11/14	10:50−12:20	7番教室	極限定理	阪口　昌彦
8	11/21	10:50−12:20	7番教室	中間考査	阪口　昌彦
9	11/28	10:50−12:20	7番教室	統計学の世界入門	阪口　昌彦
10	12/5	10:50−12:20	7番教室	図表化と数値要約	阪口　昌彦
11	12/12	10:50−12:20	7番教室	点推定と推定量が満たして欲しい性質	阪口　昌彦
12	12/19	10:50−12:20	7番教室	区間推定	阪口　昌彦
13	1/9	10:50−12:20	7番教室	実験計画の初歩	阪口　昌彦
14	1/16	10:50−12:20	7番教室	検定	阪口　昌彦
15	1/23	10:50−12:20	7番教室	総合演習	阪口　昌彦

授業方法

主に板書による講義によって進め, 毎回授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行う。

授業内容

(1) 集合と確率の言葉の違いと確率のいくつかの定義(1回程度)

(2) 条件付確率の定義、ベイズの定理とそれを活用した問題(1回程度)

(3) 確率変数の定義とその特性値(期待値と分散)の定義(1回程度)

(4) 代表的な確率分布とその特性値の計算(2回程度)

(5) 正規分布の性質(再生性、上側100α点)、確率変数の標準化(2回程度)

(6) チェビシェフの不等式、大数の法則、中心極限定理(1回程度)

(7) 記述統計(図表化と数値要約)(1回程度)

(8) 母集団と標本、母数と推定量、推定量に必要な性質(不偏性、一致性、有効性)(1回程度)

(9) 区間推定(2回程度)

(10) 初歩的な検定(フィッシャーの直接確率検定、カイ2乗検定、z検定、t検定、F検定)とその他の統計手法の紹介(2回程度)

成績評価の方法

評価 : 試験 75%(中間25%・期末50%) ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 25%

再評価: 有(筆記試験)

試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は, 授業の理解度や定理・公式等の運用の適切さ, 論証の精確さ等を総合的に評価するために, 中間考査と期末考査の2回に分けて, いずれも筆記試験によって行う。

「試験の受験資格」を満たし, かつ, 中間考査と期末考査の両方を受験したもののみを, 評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回のクイズも復習することが望ましい。

必要に応じて下記参考書等により各自演習すること。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席, ならびに出席回のクイズ提出。

教科書

特に指定しない。

参考書

統計学入門／東京大学教養学部統計学教室 編,東京大学,:東京大学出版会, 1991

確率と統計の基礎・基本／馬場裕 著,馬場, 裕, 1953-,:牧野書店, 2002

入門統計学 : 検定から多変量解析・実験計画法まで／栗原伸一 著,栗原, 伸一, 1966-,:オーム社, 2011

数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山舘周恒, 熊坂一成 著,井川, 俊彦, 1948-,清田, 正夫, 1953-,徳永, 伸一,:医歯薬出版, 2005

初等統計学／P.G.ホーエル 著,浅井 晃 共訳,村上 正康 共訳,P.G.ホーエル,浅井晃,村上正康,:培風館, 1985

統計学演習／村上正康, 安田正実 共著,村上, 正康,安田, 正実,:培風館, 1989

人文・社会科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編,:東京大学出版会, 1994

自然科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編,:東京大学出版会, 1992

バイオサイエンスの統計学／市原清志著,市原, 清志(1950-),:南江堂, 1990-02

医学への統計学／古川俊之 監修,丹後俊郎 著,古川, 俊之, 1931-,丹後, 俊郎, 1950-,:朝倉書店, 2013

その他, 保健統計関係の参考書:

・遠藤和男『保健統計学テキスト : 医療技術・健康科学・看護系のための』
  考古堂書店, 2010 年, ISBN: 9784874997468

・縣俊彦『やさしい保健統計学』
  南江堂, 2013 年, ISBN: 9784524268214

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと, 各回のクイズ提出による確認を併用する。

時間割番号	000056		
科目名	化学(一般化学)M		
担当教員	奈良 雅之, 渡邊 総一郎		
開講時期	通年	対象年次	1

・曜日・時間:水曜1限

・対象学科:医学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る

別表 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。医学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。医学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、医学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学＆有機化学)」を学習します。

授業の到達目標

授業で扱った範囲に関連した「マグロウヒル大学演習　一般化学」「ハート　基礎有機化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/17	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
2	4/24	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
3	5/8	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
4	5/15	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
5	5/22	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
6	5/29	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
7	6/5	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
8	6/12	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
9	6/19	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
10	6/26	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
11	7/3	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
12	7/10	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
13	7/17	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
14	7/24	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
15	7/31	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
16	10/2	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
17	10/9	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
18	10/16	09:10-10:40	1番教室	渡邊 総一郎
19	10/23	09:10-10:40	1番教室	渡邊 総一郎
20	10/30	09:10-10:40	1番教室	渡邊 総一郎
21	11/6	09:10-10:40	1番教室	渡邊 総一郎
22	11/13	09:10-10:40	1番教室	渡邊 総一郎
23	11/20	09:10-10:40	1番教室	渡邊 総一郎
24	11/27	09:10-10:40	1番教室	渡邊 総一郎
25	12/4	09:10-10:40	1番教室	渡邊 総一郎
26	12/11	09:10-10:40	1番教室	渡邊 総一郎
27	12/18	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之
28	1/8	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之, 渡邊 総一郎
29	1/15	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之,

				澤野 頼子
30	1/22	09:10-10:40	1番教室	奈良 雅之 勝又 敏行

授業方法

講義形式で授業を行うが、適宜、演習を解いたり、解答を説明させたりして、アクティブラーニングを取り入れて行う。

授業内容

前期では化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げます。続いてマクロのものの見方を学習するために「化学熱力学(熱力学の原理と応用)」を取り上げます。後期は初めの2回は化学実験に必要な誤差計算を取り上げます。次に、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。

考査、学力認定試験終了後は、補強コース・アドバンスコースに分かれて講義を行います。

前期

第1回 ガイダンス 学力認定試験体験版 第2回 単位:SIと非SI

第3回 酸塩基平衡の取扱い方(1) 第4回 酸塩基平衡の取扱い方(2)

第5回 酸塩基平衡の取扱い方(3) 第6回 酸塩基平衡の取扱い方(4)

第7回 熱力学の原理(1) 第8回 熱力学の原理(2)

第9回 熱力学の原理(3) 第10回 熱力学の原理(4)

第11回 熱力学の原理(5) 第12回 熱力学の原理(6)

第13回 熱力学の原理(7) 第14回 熱力学の平衡論への応用(1)

第15回 熱力学の平衡論への応用(2)

後期

第1回 化学実験学(誤差の取り扱い方) 第2回 化学実験学(誤差の取り扱い方)

第3回 アルカンとシクロアルカン 第4回 アルケンとアルキン

第5回 芳香族化合物 第6回 立体異性

第7回 有機ハロゲン化合物 第8回 アルコール、フェノール、チオール

第9回 エーテルとエポキシド 第10回 アルデヒドとケトン

第11回 有機化学の筆記試験(考査) 第12回 学力認定試験

第13回 補強コース/アドバンスコース(1)

第14回 補強コース/アドバンスコース(2)

第15回 補強コース/アドバンスコース(3)

成績評価の方法

評価:試験 100% ・レポート 0%

その他(出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。)

試験は、前期の考査50%、後期の考査30%、学力認定試験20%の総合評価で行う。

再評価:有(補強コースを受講した後、全範囲をまとめて再試験を行う。)

化学を理解しているかどうかを評価の対象とするので、主に試験で評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習:指定された教科書,配布資料等で該当する箇所に目を通しておく。

復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

考査:前期の考査は3分の2以上出席

後期の考査は3分の2以上出席

教科書

一般化学/Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳.:オーム社, 1995

ハート基礎有機化学(三訂版)/H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳.:培風館, 2002

化学熱力学/原田義也 著,原田, 義也, 1934-,:裳華房, 2002

参考書

化学／岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著,岡崎, 三代, 1944-,奈良, 雅之,永井, 裕, 1928-,:医歯薬出版, 2005

系統看護学講座 化学／奈良, 雅之,:医学書院, 2018

ボルハルト・ショアー現代有機化学(第 6 版)[上]／K. P. C. Vollhardt [著],N. E. Schore [著],古賀憲司 監訳,野依良治 監訳,村橋俊一 監訳,大嶌幸一郎 訳,小田嶋和徳 訳,小松満男 訳,戸部義人 訳:化学同人, 2011

ボルハルト・ショアー現代有機化学(第 6 版)[下]／K. P. C. Vollhardt [著],N. E. Schore [著],古賀憲司 監訳,野依良治 監訳,村橋俊一 監訳,大嶌幸一郎 訳,小田嶋和徳 訳,小松満男 訳,戸部義人 訳:化学同人, 2011

ウォーレン有機化学〈上〉／Clayden [ほか著],野依良治 [ほか]監訳,石橋正己 [ほか]訳,:東京化学同人, 2003

参考材料:HGS 分子模型

他科目との関連

化学実験学では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。

履修上の注意事項

前期、後期いずれも出席3分の2以上を満たさないと、考査の受験資格がなくなります。 前期と後期の考査のうちいずれかを受験放棄した場合は、履修放棄したものとみなして、成績は×になります。

備考

キーワード:化学実験学、化学熱力学、有機化学

第1回～第5回は検査技術学学専攻との合同授業になります。

連絡先

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000057		
科目名	化学(一般化学)D		
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子		
開講時期	通年	対象年次	1

・曜日・時間: 月曜3限

・対象学科: 歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る

別表 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

7 番教室

授業の目的、概要等

分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。歯学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。歯学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、歯学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学&有機化学)」を学習します。

授業の到達目標

授業で扱った範囲に関連した「マグロウヒル大学演習　一般化学」「ハート基礎有機化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	13:10-14:40	7 番教室	前期第 1 回	ガイダンス、学力認定試験体験版	奈良 雅之
2	4/22	13:10-14:40	7 番教室	前期第 2 回	単位SI と非 SI	奈良 雅之
3	5/6	13:10-14:40	7 番教室	前期第 3 回	酸塩基平衡の取扱い方(1)	奈良 雅之
4	5/13	13:10-14:40	7 番教室	前期第 4 回	酸塩基平衡の取扱い方(2)	奈良 雅之
5	5/20	13:10-14:40	7 番教室	前期第 5 回	酸塩基平衡の取扱い方(3)	奈良 雅之
6	5/27	13:10-14:40	7 番教室	前期第 6 回	酸塩基平衡の取扱い方(4)	奈良 雅之
7	6/3	13:10-14:40	7 番教室	前期第 7 回	熱力学第一法則(1)	奈良 雅之
8	6/10	13:10-14:40	7 番教室	前期第 8 回	熱力学第一法則(2)	奈良 雅之
9	6/17	13:10-14:40	7 番教室	前期第 9 回	熱力学第一法則(3)	奈良 雅之
10	6/24	13:10-14:40	7 番教室	前期第 10 回	熱力学第二法則(1)	奈良 雅之
11	7/1	13:10-14:40	7 番教室	前期第 11 回	熱力学第二法則(2)	奈良 雅之
12	7/8	13:10-14:40	7 番教室	前期第 12 回	熱力学第二法則(3)	奈良 雅之
13	7/15	13:10-14:40	7 番教室	前期第 13 回	ギブスエネルギー	奈良 雅之
14	7/22	13:10-14:40	7 番教室	前期第 14 回	熱力学的関係式	奈良 雅之
15	7/29	13:10-14:40	7 番教室	前期第 15 回	化学ポテンシャル	奈良 雅之
16	9/30	13:10-14:40	7 番教室	後期第 1 回	化学実験学(誤差の取り扱い方)(1)	奈良 雅之
17	10/7	13:10-14:40	7 番教室	後期第 2 回	化学実験学(誤差の取り扱い方)(2)	奈良 雅之
18	10/21	13:10-14:40	7 番教室	後期第 3 回	原子の電子構造	澤野 頼子
19	10/28	13:10-14:40	7 番教室	後期第 4 回	有機化合物の結合と構造	澤野 頼子
20	11/11	13:10-14:40	7 番教室	後期第 5 回	アルカンとシクロアルカン	澤野 頼子
21	11/18	13:10-14:40	7 番教室	後期第 6 回	アルケン	澤野 頼子
22	11/25	13:10-14:40	7 番教室	後期第 7 回	共役ジエンとアルキン	澤野 頼子
23	12/2	13:10-14:40	7 番教室	後期第 8 回	立体異性	澤野 頼子
24	12/9	13:10-14:40	7 番教室	後期第 9 回	芳香族化合物	澤野 頼子
25	12/16	13:10-14:40	7 番教室	後期第 10 回	有機ハロゲン化合物	澤野 頼子
26	12/23	13:10-14:40	7 番教室	後期第 11 回	有機化学の考査	澤野 頼子
27	1/6	13:10-14:40	7 番教室	後期第 12 回	学力認定試験	澤野 頼子
28	1/20	13:10-14:40	7 番教室	後期第 13 回	補強コース/アドバンスコース(1)	澤野 頼子, 奈良 雅之

29	1/27	13:10-14:40	7番教室	後期第14回	補強コース/アドバンスコース(2)	奈良 雅之, 澤野 頼子	
30	2/3	13:10-14:40	7番教室	後期第15回	補強コース/アドバンスコース(3)	勝又 敏行, 奈良 雅之	

授業方法

講義形式で授業を行うが、適宜、アクティブラーニング(課題演習や答案の発表など)を取り入れて行う。

授業内容

前期では化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げます。続いて、マクロのものの見方を学習するために「化学熱力学(熱力学の原理と応用)」を取り上げます。後期は初めの2回は化学実験に必要な誤差計算を取り上げます。次に、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。

考査、学力認定試験終了後は、補強コース・アドバンスコースに分かれて講義を行います。

成績評価の方法

評価:試験 100% ・レポート 0%

その他(出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。)

試験は、前期の考査、後期の考査、学力認定試験の総合評価で行う。

再評価:有(補強コースを受講した後、全範囲をまとめて再試験を行う。)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習:指定された教科書、配布資料(WebClassに掲載)等で該当する箇所に目を通しておく。

復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

考査:前期の考査は3分の2以上出席

後期の考査は3分の2以上出席

教科書

一般化学/Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳:オーム社, 1995

化学熱力学/原田義也 著,原田, 義也, 1934-,:裳華房, 2002

ハート基礎有機化学/H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳,Hart, Harold, 1922-,Hart, David J,Craine, Leslie E,秋葉, 欣哉, 1936-,奥, 彬, 1938-,:培風館, 2002

参考書

化学/岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著,岡崎, 三代, 1944-,奈良, 雅之,永井, 裕, 1928-,:医歯薬出版, 2005

マクマリー有機化学(上)/JOHN McMURRY/著,伊東椒/訳者代表,児玉三明/訳者代表,McMurry, John,伊東 || 椒,児玉:東京化学同人, 2017

マクマリー有機化学(中)/JOHN McMURRY/著,伊東椒/訳者代表,児玉三明/訳者代表,McMurry, John,伊東 || 椒,児玉:東京化学同人, 2017

ベーシック有機化学/山口良平, 山本行男, 田村類 共著,山口, 良平, 1947-,山本, 行男, 1949-,田村, 類, 1953-,:化学同人, 2010

基礎有機化学/大嶌幸一郎 著,大嶌, 幸一郎, 1947-,:東京化学同人, 2010

系統看護学講座/奈良, 雅之,:医学書院, 2018

他科目との関連

前期第1回～第6回では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。後期第1、2回は「化学実験」における測定値の誤差について取り扱います。

履修上の注意事項

前期、後期いずれも出席3分の2以上を満たさないと、考査の受験資格がなくなります。 前期と後期の考査のうちいずれかを受験放棄した場合は、履修放棄したものとみなして、成績は×になります。

備考

キーワード:分析化学、化学実験学、化学熱力学、有機化学

連絡先

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階
澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000058		
科目名	化学(一般化学)T		
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 森井 尚之		
開講時期	通年	対象年次	1

・曜日・時間:前期 水曜日1時限、後期 月曜日4時限

・対象学科:保健衛生学科検査技術学専攻

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

前期:1 番教室、6 番教室

後期:7 番教室

授業の目的、概要等

分子生物学、生物化学の発展により、生命現象が化学的な考え方、方法で理解されるようになってきました。医療系の分野も分子レベルで捉えることにより、その知識が膨大になりつつあります。医療系の道を選んだ皆さんは、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりでなく、医療系の先端的な研究から取り残されてしまうことになるでしょう。特に、検査技術学専攻の皆さんは、全学生の中で最も化学の専門技術と関わるはずです。本科目では大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(有機化学＆物理化学)」を学習します。

授業の到達目標

授業で扱った範囲に関連した「マグロウヒル大学演習 一般化学」、「ハート基礎有機化学」、「臨床検査学講座 化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	09:10-10:40	1 番教室	序論、単位SI と非 SI	奈良 雅之
2	4/24	09:10-10:40	1 番教室	酸塩基平衡の取り扱い方(1)	奈良 雅之
3	5/8	09:10-10:40	1 番教室	酸塩基平衡の取り扱い方(2)	奈良 雅之
4	5/15	09:10-10:40	1 番教室	酸塩基平衡の取り扱い方(3)	奈良 雅之
5	5/22	09:10-10:40	1 番教室	酸塩基平衡の取り扱い方(4)	奈良 雅之
6	5/29	09:10-10:40	6 番教室	原子の構造	澤野 頼子
7	6/5	09:10-10:40	6 番教室	原子の電子配置と周期律	澤野 頼子
8	6/12	09:10-10:40	6 番教室	化学結合	澤野 頼子
9	6/19	09:10-10:40	6 番教室	固体	澤野 頼子
10	6/26	09:10-10:40	6 番教室	有機化学と電子の軌道	渡邊 総一郎
11	7/3	09:10-10:40	6 番教室	アルカンとシクロアルカン	渡邊 総一郎
12	7/10	09:10-10:40	6 番教室	アルケンとアルキン	渡邊 総一郎
13	7/17	09:10-10:40	6 番教室	芳香族化合物	渡邊 総一郎
14	7/24	09:10-10:40	6 番教室	立体異性	渡邊 総一郎
15	7/31	09:10-10:40	6 番教室	筆記試験(前期考査)	澤野 頼子
16	9/30	09:10-10:40	7 番教室	化学熱力学の序論	奈良 雅之
17	10/7	09:10-10:40	7 番教室	熱力学第一法則(1)	奈良 雅之
18	10/21	09:10-10:40	7 番教室	熱力学第一法則(2)	奈良 雅之
19	10/28	09:10-10:40	7 番教室	熱力学第一法則(3)	奈良 雅之
20	11/11	09:10-10:40	7 番教室	熱力学第二法則(1)	奈良 雅之
21	11/18	09:10-10:40	7 番教室	生体高分子(1)	森井 尚之
22	11/25	09:10-10:40	7 番教室	生体高分子(2)	森井 尚之

23	12/2	09:10-10:40	7番教室	生体高分子(3)	森井 尚之
24	12/9	09:10-10:40	7番教室	生体高分子(4)	森井 尚之
25	12/16	09:10-10:40	7番教室	生体高分子(5)	森井 尚之
26	12/23	09:10-10:40	7番教室	熱力学第二法則(2)	奈良 雅之
27	1/6	09:10-10:40	7番教室	熱力学第二法則(3)	奈良 雅之
28	1/20	09:10-10:40	7番教室	化学反応速度(1)	奈良 雅之
29	1/27	09:10-10:40	7番教室	化学反応速度(2)	奈良 雅之
30	2/3	09:10-10:40	7番教室	筆記試験(後期考査)	奈良 雅之

授業方法

講義形式で授業を行うが、適宜、アクティブラーニング(課題演習や答案の発表など)を取り入れて行う。

授業内容

前期の 15 回は、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために必要な基礎物理化学、有機化学を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。後期の 15 回は、生化学や生理学の基礎となる化学熱力学、生体高分子論、反応速度論の分野を取り上げます。

成績評価の方法

評価 : 試験(期末考査) 100% ・ レポート 0% ・
その他(出席状況・授業時の小テストなどを成績に考慮することがある)

再評価: 有(再評価方法 前期と後期の内容を合わせた学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習:指定された教科書や配付資料(WebClass に掲載)で該当する箇所に目を通しておく。

復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

期末考査・再試験の受験資格:3分の2以上出席

教科書

化学/岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著,:医歯薬出版, 2005

ハート基礎有機化学(三訂版)/H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳,:培風館, 2002

一般化学/Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳,:オーム社, 1995

参考書

マクマリー一般化学(上)/JOHN McMURRY, ROBERT C.FAY 著,荻野博, 山本学, 大野公一 訳,:東京化学同人, 2010

有機化学(上)/モリソン, ボイド 著,中西香爾 [ほか]訳,:東京化学同人, 1994

有機化学(中)/モリソン, ボイド [著],中西香爾 [ほか]訳,:東京化学同人, 1994

マクマリー有機化学(上)/JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明, 荻野敏夫, 深澤義正, 通元夫 訳,:東京化学同人, 2013

マクマリー有機化学(中)/JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表,:東京化学同人, 2013

ウォーレン有機化学(上)/Clayden [ほか著],野依良治 [ほか]監訳,石橋正己 [ほか]訳,:東京化学同人, 2003

ウォーレン有機化学(下)/Clayden [ほか著],野依良治 [ほか]監訳,石橋正己 [ほか]訳,:東京化学同人, 2003

ボルハルト・ショアー現代有機化学(上)/K. P. C. Vollhardt [著],N. E. Schore [著],古賀憲司 監訳,野依良治 監訳,村橋俊一 監訳,大嶌幸一郎 訳,小田嶋和徳 訳,小松満男 訳,戸部義人 訳,:化学同人, 2011

ボルハルト・ショアー現代有機化学(下)/K. P. C. Vollhardt [著],N. E. Schore [著],古賀憲司 監訳,野依良治 監訳,村橋俊一 監訳,大嶌幸一郎 訳,小田嶋和徳 訳,小松満男 訳,戸部義人 訳,:化学同人, 2011

エントロピーから化学ポテンシャルまで/渡辺啓 著,:裳華房, 1997

他科目との関連

前期に「科学基礎実験 T」の基礎となる理論を取り扱います。

履修上の注意事項

前期、後期で、それぞれ出席3分の2以上を満たさないと、期末考査の受験資格がなくなります。 前期の定期試験(考査)と後期の定期試験(考査)の両方を受験していることが、 再試験(再評価)を受ける資格になります。

備考

第1回～第5回は医学科との合同授業になります。

連絡先

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000835		
科目名	化学基礎(a)		
担当教員	澤野　頼子		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：火曜 2 時限（但し、4/16 は 1 時限も行う。また、6/4 は 1 時限に行う。）

・対象学科：保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表2－1）自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

別表4－1）入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる

別表4－2）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

第 1 回（4 月 16 日）～第 5 回（5 月 14 日）：湯島キャンパス

第 6 回（5 月 28 日）～第 15 回（7 月 30 日）：国府台キャンパス 8 番教室(6 月 4 日 1 時限のみ 6 番教室)

授業の目的、概要等

主にセンター試験で「化学」を選択しなかった学生に対して、看護学や口腔保健学に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学の基礎知識や考え方を講義することを基本とする。

授業の到達目標

授業で扱った内容および演習問題を理解し、将来看護や口腔保健の専門の基礎となる化学を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	08:50-10:20	大学院講義室 2	生命・医療・生活と化学の関わり		澤野　頼子
2	4/16	10:30-12:00	大学院講義室 2	物質の構成	物質の種類と性質、原子の構造、周期表	澤野　頼子
3	4/23	10:30-12:00	大学院講義室 2	物質と化学結合（1）		澤野　頼子
4	5/7	10:30-12:00	大学院講義室 2	物質と化学結合（2）		澤野　頼子
5	5/14	10:30-12:00	大学院講義室 2	物質量と濃度、化学反応式		澤野　頼子
6	5/28	10:50-12:20	8 番教室	酸と塩基（1）	酸と塩基、pH	澤野　頼子
7	6/4	09:10-10:40	8 番教室	酸と塩基（2）	中和反応、緩衝液	澤野　頼子
8	6/11	10:50-12:20	8 番教室	酸化と還元		澤野　頼子
9	6/18	10:50-12:20	8 番教室	有機化合物（1）		澤野　頼子
10	6/25	10:50-12:20	8 番教室	有機化合物（2）		澤野　頼子
11	7/2	10:50-12:20	8 番教室	有機化合物（3）		澤野　頼子
12	7/9	10:50-12:20	8 番教室	有機化合物（4）		澤野　頼子
13	7/16	10:50-12:20	8 番教室	有機化合物（5）		澤野　頼子
14	7/23	10:50-12:20	8 番教室	有機化合物（6）		澤野　頼子
15	7/30	10:50-12:20	8 番教室	筆記試験		澤野　頼子

授業方法

講義形式で授業を行うが、適宜、アクティブラーニング（演習など）を取り入れて行う。

授業内容

1. 生命・医療・生活と化学の関わり
2. 物質の構成：物質の種類と性質、原子の構造、周期表
3. 物質と化学結合
4. 物質量と濃度、化学反応式
5. 酸と塩基、pH、中和反応
6. 酸化と還元
7. 有機化合物

成績評価の方法

評価 ： 試験 85% ・ レポート 0% ・ その他(授業への参加度・授業時の小テストなど) 15%
再評価: 有(再評価方法 再試験)
授業内容の理解度を測るために試験や演習を行い、その成績および授業への参加度で評価を行う。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習:講義資料(事前に WebClass 上に掲載)、参考書等で該当する箇所に目を通しておく。
復習:講義の内容および演習問題・小テストを復習する。
その他、教員からの指示を参考に学習する。

試験の受験資格

試験・再試験の受験資格:3分の2以上出席

参考書

高校化学再入門 : 大学の化学でつまずいた人へ／小玉信武 著,:化学同人, 2005
化学の基礎 : 元素記号からおさらいする化学の基本／中川徹夫 著,:化学同人, 2010
高校の「化学基礎」および「化学」の教科書

他科目との関連

化学基礎αβのクラス分けは、入学時に実施するプレースメントテストおよび高等学校での化学の履修状況を考慮して行う。「化学基礎」の学力不足の学生向けに火曜1時限(4/23, 5/7, 5/14)に「化学基礎(補習)」を開講する。受講を勧められた者および受講を希望する者は併せて受講すること。

連絡先

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000836		
科目名	化学基礎(β)		
担当教員	奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間:火曜2限 (初回のみ 1・2限)

・対象学科:保健衛生学科看護学専攻・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

第1週(4/17)～第4週(5/8):湯島キャンパス　OH 第3講義室

第6週(5/22)以降:国府台キャンパス

授業の目的、概要等

高校で化学基礎を履修したことを前提にして、看護学や口腔保健学に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学的な基礎知識や考え方を習得する。

授業の到達目標

教科書、参考資料に出ている例題、演習問題を理解できる。

生体で起こっている事象をどのようにして化学的に捉えるかを理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	08:50-10:20	口腔保健学科第3講義室			宮園 健一
2	4/16	10:30-12:00	口腔保健学科第3講義室			宮園 健一
3	4/23	10:30-12:00	口腔保健学科第3講義室			宮園 健一
4	5/7	10:30-12:00	口腔保健学科第3講義室			宮園 健一
5	5/14	10:30-12:00	口腔保健学科第3講義室			宮園 健一
6	5/28	10:50-12:20	10番教室	有機化学(1)	有機化合物の分類	勝又 敏行
7	6/4	09:10-10:40	10番教室	有機化学(2)	異性体について	勝又 敏行
8	6/11	10:50-12:20	10番教室	有機化学(3)	鎖式炭化水素の構造と性質	勝又 敏行
9	6/18	10:50-12:20	10番教室	有機化学(4)	アルコール、カルボン酸、その他	勝又 敏行
10	6/25	10:50-12:20	10番教室	有機化学(5)	芳香族化合物について	勝又 敏行
11	7/2	10:50-12:20	10番教室	有機化学(6)	生体高分子について	勝又 敏行
12	7/9	10:50-12:20	10番教室			奈良 雅之
13	7/16	10:50-12:20	10番教室			奈良 雅之
14	7/23	10:50-12:20	10番教室			奈良 雅之
15	7/30	10:50-12:20	10番教室			奈良 雅之

授業方法

授業は講義形式を基本とするが、随時演習問題を通してアクティブラーニングを併用する。

授業内容

1. 序論　　単位について

2. 物質の構造　物質の構成要素:元素・単体・化合物、原子と分子

化学結合、化学量論:原子量・分子量・式量、化学反応式
3. 物質の状態　物質の状態変化と粒子の運動:物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、
気体:気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、
溶液:溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド
4. 有機化合物　有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物
5. 高分子化合物　高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物
6. 物質の変化　化学反応と熱:熱化学方程式・結合エネルギー、
酸と塩基の反応:水素イオン濃度と pH・中和反応と中和滴定、
酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡
7. 単体と無機化合物　周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素

成績評価の方法

評価:定期試験　100%・レポート 0%
その他(授業中の出席カードの回答状況などを考慮する)
再評価:有(再評価の方法　再試験)

化学の基礎が理解できているか否かが評価の鍵ですから、試験を重視します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習:指定された教科書で該当する箇所に目を通しておく。
復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席

教科書

系統看護学講座／奈良, 雅之,:医学書院, 2018

参考書

大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一, 村田滋, 錦織紳一 著,大野, 公一, 1945-,村田, 滋, 1956-,錦織, 紳一, 1953-,:共立出版, 2005
化学／岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著,岡崎, 三代, 1944-,奈良, 雅之,永井, 裕, 1928-,:医歯薬出版, 2005

連絡先

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp
勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp
宮園　健一:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階
勝又　敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室
宮園　健一:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000263				
科目名	生物学				
担当教員	服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	2

・曜日・時間:火曜日 1・2 限

・対象学科・専攻:医学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

主な講義場所

教育棟(ヒポクラテスホール)1 階、1 番教室

授業の目的、概要等

細胞の構造、遺伝、代謝に関する基本的知識を理解し、専門教育を学ぶうえでの基盤をつくることと、能動的に学習を行うようになることを目標とする。

授業の到達目標

1)細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。

2)遺伝、遺伝子および遺伝の法則とは何か、説明することができる。

3)遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。

4)基本的な遺伝子操作技術を説明することができる。

5)代謝とは何か、説明することができる。

6)生物の進化に関する仮説とその根拠を説明することができる。

授業方法

基本的には講義形式で行う。疑問点を抽出する能力を向上させるために、毎回、コメントシートに疑問点などを書き、提出する。 また、課題を出す。その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。

授業内容

生命の構造・機能上の単位である細胞について概説した後、遺伝と代謝の基本的知識について説明する。また、生物の進化に関する仮説とその根拠を説明する。

成績評価の方法

試験 100%

再評価:有(再試験での成績は 60 点を上限とする)

前期の授業内容に関する試験と後期の授業内容に関する試験および学力認定試験の全てを受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。

上記の 3 種の試験の成績を総合的に評価して、1 月に補強コースとアドバンスコースにクラスを分けて授業を行う。補強コースを受講した学生は、前期と後期を範囲とする再試験を受けなければならない。アドバンスコースを受講した学生は、指定された課題のレポートを提出する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。

準備学習などについての具体的な指示

予めプリント(大部分は英語)を配布するので、予習を行うこと。講義内容に関する質問があれば、リアクションペーパーに書くこと。次週の授業でこの質問に答える。また、復習を行うこと。知識が体系的になるようにノートを整理すること。

試験の受験資格

2/3 以上、出席すること。

教科書

はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学 : 生物学を学んでいない人でもわかる目で見る教科書／前野正夫, 磯川桂太郎 著,:羊土社, 2008

ヒューマンバイオロジー : 人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳:医学書院, 2005

必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,：Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015

Human biology 13th ed／Sylvia S. Mader, Michael Windelspecht ; with contributions by David Cox：McGraw-Hill, 2014

診療・研究にダイレクトにつながる遺伝医学／渡邉淳：羊土社, 2017

よくわかるゲノム医学 : ヒトゲノムの基本から個別化医療まで／服部成介, 水島-菅野純子 著,菅野純夫 監修,服部, 成介, 1952-,水島-菅野, 純子,菅野, 純夫, 1952-,：羊土社, 2016

履修上の注意事項

出欠管理システムで出欠を記録する。

時間割番号	000264		
科目名	生物学(細胞・遺伝子)M		
担当教員	伊藤　正則		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間:火曜日 1・2 限

・対象学科・専攻:医学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

主な講義場所

教育棟(ヒポクラテスホール)1 階、1 番教室

授業の目的、概要等

細胞の構造、遺伝、代謝に関する基本的知識を理解し、専門教育を学ぶうえでの基盤をつくることと、能動的に学習するようになることを目標とする。

授業の到達目標

1)細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。

2)遺伝、遺伝子および遺伝の法則とは何か、説明することができる。

3)遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。

4)基本的な遺伝子操作技術を説明することができる。

5)代謝とは何か、説明することができる。

6)生物の進化に関する仮説とその根拠を説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:50-12:20	1 番教室	伊藤　正則
2	6/18	09:10-10:40	1 番教室	伊藤　正則
3	6/18	10:50-12:20	1 番教室	伊藤　正則
4	6/25	09:10-10:40	1 番教室	伊藤　正則
5	6/25	10:50-12:20	1 番教室	伊藤　正則
6	7/2	09:10-10:40	1 番教室	伊藤　正則
7	7/2	10:50-12:20	1 番教室	伊藤　正則
8	7/9	09:10-10:40	1 番教室	伊藤　正則
9	7/9	10:50-12:20	1 番教室	伊藤　正則
10	7/16	09:10-10:40	1 番教室	伊藤　正則
11	7/16	10:50-12:20	1 番教室	伊藤　正則
12	7/23	09:10-10:40	1 番教室	伊藤　正則
13	7/23	10:50-12:20	1 番教室	伊藤　正則
14-15	7/30	09:10-12:20	1 番教室	伊藤　正則
16	7/30	10:50-12:20	1 番教室	伊藤　正則

授業方法

基本的には講義形式で行う。疑問点を抽出する能力を向上させるために、毎回、コメントシートに疑問点などを書き、提出する。 また、課題を出す。その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。

授業内容

生命の構造・機能上の単位である細胞について概説した後、遺伝と代謝の基本的知識について説明する。また、生物の進化に関する仮説とその根拠を説明する。

成績評価の方法

試験 100%

再評価:有(再試験での成績は 60 点を上限とする)

前期の授業内容に関する試験と後期の授業内容に関する試験および学力認定試験の全てを受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。

上記の 3 種の試験の成績を総合的に評価して、1 月に補強コースとアドバンスコースにクラスを分けて授業を行う。補強コースを受講

した学生は、前期と後期を範囲とする再試験を受けなければならない。アドバンスコースを受講した学生は、指定された課題のレポートを提出する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。

準備学習などについての具体的な指示

予めプリント(大部分は英語で書かれたもの)を配布するので、予習を行うこと。講義内容に関する質問があれば、リアクションペーパーに書くこと。次週の授業でこの質問に答える。復習では知識が体系的になるようにノートを整理すること。

試験の受験資格

2/3 以上、出席すること。

教科書

はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学 : 生物学を学んでいない人でもわかる目で見る教科書／前野正夫, 磯川桂太郎 著,:羊土社, 2008

ヒューマンバイオロジー : 人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳,:医学書院, 2005

必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,:Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015

Human biology 13th ed／Sylvia S. Mader, Michael Windelspecht ; with contributions by David Cox:McGraw-Hill, 2014

診療・研究にダイレクトにつながる遺伝医学／渡邉淳:羊土社, 2017

よくわかるゲノム医学 : ヒトゲノムの基本から個別化医療まで／服部成介, 水島-菅野純子 著,菅野純夫 監修,服部, 成介, 1952-,水島-菅野, 純子,菅野, 純夫, 1952-,:羊土社, 2016

履修上の注意事項

出欠管理システムで出欠を記録する。

連絡先

itohmt.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000266		
科目名	生物学(細胞・遺伝子)DT		
担当教員	服部 淳彦		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間:火曜日1・2限

・対象学科・専攻:歯学科・検査学専攻

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

授業の目的、概要等

生物学(細胞・遺伝子)では,「生命のしくみ」に重点を置き, ますます情報量が増え難解になってきた分子生物学や分子遺伝学の基礎をわかりやすく解説するとともに, 生命現象やそのしくみの不思議さ・面白さ, さらにはその展開としての医療面への応用やヒトの進化についても触れていく。

時間の制約もありこの科目では, 生命の基本単位である「DNAと遺伝子」,「細胞の構造と機能」に関しては, すでに生物学入門等で学習したものとして講義を進める。

授業の到達目標

分子生物学や分子遺伝学の基礎を理解し、「生命のしくみ」の基本について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:50-12:20	7番教室	服部 淳彦
2	6/18	09:10-10:40	7番教室	服部 淳彦
3	6/18	10:50-12:20	7番教室	服部 淳彦
4	6/25	09:10-10:40	7番教室	服部 淳彦
5	6/25	10:50-12:20	7番教室	服部 淳彦
6	7/2	09:10-10:40	7番教室	服部 淳彦
7	7/2	10:50-12:20	7番教室	服部 淳彦
8	7/9	09:10-10:40	7番教室	服部 淳彦
9	7/9	10:50-12:20	7番教室	服部 淳彦
10	7/16	09:10-10:40	7番教室	服部 淳彦
11	7/16	10:50-12:20	7番教室	服部 淳彦
12	7/23	09:10-10:40	7番教室	服部 淳彦
13	7/23	10:50-12:20	7番教室	服部 淳彦
14	7/30	09:10-10:40	7番教室	服部 淳彦
15	7/30	10:50-12:20	7番教室	服部 淳彦

授業方法

講義と一部グループワークによる。

授業内容

生命を支配する遺伝子

1. 分子遺伝学とは
2. 生物の世界:ゲノム, 遺伝子, DNA
3. 真核生物の遺伝子の構造
4. 遺伝子の発現と制御
5. 染色体と細胞周期
6. 細胞分裂 － 体細胞分裂・減数分裂
7. 遺伝性疾患と遺伝様式 Ⅰ
8. 遺伝性疾患と遺伝様式 Ⅱ
9. 遺伝子診断とDNA型鑑定
10. 遺伝子治療の現状と問題点

生物の多様性と分子進化

11. 生物の多様性と進化
12. 分子進化と分子系統樹
13. 中立説と自然淘汰説
14. 遺伝子の進化と種の分化
15. ヒトの起源と未来

成績評価の方法

評価:生命現象について総合的に理解するための基礎学力をつけるために

試験 90%・レポート 0%

その他 10%(授業内のグループワークでの貢献度や質問への回答状況等)

再評価:有(再試験の成績は60点を上限とする)

生物学(通年)の成績は、前期試験、後期試験と学力認定試験の成績を総合的に評価してつける。また、その評価を元に1月には補強コースとアドバンスコースに分けて授業を行う。前期試験と後期試験および学力認定試験をすべて受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

日々、教科書をもとに予習をし、また、板書を基本に自ら学習したノートをもとに復習をすること。

教科書

はじめの一歩の生化学・分子生物学 (第 3 版)／前野正夫, 磯川桂太郎:羊土社, 2016

ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版／SS Mader:医学書院, 2011

授業の内容に合わせて、適宜プリントも配布する。

参考書

Essential 細胞生物学／Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著,中村桂子, 松原謙一 監訳:南江堂, 2011

連絡先

ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000265		
科目名	生物学(構造・機能)M		
担当教員	服部 淳彦		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間:月曜日3限

・対象学科・専攻:医学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

授業の目的、概要等

1年の前期の講義では，生命の基本単位である細胞やその情報源である遺伝子やDNAに関して学習した。後期は，個々の細胞が集まって構築されている個体が，どのようにして全体として調和のとれた活動ができるのかを学習する。そこでこの科目は，特に「生体の構造と機能」を『調節機構』を切り口にして，鳥瞰図的に捕らえた講義を行う。また，それぞれの項目に関しては，系統発生的・進化学的な視点からも解説する。

授業の到達目標

生体の各組織や器官について，その構造と機能の概要を理解し，それらを全体として制御しているシステム系について説明できる。また，ヒトを進化学的な側面から捉えられる視点を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	13:10-14:40	1番教室	服部 淳彦
2	10/7	13:10-14:40	1番教室	服部 淳彦
3	10/21	13:10-14:40	1番教室	服部 淳彦
4	10/28	13:10-14:40	1番教室	服部 淳彦
5	11/11	13:10-14:40	1番教室	服部 淳彦
6	11/18	13:10-14:40	1番教室	服部 淳彦
7	11/25	13:10-14:40	1番教室	服部 淳彦
8	12/2	13:10-14:40	1番教室	服部 淳彦
9	12/9	13:10-14:40	1番教室	服部 淳彦
10	12/16	13:10-14:40	1番教室	服部 淳彦
11	12/23	13:10-14:40	1番教室	服部 淳彦
12	1/6	13:10-14:40	1番教室	服部 淳彦
13	1/20	13:10-14:40	1番教室	服部 淳彦
14	1/27	13:10-14:40	1番教室	服部 淳彦
15	2/3	13:10-14:40	1番教室	服部 淳彦

授業方法

講義と一部グループワークによる。

授業内容

1. 細胞から個体へ
2. 生体における情報伝達系
3. 成長
4. 骨と軟骨
5. ホメオスタシス
6. カルシウムの調節
7. 排泄と泌尿器系
8. 血圧と循環器系
9. 栄養と消化器系
10. 血糖値の調節
11. 刺激と感覚・神経系
12. 炎症とアレルギー
13. 免疫系
14. 子孫の維持と生殖系

15. 加齢と加齢性障害

成績評価の方法

評価:生命現象について総合的に理解するための基礎学力をつけるために

試験 90%・レポート 0%

その他 10%(授業内でのグループワークへの貢献度や質問への回答状況等)

再評価:有(再試験の成績は60点を上限とする)

生物学(通年)の成績は、前期試験、後期試験と学力認定試験の成績を総合的に評価してつける。また、その評価を元に1月には補強コースとアドバンスコースに分けて授業を行う。前期試験と後期試験および学力認定試験をすべて受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

日々、教科書をもとに予習をし、また、板書を基本に自ら学習したノートをもとに復習をすること。

教科書

ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版/S. S. Mader:医学書院, 2011

授業の内容に合わせて、適宜プリントを配布する。

参考書

からだの構造と機能/A. Schaffler、S. Schmidt:西村書店

連絡先

ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000267		
科目名	生物学(構造・機能)DT		
担当教員	伊藤　正則		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間:水曜日 1 限

・対象学科・専攻:歯学科・検査学専攻

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

主な講義場所

教育棟(ヒポクラテスホール)3 階、7 番教室

授業の目的、概要等

生体の構造を個体から分子レベルで理解する。特に、生体の構造と関連させて機能を理解する。また、生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割を考える。専門科目を学ぶうえでの基盤をつくることと、能動的に学習を行うようになる。

授業の到達目標

1)生体の基本構造を説明することができる。

2)生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。

3)生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割について考え、その考えを論理的に説明することができる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/2	09:10-10:40	7 番教室	伊藤　正則
2	10/9	09:10-10:40	7 番教室	伊藤　正則
3	10/16	09:10-10:40	7 番教室	伊藤　正則
4	10/23	09:10-10:40	7 番教室	伊藤　正則
5	10/30	09:10-10:40	7 番教室	伊藤　正則
6	11/6	09:10-10:40	7 番教室	伊藤　正則
7	11/13	09:10-10:40	7 番教室	伊藤　正則
8	11/20	09:10-10:40	7 番教室	伊藤　正則
9	11/27	09:10-10:40	7 番教室	伊藤　正則
10	12/4	09:10-10:40	7 番教室	伊藤　正則
11	12/11	09:10-10:40	7 番教室	伊藤　正則
12	12/18	09:10-10:40	7 番教室	伊藤　正則
13	1/8	09:10-10:40	7 番教室	伊藤　正則
14	1/15	09:10-10:40	7 番教室	伊藤　正則
15	1/22	09:10-10:40	7 番教室	伊藤　正則

授業方法

基本的には講義形式で行う。毎回、コメントシートに疑問点などを書き、提出する。また、課題を出す。その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。

授業内容

代表的な生命現象に関与する器官、その器官の組織構造と具体的な機能を説明する。また、生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割を考える。

成績評価の方法

評価:試験 100%

再評価:有(再評価の成績は 60 点を上限とする)

前期と後期の本試験または追試験と学力認定試験の全ての試験を受けないと、再試験を受けることはできない(履修放棄とみなす)。前期と後期の本試験(または追試験)と学力認定試験の成績から補強コースとアドバンスコースに分ける。補強コースを受講する学生は再試験を受ける。アドバンスコースを受講する学生は指定された課題のレポートを提出する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。

準備学習などについての具体的な指示

予めプリントを配布するので、予習を行うこと。講義義内容に関する質問があれば、リアクションペーパーに書くこと。次週の授業で質問に答える。知識が体系的になるようにノートを整理する等の復習を行うこと。

試験の受験資格

2/3 以上出席すること。

教科書

ヒューマンバイオロジー : 人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳:医学書院, 2005

はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学 : 生物学を学んでいない人でもわかる目で見る教科書／前野正夫, 磯川桂太郎 著,:羊土社, 2008

必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

Essential 細胞生物学／Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著,中村桂子, 松原謙一 監訳:南江堂, 2011

Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,:Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015

Human biology 13th ed／Sylvia S:McGraw-Hill, 2014

診療・研究にダイレクトにつながる遺伝医学／渡邉淳:羊土社, 2017

よくわかるゲノム医学 : ヒトゲノムの基本から個別化医療まで／服部成介, 水島-菅野純子 著,菅野純夫 監修,服部, 成介, 1952-,水島-菅野, 純子,菅野, 純夫, 1952-,:羊土社, 2016

連絡先

itohmt.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000843				
科目名	細胞生物学基礎				
担当教員	松本　幸久				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：月曜4限

・対象専攻：看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

4－1）入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる。

主な講義場所

ヒポクラテスホール1階1番教室

授業の目的、概要等

生物は細胞から成り、細胞の機能によって生命現象が発現される。この授業では、細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因を説明できることを理解する。

授業の到達目標

1）細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。

2）遺伝および遺伝子とは何か、説明することができる。

3）遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。

4）代謝とは何か、説明することができる。

5）酸素呼吸の意義とその反応過程を説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	14:50-16:20	1番教室	松本　幸久
2	4/22	14:50-16:20	1番教室	松本　幸久
3	5/6	14:50-16:20	1番教室	松本　幸久
4	5/13	14:50-16:20	1番教室	松本　幸久
5	5/20	14:50-16:20	1番教室	松本　幸久
6	5/27	14:50-16:20	1番教室	松本　幸久
7	6/3	14:50-16:20	1番教室	松本　幸久
8	6/10	14:50-16:20	1番教室	松本　幸久
9	6/17	14:50-16:20	1番教室	松本　幸久
10	6/24	14:50-16:20	1番教室	松本　幸久
11	7/1	14:50-16:20	1番教室	松本　幸久
12	7/8	14:50-16:20	1番教室	松本　幸久
13	7/15	14:50-16:20	1番教室	松本　幸久
14	7/22	14:50-16:20	1番教室	松本　幸久
15	7/29	14:50-16:20	1番教室	松本　幸久

授業方法

授業は主に講義形式で行う。毎回の授業で、復習クイズ（前回の授業内容から出題する基本問題）、予習クイズ（次回の授業内容から出題する基本問題）、ふりかえり発展問題（これまでの複数の授業の内容を関連づけさせた応用問題で、予め課題を出しておき、自分で答えを準備させ授業内で答えさせる）などの小テストを行う。また、疑問点抽出能力の向上のため、毎回の授業でリアクションペーパーに疑問点を書かせ提出させる。

授業内容

細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因を説明する。

成績評価の方法

評価：本講義は確実な知識を習得することが主な目的なので、期末考査90%、授業内の小テスト10%で成績を評価する。

再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

復習を行う際に、知識が体系的になるようにノートを整理する。加えて、自分で演習問題とその答を作成することを試みる。

試験の受験資格

授業の3分の2以上出席すること。

教科書

医療・看護系のための生物学 = Biology,for Paramedical and Nursing Courses／田村隆明 著,:裳華房, 2016

必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

イラスト生化学・分子生物学／前野　正夫:羊土社, 2008

ヒューマンバイオロジー 人体と生命／SS Mader:医学書院, 2005

やさしい基礎生物学／南雲　保:羊土社, 2011

大学で学ぶ身近な生物学／吉村成弘 著,吉村, 成弘,:羊土社, 2015

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。

連絡先

松本　幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

松本　幸久:毎週月曜日　PM.4:30-6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000064				
科目名	人体の生物学基礎				
担当教員	松本　幸久				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：月曜4限

・対象専攻：看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

2－1）自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。

4－2）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

主な講義場所

ヒポクラテスホール1階1番教室

授業の目的、概要等

多数の細胞が集まって構築されている個体が、どのようにして全体として調和のとれた活動ができるかという点について学習する。

授業の到達目標

1）生体の基本構造を説明することができる。

2）生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	14:50-16:20	1 番教室	松本　幸久
2	10/7	14:50-16:20	1 番教室	松本　幸久
3	10/21	14:50-16:20	1 番教室	松本　幸久
4	10/28	14:50-16:20	1 番教室	松本　幸久
5	11/11	14:50-16:20	1 番教室	松本　幸久
6	11/18	14:50-16:20	1 番教室	松本　幸久
7	11/25	14:50-16:20	1 番教室	松本　幸久
8	12/2	14:50-16:20	1 番教室	松本　幸久
9	12/9	14:50-16:20	1 番教室	松本　幸久
10	12/16	14:50-16:20	1 番教室	松本　幸久
11	12/23	14:50-16:20	1 番教室	松本　幸久
12	1/6	14:50-16:20	1 番教室	松本　幸久
13	1/20	14:50-16:20	1 番教室	松本　幸久
14	1/27	14:50-16:20	1 番教室	松本　幸久
15	2/3	14:50-16:20	1 番教室	松本　幸久

授業方法

授業は主に講義形式で行う。毎回の授業で、復習クイズ（前回の授業内容から出題する基本問題）、予習クイズ（次回の授業内容から出題する基本問題）、ふりかえり発展問題（これまでの複数の授業の内容を関連づけさせた応用問題で、予め課題を出しておき、自分で答えを準備させ授業内で答えさせる）などの小テストを行う。また、疑問点抽出能力の向上のため、毎回の授業でリアクションペーパーに疑問点を書かせ提出させる。

授業内容

生体の各組織・器官の構造と機能の概要を説明し、代表的な生命現象とその制御メカニズムを系統進化学的な観点を加えて説明する。

成績評価の方法

評価：本講義は確実な知識を習得することが主な目的なので、期末考査90%、授業内の小テスト10%で成績を評価する。

再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

復習を行う際に、知識が体系的になるようにノートを整理する。加えて、自分で演習問題とその答を作成することを試みる。

試験の受験資格

授業の3分の2以上出席すること。

教科書

医療・看護系のための生物学 = Biology,for Paramedical and Nursing Courses／田村隆明 著,：裳華房, 2016

必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

イラスト生化学・分子生物学／前野　正夫：羊土社，2008

ヒューマンバイオロジー　人体と生命／SS Mader：医学書院，2005

大学で学ぶ身近な生物学／吉村成弘　著,吉村，成弘,：羊土社，2015

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。

連絡先

yukihisa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日　PM.4:30-6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000065				
科目名	英語				
担当教員	畔柳 和代, 猪熊 恵子, PATRICK FOSS, JEANETTE DENNISSON, Miya Marutsuka, Corliss Jonathan, LITTEN CHRISTOPHER T, Reed Jesse Ryan				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	4

準備学習などについての具体的な指示

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp

猪熊 恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp

JEANETTE DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

猪熊 恵子:水曜日 12時30分～13時

木曜日 12時30分～13時20分

管理研究棟 3階 猪熊研究室

JEANETTE DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 - 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000066		
科目名	英語 a		
担当教員	JEANETTE DENNISSON		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜1限

・対象学科：口腔保健衛生学・看護学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	09:10-10:40	10 番教室	Introduction	Course website sign up	JEANETTE DENNISSON
2	4/24	09:10-10:40	10 番教室	Teacher lecture	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
3	5/8	09:10-10:40	10 番教室	Discussion forum	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
4	5/15	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON
5	5/22	09:10-10:40	10 番教室	Teacher lecture	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
6	5/29	09:10-10:40	10 番教室	Discussion forum	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
7	6/5	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON
8	6/12	09:10-10:40	10 番教室	Student Project	Project theme	JEANETTE DENNISSON
9	6/19	09:10-10:40	10 番教室	Student Project	Secondary literature reading/discussion	JEANETTE DENNISSON
10	6/26	09:10-10:40	10 番教室	Student Project	Data collection	JEANETTE DENNISSON
11	7/3	09:10-10:40	10 番教室	Student Project	Data collection	JEANETTE DENNISSON
12	7/10	09:10-10:40	10 番教室	Student Project	Data analysis	JEANETTE DENNISSON
13	7/17	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON
14	7/24	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON
15	7/31	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DE

						NNISSON	

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14–15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:Participation: 25%　assignments: 25%　discussion tests: 50%

再評価:　有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.
What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.

連絡先

JEANETTE　DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE　DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000067		
科目名	英語a		
担当教員	Reed Jesse Ryan		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:50-12:20	5番教室	Guidance	Course Introduction	Reed Jesse Ryan
2	4/24	10:50-12:20	5番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
3	5/8	10:50-12:20	5番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
4	5/15	10:50-12:20	5番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
5	5/22	10:50-12:20	5番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
6	5/29	10:50-12:20	5番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
7	6/5	10:50-12:20	5番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
8	6/12	10:50-12:20	5番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
9	6/19	10:50-12:20	5番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
10	6/26	10:50-12:20	5番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
11	7/3	10:50-12:20	5番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
12	7/10	10:50-12:20	5番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
13	7/17	10:50-12:20	5番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
14	7/24	10:50-12:20	5番教室	Topic 13	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
15	7/31	10:50-12:20	5番教室	Review	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　participation 40% presentation 10% quizzes 15% homework 10% final discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000068		
科目名	英語 a		
担当教員	Miya Marutsuka		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜1限

・対象学科：口腔保健衛生学・看護学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	09:10-10:40	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marutsuka
2	4/24	09:10-10:40	3 番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marutsuka
3	5/8	09:10-10:40	3 番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marutsuka
4	5/15	09:10-10:40	3 番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marutsuka
5	5/22	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
6	5/29	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
7	6/5	09:10-10:40	3 番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marutsuka
8	6/12	09:10-10:40	3 番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marutsuka
9	6/19	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
10	6/26	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
11	7/3	09:10-10:40	3 番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marutsuka
12	7/10	09:10-10:40	3 番教室	Topic 7	Discussion 7	Miya Marutsuka
13	7/17	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
14	7/24	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
15	7/31	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価： Participation：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価： 有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000069		
科目名	英語 a		
担当教員	Corliss Jonathan		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜1限

・対象学科：口腔保健衛生学・看護学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	09:10-10:40	4番教室	Guidance	Course Introduction	Corliss Jonathan
2	4/24	09:10-10:40	4番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
3	5/8	09:10-10:40	4番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
4	5/15	09:10-10:40	4番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
5	5/22	09:10-10:40	4番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
6	5/29	09:10-10:40	4番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
7	6/5	09:10-10:40	4番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
8	6/12	09:10-10:40	4番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
9	6/19	09:10-10:40	4番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
10	6/26	09:10-10:40	4番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
11	7/3	09:10-10:40	4番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
12	7/10	09:10-10:40	4番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
13	7/17	09:10-10:40	4番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
14	7/24	09:10-10:40	4番教室	Topic 13	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
15	7/31	09:10-10:40	4番教室	Review	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：Participation：50% assignments and quizzes：25% final discussion test: 25%

再評価： 有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000070		
科目名	英語 a		
担当教員	JEANETTE DENNISSON		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜 2 限

・対象学科：口腔保健衛生学・看護学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:50-12:20	10 番教室	Introduction	Course website sign up	JEANETTE DENNISSON
2	4/24	10:50-12:20	10 番教室	Teacher lecture	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
3	5/8	10:50-12:20	10 番教室	Discussion forum	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
4	5/15	10:50-12:20	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON
5	5/22	10:50-12:20	10 番教室	Teacher lecture	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
6	5/29	10:50-12:20	10 番教室	Discussion forum	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
7	6/5	10:50-12:20	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON
8	6/12	10:50-12:20	10 番教室	Student Project	Project theme	JEANETTE DENNISSON
9	6/19	10:50-12:20	10 番教室	Student Project	Secondary literature reading/discussion	JEANETTE DENNISSON
10	6/26	10:50-12:20	10 番教室	Student Project	Data collection	JEANETTE DENNISSON
11	7/3	10:50-12:20	10 番教室	Student Project	Data collection	JEANETTE DENNISSON
12	7/10	10:50-12:20	10 番教室	Student Project	Data analysis	JEANETTE DENNISSON
13	7/17	10:50-12:20	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON
14	7/24	10:50-12:20	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON
15	7/31	10:50-12:20	10 番教	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DE

			室			NNISSON	

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14–15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：Participation: 25%　assignments: 25%　discussion tests: 50%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.
What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.

連絡先

JEANETTE　DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE　DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000071		
科目名	英語 a		
担当教員	Miya Marutsuka		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:50-12:20	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marutsuka
2	4/24	10:50-12:20	3 番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marutsuka
3	5/8	10:50-12:20	3 番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marutsuka
4	5/15	10:50-12:20	3 番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marutsuka
5	5/22	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
6	5/29	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
7	6/5	10:50-12:20	3 番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marutsuka
8	6/12	10:50-12:20	3 番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marutsuka
9	6/19	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
10	6/26	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
11	7/3	10:50-12:20	3 番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marutsuka
12	7/10	10:50-12:20	3 番教室	Topic 7	Discussion 7	Miya Marutsuka
13	7/17	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
14	7/24	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
15	7/31	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　Participation：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000072		
科目名	英語a		
担当教員	Miya Marutsuka		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	09:10-10:40	3番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marutsuka
2	4/18	09:10-10:40	3番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marutsuka
3	4/25	09:10-10:40	3番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marutsuka
4	5/9	09:10-10:40	3番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marutsuka
5	5/16	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
6	5/23	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
7	5/30	09:10-10:40	3番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marutsuka
8	6/6	09:10-10:40	3番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marutsuka
9	6/13	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
10	6/20	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
11	6/27	09:10-10:40	3番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marutsuka
12	7/4	09:10-10:40	3番教室	Topic 7	Discussion 7	Miya Marutsuka
13	7/11	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
14	7/18	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
15	7/25	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：　Participation：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価：　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000073		
科目名	英語 a		
担当教員	野口 大斗		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限

・対象学科：検査技術学・口腔保健工学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	10:50-12:20	5 番教室	Guidance	Course Introduction	野口 大斗
2	4/18	10:50-12:20	5 番教室	Topic 1	Discussion 1	野口 大斗
3	4/25	10:50-12:20	5 番教室	Topic 2	Discussion 2	野口 大斗
4	5/9	10:50-12:20	5 番教室	Topic 3	Discussion 3	野口 大斗
5	5/16	10:50-12:20	5 番教室	Topic 4	Discussion 4	野口 大斗
6	5/23	10:50-12:20	5 番教室	Topic 5	Discussion 5	野口 大斗
7	5/30	10:50-12:20	5 番教室	Topic 6	Discussion 6	野口 大斗
8	6/6	10:50-12:20	5 番教室	Topic 7	Discussion 7	野口 大斗
9	6/13	10:50-12:20	5 番教室	Topic 8	Discussion 8	野口 大斗
10	6/20	10:50-12:20	5 番教室	Topic 9	Discussion 9	野口 大斗
11	6/27	10:50-12:20	5 番教室	Topic 10	Discussion 10	野口 大斗
12	7/4	10:50-12:20	5 番教室	Topic 11	Discussion 11	野口 大斗
13	7/11	10:50-12:20	5 番教室	Topic 12	Discussion 12	野口 大斗
14	7/18	10:50-12:20	5 番教室	Pre-Test Preparation	Practice	野口 大斗
15	7/25	10:50-12:20	5 番教室	In-Class Exam	Discussion Test	野口 大斗

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価： participation：50%, discussion test：25%. quizzes/assignments: 25%

再評価： 有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000074		
科目名	英語 a		
担当教員	JEANETTE DENNISSON		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：口腔保健衛生学・看護学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	09:10-10:40	10 番教室	Introduction	Course website sign up	JEANETTE D ENNISSON
2	4/18	09:10-10:40	10 番教室	Teacher lecture	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE D ENNISSON
3	4/25	09:10-10:40	10 番教室	Discussion forum	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE D ENNISSON
4	5/9	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE D ENNISSON
5	5/16	09:10-10:40	10 番教室	Teacher lecture	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE D ENNISSON
6	5/23	09:10-10:40	10 番教室	Discussion forum	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE D ENNISSON
7	5/30	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE D ENNISSON
8	6/6	09:10-10:40	10 番教室	Student Project	Project theme	JEANETTE D ENNISSON
9	6/13	09:10-10:40	10 番教室	Student Project	Secondary literature reading/discussion	JEANETTE D ENNISSON
10	6/20	09:10-10:40	10 番教室	Student Project	Data collection	JEANETTE D ENNISSON
11	6/27	09:10-10:40	10 番教室	Student Project	Data collection	JEANETTE D ENNISSON
12	7/4	09:10-10:40	10 番教室	Student Project	Data analysis	JEANETTE D ENNISSON
13	7/11	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE D ENNISSON
14	7/18	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE D ENNISSON
15	7/25	09:10-10:40	10 番教	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE D

			室			ENNISSON	

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14–15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：Participation: 25%　assignments: 25%　discussion tests: 50%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.
What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.

連絡先

JEANETTE　DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE　DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000075		
科目名	英語a		
担当教員	LITTEN CHRISTOPHER T		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間:木曜1限

・対象:医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－1)

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	09:10-10:40	2番教室	Guidance	Course Introduction	LITTEN CHRISTOPHER T
2	4/18	09:10-10:40	2番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
3	4/25	09:10-10:40	2番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
4	5/9	09:10-10:40	2番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
5	5/16	09:10-10:40	2番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
6	5/23	09:10-10:40	2番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
7	5/30	09:10-10:40	2番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
8	6/6	09:10-10:40	2番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
9	6/13	09:10-10:40	2番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
10	6/20	09:10-10:40	2番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
11	6/27	09:10-10:40	2番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
12	7/4	09:10-10:40	2番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
13	7/11	09:10-10:40	2番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T

14	7/18	09:10-10:40	2 番教室	Topic 13	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	
15	7/25	09:10-10:40	2 番教室	Review	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation 50% assignments/quizzes 25% final discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000077		
科目名	英語 a		
担当教員	JEANETTE DENNISSON		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜 2 限

・対象学科：口腔保健衛生学・看護学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	10:50-12:20	10 番教室	Introduction	Course website sign up	JEANETTE DENNISSON
2	4/18	10:50-12:20	10 番教室	Teacher lecture	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
3	4/25	10:50-12:20	10 番教室	Discussion forum	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
4	5/9	10:50-12:20	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON
5	5/16	10:50-12:20	10 番教室	Teacher lecture	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
6	5/23	10:50-12:20	10 番教室	Discussion forum	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
7	5/30	10:50-12:20	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON
8	6/6	10:50-12:20	10 番教室	Student Project	Project theme	JEANETTE DENNISSON
9	6/13	10:50-12:20	10 番教室	Student Project	Secondary literature reading/discussion	JEANETTE DENNISSON
10	6/20	10:50-12:20	10 番教室	Student Project	Data collection	JEANETTE DENNISSON
11	6/27	10:50-12:20	10 番教室	Student Project	Data collection	JEANETTE DENNISSON
12	7/4	10:50-12:20	10 番教室	Student Project	Data analysis	JEANETTE DENNISSON
13	7/11	10:50-12:20	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON
14	7/18	10:50-12:20	10 番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON
15	7/25	10:50-12:20	10 番教	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DE

			室			NNISSON	

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14–15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：Participation: 25%　assignments: 25%　discussion tests: 50%

再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.
What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.

連絡先

JEANETTE　DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE　DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000078		
科目名	英語 a		
担当教員	Miya Marutsuka		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限

・対象学科：検査技術学・口腔保健工学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	10:50-12:20	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marutsuka
2	4/18	10:50-12:20	3 番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marutsuka
3	4/25	10:50-12:20	3 番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marutsuka
4	5/9	10:50-12:20	3 番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marutsuka
5	5/16	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
6	5/23	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
7	5/30	10:50-12:20	3 番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marutsuka
8	6/6	10:50-12:20	3 番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marutsuka
9	6/13	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
10	6/20	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
11	6/27	10:50-12:20	3 番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marutsuka
12	7/4	10:50-12:20	3 番教室	Topic 7	Discussion 7	Miya Marutsuka
13	7/11	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
14	7/18	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
15	7/25	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価： Participation：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価： 有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000080		
科目名	英語 a		
担当教員	Corliss Jonathan		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:50-12:20	4番教室	Guidance	Course Introduction	Corliss Jonathan
2	4/24	10:50-12:20	4番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
3	5/8	10:50-12:20	4番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
4	5/15	10:50-12:20	4番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
5	5/22	10:50-12:20	4番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
6	5/29	10:50-12:20	4番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
7	6/5	10:50-12:20	4番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
8	6/12	10:50-12:20	4番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
9	6/19	10:50-12:20	4番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
10	6/26	10:50-12:20	4番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
11	7/3	10:50-12:20	4番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
12	7/10	10:50-12:20	4番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
13	7/17	10:50-12:20	4番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
14	7/24	10:50-12:20	4番教室	Topic 13	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
15	7/31	10:50-12:20	4番教室	Review	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　Participation 50%　assignments/quizzes 25% final discussion test 25%

再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000076		
科目名	英語b		
担当教員	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間:木曜2限

・対象:医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.

The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.

授業の到達目標

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	10:50-12:20	9番教室	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
2	4/18	10:50-12:20	9番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
3	4/25	10:50-12:20	9番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
4	5/9	10:50-12:20	9番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
5	5/16	10:50-12:20	9番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
6	5/23	10:50-12:20	9番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
7	5/30	10:50-12:20	9番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
8	6/6	10:50-12:20	9番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
9	6/13	10:50-12:20	9番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
10	6/20	10:50-12:20	9番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
11	6/27	10:50-12:20	9番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
12	7/4	10:50-12:20	9番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
13	7/11	10:50-12:20	9番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
14	7/18	10:50-12:20	9番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTE

						N CHRISTOPHER T
15	7/25	10:50-12:20	9 番教室	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTE N CHRISTOPHER T

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000079		
科目名	英語b		
担当教員	PATRICK FOSS		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.

The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.

授業の到達目標

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:50-12:20	計算機実習室	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
2	4/24	10:50-12:20	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
3	5/8	10:50-12:20	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
4	5/15	10:50-12:20	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
5	5/22	10:50-12:20	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
6	5/29	10:50-12:20	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
7	6/5	10:50-12:20	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
8	6/12	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
9	6/19	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
10	6/26	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
11	7/3	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
12	7/10	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
13	7/17	10:50-12:20	計算機実習室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
14	7/24	10:50-12:20	計算機実習室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
15	7/31	10:50-12:20	計算機実習室	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000081		
科目名	英語ｂ		
担当教員	猪熊　恵子		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:50-12:20	2番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊　恵子
2	4/24	10:50-12:20	2番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
3	5/8	10:50-12:20	2番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
4	5/15	10:50-12:20	2番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
5	5/22	10:50-12:20	2番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
6	5/29	10:50-12:20	2番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
7	6/5	10:50-12:20	2番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
8	6/12	10:50-12:20	2番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
9	6/19	10:50-12:20	2番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
10	6/26	10:50-12:20	2番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
11	7/3	10:50-12:20	2番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
12	7/10	10:50-12:20	2番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
13	7/17	10:50-12:20	2番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
14	7/24	10:50-12:20	2番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊　恵子
15	7/31	10:50-12:20	2番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay :30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000082		
科目名	英語ｂ		
担当教員	畔柳　和代		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・限：水曜2限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:50-12:20	12 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳　和代
2	4/24	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
3	5/8	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
4	5/15	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
5	5/22	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
6	5/29	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
7	6/5	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
8	6/12	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
9	6/19	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
10	6/26	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
11	7/3	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
12	7/10	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
13	7/17	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
14	7/24	10:50-12:20	12 番教室	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
15	7/31	10:50-12:20	12 番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：class participation:25%, quizzes + in-class writing:40%, assignments:35%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語ｂ」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.

連絡先

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000083		
科目名	英語ｂ		
担当教員	畔柳　和代		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・限：水曜3限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	13:10-14:40	5 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳　和代
2	4/24	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
3	5/8	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
4	5/15	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
5	5/22	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
6	5/29	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
7	6/5	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
8	6/12	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
9	6/19	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
10	6/26	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
11	7/3	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
12	7/10	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
13	7/17	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
14	7/24	13:10-14:40	5 番教室	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
15	7/31	13:10-14:40	5 番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：class participation:25%, quizzes + in-class writing:40%, assignments:35%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語ｂ」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.

連絡先

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000084		
科目名	英語ｂ		
担当教員	猪熊　恵子		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	13:10-14:40	4番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊　恵子
2	4/24	13:10-14:40	4番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
3	5/8	13:10-14:40	4番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
4	5/15	13:10-14:40	4番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
5	5/22	13:10-14:40	4番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
6	5/29	13:10-14:40	4番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
7	6/5	13:10-14:40	4番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
8	6/12	13:10-14:40	4番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
9	6/19	13:10-14:40	4番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
10	6/26	13:10-14:40	4番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
11	7/3	13:10-14:40	4番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
12	7/10	13:10-14:40	4番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
13	7/17	13:10-14:40	4番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
14	7/24	13:10-14:40	4番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊　恵子
15	7/31	13:10-14:40	4番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000085		
科目名	英語ｂ		
担当教員	猪熊　恵子		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：　保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	09:10-10:40	11 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊　恵子
2	4/18	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
3	4/25	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
4	5/9	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
5	5/16	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
6	5/23	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
7	5/30	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
8	6/6	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
9	6/13	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
10	6/20	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
11	6/27	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
12	7/4	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
13	7/11	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
14	7/18	09:10-10:40	11 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊　恵子
15	7/25	09:10-10:40	11 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：class participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000086		
科目名	英語ｂ		
担当教員	畔柳　和代		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・限：木曜1限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	09:10-10:40	8番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳　和代
2	4/18	09:10-10:40	8番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
3	4/25	09:10-10:40	8番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
4	5/9	09:10-10:40	8番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
5	5/16	09:10-10:40	8番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
6	5/23	09:10-10:40	8番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
7	5/30	09:10-10:40	8番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
8	6/6	09:10-10:40	8番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
9	6/13	09:10-10:40	8番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
10	6/20	09:10-10:40	8番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
11	6/27	09:10-10:40	8番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
12	7/4	09:10-10:40	8番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
13	7/11	09:10-10:40	8番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
14	7/18	09:10-10:40	8番教室	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
15	7/25	09:10-10:40	8番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:35%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.

連絡先

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000087		
科目名	英語ｂ		
担当教員	畔柳　和代		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・限：木曜2限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	10:50-12:20	8 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳　和代
2	4/18	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
3	4/25	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
4	5/9	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
5	5/16	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
6	5/23	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
7	5/30	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
8	6/6	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
9	6/13	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
10	6/20	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
11	6/27	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
12	7/4	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
13	7/11	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
14	7/18	10:50-12:20	8 番教室	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
15	7/25	10:50-12:20	8 番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:35%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.

連絡先

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000088		
科目名	英語ｂ		
担当教員	猪熊　恵子		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	10:50-12:20	11 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊　恵子
2	4/18	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
3	4/25	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
4	5/9	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
5	5/16	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
6	5/23	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
7	5/30	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
8	6/6	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
9	6/13	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
10	6/20	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
11	6/27	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
12	7/4	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
13	7/11	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
14	7/18	10:50-12:20	11 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊　恵子
15	7/25	10:50-12:20	11 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：　class participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000089		
科目名	英語b		
担当教員	野口 大斗		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	09:10-10:40	5番教室	Guidance	Course Introduction	野口 大斗
2	4/18	09:10-10:40	5番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	野口 大斗
3	4/25	09:10-10:40	5番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	野口 大斗
4	5/9	09:10-10:40	5番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	野口 大斗
5	5/16	09:10-10:40	5番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	野口 大斗
6	5/23	09:10-10:40	5番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	野口 大斗
7	5/30	09:10-10:40	5番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	野口 大斗
8	6/6	09:10-10:40	5番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	野口 大斗
9	6/13	09:10-10:40	5番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	野口 大斗
10	6/20	09:10-10:40	5番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	野口 大斗
11	6/27	09:10-10:40	5番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	野口 大斗
12	7/4	09:10-10:40	5番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	野口 大斗
13	7/11	09:10-10:40	5番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	野口 大斗
14	7/18	09:10-10:40	5番教室	Reading Material 13	Reading and Writing Practice	野口 大斗
15	7/25	09:10-10:40	5番教室	Review	In-class Exam	野口 大斗

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：　Participation：30%　quizzes and in-class writing assignments：40%　end-of-term writing essay：30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000114		
科目名	英語b		
担当教員	PATRICK FOSS		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間:木曜1限

・対象:医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.

The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.

授業の到達目標

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	09:10-10:40	9番教室	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
2	4/18	09:10-10:40	9番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
3	4/25	09:10-10:40	9番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
4	5/9	09:10-10:40	9番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
5	5/16	09:10-10:40	9番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
6	5/23	09:10-10:40	9番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
7	5/30	09:10-10:40	9番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
8	6/6	09:10-10:40	9番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
9	6/13	09:10-10:40	9番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
10	6/20	09:10-10:40	9番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
11	6/27	09:10-10:40	9番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
12	7/4	09:10-10:40	9番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
13	7/11	09:10-10:40	9番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
14	7/18	09:10-10:40	9番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
15	7/25	09:10-10:40	9番教室	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000115		
科目名	英語ｂ		
担当教員	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜1限

・対象：口腔保健衛生学・看護学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.

The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.

授業の到達目標

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	09:10-10:40	計算機実習室	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
2	4/24	09:10-10:40	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
3	5/8	09:10-10:40	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
4	5/15	09:10-10:40	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
5	5/22	09:10-10:40	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
6	5/29	09:10-10:40	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
7	6/5	09:10-10:40	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
8	6/12	09:10-10:40	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
9	6/19	09:10-10:40	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
10	6/26	09:10-10:40	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
11	7/3	09:10-10:40	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
12	7/10	09:10-10:40	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
13	7/17	09:10-10:40	計算機実習室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
14	7/24	09:10-10:40	計算機実	Integrating	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Ree

			習室	Skills		d Jesse Ryan	
15	7/31	09:10-10:40	計算機実習室	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Ree d Jesse Ryan	

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000090		
科目名	英語ｃ		
担当教員	JEANETTE DENNISSON		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜1限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	09:10-10:40	10番教室	Introduction	Course website sign up	JEANETTE DENNISSON
2	10/9	09:10-10:40	10番教室	Teacher lecture	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
3	10/16	09:10-10:40	10番教室	Discussion forum	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
4	10/23	09:10-10:40	10番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON
5	10/30	09:10-10:40	10番教室	Teacher lecture	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
6	11/6	09:10-10:40	10番教室	Discussion forum	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
7	11/13	09:10-10:40	10番教室	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON
8	11/20	09:10-10:40	10番教室	Student Project	Project theme	JEANETTE DENNISSON
9	11/27	09:10-10:40	10番教室	Student Project	Secondary literature reading/discussion	JEANETTE DENNISSON
10	12/4	09:10-10:40	10番教室	Student Project	Data collection	JEANETTE DENNISSON
11	12/11	09:10-10:40	10番教室	Student Project	Data collection/Analysis	JEANETTE DENNISSON
12	12/18	09:10-10:40	10番教室	Presentation	Power Point Presentation	JEANETTE DENNISSON
13	1/8	09:10-10:40	10番教室	Presentation	Power Point Presentation	JEANETTE DENNISSON
14	1/15	09:10-10:40	10番教室	Presentation	Power Point Presentation	JEANETTE DENNISSON
15	1/22	09:10-10:40	10番教室	No Regular Class	Oral Test Week	JEANETTE DE

						NNISSON	

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–12: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 13–14: Review and/or Final Assessment

Week 15: Oral Test

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：Participation: 25%　assignments: 25%; discussion tests: 30%; final presentation: 20%

再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.
What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.

連絡先

JEANETTE　DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE　DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000091		
科目名	英語ｃ		
担当教員	LITTEN CHRISTOPHER T		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限

・対象：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	09:10-10:40	8番教室	Guidance	Course Introduction	LITTEN CHRISTOPHER T
2	10/10	09:10-10:40	8番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
3	10/17	09:10-10:40	8番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
4	10/24	09:10-10:40	8番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
5	10/31	09:10-10:40	8番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
6	11/7	09:10-10:40	8番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
7	11/14	09:10-10:40	8番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
8	11/21	09:10-10:40	8番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
9	11/28	09:10-10:40	8番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
10	12/5	09:10-10:40	8番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
11	12/12	09:10-10:40	8番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
12	12/19	09:10-10:40	8番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
13	1/9	09:10-10:40	8番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T

14	1/16	09:10-10:40	8 番教室	Review	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRIST OPHER T	
15	1/23	09:10-10:40	8 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	LITTEN CHRIST OPHER T	

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation 50% quizzes/assignments 25% speaking test 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000092		
科目名	英語ｃ		
担当教員	Miya Marutsuka		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜1限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	09:10-10:40	3番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marutsuka
2	10/9	09:10-10:40	3番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marutsuka
3	10/16	09:10-10:40	3番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marutsuka
4	10/23	09:10-10:40	3番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marutsuka
5	10/30	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
6	11/6	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
7	11/13	09:10-10:40	3番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marutsuka
8	11/20	09:10-10:40	3番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marutsuka
9	11/27	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
10	12/4	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
11	12/11	09:10-10:40	3番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marutsuka
12	12/18	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
13	1/8	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
14	1/15	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
15	1/22	09:10-10:40	3番教室	English Oral Test	Poster Presentation	Miya Marutsuka

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　Participation：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000093		
科目名	英語ｃ		
担当教員	Corliss Jonathan		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜1限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	09:10-10:40	4番教室	Guidance	Course Introduction	Corliss Jonathan
2	10/9	09:10-10:40	4番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
3	10/16	09:10-10:40	4番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
4	10/23	09:10-10:40	4番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
5	10/30	09:10-10:40	4番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
6	11/6	09:10-10:40	4番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
7	11/13	09:10-10:40	4番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
8	11/20	09:10-10:40	4番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
9	11/27	09:10-10:40	4番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
10	12/4	09:10-10:40	4番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
11	12/11	09:10-10:40	4番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
12	12/18	09:10-10:40	4番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
13	1/8	09:10-10:40	4番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
14	1/15	09:10-10:40	4番教室	Review	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
15	1/22	09:10-10:40	4番教室	English Oral Test	Poster Presentation	Corliss Jonathan

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　Participation 50%　assignments/quizzes 25% final discussion test 25%

再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000094		
科目名	英語ｃ		
担当教員	Miya Marutsuka		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	10:50-12:20	3番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marutsuka
2	10/9	10:50-12:20	3番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marutsuka
3	10/16	10:50-12:20	3番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marutsuka
4	10/23	10:50-12:20	3番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marutsuka
5	10/30	10:50-12:20	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
6	11/6	10:50-12:20	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
7	11/13	10:50-12:20	3番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marutsuka
8	11/20	10:50-12:20	3番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marutsuka
9	11/27	10:50-12:20	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
10	12/4	10:50-12:20	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
11	12/11	10:50-12:20	3番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marutsuka
12	12/18	10:50-12:20	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
13	1/8	10:50-12:20	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
14	1/15	10:50-12:20	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
15	1/22	10:50-12:20	3番教室	English Oral Test	Poster Presentation	Miya Marutsuka

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　Participation：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000095		
科目名	英語ｃ		
担当教員	Corliss Jonathan		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	10:50-12:20	4番教室	Guidance	Course Introduction	Corliss Jonathan
2	10/9	10:50-12:20	4番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
3	10/16	10:50-12:20	4番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
4	10/23	10:50-12:20	4番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
5	10/30	10:50-12:20	4番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
6	11/6	10:50-12:20	4番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
7	11/13	10:50-12:20	4番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
8	11/20	10:50-12:20	4番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
9	11/27	10:50-12:20	4番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
10	12/4	10:50-12:20	4番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
11	12/11	10:50-12:20	4番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
12	12/18	10:50-12:20	4番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
13	1/8	10:50-12:20	4番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
14	1/15	10:50-12:20	4番教室	Review	Listening and Speaking Activities	Corliss Jonathan
15	1/22	10:50-12:20	4番教室	English Oral Test	Poster Presentation	Corliss Jonathan

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　participation 50%　assignments/quizzes 25% final discussion test 25%

再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000096		
科目名	英語ｃ		
担当教員	Miya Marutsuka		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	09:10-10:40	3番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marutsuka
2	10/10	09:10-10:40	3番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marutsuka
3	10/17	09:10-10:40	3番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marutsuka
4	10/24	09:10-10:40	3番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marutsuka
5	10/31	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
6	11/7	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
7	11/14	09:10-10:40	3番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marutsuka
8	11/21	09:10-10:40	3番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marutsuka
9	11/28	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
10	12/5	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
11	12/12	09:10-10:40	3番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marutsuka
12	12/19	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
13	1/9	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
14	1/16	09:10-10:40	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
15	1/23	09:10-10:40	3番教室	English Oral Test	Poster Presentation	Miya Marutsuka

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　Participation：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000097		
科目名	英語ｃ		
担当教員	野口　大斗		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限

・対象学科：検査技術学・口腔保健工学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	10:50-12:20	2番教室	Guidance Course	Introduction	野口　大斗
2	10/10	10:50-12:20	2番教室	Topic 1	Presentation Practice 1	野口　大斗
3	10/17	10:50-12:20	2番教室	Topic 2	Presentation Practice 2	野口　大斗
4	10/24	10:50-12:20	2番教室	Topic 3	Presentation Practice 3	野口　大斗
5	10/31	10:50-12:20	2番教室	Topic 4	Presentation Practice 4	野口　大斗
6	11/7	10:50-12:20	2番教室	Topic 5	Presentation Practice 5	野口　大斗
7	11/14	10:50-12:20	2番教室	Topic 6	Presentation Practice 6	野口　大斗
8	11/21	10:50-12:20	2番教室	Topic 7	Presentation Practice 7	野口　大斗
9	11/28	10:50-12:20	2番教室	Topic 8	Presentation Practice 8	野口　大斗
10	12/5	10:50-12:20	2番教室	Topic 9	Presentation Practice 9	野口　大斗
11	12/12	10:50-12:20	2番教室	Topic 10	Presentation Practice 10	野口　大斗
12	12/19	10:50-12:20	2番教室	Topic 11	Presentation Practice 11	野口　大斗
13	1/9	10:50-12:20	2番教室	Topic 12	Presentation Practice 12	野口　大斗
14	1/16	10:50-12:20	2番教室	Pre-test Preparation	Presentation Practice 13	野口　大斗
15	1/23	10:50-12:20	2番教室	English Oral Test	Poster Presentation	野口　大斗

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：participation：50%　discussion test：25%　quizzes/assignments: 25%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000099		
科目名	英語ｃ		
担当教員	JEANETTE DENNISSON		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

To share opinions based on secondary and primary literature evidence

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	09:10-10:40	10番教室	Introduction		JEANETTE DENNISSON
2	10/10	09:10-10:40	10番教室	Teacher lecture	Secondary Litarature, Picking a theme	JEANETTE DENNISSON
3	10/17	09:10-10:40	10番教室	Student Forum	Presenting data	JEANETTE DENNISSON
4	10/24	09:10-10:40	10番教室	Teacher lecture	Data colleciton	JEANETTE DENNISSON
5	10/31	09:10-10:40	10番教室	Teacher lecture	Overview of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
6	11/7	09:10-10:40	10番教室	Student Forum	Overview of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
7	11/14	09:10-10:40	10番教室	Teacher lecture	Abstract of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
8	11/21	09:10-10:40	10番教室	Student Forum	Abstract of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
9	11/28	09:10-10:40	10番教室	Teacher lecture	Methods/Results of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
10	12/5	09:10-10:40	10番教室	Student Forum	Methods/Results of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
11	12/12	09:10-10:40	10番教室	Student Forum	Data colleciton	JEANETTE DENNISSON
12	12/19	09:10-10:40	10番教室	Discussion test	Small group discussions	JEANETTE DENNISSON
13	1/9	09:10-10:40	10番教室	Discussion test	Small group discussions	JEANETTE DENNISSON
14	1/16	09:10-10:40	10番教室	Discussion test	Small group discussions	JEANETTE DE

						NNISSON
15	1/23	09:10-10:40	10 番教室	No regular classes	Oral Test Week	JEANETTE DE NNISSON

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-12: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 13-14: Review and/or Final Assessment

Week 15: Oral Test

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:Participation: 30% assignments and quizzes: 25% discussion tests: 50%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.
What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.

連絡先

JEANETTE DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000100		
科目名	英語ｃ		
担当教員	Miya Marutsuka		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限

・対象学科：検査技術学・口腔保健工学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	10:50-12:20	3番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marutsuka
2	10/10	10:50-12:20	3番教室	Topic 1	Discussion	Miya Marutsuka
3	10/17	10:50-12:20	3番教室	Topic 2	Discussion	Miya Marutsuka
4	10/24	10:50-12:20	3番教室	Topic 3	Discussion	Miya Marutsuka
5	10/31	10:50-12:20	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
6	11/7	10:50-12:20	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
7	11/14	10:50-12:20	3番教室	Topic 4	Discussion	Miya Marutsuka
8	11/21	10:50-12:20	3番教室	Topic 5	Discussion	Miya Marutsuka
9	11/28	10:50-12:20	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
10	12/5	10:50-12:20	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
11	12/12	10:50-12:20	3番教室	Topic 6	Discussion	Miya Marutsuka
12	12/19	10:50-12:20	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
13	1/9	10:50-12:20	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
14	1/16	10:50-12:20	3番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
15	1/23	10:50-12:20	3番教室	English Oral Test	Poster Presentation	Miya Marutsuka

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価： Participation：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価： 有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000101		
科目名	英語ｃ		
担当教員	JEANETTE DENNISSON		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

To share opinions based on secondary and primary literature evidence

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	10:50-12:20	10番教室	Introduction		JEANETTE DENNISSON
2	10/10	10:50-12:20	10番教室	Teacher lecture	Secondary Litarature, Picking a theme	JEANETTE DENNISSON
3	10/17	10:50-12:20	10番教室	Student Forum	Presenting data	JEANETTE DENNISSON
4	10/24	10:50-12:20	10番教室	Teacher lecture	Data colleciton	JEANETTE DENNISSON
5	10/31	10:50-12:20	10番教室	Teacher lecture	Overview of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
6	11/7	10:50-12:20	10番教室	Student Forum	Overview of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
7	11/14	10:50-12:20	10番教室	Teacher lecture	Abstract of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
8	11/21	10:50-12:20	10番教室	Student Forum	Abstract of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
9	11/28	10:50-12:20	10番教室	Teacher lecture	Methods/Results of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
10	12/5	10:50-12:20	10番教室	Student Forum	Methods/Results of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
11	12/12	10:50-12:20	10番教室	Student Forum	Data colleciton	JEANETTE DENNISSON
12	12/19	10:50-12:20	10番教室	Discussion test	Small group discussions	JEANETTE DENNISSON
13	1/9	10:50-12:20	10番教室	Discussion test	Small group discussions	JEANETTE DENNISSON
14	1/16	10:50-12:20	10番教	Discussion test	Small group discussions	JEANETTE DE

			室			NNISSON
15	1/23	10:50-12:20	10 番教室	No regular classes	Oral Test Week	JEANETTE DE NNISSON

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-12: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 13-14: Review and/or Final Assessment

Week 15: Oral Test

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:Participation: 30% assignments and quizzes: 25% discussion tests: 50%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.
What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.

連絡先

JEANETTE DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000105		
科目名	英語ｃ		
担当教員	JEANETTE DENNISSON		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

To share opinions based on secondary and primary literature evidence

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	10:50-12:20	10番教室	Introduction		JEANETTE DENNISSON
2	10/9	10:50-12:20	10番教室	Teacher lecture	Secondary Litarature, Picking a theme	JEANETTE DENNISSON
3	10/16	10:50-12:20	10番教室	Student Forum	Presenting data	JEANETTE DENNISSON
4	10/23	10:50-12:20	10番教室	Teacher lecture	Data colleciton	JEANETTE DENNISSON
5	10/30	10:50-12:20	10番教室	Teacher lecture	Overview of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
6	11/6	10:50-12:20	10番教室	Student Forum	Overview of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
7	11/13	10:50-12:20	10番教室	Teacher lecture	Abstract of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
8	11/20	10:50-12:20	10番教室	Student Forum	Abstract of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
9	11/27	10:50-12:20	10番教室	Teacher lecture	Methods/Results of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
10	12/4	10:50-12:20	10番教室	Student Forum	Methods/Results of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
11	12/11	10:50-12:20	10番教室	Student Forum	Data colleciton	JEANETTE DENNISSON
12	12/18	10:50-12:20	10番教室	Discussion test	Small group discussions	JEANETTE DENNISSON
13	1/8	10:50-12:20	10番教室	Discussion test	Small group discussions	JEANETTE DENNISSON
14	1/15	10:50-12:20	10番教室	Discussion test	Small group discussions	JEANETTE DE

						NNISSON
15	1/22	10:50-12:20	10 番教室	No regular classes	Oral Test Week	JEANETTE DE NNISSON

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-12: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 13-14: Review and/or Final Assessment

Week 15: Oral Test

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:Participation: 30% assignments and quizzes: 25% discussion tests: 50%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.
What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.

連絡先

JEANETTE DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000116		
科目名	英語ｃ		
担当教員	Reed Jesse Ryan		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	10:50-12:20	6 番教室	Guidance	Course Introduction	Reed Jesse Ryan
2	10/9	10:50-12:20	6 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
3	10/16	10:50-12:20	6 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
4	10/23	10:50-12:20	6 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
5	10/30	10:50-12:20	6 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
6	11/6	10:50-12:20	6 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
7	11/13	10:50-12:20	6 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
8	11/20	10:50-12:20	6 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
9	11/27	10:50-12:20	6 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
10	12/4	10:50-12:20	6 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
11	12/11	10:50-12:20	6 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
12	12/18	10:50-12:20	6 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
13	1/8	10:50-12:20	6 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
14	1/15	10:50-12:20	6 番教室	Review	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
15	1/22	10:50-12:20	6 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	Reed Jesse Ryan

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　participation 40%　presentations 25% quizzes 10% final discussion test 25%

再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000098		
科目名	英語ｄ		
担当教員	PATRICK　FOSS		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限

・対象：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities.

The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.

授業の到達目標

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing.

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	09:10-10:40	計算機実習室	Orientation	Course Introduction	PATRICK　FOSS
2	10/10	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 1 Presentation 1	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
3	10/17	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 1 Presentation 1	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
4	10/24	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 1	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
5	10/31	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 1	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
6	11/7	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 1 Presentation 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
7	11/14	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 2 Presentation 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
8	11/21	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 2 Presentation 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
9	11/28	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 2 Presentation 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
10	12/5	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
11	12/12	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
12	12/19	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 2 Presentation 3	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
13	1/9	09:10-10:40	計算機実習室	Presentation 3	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
14	1/16	09:10-10:40	計算機実習室	Presentation 3	Reading/Writing/Presentation	PATRICK　FOSS

					Activities		
15	1/23	09:10-10:40	計算機実習室	Oral Test	Oral Test	PATRICK FOSS	

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 20% presentation assignments 30% written assignments 50%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000102		
科目名	英語 d		
担当教員	PATRICK FOSS		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限

・対象：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities.

The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.

授業の到達目標

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing.

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	10:50-12:20	計算機実習室	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
2	10/10	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 1 Presentation 1	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
3	10/17	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 1 Presentation 1	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
4	10/24	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 1	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
5	10/31	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 1	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
6	11/7	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 1 Presentation 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
7	11/14	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 2 Presentation 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
8	11/21	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 2 Presentation 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
9	11/28	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 2 Presentation 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
10	12/5	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
11	12/12	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
12	12/19	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 2 Presentation 3	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
13	1/9	10:50-12:20	計算機実習室	Presentation 3	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T

14	1/16	10:50-12:20	計算機実習室	Presentation 3	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
15	1/23	10:50-12:20	計算機実習室	Oral Test	Oral Test	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 20% presentation assignments 30% written assignments 50%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000103		
科目名	英語 d		
担当教員	PATRICK FOSS		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities.

The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.

授業の到達目標

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing.

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	10:50-12:20	計算機実習室	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS
2	10/9	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 1 Presentation 1	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
3	10/16	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 1 Presentation 1	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
4	10/23	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 1	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
5	10/30	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 1	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
6	11/6	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 1 Presentation 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
7	11/13	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 2 Presentation 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
8	11/20	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 2 Presentation 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
9	11/27	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 2 Presentation 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
10	12/4	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
11	12/11	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
12	12/18	10:50-12:20	計算機実習室	Essay 2 Presentation 3	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
13	1/8	10:50-12:20	計算機実習室	Presentation 3	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS

14	1/15	10:50-12:20	計算機実習室	Presentation 3	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS	
15	1/22	10:50-12:20	計算機実習室	Oral Test	Oral Test	PATRICK FOSS	

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 20% presentation assignments 30% written assignments 50%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000104		
科目名	英語 d		
担当教員	畔柳 和代		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・限：水曜2限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	10:50-12:20		Guidance	Course Introduction	畔柳 和代
2	10/9	10:50-12:20		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
3	10/16	10:50-12:20		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
4	10/23	10:50-12:20		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
5	10/30	10:50-12:20		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
6	11/6	10:50-12:20		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
7	11/13	10:50-12:20		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
8	11/20	10:50-12:20		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
9	11/27	10:50-12:20		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
10	12/4	10:50-12:20		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
11	12/11	10:50-12:20		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
12	12/18	10:50-12:20		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
13	1/8	10:50-12:20		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
14	1/15	10:50-12:20		Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
15	1/22	10:50-12:20		Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments: 35%

再評価：有 （再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.

連絡先

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000106		
科目名	英語 d		
担当教員	猪熊　恵子		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	13:10-14:40	4 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊　恵子
2	10/9	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
3	10/16	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
4	10/23	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
5	10/30	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
6	11/6	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
7	11/13	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
8	11/20	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
9	11/27	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
10	12/4	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
11	12/11	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
12	12/18	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
13	1/8	13:10-14:40	4 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊　恵子
14	1/15	13:10-14:40	4 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊　恵子
15	1/22	13:10-14:40	4 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時

木曜日　12時30分～13時20分

管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000107		
科目名	英語 d		
担当教員	猪熊　恵子		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	10:50-12:20	2 番教室	Guidance	Course Instruction	猪熊　恵子
2	10/9	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
3	10/16	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
4	10/23	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
5	10/30	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
6	11/6	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
7	11/13	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
8	11/20	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
9	11/27	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
10	12/4	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
11	12/11	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
12	12/18	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
13	1/8	10:50-12:20	2 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊　恵子
14	1/15	10:50-12:20	2 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊　恵子
15	1/22	10:50-12:20	2 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時

木曜日　　12時30分～13時20分

管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000108		
科目名	英語 d		
担当教員	畔柳 和代		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・限：水曜3限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	13:10-14:40	3 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代
2	10/9	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
3	10/16	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
4	10/23	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
5	10/30	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
6	11/6	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
7	11/13	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
8	11/20	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
9	11/27	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
10	12/4	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
11	12/11	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
12	12/18	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
13	1/8	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
14	1/15	13:10-14:40	3 番教室	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
15	1/22	13:10-14:40	3 番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:35%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test

の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.

連絡先

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000109		
科目名	英語 d		
担当教員	猪熊　恵子		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：　保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	09:10-10:40	5 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊　恵子
2	10/10	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
3	10/17	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
4	10/24	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
5	10/31	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
6	11/7	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
7	11/14	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
8	11/21	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
9	11/28	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
10	12/5	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
11	12/12	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
12	12/19	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
13	1/9	09:10-10:40	5 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊　恵子
14	1/16	09:10-10:40	5 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊　恵子
15	1/23	09:10-10:40	5 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：class participation:30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000110		
科目名	英語 d		
担当教員	畔柳 和代		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・限：木曜1限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	09:10-10:40	11 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代
2	10/10	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
3	10/17	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
4	10/24	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
5	10/31	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
6	11/7	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
7	11/14	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
8	11/21	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
9	11/28	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
10	12/5	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
11	12/12	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
12	12/19	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
13	1/9	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
14	1/16	09:10-10:40	11 番教室	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
15	1/23	09:10-10:40	11 番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:35%

再評価：有 （再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test

の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000111		
科目名	英語 d		
担当教員	畔柳 和代		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・限：木曜2限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	10:50-12:20	11 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代
2	10/10	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
3	10/17	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
4	10/24	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
5	10/31	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
6	11/7	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
7	11/14	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
8	11/21	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
9	11/28	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
10	12/5	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
11	12/12	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
12	12/19	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
13	1/9	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
14	1/16	10:50-12:20	11 番教室	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
15	1/23	10:50-12:20	11 番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:35%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test

の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000112		
科目名	英語 d		
担当教員	猪熊　恵子		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	10:50-12:20	5 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊　恵子
2	10/10	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
3	10/17	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
4	10/24	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
5	10/31	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
6	11/7	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
7	11/14	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
8	11/21	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
9	11/28	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
10	12/5	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
11	12/12	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
12	12/19	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
13	1/9	10:50-12:20	5 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊　恵子
14	1/16	10:50-12:20	5 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊　恵子
15	1/23	10:50-12:20	5 番教室	English Oral Exam	Poster Presentation	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：class participation:30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000113		
科目名	英語ｄ		
担当教員	野口　大斗		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	09:10-10:40	2番教室	Guidance	Course Introduction	野口　大斗
2	10/10	09:10-10:40	2番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	野口　大斗
3	10/17	09:10-10:40	2番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	野口　大斗
4	10/24	09:10-10:40	2番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	野口　大斗
5	10/31	09:10-10:40	2番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	野口　大斗
6	11/7	09:10-10:40	2番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	野口　大斗
7	11/14	09:10-10:40	2番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	野口　大斗
8	11/21	09:10-10:40	2番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	野口　大斗
9	11/28	09:10-10:40	2番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	野口　大斗
10	12/5	09:10-10:40	2番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	野口　大斗
11	12/12	09:10-10:40	2番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	野口　大斗
12	12/19	09:10-10:40	2番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	野口　大斗
13	1/9	09:10-10:40	2番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	野口　大斗
14	1/16	09:10-10:40	2番教室	Review	In-class Exam	野口　大斗
15	1/23	09:10-10:40	2番教室	English Oral Test	Poster Presentation	野口　大斗

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　participation: 30%　in-class writing assignments and quizzes：40%　end-of-term essay：30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000117		
科目名	英語 d		
担当教員	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜1限

・対象：口腔保健衛生学・看護学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities.

The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.

授業の到達目標

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing.

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	09:10-10:40	計算機実習室	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
2	10/9	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 1 Presentation 1	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
3	10/16	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 1 Presentation 1	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
4	10/23	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 1	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
5	10/30	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 1	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
6	11/6	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 1 Presentation 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
7	11/13	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 2 Presentation 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
8	11/20	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 2 Presentation 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
9	11/27	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 2 Presentation 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
10	12/4	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
11	12/11	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 2	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
12	12/18	09:10-10:40	計算機実習室	Essay 2 Presentation 3	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
13	1/8	09:10-10:40	計算機実習室	Presentation 3	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan

14	1/15	09:10-10:40	計算機実習室	Presentation 3	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan	
15	1/22	09:10-10:40	計算機実習室	Oral Test	Oral Test	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan	

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 20% presentation assignments 30% written assignments 50%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000158		
科目名	日本語 a		
担当教員	今村　圭介		
開講時期	前期	対象年次	1

主な講義場所

12 番教室

授業の目的、概要等

日本語で書かれた様々なジャンル・スタイルの本を読み、議論することで、日本の文化・社会について理解を深めるとともに、読解力の向上を目指す。

また、口頭及び小論文演習を通じて日本語で論理的な表現力の獲得を目指す。

授業の到達目標

東京医科歯科大学での 4/6 年間の勉学に必要な読解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	14:50-16:20	12 番教室	今村　圭介
2	4/22	14:50-16:20	12 番教室	今村　圭介
3	5/6	14:50-16:20	12 番教室	今村　圭介
4	5/13	14:50-16:20	12 番教室	今村　圭介
5	5/20	14:50-16:20	12 番教室	今村　圭介
6	5/27	14:50-16:20	12 番教室	今村　圭介
7	6/3	14:50-16:20	12 番教室	今村　圭介
8	6/10	14:50-16:20	12 番教室	今村　圭介
9	6/17	14:50-16:20	12 番教室	今村　圭介
10	6/24	14:50-16:20	12 番教室	今村　圭介
11	7/1	14:50-16:20	12 番教室	今村　圭介
12	7/8	14:50-16:20	12 番教室	今村　圭介
13	7/15	14:50-16:20	12 番教室	今村　圭介
14	7/22	14:50-16:20	12 番教室	今村　圭介
15	7/29	14:50-16:20	12 番教室	今村　圭介

授業方法

講義、読解、ディスカッション、発表

授業内容

初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。

成績評価の方法

授業参加度　40%　課題　60%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出することとする。

試験の受験資格

期末試験を実施しない。

他科目との関連

日本語は a/b/c/d/の総合点で 4 単位まとめて評価する。

連絡先

Imamura.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日　PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000159		
科目名	日本語 b		
担当教員	今村　圭介		
開講時期	前期	対象年次	1

主な講義場所

12 番教室

授業の目的、概要等

現代日本社会や文化に関するビデオを見ながら、ディスカッションを行うことで、日本・自国を中心に文化・社会について理解を深めるとともに、聴解力の向上を目指す。

また、小論文演習およびプレゼンテーションを通じて日本語で論理的な表現力の獲得を目指す。

授業の到達目標

東京医科歯科大における 4/6 年間の勉学に必要な聴解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/17	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
2	4/24	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
3	5/8	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
4	5/15	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
5	5/22	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
6	5/29	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
7	6/5	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
8	6/12	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
9	6/19	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
10	6/26	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
11	7/3	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
12	7/10	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
13	7/17	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
14	7/24	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
15	7/31	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介

授業方法

ビデオ（聴解）、ディスカッション、発表

授業内容

初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。

成績評価の方法

授業参加度　40%　課題　60%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出することとする。

試験の受験資格

期末試験を実施しない。

他科目との関連

日本語は a/b/c/d/の総合点で 4 単位まとめて評価する。

連絡先

Imamura.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日　PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000160		
科目名	日本語 c		
担当教員	今村 圭介		
開講時期	後期	対象年次	1

主な講義場所

12 番教室

授業の目的、概要等

日本語で書かれた様々なジャンル・スタイルの本を読み、議論することで、日本の文化・社会について理解を深めるとともに、読解力の向上を目指す。

また、口頭及び小論文演習を通じて日本語で論理的な表現力の獲得を目指す。

授業の到達目標

東京医科歯科大学における 4/6 年間の勉学に必要な読解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
2	10/7	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
3	10/21	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
4	10/28	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
5	11/11	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
6	11/18	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
7	11/25	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
8	12/2	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
9	12/9	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
10	12/16	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
11	12/23	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
12	1/6	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
13	1/20	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
14	1/27	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
15	2/3	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介

授業方法

講義、読解、ディスカッション、発表

授業内容

初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。

成績評価の方法

授業参加度 40% 課題 60%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出することとする。

試験の受験資格

期末試験を実施しない。

他科目との関連

日本語は a/b/c/d/の総合点で 4 単位まとめて評価する。

連絡先

Imamura.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000161		
科目名	日本語 d		
担当教員	今村　圭介		
開講時期	後期	対象年次	1

主な講義場所

12 番教室

授業の目的、概要等

現代社会や文化に関するビデオを見ながら、ディスカッションを行うことで、日本・自国を中心に文化・社会について理解を深めるとともに、聴解力の向上を目指す。

また、小論文演習およびプレゼンテーションを通じて日本語で論理的な表現力の獲得を目指す。

授業の到達目標

東京医科歯科大学における 4/6 年間の勉学に必要な聴解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/2	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
2	10/9	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
3	10/16	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
4	10/23	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
5	10/30	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
6	11/6	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
7	11/13	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
8	11/20	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
9	11/27	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
10	12/4	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
11	12/11	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
12	12/18	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
13	1/8	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
14	1/15	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介
15	1/22	13:10-14:40	12 番教室	今村　圭介

授業方法

ビデオ（聴解）、ディスカッション、発表

授業内容

初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。

成績評価の方法

授業参加度　40%　課題　60%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出することとする。

試験の受験資格

期末試験を実施しない。

他科目との関連

日本語は a/b/c/d/の総合点で 4 単位まとめて評価する。

連絡先

Imamura.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日　PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000163		
科目名	ドイツ語 a		
担当教員	SCHINZINGER EMI		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間: 月曜3限

・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4)外国文化を理解する

主な講義場所

国府台、教養部

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

授業の到達目標

1)ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2)ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/15	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a1	オリエンテーション;アルファベットと発音とあいさつ1:プリント、教科書 3～6 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書を持ってくること。辞書は授業中に説明を受けてから購入してもよい。授業内容の進め方は大まかなもので、クラスごとに進度が異なることもあると理解すること。
2	4/22	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a2	発音とあいさつ 2; プリント、教科書 3～7 ページ。第 1 課前半:9～10 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。
3	5/6	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a3	第 1 課; 12～14 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
4	5/13	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a4	第 1 課; 15 ページと第 2 課 17～21 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
5	5/20	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a5	第 2 課後半。22～23 ページ。家族についてのプリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定さ

							れたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
6	5/27	13:10-14:40	5番教室	ドイツ語a6	第3課前半。26～29ページ。家族についてのプリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
7	6/3	13:10-14:40	5番教室	ドイツ語a7	第3課後半。30～31ページ。趣味についてのプリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
8	6/10	13:10-14:40	5番教室	ドイツ語a8	第3課後半と第4課。34～36ページ。趣味についてのプリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
9	6/17	13:10-14:40	5番教室	ドイツ語a9	第4課。37～38ページ。と「趣味」のプリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
10	6/24	13:10-14:40	5番教室	ドイツ語a10	第4課;39ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
11	7/1	13:10-14:40	5番教室	ドイツ語a11	第5課前半。41～44ページ。食べ物、飲み物のプリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
12	7/8	13:10-14:40	5番教室	ドイツ語a12	第5課。45～46ページ。食べ物飲み物のプリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に

							持ってくる。
13	7/15	13:10-14:40	5番教室	ドイツ語a13	第5課。47ページ。プリント。様々な質問。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
14	7/22	13:10-14:40	5番教室	ドイツ語a14	第1課から第5課までと様々なプリントの復習。 面接試験の練習。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。次回に向けて:試験勉強:今まで学んだところを復習しておく。
15	7/29	13:10-14:40	5番教室	ドイツ語a15	ドイツ語a,b 筆記試験	SCHINZINGER EMI	遅刻、欠席をしないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の Lektion 5までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席

教科書

グーテ・ライゼ! = Gute Reise!／伊藤直子, クリスタ柴田, 末松淑美, 山川和彦 編著,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

これらは授業中に配布しますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934-,恒吉, 良隆, 1938-,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936-,新保, 弼彬,本田, 義昭,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944-,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の1回目の授業で説明します。

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯、スマートフォンに入っているフリーの辞書アプリは

使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で4単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上の授業を履修していないと試験を受けられません。 授業に積極的に参加し、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16:30－18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000164		
科目名	ドイツ語 a		
担当教員	上田　知夫		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/17	10:50–12:20	8 番教室	ドイツ語 a1	オリエンテーション：アルファベットと発音とあいさつ1。プリント；教科書 3～6 ページ。	上田　知夫	教科書は購入して持ってくること。辞書は授業中に説明があった後購入してもよい。授業内容の進み方は大まかなもので、クラスによって異なることがあると理解すること。
2	4/24	10:50–12:20	8 番教室	ドイツ語 a2	発音とあいさつ2；プリント；教科書 3～8 ページ。第1課前半：9～10 ページ。	上田　知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。
3	5/8	10:50–12:20	8 番教室	ドイツ語 a3	第1課前半。11～14 ページ。	上田　知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。
4	5/15	10:50–12:20	8 番教室	ドイツ語 a4	第1課。14～15 ページ。	上田　知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
5	5/22	10:50–12:20	8 番教室	ドイツ語 a5	第 2 課前半。17～21 ページ。	上田　知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。

6	5/29	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a6	第 2 課。22～23 ページ。家族のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
7	6/5	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a7	第 3 課前半。26～29 ページ。家族のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
8	6/12	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a8	第 3 課。30～31 ページ。家族のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
9	6/19	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a9	第 3 課と第 4 課前半。34～36 ページ。趣味のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
10	6/26	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a10	第 4 課。37～38 ページ。趣味についてのプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
11	7/3	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a11	第 4 課 39 ページと第 5 課前半:41～43 ページ。食べ物飲み物のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
12	7/10	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a12	第 5 課。44～46 ページ。食べ物飲み物のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
13	7/17	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a13	第 5 課。47 ページ。今まで習った様々な質問の練習。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
14	7/24	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a14	今まで学んだことの復習。様々なプリントを使って面接試験の練習。	上田 知夫	筆記試験は7月 29 日に全クラス合同で、面接試験は7月 31 日に行います。遅刻・欠席しないこと。

15	7/31	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a15	面接試験。	上田 知夫	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の Lektion 5 までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

グーテ・ライゼ! = Gute Reise!／伊藤直子, クリスタ柴田, 末松淑美, 山川和彦 編著,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

これらは授業中に配られますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934-,恒吉, 良隆, 1938-,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936-,新保, 弼彬,本田, 義昭,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944-,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

備考

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。

原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000165		
科目名	ドイツ語 a		
担当教員	SCHINZINGER EMI		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間: 月曜4限

・対象学科: 医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4)外国文化を理解する

主な講義場所

国府台、教養部

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

授業の到達目標

1)ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2)ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/15	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a1	オリエンテーション: アルファベットと発音とあいさつ 1。プリント; 教科書 3～6 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書を購入して持ってくること。辞書は授業中に説明を受けてからでよい。授業内容の進み方は大まかなもので、クラスによって進度が異なることがあると理解すること。
2	4/22	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a2	発音とあいさつ2。プリント; 教科書 3～8 ページ。第 1 課: 9～10 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。
3	5/6	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a3	第 1 課。11～14 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
4	5/13	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a4	第 1 課後半: 14～15 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
5	5/20	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a5	第 2 課前半。17～21 ページ。「家	SCHINZING	教科書と独和辞

					族について」のプリント。	ER EMI	典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
6	5/27	14:50-16:20	5番教室	ドイツ語a6	第2課。22～23ページ。「家族」のプリント。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
7	6/3	14:50-16:20	5番教室	ドイツ語a7	第2課復習と第3課前半:26～29ページ。「趣味」のプリント。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
8	6/10	14:50-16:20	5番教室	ドイツ語a8	第3課。30～31ページ。「趣味」のプリント。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
9	6/17	14:50-16:20	5番教室	ドイツ語a9	第4課前半。34～36ページ。「趣味」のプリント。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
10	6/24	14:50-16:20	5番教室	ドイツ語a10	第4課。37～38ページ	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
11	7/1	14:50-16:20	5番教室	ドイツ語a11	第4課39ページと第5課前半。41～43ページ。「食べ物飲み物」のプリント。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
12	7/8	14:50-16:20	5番教室	ドイツ語a12	第5課。44～46ページ。「食べ物飲み物」のプリント。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも

							教科書と一緒に持ってくること。
13	7/15	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a13	第5課。46～47 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
14	7/22	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a14	第 1 課から第 5 課とこれまで学んだことの復習。様々なプリントを使って面接試験の練習。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典は必携。試験準備:今まで学んだところを復習しておく。
15	7/29	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a15	筆記試験	SCHINZINGER EMI	全クラス共通でドイツ語 a,b,の筆記試験を行う。 遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の Lektion 5 までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

グーテ・ライゼ! = Gute Reise!／伊藤直子, クリスタ柴田, 末松淑美, 山川和彦 編著,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934-,恒吉, 良隆, 1938-,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936-,新保, 弼彬,本田, 義昭,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944-,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則3分の2以上授業を履修しないと試験を受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。
連絡先 schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30－18:00 管理研究棟3階研究室

時間割番号	000166		
科目名	ドイツ語 a		
担当教員	上田　知夫		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながら、ドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/17	13:10−14:40	3 番教室	ドイツ語 a1	オリエンテーション：アルファベットと発音とあいさつ1。プリント；教科書 3〜6 ページ。	上田　知夫	教科書を購入して持ってくること。辞書は授業中の説明を受けてからでよい。授業内容の進め方は大まかなもので、クラスによって進度が異なることがあると理解すること。
2	4/24	13:10−14:40	3 番教室	ドイツ語 a2	アルファベットと発音とあいさつ 2。プリント；教科書 3〜8 ページ；第 1 課前半。9〜10 ページ。	上田　知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。
3	5/8	13:10−14:40	3 番教室	ドイツ語 a3	第 1 課前半。11〜14 ページ。	上田　知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。
4	5/15	13:10−14:40	3 番教室	ドイツ語 a4	第 1 課。14〜15 ページ。	上田　知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。
5	5/22	13:10−14:40	3 番教室	ドイツ語 a5	第 2 課前半。17〜21 ページ。「家族」のプリント。	上田　知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
6	5/29	13:10−14:40	3 番教室	ドイツ語 a6	第 2 課。22〜23 ページ。「家族」のプリント。	上田　知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習して

							くること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
7	6/5	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a7	第 3 課前半。26～29 ページ。「家族」のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
8	6/12	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a8	第 3 課。30～31 ページ。「趣味」のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
9	6/19	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a9	第 3 課と第 4 課前半。34～36 ページ。「趣味」のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
10	6/26	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a10	第 4 課。37～38 ページ。「趣味」のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
11	7/3	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a11	第 4 課 39 ページと第 5 課前半。41～43 ページ。「食べ物、飲み物」のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
12	7/10	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a12	第 5 課。44～46 ページ。「食べ物、飲み物」のプリント	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
13	7/17	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a13	第 5 課。47 ページ。今までに習った様々な質問の練習。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。

14	7/24	13:10–14:40	3 番教室	ドイツ語 a14	ここまで学んだことの復習。面接試験の練習。	上田 知夫	筆記試験は 7 月 29 日に全クラス共通で行われる。面接試験は 7 月 31 日に行われる。
15	7/31	13:10–14:40	3 番教室	ドイツ語 a15	面接試験	上田 知夫	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の Lektion 5 までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

グーテ・ライゼ! = Gute Reise!／伊藤直子, クリスタ柴田, 末松淑美, 山川和彦 編著,：郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

これらは授業中に配られますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934–,恒吉, 良隆, 1938–,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936–,新保, 弼彬,本田, 義昭,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898–1988,山本, 明, 1928–,南原, 実, 1930–2013,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944–,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000170		
科目名	ドイツ語 a		
担当教員	SCHINZINGER EMI		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

国府台、教養部

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながら、ドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/17	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a1	オリエンテーション：アルファベットと発音とあいさつ1。プリント；教科書 3～6 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書を持ってくること。辞書は授業中に説明を受けてから購入したので良い。授業内容の進め方は大まかなもので、クラスごとに進度が異なることもあると理解すること。
2	4/24	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a2	発音とあいさつ2。プリント；教科書 3～8 ページ；第 1 課前半。9～10 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	5/8	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a3	第 1 課前半。11～14 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	5/15	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a4	第 1 課。14～15 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	5/22	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a5	第 2 課前半。17～21 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習して

							くること。
6	5/29	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語a6	第2課。22～23ページ。「家族」のプリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
7	6/5	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語a7	第3課前半。26～29ページ。「家族」のプリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
8	6/12	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語a8	第3課。30～31ページ。「家族」のプリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
9	6/19	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語a9	第3課と第4課の前半。34～36ページ。「趣味」のプリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
10	6/26	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語a10	第4課。37～38ページ。「趣味」のプリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
11	7/3	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語a11	第4課と第5課の前半。39～43ページ。「食べ物、飲み物」のプリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
12	7/10	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語a12	第5課。44～46ページ。「食べ物飲み物」のプリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習して

							くること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
13	7/17	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語a13	第5課。47ページ。様々な質問。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
14	7/24	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語a14	今まで学んできたことの復習。様々なプリントを使って面接試験の練習。	SCHINZINGER EMI	筆記試験は7月29日に全クラス合同で、面接試験は7月31日に行われます。遅刻・欠席しないこと。
15	7/31	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語a15	面接試験	SCHINZINGER EMI	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の Lektion 5 までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席

教科書

グーテ・ライゼ! = Gute Reise!/伊藤直子, クリスタ柴田, 末松淑美, 山川和彦 編著,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので、注意してください。

参考書

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934-,恒吉, 良隆, 1938-,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936-,新保, 弼彬,本田, 義昭,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編,在間, 進, 1944-,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。
連絡先 schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30－18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000173		
科目名	ドイツ語 a		
担当教員	SCHINZINGER EMI		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

国府台、教養部

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながら、ドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/17	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a1	オリエンテーション：アルファベットと発音とあいさつ1。プリント；教科書 3～6 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書は購入して持ってくること。辞書は授業中に説明があった後購入してもよい。授業内容の進み方は大まかなもので、クラスごとに進度が異なることもあると理解すること。
2	4/24	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a2	発音とあいさつ2。プリント；教科書 3～8 ページ；第 1 課前半。9～10 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	5/8	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a3	教科書第 1 課前半。11～14 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	5/15	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a4	第 1 課。14～15 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	5/22	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a5	第 2 課前半。17～21 ページ。	SCHINZING	教科書と独和辞

						ER EMI	典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
6	5/29	13:10-14:40	7番教室	ドイツ語a6	第2課。22～23ページ。「家族」のプリント。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
7	6/5	13:10-14:40	7番教室	ドイツ語a7	第3課前半。26～29ページ。「家族」のプリント。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
8	6/12	13:10-14:40	7番教室	ドイツ語a8	第3課. 30～31ページ。「家族」「趣味」のプリント。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
9	6/19	13:10-14:40	7番教室	ドイツ語a9	第3課と第4課の前半。34～36ページ。「趣味」のプリント。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
10	6/26	13:10-14:40	7番教室	ドイツ語a10	第4課. 37～38ページ。「趣味」のプリント。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
11	7/3	13:10-14:40	7番教室	ドイツ語a11	第4課と第5課の前半。39～43ページ。「食べ物飲み物」のプリント。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
12	7/10	13:10-14:40	7番教室	ドイツ語a12	第5課。44～46ページ。「食べ物	SCHINZING	教科書と独和辞

					飲み物」のプリント。	ER EMI	典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
13	7/17	13:10-14:40	7番教室	ドイツ語a13	第5課。47ージ。今まで習った様々な質問。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
14	7/24	13:10-14:40	7番教室	ドイツ語a14	今まで学んだことの復習。プリントなどを使って面接試験の練習。	SCHINZING ER EMI	筆記試験は7月29日に全クラス共通で、面接試験は7月31日に行われます。遅刻・欠席しないこと。
15	7/31	13:10-14:40	7番教室	ドイツ語a15	面接試験	SCHINZING ER EMI	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の Lektion 5 までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席

教科書

グーテ・ライゼ! = Gute Reise!/伊藤直子, クリスタ柴田, 末松淑美, 山川和彦 編著,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので、注意してください。

参考書

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934-,恒吉, 良隆, 1938-,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936-,新保, 弼彬,本田, 義昭,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編,在間, 進, 1944-,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16:30 − 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000167		
科目名	ドイツ語ｂ		
担当教員	立川 睦美		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜3限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語ｂ は、発音から始まり、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、不規則動詞、冠詞類と人称代名詞、前置詞と名詞の格変化まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/15	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b1	オリエンテーション：アルファベットと発音1。教科書第 1 課。7～9 ページ	立川 睦美	教科書は購入しておくこと。辞書は授業中に説明があった後に購入したので良い。授業内容の進め方は大まかなもので、クラスによって進度が異なることがあると理解すること。
2	4/22	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b2	発音 2。動詞の現在人称変化1、動詞の位置。第 2 課 10～11 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題を積極的にやること。
3	5/6	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b3	動詞の現在人称変化 2、sein/haben の現在人称変化。第 2 課 11～13 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られる。練習問題を積極的にやること。
4	5/13	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b4	第 2 課の復習。名詞の性と格；第 3 課 14～15 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。

5	5/20	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b5	名詞の性と格と複数 2；第 3 課 15～17 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
6	5/27	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b6	第 3 課の復習。変音する動詞の現在人称変化。第 6 課 26 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
7	6/3	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b7	変音する動詞の人称変化。命令形。第 6 課 26～27 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
8	6/10	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b8	不規則動詞・命令形2；第 6 課 26～29 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
9	6/17	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b9	定冠詞類。第 4 課 18 ページと 20 ページ前半。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
10	6/24	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b10	不定冠詞類。第 4 課 19～21 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
11	7/1	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b11	人称代名詞。第 5 課 22～25 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
12	7/8	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b12	前置詞の格支配1。第 7 課 30～31 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
13	7/15	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b13	前置詞の格支配2。第 7 課 30～33 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的に

							やること。
14	7/22	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b14	第 7 課続き；34～35 ページ；第 1 課から第 7 課までの復習と練習。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
15	7/29	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b15	ドイツ語 a,b,筆記試験。	立川 睦美	遅刻・欠席をしないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、文法を学ぶために授業中に様々な応用練習をします。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平・山崎泰孝：白水社, 2019

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934–,恒吉, 良隆, 1938–,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936–,新保, 弼彬,本田, 義昭,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898–1988,山本, 明, 1928–,南原, 実, 1930–2013,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944–,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000168		
科目名	ドイツ語ｂ		
担当教員	立川　睦美		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜4限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 b は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、不規則動詞、冠詞類と人称代名詞、前置詞と名詞の格変化まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/15	14:50–16:20	8 番教室	ドイツ語b1	オリエンテーション：アルファベットと発音、教科書第 1 課；7～9 ページ。	立川　睦美	教科書は購入しておくこと。辞書は授業中に説明があった後購入したので良い。授業内容の進め方は大まかなもので、クラスによって進度が異なることがあると理解すること。
2	4/22	14:50–16:20	8 番教室	ドイツ語b2	発音 2、動詞の現在人称変化。第 2 課 10～13 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	5/6	14:50–16:20	8 番教室	ドイツ語b3	動詞の現在人称変化 2、sein/haben の現在人称変化、動詞の位置。第 2 課 11～13 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
4	5/13	14:50–16:20	8 番教室	ドイツ語b4	第 2 課の復習。定冠詞と名詞の格変化。第 3 課 14～15 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問

							題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	5/20	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b5	不定冠詞と名詞の格変化。第 3 課 15～17 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	5/27	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b6	第 3 課の復習。変音する動詞の現在人称変化。第 6 課 26 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	6/3	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b7	変音する動詞の現在人称変化。命令形。第 6 課 26～29 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	6/10	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b8	定冠詞類の格変化。第 4 課 18 と 20 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	6/17	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b9	不定冠詞類の格変化。第 4 課 18～21 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	6/24	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b10	人称代名詞。第 5 課 22～23 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授

							業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	7/1	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b11	第 5 課 2。22～25 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	7/8	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b12	前置詞の格支配1。第 7 課 30～31 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
13	7/15	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b13	前置詞の格支配2。第 7 課 30～33 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	7/22	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b14	第 7 課続き 34～35 と第 1 課から第 7 課までの復習と練習。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
15	7/29	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b15	ドイツ語 a,b,筆記試験	立川 睦美	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、文法を学ぶために授業中に様々な応用練習をします。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平・山崎泰孝：白水社, 2019
教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934−,恒吉, 良隆, 1938−,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936−,新保, 弼彬,本田, 義昭,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898−1988,山本, 明, 1928−,南原, 実, 1930−2013,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944−,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000169		
科目名	ドイツ語ｂ		
担当教員	立川　睦美		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語ｂ は、発音から始まり、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、不規則動詞、冠詞類と人称代名詞、前置詞と名詞の格変化まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/17	10:50–12:20	6 番教室	ドイツ語b1	オリエンテーション：アルファベットと発音1。教科書第 1 課 6～9 ページ。	立川　睦美	教科書は購入しておくこと。辞書は授業中に説明があった後購入したので良い。授業内容の進め方は大まかなもので、クラスによって進度が異なることがあると理解すること。
2	4/24	10:50–12:20	6 番教室	ドイツ語b2	発音 2。動詞の現在人称変化1。動詞の位置；第 2 課 10～11 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	5/8	10:50–12:20	6 番教室	ドイツ語b3	動詞の現在人称変化；sein/haben の現在人称変化。第 2 課 10～14 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
4	5/15	10:50–12:20	6 番教室	ドイツ語b4	第 2 課復習。名詞の性と格：第 3 課 14～15 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問

							題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	5/22	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b5	定冠詞と不定冠詞の格変化。第 3 課 14～17 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	5/29	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b6	第 3 課復習。不規則動詞: 第 6 課 26 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	6/5	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b7	変音する動詞の現在人称変化と命令形。第 6 課 26～29 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	6/12	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b8	第 6 課復習; 定冠詞類: 第 4 課 18 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	6/19	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b9	定冠詞類・不定冠詞類と名詞の格変化。第 4 課 18～21 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	6/26	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b10	第 4 課 23～25 ページ: 復習; 第 5 課: 人称代名詞: 22 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授

							業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	7/3	10:50–12:20	6 番教室	ドイツ語b11	人称代名詞:第 5 課 22～25 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	7/10	10:50–12:20	6 番教室	ドイツ語b12	第 7 課:前置詞 30～31 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
13	7/17	10:50–12:20	6 番教室	ドイツ語b13	前置詞の格支配 2。第 7 課 31～33 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	7/24	10:50–12:20	6 番教室	ドイツ語b14	前置詞の格支配。第 7 課続き 34～35 ページ。 1～7 課の復習。	立川 睦美	筆記試験は 7 月 30 日に全クラス共通で行われます。面接試験は 8 月 1 日に行われます。遅刻・欠席しないこと。
15	7/31	10:50–12:20	5 番教室	ドイツ語b15	面接試験	立川 睦美	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、文法を学ぶために授業中に様々な応用練習をします。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平・山崎泰孝：白水社，2019

参考書

アポロン独和辞典／根本道也，恒吉良隆，吉中幸平，成田克史，福元圭太，重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広，新保弼彬，本田義昭，鈴木敦典 編集執筆,根本，道也，1934−,恒吉，良隆，1938−,吉中，幸平,有村，隆広，1936−,新保，弼彬,本田，義昭,：同学社，2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル，山本明，南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898−1988,山本，明，1928−,南原，実，1930−2013,：三修社，2008
アクセス独和辞典／在間進 編,在間，進，1944−,：三修社，2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000171		
科目名	ドイツ語ｂ		
担当教員	上田　知夫		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜3限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語ｂ は、発音から始まり、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、不規則動詞、冠詞類と人称代名詞、前置詞と名詞の格変化まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/15	13:10−14:40	4 番教室	ドイツ語ｂ1	オリエンテーション：発音とあいさつ 1；第 1 課 7～9 ページ。	上田　知夫	教科書を購入しておくこと。辞書は授業中に説明があった後で購入したのでよい。授業の進め方は大まかなものなので、クラスによって進度が異なることがあると理解すること。
2	4/22	13:10−14:40	4 番教室	ドイツ語ｂ2	発音続き；動詞の現在人称変化1：第 2 課 10～11 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充の練習問題が配られるので注意すること。
3	5/6	13:10−14:40	4 番教室	ドイツ語ｂ3	sein/haben の現在人称変化；動詞の位置。11～13 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
4	5/13	13:10−14:40	4 番教室	ドイツ語ｂ4	第 2 課復習；名詞の性と格：第 3 課：14～15 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
5	5/20	13:10−14:40	4 番教室	ドイツ語ｂ5	名詞の性と格と複数：第 3 課：10～17 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところま

							で予習してくること。練習問題を積極的にやること。
6	5/27	13:10-14:40	4番教室	ドイツ語b6	第3課復習。不規則動詞:第6課:26ページ、	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
7	6/3	13:10-14:40	4番教室	ドイツ語b7	不規則動詞と命令形:第6課:26～29ページ。	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
8	6/10	13:10-14:40	4番教室	ドイツ語b8	第6課復習。定冠詞類、不定冠詞類:第4課:18～19ページ。	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
9	6/17	13:10-14:40	4番教室	ドイツ語b9	定冠詞類と不定冠詞類の格変化:第4課:18～21ページ。	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
10	6/24	13:10-14:40	4番教室	ドイツ語b10	第4課復習。人称代名詞:第5課:22ページ。	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
11	7/1	13:10-14:40	4番教室	ドイツ語b11	人称代名詞:第5課:22～25ページ。	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
12	7/8	13:10-14:40	4番教室	ドイツ語b12	前置詞の格支配1、第7課:30～31ページ。	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
13	7/15	13:10-14:40	4番教室	ドイツ語b13	前置詞の格支配2:第7課30～33ページ。	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
14	7/22	13:10-14:40	4番教室	ドイツ語b14	第7課続き34～35ページ。第7課までの復習。	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。

							指定されたところまで予習してくること。練習問題を積極的にやること。
15	7/29	13:10–14:40	4 番教室	ドイツ語 b15	ドイツ語 a,b,筆記試験	上田　知夫	遅刻・欠席しないこと

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、文法を学ぶために授業中に様々な応用練習をします。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。

再評価：有　（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平・山崎泰孝：白水社, 2019

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934–,恒吉, 良隆, 1938–,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936–,新保, 弼彬,本田, 義昭,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898–1988,山本, 明, 1928–,南原, 実, 1930–2013,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944–,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000172		
科目名	ドイツ語ｂ		
担当教員	立川 睦美		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間：水曜3限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期ｂ、後期ｄ、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語ｂ は、発音から始まり、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、不規則動詞、冠詞類と人称代名詞、前置詞と名詞の格変化まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/17	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b1	オリエンテーション：アルファベットと発音1。第1課：7～9 ページ。	立川 睦美	教科書は購入しておくこと。辞書は授業中に説明があった後購入したので良い。授業内容の進め方は大まかなもので、クラスによって進度が異なることがあると理解すること。
2	4/24	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b2	アルファベットと発音2。動詞の現在人称変化1；動詞の位置：第2課 10～13 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	5/8	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b3	sein/haben の現在人称変化。動詞の位置。第 2 課 11～13 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
4	5/15	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b4	第2課の復習。名詞の性と格：第3課 14～15 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問

							題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	5/22	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b5	冠詞と名詞の格変化と複数。第3課 14～17 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	5/29	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b6	第 3 課の復習。不規則動詞：第 6 課 26 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	6/5	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b7	変音する動詞の現在人称変化、命令形：第 6 課 26～29 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	6/12	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b8	第6課復習。定冠詞類・不定冠詞類 1：第 4 課 18～19 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	6/19	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b9	定冠詞類と不定冠詞類の格変化 2：第 4 課 18～21 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	6/26	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b10	第 4 課復習。人称代名詞：第 5 課：22～23 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授

							業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	7/3	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b11	人称代名詞:第 5 課 22～25 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	7/10	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b12	前置詞の格支配1。第 7 課 30～31 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
13	7/17	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b13	前置詞の格支配2。第 7 課 30～33 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	7/24	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b14	第 7 課続き:34～35 ページ。これまでの復習。	立川 睦美	筆記試験は 7 月 29 日に全クラス共通で行われます。面接試験は 7 月 31 日に行われます。遅刻・欠席しないこと。
15	7/31	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語b15	面接試験	立川 睦美	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、文法を学ぶために授業中に様々な応用練習をします。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平・山崎泰孝：白水社, 2019
教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934−,恒吉, 良隆, 1938−,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936−,新保, 弼彬,本田, 義昭,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898−1988,山本, 明, 1928−,南原, 実, 1930−2013,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944−,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000174		
科目名	ドイツ語ｂ		
担当教員	上田　知夫		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜4限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語ｂ は、発音から始まり、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、不規則動詞、冠詞類と人称代名詞、前置詞と名詞の格変化まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/15	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語ｂ1	オリエンテーション；発音 1：教科書第 1 課：7～9 ページ。	上田　知夫	教科書を購入しておくこと。辞書は授業中に説明があった後購入したので良い。授業の進め方は大まかなものなので、クラスによって進度が異なることがあると理解すること。
2	4/22	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語ｂ2	発音 2；動詞の現在人称変化：第 2 課：10～13 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので。注意すること。
3	5/6	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語ｂ3	sein/haben の現在人称変化；動詞の位置：第 2 課：11～13 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
4	5/13	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語ｂ4	第 2 課の復習。名詞の性と格 1：第3課：14～15 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	5/20	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語ｂ5	名詞の性と格と複数。第 3 課：14～17 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組む

							こと。
6	5/27	14:50-16:20	4番教室	ドイツ語b6	第3課の復習。不規則動詞:第6課:26ページ。	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	6/3	14:50-16:20	4番教室	ドイツ語b7	不規則動詞と命令形:第6課:26～29ページ。	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	6/10	14:50-16:20	4番教室	ドイツ語b8	第6課復習。定冠詞類と不定冠詞類1:第4課:18～20ページ。	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	6/17	14:50-16:20	4番教室	ドイツ語b9	定冠詞類と不定冠詞類2:第4課:18～21ページ。	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	6/24	14:50-16:20	4番教室	ドイツ語b10	第4課復習。人称代名詞:第5課:22～23ページ。	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	7/1	14:50-16:20	4番教室	ドイツ語b11	人称代名詞:第5課:22～25ページ。	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	7/8	14:50-16:20	4番教室	ドイツ語b12	前置詞の格支配1:第7課:30～31ページ。	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
13	7/15	14:50-16:20	4番教室	ドイツ語b13	前置詞の格支配2:第7課:30～33ページ。	上田 知夫	教科書と辞書は毎回持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	7/22	14:50-16:20	4番教室	ドイツ語b14	第7課続き:34～35ページとこれまでの復習。	上田 知夫	これまで学んだことを復習しておく。
15	7/29	14:50-16:20	4番教室	ドイツ語b15	ドイツ語a,b,筆記試験	上田 知夫	遅刻・欠席しないこと

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、文法を学ぶために授業中に様々な応用練習をします。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平・山崎泰孝:白水社, 2019

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934−,恒吉, 良隆, 1938−,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936−,新保, 弼彬,本田, 義昭,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898−1988,山本, 明, 1928−,南原, 実, 1930−2013,:三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944−,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000175		
科目名	ドイツ語ｃ		
担当教員	上田　知夫		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 c は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、未来のこと、過去のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/2	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c1	第6課：49～52 ページ。休暇の予定。	上田　知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
2	10/9	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c2	第6課：53～55 ページ。休暇の予定。	上田　知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	10/16	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c3	第6課復習。ドイツについて1：94 ページ。第 7 課 57～59 ページ。	上田　知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	10/23	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c4	ドイツについて 2：95 ページ；第 7 課どこへ行くかの説明。60～62 ページ。	上田　知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	10/30	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c5	第 7 課続き。63 ページまで。	上田　知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
6	11/6	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c6	ドイツ語では月曜授業を行う予定。このクラスはドイツ語d文法の授業となる。	上田　知夫	ドイツ語では月曜授業を行う予定。文法の教科書と辞書を持ってくること。掲示に注意。
7	11/13	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c7	第 8 課：週末にしたことを話す。65	上田　知夫	教科書と独和辞

					～68 ページ。ドイツの都市1：96 ページ。		典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	11/20	10:50–12:20	5 番教室	ドイツ語c8	第 8 課：69～71 ページ。ドイツの都市2、97 ページ。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
9	11/27	10:50–12:20	5 番教室	ドイツ語c9	第 8 課復習：過去にしたことを話す。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
10	12/4	10:50–12:20	5 番教室	ドイツ語c10	第 9 課：73～75 ページ。ニュルンベルク。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	12/11	10:50–12:20	5 番教室	ドイツ語c11	第 9 課：76～78 ページ。クリスマスマーケット。 クリスマスソング1、プリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	12/18	10:50–12:20	5 番教室	ドイツ語c12	第 9 課続き 79 ページまで。クリスマスソング2、プリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	1/8	10:50–12:20	5 番教室	ドイツ語c13	第 10 課：81～84 ページ。日本のお正月について話す。ドイツの首都：ベルリン：100 ページ。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	1/15	10:50–12:20	5 番教室	ドイツ語c14	第 10 課 85～87 ページ。クリスマスとお正月について。オーストリアの首都：ウィーン：101 ページ。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
15	1/22	10:50–12:20	5 番教室	ドイツ語c15	これまで学んだことを復習。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 6 課から第 10 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。プリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習もします。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

グーテ・ライゼ! = Gute Reise!／伊藤直子, クリスタ柴田, 末松淑美, 山川和彦 編著,：郁文堂, 2012
教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。
それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934−,恒吉, 良隆, 1938−,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936−,新保, 弼彬,本田, 義昭,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898−1988,山本, 明, 1928−,南原, 実, 1930−2013,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944−,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000176		
科目名	ドイツ語ｃ		
担当教員	SCHINZINGER EMI		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜3限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 c は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、未来のこと、過去のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/30	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c1	第 6 課 49~52 ページ。休暇の予定。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
2	10/7	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c2	第 6 課 53~55 ページ。休暇の予定。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	10/21	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c3	第6課復習。ドイツについて1、94 ページ：第7課 57～59 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	10/28	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c4	ドイツについて 2、95 ページ；第 7 課 60～62 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	11/11	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c5	第 7 課復習、63 ページまで。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
6	11/18	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c6	第 8 課：週末にしたことを話す；65～68 ページ。ドイツの都市1：96 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習して

							くること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
7	11/25	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c7	第 8 課 69～71 ページ。ドイツの都市 2:97 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	12/2	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c8	第 8 課復習;過去のことを話す。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
9	12/9	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c9	第 9 課 73～75 ページ。ニュルンベルク。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
10	12/16	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c10	第 9 課 76～78 ページ。クリスマスマーケット。 クリスマスソング 1;プリント	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	12/23	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c11	第 9 課 79 ページまで復習。クリスマスソング 2;プリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	1/6	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c12	第 10 課 81～84 ページ。日本のお正月について話す。ドイツの首都:ベルリン;100 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	1/20	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c13	第 10 課 85～87 ページ。クリスマスとお正月について。オーストリアの首都:ウィーン;101 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	1/27	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c14	ドイツ語 c,d,筆記試験	SCHINZINGER EMI	遅刻・欠席しないこと。
15	2/3	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c15	ドイツ語 c, 面接試験	SCHINZINGER EMI	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 6 課から第 10 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。プリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習もします。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

グーテ・ライゼ! = Gute Reise!／伊藤直子, クリスタ柴田, 末松淑美, 山川和彦 編著,：郁文堂, 2012
教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。
それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934−,恒吉, 良隆, 1938−,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936−,新保, 弼彬,本田, 義昭,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898−1988,山本, 明, 1928−,南原, 実, 1930−2013,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944−,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16:30 − 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000177		
科目名	ドイツ語ｃ		
担当教員	SCHINZINGER EMI		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜4限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語ｃ は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/30	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c1	第 6 課 49～52 ページ。休暇の予定。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
2	10/7	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c2	第 6 課 53～55 ページ。休暇の予定。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	10/21	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c3	第 6 課復習。ドイツについて1：94 ページ。第 7 課 57～59 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	10/28	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c4	ドイツについて 2：95 ページ；第 7 課 60～62 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	11/11	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c5	第 7 課続き：63 ページまで。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
6	11/18	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c6	第 8 課：週末にしたことを話す。65～68 ページ。ドイツの都市1：96 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習して

							くること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
7	11/25	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c7	第 8 課 69～71 ページ。ドイツの都市2：97 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	12/2	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c8	第 8 課復習。過去のことを話す。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
9	12/9	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c9	第 9 課：73～75 ページ。ニュルンベルク。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
10	12/16	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c10	第 9 課 76～78 ページ。クリスマスマーケット。クリスマスソング 1；プリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	12/23	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c11	第 9 課続き 79 ページまで。クリスマスソング2：プリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	1/6	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c12	第 10 課 81～84 ページ。日本のお正月について話す。ドイツの首都：ベルリン：100 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	1/20	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c13	第 10 課 85～87 ページ。オーストリアの首都：ウィーン：101 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	1/27	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c14	ドイツ語 c,d, 筆記試験	SCHINZINGER EMI	遅刻・欠席しないこと
15	2/3	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c15	ドイツ語c面接試験	SCHINZINGER EMI	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 6 課から第 10 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。プリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習もします。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

グーテ・ライゼ! = Gute Reise!／伊藤直子, クリスタ柴田, 末松淑美, 山川和彦 編著,：郁文堂, 2012
教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。
それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934−,恒吉, 良隆, 1938−,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936−,新保, 弼彬,本田, 義昭,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898−1988,山本, 明, 1928−,南原, 実, 1930−2013,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944−,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16:30 − 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000178		
科目名	ドイツ語ｃ		
担当教員	上田　知夫		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 c は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、未来のこと、過去のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/2	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語ｃ1	第 6 課：49～52 ページ。休暇の予定。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
2	10/9	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語ｃ2	第 6 課：53～55 ページ。休暇の予定。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること
3	10/16	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語ｃ3	第6課復習。ドイツについて1：94 ページ。第7課前半：57～59 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること
4	10/23	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語ｃ4	ドイツについて 2：95 ページ。第 7 課：60～62 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること
5	10/30	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語ｃ5	第 7 課続き：63 ページまで。どこに行くか話す。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること
6	11/6	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語ｃ6	ドイツ語では月曜授業の予定。このクラスではドイツ語ｄ文法。	上田　知夫	ドイツ語では月曜授業を行う予定。掲示に注意。　文法の教科書と辞書を持ってくること。
7	11/13	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語ｃ7	第 8 課：週末にしたことを話す。65～68 ページ。ドイツの都市1：96 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること
8	11/20	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語ｃ8	第 8 課 69～71 ページ。ドイツの都市2：97 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習

							してくること
9	11/27	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語 c9	第 8 課仕上げ:過去のことを話す。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること
10	12/4	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語 c10	第 9 課:73～75 ページ。ニュルンベルク。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること
11	12/11	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語 c11	第 9 課:76～78 ページ:クリスマスマーケット。クリスマスソング 1;プリント。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること
12	12/18	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語 c12	第 9 課続き:79 ページまで。クリスマスソング2:プリント。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること
13	1/8	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語 c13	第 10 課:81～84 ページ:日本のお正月について話す。ドイツの首都:ベルリン:100 ページ。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること
14	1/15	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語 c14	第 10 課 85～87 ページ:クリスマスとお正月について。オーストリアの首都:ウィーン:101 ページ。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること
15	1/22	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語 c15	これまで学んだことを復習。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 6 課から第 10 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。プリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習もします。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

グーテ・ライゼ! = Gute Reise!／伊藤直子, クリスタ柴田, 末松淑美, 山川和彦 編著,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭,

鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934-,恒吉, 良隆, 1938-,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936-,新保, 弼彬,本田, 義昭,:同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944-,:三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000179		
科目名	ドイツ語ｃ		
担当教員	SCHINZINGER EMI		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 c は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、未来のこと、過去のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/2	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c1	第 6 課 49～52 ページ。休暇の予定。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
2	10/9	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c2	第 6 課 53～55 ページ。休暇の予定。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	10/16	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c3	第 6 課復習。ドイツについて1：94ページ。第 7 課 57～59 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	10/23	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c4	ドイツについて 2：95 ページ。第 7 課 60～62 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	10/30	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c5	第 7 課続き：63 ページまで。どこへ行くか話す。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
6	11/6	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c6	ドイツ語では月曜授業を行う予定。このクラスはドイツ語ｄ文法。	SCHINZINGER EMI	ドイツ語では月曜授業を行う予定。掲示に注意。文法教科書と独和

							辞典を持ってくること。
7	11/13	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語c7	第8課:週末にしたことを話す。65～68ページ。 ドイツの都市1:96ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	11/20	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語c8	第8課69～71ページ。ドイツの都市2:97ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
9	11/27	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語c9	第8課復習。過去の出来事について話す。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
10	12/4	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語c10	第9課73～75ページ。ニュルンベルク。。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	12/11	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語c11	第9課76～78ページ:クリスマスマーケット。クリスマスソング1:プリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	12/18	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語c12	第9課続き。79ページまで。クリスマスソング2:プリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	1/8	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語c13	第10課81～84ページ。日本のお正月について話す。ドイツの首都:ベルリン:100ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	1/15	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語c14	第10課85～87ページ。クリスマスとお正月について。オーストリアの首都:ウィーン:101ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
15	1/22	10:50-12:20	7番教室	ドイツ語c15	これまで学んだことの復習と練習。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第6課から第10課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。プリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習もします。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。
再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

グーテ・ライゼ! = Gute Reise!／伊藤直子, クリスタ柴田, 末松淑美, 山川和彦 編著,：郁文堂, 2012
教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。
それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934–,恒吉, 良隆, 1938–,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936–,新保, 弼彬,本田, 義昭,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898–1988,山本, 明, 1928–,南原, 実, 1930–2013,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944–,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16：30 – 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000182		
科目名	ドイツ語 c		
担当教員	SCHINZINGER EMI		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 c は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、未来のこと、過去のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/2	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c1	第 6 課：49～52 ページ。休暇の予定。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
2	10/9	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c2	第 6 課：53～55 ページ。休暇の予定。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	10/16	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c3	第 6 課復習。ドイツについて1：94 ページ。第 7 課：57～59 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	10/23	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c4	ドイツについて 2：95 ページ。第 7 課：60～62 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	10/30	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c5	第 7 課仕上げ：63 ページまで。どこに行くか話す。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
6	11/6	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c6	ドイツ語では月曜授業を行う予定。このクラスはドイツ語 d 文法。	SCHINZINGER EMI	ドイツ語では月曜授業を行う予定。掲示に注意。文法の教科書と辞書を持ってくること。
7	11/13	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c7	第 8 課：週末にしたことを話す。65	SCHINZING	教科書と独和辞

					＝68 ページ。ドイツの都市1：96 ページ。	ER EMI	典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	11/20	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c8	第 8 課 69～71 ページ。ドイツの都市2：97 ページ。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
9	11/27	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c9	第 8 課仕上げ：71 ページまで。過去のことを話す。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
10	12/4	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c10	第 9 課：73～75 ページ。ニュルンベルク。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	12/11	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c11	第 9 課：76～78 ページ．クリスマスマーケット。クリスマスソング1：プリント。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	12/18	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c12	第 9 課続き 79 ページまで。クリスマスソング2：プリント。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	1/8	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c13	第 10 課 81～84 ページ。日本のお正月について話す。ドイツの首都：ベルリン：100 ページ。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	1/15	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c14	第 10 課 85～87 ページ。クリスマスとお正月について。オーストリアの首都：ウィーン：101 ページ。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
15	1/22	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c15	これまで学んだことを復習。	SCHINZING ER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 6 課から第 10 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。プリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習もします。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

グーテ・ライゼ! = Gute Reise!／伊藤直子, クリスタ柴田, 末松淑美, 山川和彦 編著,：郁文堂, 2012
教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。
それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934−,恒吉, 良隆, 1938−,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936−,新保, 弼彬,本田, 義昭,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898−1988,山本, 明, 1928−,南原, 実, 1930−2013,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944−,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16:30 − 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000180		
科目名	ドイツ語ｄ		
担当教員	立川 睦美		
開講時期	後期	対象年次	1

開講時期　後期　　対象年次　1

・曜日・時間：月曜3限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期ｄ、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 ｄ は、分離動詞・非分離動詞、話法の助動詞、動詞の三基本形と過去時称、完了時称、再帰動詞、受動態、形容詞、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/30	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d1	分離動詞と非分離動詞。第 8 課 36 ページと 38～39 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
2	10/7	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d2	従属の接続詞と副文。第 8 課 37 ページと 38～39 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	10/21	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d3	第 8 課の復習。話法の助動詞1。第 9 課 40 と 42～43 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
4	10/28	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d4	話法の助動詞と未来形。第 9 課:	立川 睦美	教科書と独和辞典

					2;41～43 ページ。		を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	11/11	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語d5	第 9 課の復習。動詞の三基本形と過去形1。第 10 課 44 と 46 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	11/18	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語d6	動詞の三基本形と過去　形2。第 10 課 44～47 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	11/25	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語d7	第 10 課復習。現在完了形。第 11 課1 : 48 と 50～51 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	12/2	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語d8	現在完了形と受動文　第 11 課2 : 49～51 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	12/9	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語d9	第 11 課復習。形容詞: 第 12 課: 1 : 52 と 54～55 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。

10	12/16	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語d10	形容詞と比較表現:第 12 課2:52～55 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	12/23	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語d11	第 12 課復習。再帰動詞:第 13 課1:56 と 58～59 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	1/6	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語d12	再帰動詞と zu 不定詞:第 13 課2:56～59 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
13	1/20	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語d13	関係文第 14 課 60 と 62～63 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	1/27	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語d14	ドイツ語 c,d, 筆記試験	立川 睦美	遅刻・欠席しないこと。
15	2/3	13:10–14:40	8 番教室	ドイツ語d15	ドイツ語 c 面接試験	立川 睦美	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書第 8 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平・山崎泰孝：白水社, 2019
教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000181		
科目名	ドイツ語ｄ		
担当教員	立川　睦美		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜4限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期ｂ、後期ｄ、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 ｄ は、分離動詞・非分離動詞、話法の助動詞、動詞の三基本形と過去時称、完了時称、再帰動詞、受動態、形容詞、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/30	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d1	分離動詞と非分離動詞。第 8 課 36 ページと 38～39 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
2	10/7	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d2	従属の接続詞と副文。第 8 課2：37～39 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	10/21	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d3	第 8 課復習。話法の助動詞 1。第 9 課：40 と 42～43 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
4	10/28	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d4	話法の助動詞と未来形。第 9 課2：41～43 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配ら

							れるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	11/11	14:50-16:20	8番教室	ドイツ語d5	第9課復習。動詞の三基本形と過去形:1。第10課44と46ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	11/18	14:50-16:20	8番教室	ドイツ語d6	動詞の三基本形と過去形2第10課44～47ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	11/25	14:50-16:20	8番教室	ドイツ語d7	第10課復習。現在完了形第11課1:48と50～51ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	12/2	14:50-16:20	8番教室	ドイツ語d8	現在完了形と受動文。第11課2:49～51ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	12/9	14:50-16:20	8番教室	ドイツ語d9	第11課復習。形容詞:第12課1:52と54～55ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	12/16	14:50-16:20	8番教室	ドイツ語d10	形容詞と比較表現:第12課2:52～55ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問

							題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	12/23	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d11	再帰代名詞と再帰動詞の復習。第 12 課 55～57 ページ。形容詞の比較変化。第 13 課 59～61 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	1/6	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d12	第 13 課 59～61 ページ復習。受動態。第 14 課 63～65 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
13	1/20	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d13	第 14 課 63～65 ページ。受動態。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	1/27	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d14	ドイツ語 c,d, 筆記試験	立川 睦美	遅刻・欠席しないこと
15	2/3	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d15	ドイツ語 c 面接試験	立川 睦美	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書第 8 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平・山崎泰孝：白水社，2019
教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也，恒吉良隆，吉中幸平，成田克史，福元圭太，重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広，新保弼彬，本田義昭，鈴木敦典 編集執筆,根本，道也，1934−,恒吉，良隆，1938−,吉中，幸平,有村，隆広，1936−,新保，弼彬,本田，義昭，：同学社，2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル，山本明，南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898−1988,山本，明，1928−,南原，実，1930−2013,：三修社，2008
アクセス独和辞典／在間進 編,在間，進，1944−,：三修社，2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000183		
科目名	ドイツ語ｄ		
担当教員	立川　睦美		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期ｂ、後期ｄ、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 ｄ は、分離動詞・非分離動詞、話法の助動詞、動詞の三基本形と過去時称、完了時称、再帰動詞、受動態、形容詞、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/2	10:50−12:20	8 番教室	ドイツ語d1	分離動詞と非分離動詞：第 8 課1：36 と 38～39 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
2	10/9	10:50−12:20	8 番教室	ドイツ語d2	従属の接続詞と副文。第 8 課2：37～39 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	10/16	10:50−12:20	8 番教室	ドイツ語d3	第 8 課の復習。話法の助動詞：第 9 課1：40 と 42～43 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
4	10/23	10:50−12:20	8 番教室	ドイツ語d4	話法の助動詞と未来形。第 9 課2：40～43 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配ら

							れるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	10/30	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d5	第 9 課復習。動詞の三基本形と過去形、1。第 10 課 44 と 46 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	11/6	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d6	ドイツ語では月曜授業を行う予定。このクラスはドイツ語 c、会話の授業。	立川 睦美	ドイツ語では月曜授業を行う予定。掲示に注意。会話cの教科書と辞書を持ってくること。
7	11/13	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d7	動詞の 3 基本形と過去形、2:第 10 課 44～47 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	11/20	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d8	第 10 課の復習。 現在完了形:第 11 課1:48 と 50～51 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	11/27	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d9	現在完了形と受動文。第 11 課2:49～51 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	12/4	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d10	第 11 課の復習。形容詞。第 12 課 1:52 と 54～55 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。

11	12/11	10:50–12:20	8 番教室	ドイツ語d11	形容詞と比較表現:第 12 課2:52～55 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	12/18	10:50–12:20	8 番教室	ドイツ語d12	第 12 課の復習。再帰動詞第 13 課 1:56 と 58～59 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
13	1/8	10:50–12:20	8 番教室	ドイツ語d13	再帰動詞と zu 不定詞。第 13 課 2:56～59 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	1/15	10:50–12:20	8 番教室	ドイツ語d14	関係文:第 14 課:60 と 62～63 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
15	1/22	10:50–12:20	8 番教室	ドイツ語d15	今まで学んだことの復習と練習。	立川 睦美	筆記試験は 1 月 27 日に全クラス共通で行われます。今まで学んだことを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書第 8 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平・山崎泰孝：白水社，2019
教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也，恒吉良隆，吉中幸平，成田克史，福元圭太，重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広，新保弼彬，本田義昭，鈴木敦典 編集執筆,根本，道也，1934−,恒吉，良隆，1938−,吉中，幸平,有村，隆広，1936−,新保，弼彬,本田，義昭，：同学社，2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル，山本明，南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898−1988,山本，明，1928−,南原，実，1930−2013,：三修社，2008
アクセス独和辞典／在間進 編,在間，進，1944−,：三修社，2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000184		
科目名	ドイツ語 d		
担当教員	上田　知夫		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜3限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 d は、分離動詞・非分離動詞、話法の助動詞、動詞の三基本形と過去時称、完了時称、再帰動詞、受動態、形容詞、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/30	13:10−14:40	4 番教室	ドイツ語 d1	分離動詞と非分離動詞。第 8 課 1：36 と 38〜39 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指摘されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
2	10/7	13:10−14:40	4 番教室	ドイツ語 d2	従属の接続詞と副文。第 8 課2：37〜39 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指摘されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	10/21	13:10−14:40	4 番教室	ドイツ語 d3	第 8 課の復習。話法の助動詞1：第 9 課：40 と 42〜43 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指摘されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
4	10/28	13:10−14:40	4 番教室	ドイツ語 d4	話法の助動詞と未来形。第 9 課 41〜43 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指摘されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	11/11	13:10−14:40	4 番教室	ドイツ語 d5	第 9 課復習。動詞の 3 基本形と過去形。第 10 課：44 と 46 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指摘されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	11/18	13:10−14:40	4 番教室	ドイツ語 d6	動詞の 3 基本形と過去形2：第 10 課：44〜47 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指摘されたところまで予習

							してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	11/25	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語 d7	第 10 課復習。現在完了形。第 11 課 1:48 と 50～51 ページ。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指摘されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	12/2	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語 d8	現在完了形と受動文。第 11 課 2:49～51 ページ。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指摘されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	12/9	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語 d9	第 11 課復習。形容詞:第 12 課1:52 と 54～55 ページ。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指摘されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	12/16	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語 d10	形容詞と比較表現:第 12 課:52～55 ページ	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指摘されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	12/23	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語 d11	第 12 課復習。再帰動詞:第 13 課 1:56 と 58～59 ページ。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指摘されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	1/6	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語 d12	再帰動詞と zu 不定詞:第 13 課 2:56～59 ページ。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指摘されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
13	1/20	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語 d13	関係文:第 14 課:60 と 62～63 ページ。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指摘されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	1/27	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語 d14	ドイツ語 c,d,筆記試験	上田 知夫	遅刻・欠席しないこと。
15	2/3	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語 d15	ドイツ語 c 面接試験	上田 知夫	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書第 8 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな

目標と理解してください。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平・山崎泰孝：白水社, 2019

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934−,恒吉, 良隆, 1938−,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936−,新保, 弼彬,本田, 義昭,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898−1988,山本, 明, 1928−,南原, 実, 1930−2013,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944−,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000185		
科目名	ドイツ語 d		
担当教員	上田　知夫		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜4限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 d は、分離動詞・非分離動詞、話法の助動詞、動詞の三基本形と過去時称、完了時称、再帰動詞、受動態、形容詞、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/30	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 d1	分離動詞と非分離動詞。第 8 課：36 ページと 38～39 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
2	10/7	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 d2	従属の接続詞と副文。第 8 課 2：37～39 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	10/21	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 d3	第 8 課復習。話法の助動詞：第 9 課 1：40 と 42～43 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
4	10/28	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 d4	話法の助動詞と未来形。第 9 課 2：41～43 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	11/11	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 d5	第 9 課復習。動詞の 3 基本形と過去形：第 10 課 1：44 と 46 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	11/18	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 d6	動詞の 3 基本形と過去形2：第 10 課：44～47 ページ。	上田　知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定さ

							れたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	11/25	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 d7	第 10 課復習。現在完了形。第 11 課 1:48 と 50～51 ページ。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	12/2	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 d8	現在完了形と受動文。第 11 課 2:49～51 ページ。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	12/9	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 d9	第 11 課復習。形容詞。第 12 課 1:52 と 54～55 ページ。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	12/16	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 d10	形容詞と比較表現:第 12 課 2:52～55 ページ。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	12/23	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 d11	第 12 課復習。再帰動詞:第 13 課 1:56 と 58～59 ページ。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	1/6	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 d12	再帰動詞と zu 不定詞:第 13 課 2:56～59 ページ。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
13	1/20	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 d13	関係文:第 14 課:60 と 62～63 ページ。	上田 知夫	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	1/27	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 d14	ドイツ語 c,d 筆記試験	上田 知夫	遅刻・欠席しないこと
15	2/3	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 d15	ドイツ語 c 面接試験	上田 知夫	遅刻・欠席しないこと

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書第 8 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平・山崎泰孝：白水社, 2019

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934−,恒吉, 良隆, 1938−,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936−,新保, 弼彬,本田, 義昭,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898−1988,山本, 明, 1928−,南原, 実, 1930−2013,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,在間, 進, 1944−,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000186		
科目名	ドイツ語ｄ		
担当教員	立川　睦美		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期ｂ、後期ｄ、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 ｄ は、分離動詞・非分離動詞、話法の助動詞、動詞の三基本形と過去時称、完了時称、再帰動詞、受動態、形容詞、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/2	13:10−14:40	8 番教室	ドイツ語d1	分離動詞と非分離動詞。第 8 課 36～39 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
2	10/9	13:10−14:40	8 番教室	ドイツ語d2	従属の接続詞と副文。第 8 課2：37～39 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	10/16	13:10−14:40	8 番教室	ドイツ語d3	第 8 課復習。話法の助動詞：第 9 課 1：40 と 42～43 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
4	10/23	13:10−14:40	8 番教室	ドイツ語d4	話法の助動詞と未来形。第 9 課2：41～43 ページ。	立川　睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配ら

							れるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	10/30	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d5	第 9 課復習。動詞の 3 基本形と過去形1：第 10 課：44 と 46 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	11/6	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d6	動詞の 3 基本形と過去形2。第 10 課 44～47 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	11/13	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d7	第 10 課復習。現在完了形。第 11 課1：48 と 50～51 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	11/20	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d8	現在完了形と受動文。第 11 課 2：49～51 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	11/27	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d9	第 11 課復習。形容詞。第 12 課 1：52 と 54～55 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	12/4	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d10	形容詞と比較表現：第 12 課2：52～55 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問

							題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	12/11	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d11	第 12 課の復習。再帰動詞。第 13 課1:56 と 58～59 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	12/18	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d12	再帰動詞と zu 不定詞:第 13 課 2:56～59 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
13	1/8	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d13	第 13 課復習。関係文:第 14 課:60 と 62～63 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	1/15	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d14	関係文:第 14 課:60 と 62～63 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
15	1/22	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d15	今まで学んだことの復習と練習。	立川 睦美	筆記試験は 1 月 27 日に全クラス共通で行われます。遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 8 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平・山崎泰孝：白水社，2019

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也，恒吉良隆，吉中幸平，成田克史，福元圭太，重竹芳江　責任編集執筆,有村隆広，新保弼彬，本田義昭，鈴木敦典　編集執筆,根本，道也,1934−,恒吉，良隆,1938−,吉中，幸平,有村，隆広,1936−,新保，弼彬,本田，義昭,：同学社，2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル，山本明，南原実　編,Schinzinger, Robert, 1898−1988,山本，明,1928−,南原，実,1930−2013,：三修社，2008

アクセス独和辞典／在間進　編,在間，進,1944−,：三修社，2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。　ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、　ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。　原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000201		
科目名	フランス語 a		
担当教員	中島 ひかる		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜3限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期水曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

授業の到達目標

1）基本単語の意味と綴りを身につける。

2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	13:10−14:40	11 番教室	イントロダクション	発音、アルファベ	中島 ひかる
2	4/22	13:10−14:40	11 番教室	文法(1)	主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、否定文1	中島 ひかる
3	5/6	13:10−14:40	11 番教室	文法(1)	名詞の性・数、提示表現、冠詞	中島 ひかる
4	5/13	13:10−14:40	11 番教室	文法(1)	否定文2、疑問文	中島 ひかる
5	5/20	13:10−14:40	11 番教室	文法(1)	第 2 群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞	中島 ひかる
6	5/27	13:10−14:40	11 番教室	文法(1)	être・avoir、形容詞	中島 ひかる
7	6/3	13:10−14:40	11 番教室	文法(2)	前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過去	中島 ひかる
8	6/10	13:10−14:40	11 番教室	復習	復習	中島 ひかる
9	6/17	13:10−14:40	11 番教室	文法(2)	比較級・最上級	中島 ひかる
10	6/24	13:10−14:40	11 番教室	文法(2)	複合過去	中島 ひかる
11	7/1	13:10−14:40	11 番教室	文法(2)	受動態、命令法、非人称構文	中島 ひかる
12	7/8	13:10−14:40	11 番教室	文法(2)	疑問形容詞、疑問副詞	中島 ひかる
13	7/15	13:10−14:40	11 番教室	文法(2)	疑問代名詞	中島 ひかる
14	7/22	13:10−14:40	11 番教室	復習	目的語人称代名詞	中島 ひかる
15	7/29	13:10−14:40	10 番教室	復習	前期のまとめ	中島 ひかる

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。

原則的に一つの項目に対して、月・水の 2 回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。

第 1 回：発音、アルファベ

第 2 回：主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、否定文1

第 3 回：名詞の性・数、提示表現、冠詞

第 4 回：否定文2、疑問文

第 5 回:第 2 群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞
第 6 回:être・avoir、形容詞
第 7 回:前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過去
第 8 回:復習
第 9 回:比較級・最上級
第 10 回:複合過去
第 11 回:受動態、命令法、非人称構文
第 12 回:疑問形容詞、疑問副詞
第 13 回:疑問代名詞
第 14 回:目的語人称代名詞
第 15 回:前期のまとめ

成績評価の方法

評価:試験(中間試験・期末試験)95%・レポート 0 %・
その他 授業中の解答状況等 5%
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

●文法知識の定着度を見るために、フランス語 a・b・cに関しては、主に筆記試験によって評価します。
●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた評価を行い、これを全体の 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とする場合があります。
●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の合否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

教科書

Bon, allons-y !/朝倉三枝他:朝日出版社, 2017

参考書

ディコ仏和辞典 /白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語は a・b・c・dの総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語dは作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

備考

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000202		
科目名	フランス語 a		
担当教員	中島 ひかる		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜4限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期水曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

授業の到達目標

1）基本単語の意味と綴りを身につける。

2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	14:50−16:20	11 番教室	イントロダクション	発音、アルファベ	中島 ひかる
2	4/22	14:50−16:20	11 番教室	文法(1)	主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、否定文1	中島 ひかる
3	5/6	14:50−16:20	11 番教室	文法(1)	名詞の性・数、提示表現、冠詞	中島 ひかる
4	5/13	14:50−16:20	11 番教室	文法(1)	否定文2、疑問文	中島 ひかる
5	5/20	14:50−16:20	11 番教室	文法(1)	第 2 群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞	中島 ひかる
6	5/27	14:50−16:20	11 番教室	文法(1)	être・avoir、形容詞	中島 ひかる
7	6/3	14:50−16:20	11 番教室	文法(2)	前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過去	中島 ひかる
8	6/10	14:50−16:20	11 番教室	復習	復習	中島 ひかる
9	6/17	14:50−16:20	11 番教室	文法(2)	比較級・最上級	中島 ひかる
10	6/24	14:50−16:20	11 番教室	文法(2)	複合過去	中島 ひかる
11	7/1	14:50−16:20	11 番教室	文法(2)	受動態、命令法、非人称構文	中島 ひかる
12	7/8	14:50−16:20	11 番教室	文法(2)	疑問形容詞・疑問副詞	中島 ひかる
13	7/15	14:50−16:20	11 番教室	文法(2)	疑問代名詞	中島 ひかる
14	7/22	14:50−16:20	11 番教室	復習	目的語人称代名詞	中島 ひかる
15	7/29	14:50−16:20	10 番教室	復習	前期のまとめ	中島 ひかる

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。

原則的に一つの項目に対して、月・水の 2 回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。

第 1 回：発音、アルファベ

第 2 回：主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、否定文1

第 3 回：名詞の性・数、提示表現、冠詞

第 4 回：否定文2、疑問文

第 5 回:第 2 群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞
第 6 回:être・avoir、形容詞
第 7 回:前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過去
第 8 回:復習
第 9 回:比較級・最上級
第 10 回:複合過去
第 11 回:受動態、命令法、非人称構文
第 12 回:疑問形容詞、疑問副詞
第 13 回:疑問代名詞
第 14 回:目的語人称代名詞
第 15 回:前期のまとめ

成績評価の方法

評価:試験(中間試験・期末試験)95%・レポート 0 %・
その他 授業中の解答状況等 5%
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

評価:試験(中間試験・期末試験)95%・レポート 0 %・
その他 授業中の解答状況等 5%
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

●文法知識の定着度を見るために、フランス語 a・b・cに関しては、主に筆記試験によって評価します。
●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた評価を行い、これを全体の 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とする場合があります。
●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の合否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

教科書

Bon, Allons-y／朝倉三枝他:朝日出版社, 2017

参考書

ディコ仏和辞典 ／白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。

辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ･ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語は a･b･c･dの総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a･b･c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語dは作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

備考

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月･水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000203		
科目名	フランス語 b		
担当教員	中島 ひかる		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜 2 限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期水曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

授業の到達目標

1）基本単語の意味と綴りを身につける。

2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:50−12:20	11 番教室	イントロダクション	発音、アルファベ	中島 ひかる
2	4/24	10:50−12:20	11 番教室	文法(1)	主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、否定文1	中島 ひかる
3	5/8	10:50−12:20	11 番教室	文法(1)	名詞の性・数、提示表現、冠詞	中島 ひかる
4	5/15	10:50−12:20	11 番教室	文法(1)	否定文2、疑問文	中島 ひかる
5	5/22	10:50−12:20	11 番教室	文法(1)	第 2 群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容	中島 ひかる
6	5/29	10:50−12:20	11 番教室	文法(1)	être・ avoir、形容詞	中島 ひかる
7	6/5	10:50−12:20	11 番教室	文法(2)	前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、 近接未来・近接過去	中島 ひかる
8	6/12	10:50−12:20	11 番教室	文法(2)	比較級・最上級	中島 ひかる
9	6/19	10:50−12:20	11 番教室	文法(2)	複合過去	中島 ひかる
10	6/26	10:50−12:20	11 番教室	文法(2)	受動態、命令法、非人称構文	中島 ひかる
11	7/3	10:50−12:20	11 番教室	文法(2)	疑問形容詞・疑問副詞	中島 ひかる
12	7/10	10:50−12:20	11 番教室	文法(2)	疑問代名詞	中島 ひかる
13	7/17	10:50−12:20	11 番教室	文法(2)	目的語人称代名詞	中島 ひかる
14	7/24	10:50−12:20	11 番教室	文法(2)	目的語人称代名詞	中島 ひかる
15	7/31	10:50−12:20	11 番教室	復習	前期のまとめ	中島 ひかる

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。

原則的に一つの項目に対して、月・水の 2 回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。

第 1 回：発音、アルファベ

第 2 回：主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、否定文1

第 3 回：名詞の性・数、提示表現、冠詞

第 4 回：否定文2、疑問文

第 5 回:第 2 群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞
第 6 回:être・avoir、形容詞
第 7 回:前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、 近接未来・近接過去
第 8 回:比較級・最上級
第 9 回:複合過去
第 10 回:受動態、命令法、非人称構文
第 11 回:疑問形容詞、疑問副詞
第 12 回:疑問代名詞
第 13 回:目的語人称代名詞
第 14 回:目的語人称代名詞
第 15 回:前期のまとめ

成績評価の方法

評価:試験(中間試験・期末試験)95%・レポート 0 %・
その他 授業中の解答状況等 5%
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

●文法知識の定着度を見るために、フランス語 a・b・cに関しては、主に筆記試験によって評価します。
●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた評価を行い、これを全体の 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とする場合があります。
●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の合否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

教科書

Bon, allons-y !/朝倉三枝他:朝日出版社, 2017

参考書

ディコ仏和辞典 /白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語は a・b・c・dの総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語dは作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

備考

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000205		
科目名	フランス語 b		
担当教員	中島 ひかる		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期水曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

授業の到達目標

1）基本単語の意味と綴りを身につける。

2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	13:10−14:40	11 番教室	イントロダクション	発音、アルファベ	中島 ひかる
2	4/24	13:10−14:40	11 番教室	文法(1)	主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、否定文1	中島 ひかる
3	5/8	13:10−14:40	11 番教室	文法(1)	名詞の性・数、提示表現、冠詞	中島 ひかる
4	5/15	13:10−14:40	11 番教室	文法(1)	否定文2、疑問文	中島 ひかる
5	5/22	13:10−14:40	11 番教室	文法(1)	第 2 群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞	中島 ひかる
6	5/29	13:10−14:40	11 番教室	文法(1)	être・ avoir、形容詞	中島 ひかる
7	6/5	13:10−14:40	11 番教室	文法(2)	前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過	中島 ひかる
8	6/12	13:10−14:40	11 番教室	文法(2)	比較級・最上級	中島 ひかる
9	6/19	13:10−14:40	11 番教室	文法(2)	複合過去	中島 ひかる
10	6/26	13:10−14:40	11 番教室	文法(2)	受動態、命令法、非人称構文	中島 ひかる
11	7/3	13:10−14:40	11 番教室	文法(2)	疑問形容詞、疑問副詞	中島 ひかる
12	7/10	13:10−14:40	11 番教室	文法(2)	疑問代名詞	中島 ひかる
13	7/17	13:10−14:40	11 番教室	文法(2)	目的語人称代名詞	中島 ひかる
14	7/24	13:10−14:40	11 番教室	文法(2)	目的語人称代名詞	中島 ひかる
15	7/31	13:10−14:40	11 番教室	復習	前期のまとめ	中島 ひかる

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。

原則的に一つの項目に対して、月・水の 2 回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。

第 1 回: 発音、アルファベ

第 2 回：主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、否定文1

第 3 回：名詞の性・数、提示表現、冠詞

第 4 回：否定文2、疑問文

第 5 回:第 2 群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞
第 6 回:être・avoir、形容詞
第 7 回:前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、 近接未来・近接過去
第 8 回:比較級・最上級
第 9 回:複合過去
第 10 回:受動態、命令法、非人称構文
第 11 回:疑問形容詞、疑問副詞
第 12 回:疑問代名詞
第 13 回:目的語人称代名詞
第 14 回:目的語人称代名詞
第 15 回:前期のまとめ

成績評価の方法

評価:試験(中間試験・期末試験)95%・レポート 0 %・
その他 授業中の解答状況等 5%
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

●文法知識の定着度を見るために、フランス語 a・b・cに関しては、主に筆記試験によって評価します。
●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた評価を行い、これを全体の 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とする場合があります。
●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の合否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

教科書

Bon, allons-y !/朝倉三枝他:朝日出版社, 2017

参考書

ディコ仏和辞典 /白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語は a・b・c・dの総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語dは作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
備考
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000207		
科目名	フランス語ｃ		
担当教員	中島　ひかる		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜２限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期水曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

後期のcではフランス語の様々な時制や法、関係代名詞、中性代名詞の学習が中心になります。

授業の到達目標

1）基本単語の意味と綴りを身につける。

2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	10:50−12:20	11 番教室	文法(3)	代名動詞	中島　ひかる
2	10/9	10:50−12:20	11 番教室	文法(3)	代名動詞	中島　ひかる
3	10/16	10:50−12:20	11 番教室	文法(3)	半過去・大過去	中島　ひかる
4	10/23	10:50−12:20	11 番教室	文法(3)	半過去・大過去	中島　ひかる
5	10/30	10:50−12:20	11 番教室	文法(3)	関係代名詞	中島　ひかる
6	11/6	10:50−12:20	11 番教室	文法(3)	関係代名詞	中島　ひかる
7	11/13	10:50−12:20	11 番教室	文法(3)	中性代名詞	中島　ひかる
8	11/20	10:50−12:20	11 番教室	文法(3)	中性代名詞	中島　ひかる
9	11/27	10:50−12:20	11 番教室	文法(3)	単純未来・前未来	中島　ひかる
10	12/4	10:50−12:20	11 番教室	文法(3)	条件法	中島　ひかる
11	12/11	10:50−12:20	11 番教室	文法(3)	条件法	中島　ひかる
12	12/18	10:50−12:20	11 番教室	文法(3)	現在分詞・ジェロンディフ	中島　ひかる
13	1/8	10:50−12:20	11 番教室	文法(3)	接続法・話法	中島　ひかる
14	1/15	10:50−12:20	11 番教室	文法(3)	接続法・話法	中島　ひかる
15	1/22	10:50−12:20	11 番教室	復習	フランス語cまとめ	中島　ひかる

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期cでは、前期a・bの内容を引き継ぎ、中性代名詞、関係代名詞を学習するほか、様々な時制や法を学んでいきます。以下の予定はクラスの理解度によって変更する可能性があります。

第 1 回：代名動詞

第 2 回：代名動詞

第 3 回：半過去・大過去

第 4 回：半過去・大過去

第 5 回：関係代名詞

第 6 回：関係代名詞

第 7 回：中性代名詞

第 8 回：中性代名詞

第 9 回：単純未来、前未来

第 10 回:条件法
第 11 回:条件法
第 12 回:現在分詞・ジェロンディフ
第 13 回:接続法・話法
第 14 回:接続法・話法
第 15 回:フランス語cまとめ

成績評価の方法

評価:試験(中間試験・期末試験)95%・レポート 0 %・
その他 授業中の解答状況等 5%
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

●文法知識の定着度を見るために、フランス語 a・b・cに関しては、主に筆記試験によって評価します。
●上記のパーセンテージは「フランス語c」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせて 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とする場合があります。
●「フランス語c」のみが基準点に満たなかった場合、この範囲に限定して再考査を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

教科書

Bon , allons-y／朝倉三枝他:朝日出版社, 2017

参考書

ディコ仏和辞典 ／白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語は a・b・c・dの総合点で 4 単位まとめて評価します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

備考

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜　12:30～13:00　教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000209		
科目名	フランス語ｃ		
担当教員	中島 ひかる		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜３限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期水曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

後期のcではフランス語の様々な時制や法、関係代名詞、中性代名詞の学習が中心になります。

授業の到達目標

1）基本単語の意味と綴りを身につける。

2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	13:10−14:40	11 番教室	文法(3)	代名動詞	中島 ひかる
2	10/9	13:10−14:40	11 番教室	文法(3)	代名動詞	中島 ひかる
3	10/16	13:10−14:40	11 番教室	文法(3)	半過去・大過去	中島 ひかる
4	10/23	13:10−14:40	11 番教室	文法(3)	半過去・大過去	中島 ひかる
5	10/30	13:10−14:40	11 番教室	文法(3)	関係代名詞	中島 ひかる
6	11/6	13:10−14:40	11 番教室	文法(3)	関係代名詞	中島 ひかる
7	11/13	13:10−14:40	11 番教室	文法(3)	中性代名詞	中島 ひかる
8	11/20	13:10−14:40	11 番教室	文法(3)	中性代名詞	中島 ひかる
9	11/27	13:10−14:40	11 番教室	文法(3)	単純未来・前未来	中島 ひかる
10	12/4	13:10−14:40	11 番教室	文法(3)	条件法	中島 ひかる
11	12/11	13:10−14:40	11 番教室	文法(3)	条件法	中島 ひかる
12	12/18	13:10−14:40	11 番教室	文法(3)	現在分詞・ジェロンディフ	中島 ひかる
13	1/8	13:10−14:40	11 番教室	文法(3)	接続法、話法	中島 ひかる
14	1/15	13:10−14:40	11 番教室	文法(3)	接続法、話法	中島 ひかる
15	1/22	13:10−14:40	11 番教室	復習	フランス語cまとめ	中島 ひかる

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期cでは、前期a・bの内容を引き継ぎ、中性代名詞、関係代名詞を学習するほか、様々な時制や法を学んでいきます。以下の予定はクラスの理解度によって変更する可能性があります。

第 1 回：代名動詞

第 2 回：代名動詞

第 3 回：半過去・大過去

第 4 回：半過去・大過去

第 5 回：関係代名詞

第 6 回：関係代名詞

第 7 回：中性代名詞

第 8 回：中性代名詞

第 9 回：単純未来、前未来

第 10 回:条件法
第 11 回:条件法
第 12 回:現在分詞・ジェロンディフ
第 13 回:接続法、話法
第 14 回:接続法、話法
第 15 回:フランス語cまとめ

成績評価の方法

評価:試験(中間試験・期末試験)95%・レポート 0 %・
その他 授業中の解答状況等 5%
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

●文法知識の定着度を見るために、フランス語 a・b・cに関しては、主に筆記試験によって評価します。
●上記のパーセンテージは「フランス語c」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせて 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とする場合があります。
●「フランス語c」のみが基準点に満たなかった場合、この範囲に限定して再考査を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

教科書

Bon, allons-y !/朝倉三枝他:朝日出版社, 2017

参考書

ディコ仏和辞典 /白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語は a・b・c・dの総合点で 4 単位まとめて評価します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

備考

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜　12:30～13:00　教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000210		
科目名	フランス語 d		
担当教員	中島 ひかる		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間: 月曜3限

・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3−1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4)外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語dの中島が担当する授業は講読・仏作文の授業になります。

目的:フランスの文化や社会について理解を深めながら読解力を養う。同時に、自らフランス語の文章を書いてみることで、フランス語の基本的構造と単語を定着させる。

概要:フランスの社会や文化を扱った簡単なフランス語のテキストをもとに、背景も含めて内容を理解した上で、フランス語を書く練習をします。テキストの文章を逐語訳せずに、重要な単語を拾いながら、背景も含めて必要な情報を理解し、それを簡単なフランス語の文にまとめます。フランス語をフランス語のまま捉えて読む練習にもなります。

授業の到達目標

1)フランスの文化や社会について理解を深める。

2)やや複雑なフランス語の文章構造に慣れ、読解力を養成する。

3)フランス語の構文を理解し、文法規則に則った正しい文章が書けるようになる。

4)基本的単語の意味と綴り、基本動詞の活用に慣れる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	13:10−14:40	11 番教室	イントロダクション 作文・読解	マクロン	中島 ひかる
2	10/7	13:10−14:40	11 番教室	作文・読解	マクロン　フランスの極右	中島 ひかる
3	10/21	13:10−14:40	11 番教室	作文・読解	フランスの極右	中島 ひかる
4	10/28	13:10−14:40	11 番教室	作文・読解	ストラスブールと EU	中島 ひかる
5	11/11	13:10−14:40	11 番教室	作文・読解	ストラスブールと EU　平均余命	中島 ひかる
6	11/18	13:10−14:40	11 番教室	作文・読解	平均余命	中島 ひかる
7	11/25	13:10−14:40	11 番教室	作文・読解	フランス語になった日本語	中島 ひかる
8	12/2	13:10−14:40	11 番教室	作文・読解	フランス語になった日本語　夏休み	中島 ひかる
9	12/9	13:10−14:40	11 番教室	作文・読解	夏休み	中島 ひかる
10	12/16	13:10−14:40	11 番教室	作文・読解	コンシエルジュ	中島 ひかる
11	12/23	13:10−14:40	11 番教室	作文・読解	コンシエルジュ　フランス料理	中島 ひかる
12	1/6	13:10−14:40	11 番教室	作文・読解	フランス料理	中島 ひかる
13	1/20	13:10−14:40	11 番教室	作文・読解	バレンタインデー	中島 ひかる
14	1/27	13:10−14:40	11 番教室	作文・読解	バゲット	中島 ひかる
15	2/3	13:10−14:40	11 番教室	復習	フランス語dまとめ	中島 ひかる

授業方法

演習による。

フランスの文化や社会についての時事問題を扱った簡単なテキストをもとに、フランス語の質問にフランス語で答えることを通して、以下のような練習を行います。適宜文法事項の復習を行います。

1:文章の背景・キーワードを理解する。

2:キーセンテンスを把握する。

3:1, 2をもとにテキスト内容を把握する。

4：フランス語の質問にフランス語で答えることで、簡単な文章を正しいフランス語で書く。

授業内容

テキストで扱う内容は以下のようになります。
1～2 回で一つのテーマを扱う予定ですが、順序やテーマ等は
受講者の学力・興味によって変更する可能性があります。

1～2回目：マクロン
2～3回目：フランスの極右
4～5回目：ストラスブールと EU
5～6回目：平均余命
7～8回目：フランス語になった日本語
8～9回目：夏休み
10～11 回目：コンシエルジュ
11～12 回目：フランス料理
13 回目：バレンタインデー
14 回目：バゲット
15 回目：フランス語 d まとめ

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）40～50%・レポート 0 %・
その他 50～60 %（授業中の課題提出）
再評価：有 （再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験）

授業中に毎回読解・作文に関する課題を提出してもらいますので、その提出状況、及び授業で身につけた書く力を見るための期末試験を合わせて評価します。
●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」は a・b 合わせて 50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。
●「フランス語d」についての再考査は実施しません。「フランス語」としての総合的な再試験を実施します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で扱うテキストについては、あらかじめ、背景説明を読んだ上で、キーワードや主要なセンテンスをとらえ、概略を理解するよう努めて下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上の出席。
（a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。）
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上の出席。

教科書

A la page 時事フランス語 2019 年度版／加藤晴久他：朝日出版社, 2019
：朝日出版社

参考書

ディコ仏和辞典 ／白水社：白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 ：旺文社
ロワイヤル仏和辞典 ：旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。

辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。和仏辞典は必ずしも必要ありません。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語dについては2種類の授業が開講されているので、中島（作文・講読）、満島（聞き取り・会話）のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月・水曜　12:30～13:00　教養部管理研究棟３階フランス語研究室

時間割番号	000211		
科目名	フランス語 d		
担当教員	満島　直子		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間：月曜 3 限

対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語 a, b （前期文法）修了者を対象とする会話入門。

教科書では、パリから南仏へ旅するピエールとユゴーを中心に、実際に起こりそうなシチュエーションの対話が展開されます。これらの会話例をとおして、旅行や日常生活で使われる様々な表現を学びます。また、映像教材を使ってフランス文化の一端に触れていきます。

知っているはずの文法事項でも、実際に聞いたり話したりしようとすると急には使えないことが判ると思います。

文法の授業で習う内容を具体的な文脈の中で確認し、復習するとともに、基本例をもとにして身の回りのことについての簡単な文を扱えるようになることを目指します。

授業の到達目標

1） 文型の口頭練習、シャドーイング、リスニング、ディクテーション等を通して、フランス語を聞き取り、発音することに慣れること。

2） 基本的な表現を覚えて発話の手がかりをつかむこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	13:10−14:40	10 番教室	満島　直子
2	10/7	13:10−14:40	10 番教室	満島　直子
3	10/21	13:10−14:40	10 番教室	満島　直子
4	10/28	13:10−14:40	10 番教室	満島　直子
5	11/11	13:10−14:40	10 番教室	満島　直子
6	11/18	13:10−14:40	10 番教室	満島　直子
7	11/25	13:10−14:40	10 番教室	満島　直子
8	12/2	13:10−14:40	10 番教室	満島　直子
9	12/9	13:10−14:40	10 番教室	満島　直子
10	12/16	13:10−14:40	10 番教室	満島　直子
11	12/23	13:10−14:40	10 番教室	満島　直子
12	1/6	13:10−14:40	10 番教室	満島　直子
13	1/20	13:10−14:40	10 番教室	満島　直子
14	1/27	13:10−14:40	10 番教室	満島　直子
15	2/3	13:10−14:40	10 番教室	満島　直子

授業方法

演習方式で授業を進めます。テキストに沿って発音、構文を確認しながら進み、学んだ事項をもとに口頭での応答やリスニング、ディクテーションの練習を行います。

授業内容

開講時に、フランス語 a, b の進み具合、及び参加者の到達度に応じて開始箇所を決めます。進度については各クラスの様子を見ながら調整し、場合によっては一部を省略または追加することもあります。文法の教科書と学習項目の順序が異なる時は、必要に応じて文法事項を解説します。

1 回目：前期学習項目の確認と練習(1)

2 回目：前期学習項目の確認と練習(2)

3 回目：出発地、目的地、交通手段を伝える。

4 回目：持ち物や家族の特徴を説明する。

5 回目：飲み物、食べ物、欲しい物を伝える。

6 回目:時刻と天候について話す。
7 回目:好みを伝え、値段を聞く。日常生活を語る。
8 回目:レストランで注文する。
9 回目:比較する。
10 回目:先週したことを説明する。
11 回目:自分の生い立ちを話す。
12 回目:理由や状況を説明する。
13 回目:ヴァカンスの予定や将来の計画を話す。
14 回目:総合練習(1)
15 回目:総合練習(2)

成績評価の方法

フランス語を聞き取り、自ら発話することを到達目標とする授業なので、小試験におけるディクテーションや授業中の発話を重視します。期末試験では口頭試問があり、筆記試験部分にもディクテーションが含まれます。(事前に準備ができる形にしたり、状況に応じてヒントを加えていきますので恐れずにご参加ください。)

評価:試験(期末考査)40%・レポート 0 %・その他 60 %(授業中小試験 30 %・授業参加度 30 %)
期末試験は、口頭試験 10 %、筆記試験 30 %です。

再評価:有(再評価方法 「フランス語」としての再試験)

●上記のパーセンテージは「フランス語 d」についての評価方法です。「フランス語」は a/b/c/d 各 25%を総合して成績を評価します。

●「フランス語d」のみの再考査は行いまん。「フランス語」として全体の再評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

実践してみることが大切なため、単語については予習し、授業での練習には積極的に参加してください。音声教材を繰り返し聞いたり、手で文を書き写す等の作業も有効です。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
 受験資格は定期試験を受験していること。
 ・後期 d については再考査は行わない。
 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

教科書

教科書:Ogasawara, Yoko, Pierre et Hugo, troisième édition, Hakusuisha, 2019, (小笠原洋子、『ピエールとユゴー』[三訂版](DVD 付)、白水社、2019

参考書

授業中にプリントを配布したり、参考書や教材の紹介を行います。
辞書については、フランス語 a のシラバスを参照してください。

他科目との関連

フランス語 d については2種類の授業が開講されているので、中島(作文・講読)、満島(聞き取り・会話)のいずれか希望のクラスを選

んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000212		
科目名	フランス語 d		
担当教員	中島 ひかる		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間: 月曜 4 限

・対象学科: 医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3−1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4)外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語dの中島が担当する授業は講読・仏作文の授業になります。

目的:フランスの文化や社会について理解を深めながら読解力を養う。同時に、自らフランス語の文章を書いてみることで、フランス語の基本的構造と単語を定着させる。

概要:フランスの社会や文化を扱った簡単なフランス語のテキストをもとに、背景も含めて内容を理解した上で、フランス語を書く練習をします。テキストの文章を逐語訳せずに、重要な単語を拾いながら、背景も含めて必要な情報を理解し、それを簡単なフランス語の文にまとめます。フランス語をフランス語のまま捉えて読む練習にもなります。

授業の到達目標

1)フランスの文化や社会について理解を深める。

2)やや複雑なフランス語の文章構造に慣れ、読解力を養成する。

3)フランス語の構文を理解し、文法規則に則った正しい文章が書けるようになる。

4)基本的単語の意味と綴り、基本動詞の活用に慣れる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	14:50−16:20	11 番教室	イントロダクション 作文・読解	マクロン	中島 ひかる
2	10/7	14:50−16:20	11 番教室	作文・読解	マクロン　フランスの右翼	中島 ひかる
3	10/21	14:50−16:20	11 番教室	作文・読解	フランスの右翼	中島 ひかる
4	10/28	14:50−16:20	11 番教室	作文・読解	ストラスブールと EU	中島 ひかる
5	11/11	14:50−16:20	11 番教室	作文・読解	ストラスブールと EU　平均余命	中島 ひかる
6	11/18	14:50−16:20	11 番教室	作文・読解	平均余命	中島 ひかる
7	11/25	14:50−16:20	11 番教室	作文・読解	フランス語になった日本語	中島 ひかる
8	12/2	14:50−16:20	11 番教室	作文・読解	フランス語になった日本語　夏休み	中島 ひかる
9	12/9	14:50−16:20	11 番教室	作文・読解	夏休み	中島 ひかる
10	12/16	14:50−16:20	11 番教室	作文・読解	コンシエルジュ	中島 ひかる
11	12/23	14:50−16:20	11 番教室	作文・読解	コンシエルジュ　フランス料理	中島 ひかる
12	1/6	14:50−16:20	11 番教室	作文・読解	フランス料理	中島 ひかる
13	1/20	14:50−16:20	11 番教室	作文・読解	バレンタインデー	中島 ひかる
14	1/27	14:50−16:20	11 番教室	作文・読解	バゲット	中島 ひかる
15	2/3	14:50−16:20	11 番教室	復習	フランス語dまとめ	中島 ひかる

授業方法

演習による。

フランスの文化や社会についての時事問題を扱った簡単なテキストをもとに、フランス語の質問にフランス語で答えることを通して、以下のような練習を行います。適宜文法事項の復習を行います。

1:文章の背景・キーワードを理解する。

2:キーセンテンスを把握する。

3:1, 2をもとにテキスト内容を把握する。

4：フランス語の質問にフランス語で答えることで、簡単な文章を正しいフランス語で書く。

授業内容

テキストで扱う内容は以下のようになります。
1～2 回で一つのテーマを扱う予定ですが、順序やテーマ等は受講者の学力・興味によって変更する可能性があります。

1～2回目：マクロン
2～3回目：フランスの極右
4～5回目：ストラスブールと EU
5～6回目：平均余命
7～8回目：フランス語になった日本語
8～9回目：夏休み
10～11 回目：コンシエルジュ
11～12 回目：フランス料理
13 回目：バレンタインデー
14 回目：バゲット
15 回目：フランス語 d まとめ

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）40～50%・レポート 0 %・
その他 50～60 %（授業中の課題提出）
再評価：有 （再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験）

授業中に毎回読解・作文に関する課題を提出してもらいますので、その提出状況、及び授業で身につけた書く力を見るための期末試験を合わせて評価します。
●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」は a・b 合わせて 50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。
●「フランス語d」についての再考査は実施しません。「フランス語」としての総合的な再試験を実施します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で扱うテキストについては、あらかじめ、背景説明を読んだ上で、キーワードや主要なセンテンスをとらえ、概略を理解するよう努めて下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上の出席。
（a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。）
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上の出席。

教科書

A la page 時事フランス語 2019 年度版／加藤晴久他：朝日出版社, 2019
：朝日出版社

参考書

ディコ仏和辞典 ／白水社：白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 ：旺文社
ロワイヤル仏和辞典 ：旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。和仏辞典は必ずしも必要ありません。

電子辞書を買うならクラウンではなくプチ･ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語dについては2種類の授業が開講されているので、中島（作文・講読）、満島（聞き取り・会話）のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月・水曜　12:30～13:00　教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000213		
科目名	フランス語 d		
担当教員	満島　直子		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間：月曜 4 限

対象学科：医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語 a, b （前期文法）修了者を対象とする会話入門。

教科書では、パリから南仏へ旅するピエールとユゴーを中心に、実際に起こりそうなシチュエーションの対話が展開されます。これらの会話例をとおして、旅行や日常生活で使われる様々な表現を学びます。また、映像教材を使ってフランス文化の一端に触れていきます。

知っているはずの文法事項でも、実際に聞いたり話したりしようとすると急には使えないことが判ると思います。

文法の授業で習う内容を具体的な文脈の中で確認し、復習するとともに、基本例をもとにして身の回りのことについての簡単な文を扱えるようになることを目指します。

授業の到達目標

1） 文型の口頭練習、シャドーイング、リスニング、ディクテーション等を通して、フランス語を聞き取り、発音することに慣れること。

2） 基本的な表現を覚えて発話の手がかりをつかむこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	14:50−16:20	10 番教室	満島　直子
2	10/7	14:50−16:20	10 番教室	満島　直子
3	10/21	14:50−16:20	10 番教室	満島　直子
4	10/28	14:50−16:20	10 番教室	満島　直子
5	11/11	14:50−16:20	10 番教室	満島　直子
6	11/18	14:50−16:20	10 番教室	満島　直子
7	11/25	14:50−16:20	10 番教室	満島　直子
8	12/2	14:50−16:20	10 番教室	満島　直子
9	12/9	14:50−16:20	10 番教室	満島　直子
10	12/16	14:50−16:20	10 番教室	満島　直子
11	12/23	14:50−16:20	10 番教室	満島　直子
12	1/6	14:50−16:20	10 番教室	満島　直子
13	1/20	14:50−16:20	10 番教室	満島　直子
14	1/27	14:50−16:20	10 番教室	満島　直子
15	2/3	14:50−16:20	10 番教室	満島　直子

授業方法

演習方式で授業を進めます。テキストに沿って発音、構文を確認しながら進み、学んだ事項をもとに口頭での応答やリスニング、ディクテーションの練習を行います。

授業内容

開講時に、フランス語 a, b の進み具合、及び参加者の到達度に応じて開始箇所を決めます。進度については各クラスの様子を見ながら調整し、場合によっては一部を省略または追加することもあります。文法の教科書と学習項目の順序が異なる時は、必要に応じて文法事項を解説します。

1 回目：前期学習項目の確認と練習(1)

2 回目：前期学習項目の確認と練習(2)

3 回目：出発地、目的地、交通手段を伝える。

4 回目：持ち物や家族の特徴を説明する。

5 回目：飲み物、食べ物、欲しい物を伝える。

6 回目:時刻と天候について話す。
7 回目:好みを伝え、値段を聞く。日常生活を語る。
8 回目:レストランで注文する。
9 回目:比較する。
10 回目:先週したことを説明する。
11 回目:自分の生い立ちを話す。
12 回目:理由や状況を説明する。
13 回目:ヴァカンスの予定や将来の計画を話す。
14 回目:総合練習(1)
15 回目:総合練習(2)

成績評価の方法

フランス語を聞き取り、自ら発話することを到達目標とする授業なので、小試験におけるディクテーションや授業中の発話を重視します。期末試験では口頭試問があり、筆記試験部分にもディクテーションが含まれます。(事前に準備ができる形にしたり、状況に応じてヒントを加えていきますので恐れずにご参加ください。)

評価:試験(期末考査)40%・レポート 0 %・その他 60 %(授業中小試験 30 %・授業参加度 30 %)
期末試験は、口頭試験 10 %、筆記試験 30 %です。

再評価:有(再評価方法 「フランス語」としての再試験)

●上記のパーセンテージは「フランス語 d」についての評価方法です。「フランス語」は a/b/c/d 各 25%を総合して成績を評価します。

●「フランス語d」のみの再考査は行いまん。「フランス語」として全体の再評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

実践してみることが大切なため、単語については予習し、授業での練習には積極的に参加してください。音声教材を繰り返し聞いたり、手で文を書き写す等の作業も有効です。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
 受験資格は定期試験を受験していること。
 ・後期 d については再考査は行わない。
 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

教科書

教科書:Ogasawara, Yoko, Pierre et Hugo, troisième édition, Hakusuisha, 2019, (小笠原洋子、『ピエールとユゴー』[三訂版](DVD 付)、白水社、2019

参考書

授業中にプリントを配布したり、参考書や教材の紹介を行います。
辞書については、フランス語 a のシラバスを参照してください。

他科目との関連

フランス語 d については2種類の授業が開講されているので、中島(作文・講読)、満島(聞き取り・会話)のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000225		
科目名	中国語 a		
担当教員	阿部　由美子		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間:水曜　2 限

対象学科:　保健衛生学科(看護・検査)・口腔保健学科(口腔衛生・口腔工学)

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4

授業の目的、概要等

中国語を初めて学ぶ人のための授業です。

授業は週 2 回月曜日は主に会話(担当:周俊宇)、水曜日は主に文法(担当:阿部由美子)を扱います。

質問がある場合は、発音や語彙については周に、文法については阿部にすると良いでしょう。

中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。

1 年生の前期は基礎を学ぶ大切な時期なので、正しい発音と文法をしっかり身に着けましょう。

授業の到達目標

中国語検定試験準4級レベルの文法、語彙力を身に着ける

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/17	10:50-12:20	9 番教室	阿部　由美子
2	4/24	10:50-12:20	9 番教室	阿部　由美子
3	5/8	10:50-12:20	9 番教室	阿部　由美子
4	5/15	10:50-12:20	9 番教室	阿部　由美子
5	5/22	10:50-12:20	9 番教室	阿部　由美子
6	5/29	10:50-12:20	9 番教室	阿部　由美子
7	6/5	10:50-12:20	9 番教室	阿部　由美子
8	6/12	10:50-12:20	9 番教室	阿部　由美子
9	6/19	10:50-12:20	9 番教室	阿部　由美子
10	6/26	10:50-12:20	9 番教室	阿部　由美子
11	7/3	10:50-12:20	9 番教室	阿部　由美子
12	7/10	10:50-12:20	9 番教室	阿部　由美子
13	7/17	10:50-12:20	9 番教室	阿部　由美子
14	7/24	10:50-12:20	9 番教室	阿部　由美子
15	7/31	10:50-12:20	9 番教室	阿部　由美子

授業方法

文法事項について解説した後、練習問題に取り組んでもらいます。

授業内容

第 1 回　発音、ピンイン

第 2 回　テキスト1－3

第 3 回　テキスト4－6

第 4 回　テキスト7－9

第 5 回　テキスト 10－12

第 6 回　テキスト 13－15

第 7 回　テキスト 16－18

第 8 回　テキスト 19－21

第 9 回　テキスト 22－24

第 10 回　テキスト 25－27

第 11 回　テキスト 28―30

第 12 回　テキスト 31－33

第 13 回　テキスト 34－36

第 14 回　テキスト 37-39

第 15 回　試験とまとめ、復習
成績評価の方法 評価　：　期末試験 40%・小テスト等 40%・その他（平常点）20% 再評価：有　（再評価方法　「中国語」としての学年末再試験を実施する） ※通年 4 単位の中国語の成績（100 点満点）は、前期「中国語 a」（25 点）、「中国語 b」（25 点）後期「中国語 c」（25 点）、「中国語 d」（25 点）の合計得点とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。
教科書 はじめて学ぶ中国語文法／永井鉄郎 著,：金星堂, 2014
参考書 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,：語研, 2015
履修上の注意事項 期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

時間割番号	000226		
科目名	中国語 a		
担当教員	阿部 由美子		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間:水曜 3 限

対象学科: 医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4

授業の目的、概要等

中国語を初めて学ぶ人のための授業です。

授業は週 2 回月曜日は主に会話(担当:周俊宇)、水曜日は主に文法(担当:阿部由美子)を扱います。

質問がある場合は、発音や語彙については周に、文法については阿部にすると良いでしょう。

中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。

1 年生の前期は基礎を学ぶ大切な時期なので、正しい発音と文法をしっかり身に着けましょう。

授業の到達目標

中国語検定試験準4級レベルの文法、語彙力を身に着ける

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/17	13:10-14:40	9 番教室	阿部 由美子
2	4/24	13:10-14:40	9 番教室	阿部 由美子
3	5/8	13:10-14:40	9 番教室	阿部 由美子
4	5/15	13:10-14:40	9 番教室	阿部 由美子
5	5/22	13:10-14:40	9 番教室	阿部 由美子
6	5/29	13:10-14:40	9 番教室	阿部 由美子
7	6/5	13:10-14:40	9 番教室	阿部 由美子
8	6/12	13:10-14:40	9 番教室	阿部 由美子
9	6/19	13:10-14:40	9 番教室	阿部 由美子
10	6/26	13:10-14:40	9 番教室	阿部 由美子
11	7/3	13:10-14:40	9 番教室	阿部 由美子
12	7/10	13:10-14:40	9 番教室	阿部 由美子
13	7/17	13:10-14:40	9 番教室	阿部 由美子
14	7/24	13:10-14:40	9 番教室	阿部 由美子
15	7/31	13:10-14:40	9 番教室	阿部 由美子

授業方法

文法事項について解説した後、練習問題に取り組んでもらいます。

授業内容

第 1 回 発音、ピンイン

第 2 回 テキスト1－3

第 3 回 テキスト4－6

第 4 回 テキスト7－9

第 5 回 テキスト 10－12

第 6 回 テキスト 13－15

第 7 回 テキスト 16－18

第 8 回 テキスト 19－21

第 9 回 テキスト 22－24

第 10 回 テキスト 25－27

第 11 回 テキスト 28―30

第 12 回 テキスト 31－33

第 13 回 テキスト 34－36

第 14 回 テキスト 37-39

第 15 回　試験とまとめ、復習
成績評価の方法 評価　：　期末試験 40%・小テスト等 40%・その他（平常点）20% 再評価：有　（再評価方法　「中国語」としての学年末再試験を実施する） ※通年 4 単位の中国語の成績（100 点満点）は、前期「中国語 a」（25 点）、「中国語 b」（25 点）後期「中国語 c」（25 点）、「中国語 d」（25 点）の合計得点とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。
教科書 はじめて学ぶ中国語文法／永井鉄郎 著,:金星堂, 2014
参考書 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015
履修上の注意事項 期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

時間割番号	000227		
科目名	中国語 b		
担当教員	周 俊宇		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間: 月曜 3 限

対象学科: 保健衛生学科、口腔保健学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 1-1, 1-4, 3-1, 3-4

授業の目的、概要等

中国語を初めて学ぶ人のための授業です。

授業は週2回通年で行われるが、前期では、月曜日は主に会話(担当:周俊宇)、水曜日は主に文法(担当:阿部由美子)を扱います。

質問がある場合は、発音や語彙については周に、文法については阿部にすると良いでしょう。

同じ漢字を使用する国として、中国語は日本人にとって親しみやすい言語です。漢字という共通点があるため、文章ならなんとなくイメージが伝わり、「書く」と「読む」だけで意思の疎通ができてしまう部分もあるが、中国語圏の人々とより良いコミュニケーションを取るには、「聴く」と「話す」、つまり会話の能力を身につけなければなりません。

本授業では、会話の勉強を通してみなさんに無理なく中国語の魅力を感じてもらい、また、中国大陸や台湾など、中国語圏の言語表現や文化の多様性についても初歩的な理解を持ってもらうことを目指します。

授業の到達目標

①中国語の発音の基礎、ピンインの規則を習得すること。

②中国語で簡単な日常会話ができること。

③中国語圏の言語表現や文化について初歩的な理解ができること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	13:10-14:40	9 番教室	周 俊宇
2	4/22	13:10-14:40	9 番教室	周 俊宇
3	5/6	13:10-14:40	9 番教室	周 俊宇
4	5/13	13:10-14:40	9 番教室	周 俊宇
5	5/20	13:10-14:40	9 番教室	周 俊宇
6	5/27	13:10-14:40	9 番教室	周 俊宇
7	6/3	13:10-14:40	9 番教室	周 俊宇
8	6/10	13:10-14:40	9 番教室	周 俊宇
9	6/17	13:10-14:40	9 番教室	周 俊宇
10	6/24	13:10-14:40	9 番教室	周 俊宇
11	7/1	13:10-14:40	9 番教室	周 俊宇
12	7/8	13:10-14:40	9 番教室	周 俊宇
13	7/15	13:10-14:40	9 番教室	周 俊宇
14	7/22	13:10-14:40	9 番教室	周 俊宇
15	7/29	13:10-14:40	9 番教室	周 俊宇

授業方法

中国語 b(前期会話)の授業では、一冊の教科書の前半部分に従って中国語の発音と基本的な実用会話を学びます。教科書の順番通り学習を進め、基本的に一回の授業で一課分の勉強をしていきますが、学生の関心を踏まえつつ関連の情報や教材も適宜補充します。授業では、学生にたくさんの練習をしてもらいますが、その内容に織り交ぜて中国語圏の言語表現や文化の多様性についても紹介します。なお、授業の進行状況によって指定教科書以外のテキストを追加することもあります。

講義のほか、アクティブ・ラーニング形式をも授業の一部に取り入れます。

授業内容

第 1 回： ガイダンス 中国語圏の言語事情について。授業の進め方、成績の評価の仕方、ピンインの紹介)

第 2 回:発音

第 3 回:人称代名詞、判断動詞"是"、疑問を表す"吗"、中国語の基本的な語順

第 4 回:名詞述語文、動詞"有"、疑問詞疑問文、数量詞の位置

第 5 回:形容詞述語文、語気助詞“了”、助詞“的”、時刻の言い方

第 6 回:助動詞“想”、連動文、動態助詞“过”、場所を表わす代名詞

第 7 回:指示代名詞、動詞“在”、禁止を表わす“别”と“不要”、介詞“给～ “

第 8 回:介詞“在～”、助動詞“会”、動詞の重ね型、語気助詞“吧”

第 9 回:助動詞“要”、結果補語、比較文“A 比 B～”、介詞“离～”

第 10 回:時量補語、動態助詞“着”、様態補語、動態助詞“了”

第 11 回:“的”構文、可能補語、助動詞“能”、“有点儿”と“一点儿”

第 12 回:“是～的”構文、主述述語文、二重目的語、助動詞“可以”

第 13 回:選択疑問文“(是)A, 还是B”、介詞“跟～”、動量補語、反復疑問文

第 14 回:副詞“在”、単純方向補語、“把”構文、副詞“又”と“再”

第 15 回:期末試験

成績評価の方法

評価:期末試験 40%・小テスト等 0%・その他(平常点)60%　授業への参加度を重視する。

再評価:有(再評価方法 「中国語」としての学年末再試験を実施する)
※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。

授業への参加度が平常点の対象になります。また、期末試験は面接試験やスピーチなどの形式で行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

「会話」を上達させるには、練習を繰り返すことが大事ですが、情報化社会のメリットを利用し、教科書の内容にとらわれず、自分が何かをしゃべりたいか、相手に何を伝えたいか、どう伝えたらいいかなどを常に意識し、授業・勉強に積極的に取り組みましょう。

教科書

オリンピックへようこそ : 初級中国語／徐送迎 著,:朝日出版社, 2018

参考書

『中日辞典』・『日中辞典』第3版、小学館、2015
『講談社中日辞典』・『講談社中日辞典』第3版、講談社、2010

履修上の注意事項

授業への参加度を重視しますので、基本的に毎回出席を取り、平常点として評価します。やむ得なく欠席をする学生は必ず事前に連絡をください。

時間割番号	000228		
科目名	中国語ｂ		
担当教員	周　俊宇		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間：月曜４限

対象学科：医学科、歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4

授業の目的、概要等

中国語を初めて学ぶ人のための授業です。

授業は週2回通年で行われるが、前期では、月曜日は主に会話(担当：周俊宇)、水曜日は主に文法(担当：阿部由美子)を扱います。

質問がある場合は、発音や語彙については周に、文法については阿部にすると良いでしょう。

同じ漢字を使用する国として、中国語は日本人にとって親しみやすい言語です。漢字という共通点があるため、文章ならなんとなくイメージが伝わり、「書く」と「読む」だけで意思の疎通ができてしまう部分もあるが、中国語圏の人々とより良いコミュニケーションを取るには、「聴く」と「話す」、つまり会話の能力を身につけなければなりません。

本授業では、会話の勉強を通してみなさんに無理なく中国語の魅力を感じてもらい、また、中国大陸や台湾など、中国語圏の言語表現や文化の多様性についても初歩的な理解を持ってもらうことを目指します。

授業の到達目標

①中国語の発音の基礎、ピンインの規則を習得すること。

②中国語で簡単な日常会話ができること。

③中国語圏の言語表現や文化について初歩的な理解ができること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	14:50-16:20	9番教室	周　俊宇
2	4/22	14:50-16:20	9番教室	周　俊宇
3	5/6	14:50-16:20	9番教室	周　俊宇
4	5/13	14:50-16:20	9番教室	周　俊宇
5	5/20	14:50-16:20	9番教室	周　俊宇
6	5/27	14:50-16:20	9番教室	周　俊宇
7	6/3	14:50-16:20	9番教室	周　俊宇
8	6/10	14:50-16:20	9番教室	周　俊宇
9	6/17	14:50-16:20	9番教室	周　俊宇
10	6/24	14:50-16:20	9番教室	周　俊宇
11	7/1	14:50-16:20	9番教室	周　俊宇
12	7/8	14:50-16:20	9番教室	周　俊宇
13	7/15	14:50-16:20	9番教室	周　俊宇
14	7/22	14:50-16:20	9番教室	周　俊宇
15	7/29	14:50-16:20	9番教室	周　俊宇

授業方法

中国語ｂ(前期会話)の授業では、一冊の教科書に従って中国語の発音と基本的な実用会話を学びます。教科書の順番通り学習を進め、基本的に一回の授業で一課分の勉強をしていきますが、学生の関心を踏まえつつ関連の情報や教材も適宜補充します。授業では、学生にたくさんの練習をしてもらいますが、その内容に織り交ぜて中国語圏の言語表現や文化の多様性についても紹介します。なお、授業の進行状況によって指定教科書以外のテキストを追加することもあります。

講義のほか、アクティブ・ラーニング形式をも授業の一部に取り入れます。

授業内容

第１回：ガイダンス 中国語圏の言語事情について。授業の進め方、成績の評価の仕方、ピンインの紹介）

第２回：発音

第３回：人称代名詞、判断動詞“是”、疑問を表す“吗”、中国語の基本的な語順

第４回：名詞述語文、動詞“有”、疑問詞疑問文、数量詞の位置

第 5 回:形容詞述語文、語気助詞“了”、助詞“的”、時刻の言い方

第 6 回:助動詞“想”、連動文、動態助詞“过”、場所を表わす代名詞

第 7 回:指示代名詞、動詞“在”、禁止を表わす“别”と“不要”、介詞“给～ “

第 8 回:介詞“在～”、助動詞“会”、動詞の重ね型、語気助詞“吧”

第 9 回:助動詞“要”、結果補語、比較文“A 比 B～”、介詞“离～”

第 10 回:時量補語、動態助詞“着”、様態補語、動態助詞“了”

第 11 回:“的”構文、可能補語、助動詞“能”、“有点儿”と“一点儿”

第 12 回:“是～的”構文、主述述語文、二重目的語、助動詞“可以”

第 13 回:選択疑問文“(是)A, 还是B”、介詞“跟～”、動量補語、反復疑問文

第 14 回:副詞“在”、単純方向補語、“把”構文、副詞“又”と“再”

第 15 回:期末試験

成績評価の方法

評価:期末試験 40%・小テスト等 0%・その他(平常点)60%　授業への参加度を重視する。

再評価:有(再評価方法 「中国語」としての学年末再試験を実施する)
※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。

授業への参加度が平常点の対象になります。また、期末試験は面接試験やスピーチなどの形式で行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

「会話」を上達させるには、練習を繰り返すことが大事ですが、情報化社会のメリットを利用し、教科書の内容にとらわれず、自分が何かをしゃべりたいか、相手に何を伝えたいか、どう伝えたらいいかなどを常に意識し、授業・勉強に積極的に取り組みましょう。

教科書

オリンピックへようこそ : 初級中国語／徐送迎 著,:朝日出版社, 2018

参考書

『中日辞典』・『日中辞典』第3版、小学館、2015
『講談社中日辞典』・『講談社中日辞典』第3版、講談社、2010

履修上の注意事項

授業への参加度を重視しますので、基本的に毎回出席を取り、平常点として評価します。やむ得なく欠席をする学生は必ず事前に連絡をください。

時間割番号	000234		
科目名	スペイン語 a		
担当教員	三浦 航太		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間: 月曜 4 限

対象学科: 医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 3−1、3−4

授業の目的、概要等

スペイン語の知識を一から身につけていきます。スペイン語は日本語を母語とする者にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。

授業の到達目標

1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。

2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読み書き出来るようになる。

3)スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	14:50−16:20	2 番教室	三浦 航太
2	4/22	14:50−16:20	2 番教室	三浦 航太
3	5/6	14:50−16:20	2 番教室	三浦 航太
4	5/13	14:50−16:20	2 番教室	三浦 航太
5	5/20	14:50−16:20	2 番教室	三浦 航太
6	5/27	14:50−16:20	2 番教室	三浦 航太
7	6/3	14:50−16:20	2 番教室	三浦 航太
8	6/10	14:50−16:20	2 番教室	三浦 航太
9	6/17	14:50−16:20	2 番教室	三浦 航太
10	6/24	14:50−16:20	2 番教室	三浦 航太
11	7/1	14:50−16:20	2 番教室	三浦 航太
12	7/8	14:50−16:20	2 番教室	三浦 航太
13	7/15	14:50−16:20	2 番教室	三浦 航太
14	7/22	14:50−16:20	2 番教室	三浦 航太
15	7/29	14:50−16:20	2 番教室	三浦 航太

授業方法

時間割の名目上は a/b/c/d に分かれていますが、一人の教員が一冊の教科書を使い週 2 コマ通年で行う授業となります。

基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、それを用いた練習・演習を行います。加えて授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。

授業内容

以下の文法項目の説明と演習を行います(予定)。

第1回:ガイダンス、アルファベット、発音

第2回:アクセント、あいさつの表現

第3回:「1課1」名詞の性と数、冠詞、形容詞

第4回:「1課2」動詞の概観、ser、estar

第5回:「1課3」現在規則変化

第6回:「2課1」存在の hay

第7回:「2課2」現在不規則変化、所有形容詞

第8回:中間試験、返却解説

第9回:「3課1」直接目的語、間接目的語

第10回:「3課2」gustar 型動詞

第11回:「3課3」線過去

第12回:「4課1」点過去規則変化

第13回:「4課2」指示詞、否定語

第14回:総復習

第15回:期末試験、返却解説

成績評価の方法

評価 ： 試験 70% ・ レポート　　% ・ その他(授業参加)30%

再評価:　 有(再評価方法:「スペイン語」としての学年末再試験)

・スペイン語は abcd の総合点で 4 単位まとめて評価します。前期 a/b は中間、期末の 2 回テストを実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業中に適宜指示しますが、基本的には復習中心で学習を進め、次回授業までに先回習ったことを十分にマスターしておいてください。

教科書

ディメロ ： スペイン語初級／東京大学教養学部スペイン語部会 編,東京大学教養学部,:朝日出版社, 2006

参考書

辞書や参考書については初回授業時に指示します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000235		
科目名	スペイン語ｂ		
担当教員	三浦 航太		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間：水曜３限

対象学科：医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：3−1、3−4

授業の目的、概要等

スペイン語の知識を一から身につけていきます。スペイン語は日本語を母語とする者にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。

授業の到達目標

1）スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。

2）スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読み書き出来るようになる。

3）スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/17	13:10−14:40	2 番教室	三浦 航太
2	4/24	13:10−14:40	2 番教室	三浦 航太
3	5/8	13:10−14:40	2 番教室	三浦 航太
4	5/15	13:10−14:40	2 番教室	三浦 航太
5	5/22	13:10−14:40	2 番教室	三浦 航太
6	5/29	13:10−14:40	2 番教室	三浦 航太
7	6/5	13:10−14:40	2 番教室	三浦 航太
8	6/12	13:10−14:40	2 番教室	三浦 航太
9	6/19	13:10−14:40	2 番教室	三浦 航太
10	6/26	13:10−14:40	2 番教室	三浦 航太
11	7/3	13:10−14:40	2 番教室	三浦 航太
12	7/10	13:10−14:40	2 番教室	三浦 航太
13	7/17	13:10−14:40	2 番教室	三浦 航太
14	7/24	13:10−14:40	2 番教室	三浦 航太
15	7/31	13:10−14:40	2 番教室	三浦 航太

授業方法

時間割の名目上は a/b/c/d に分かれていますが、一人の教員が一冊の教科書を使い週２コマ通年で行う授業となります。

基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、それを用いた練習・演習を行います。加えて授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。

授業内容

以下の文法項目の説明と演習を行います（予定）。

第1回：ガイダンス、アルファベット、発音

第2回：アクセント、あいさつの表現

第3回：「1課1」名詞の性と数、冠詞、形容詞

第4回：「1課2」動詞の概観、ser、estar

第5回：「1課3」現在規則変化

第6回：「2課1」存在の hay

第7回：「2課2」現在不規則変化、所有形容詞

第8回：中間試験、返却解説

第9回：「3課1」直接目的語、間接目的語

第10回：「3課2」gustar 型動詞

第11回：「3課3」線過去

第12回：「4課1」点過去規則変化

第13回：「4課2」指示詞、否定語

第14回：総復習

第15回：期末試験、返却解説

成績評価の方法

評価 ： 試験 70% ・ レポート　　% ・ その他(授業参加)30%

再評価:　 有(再評価方法:「スペイン語」としての学年末再試験)

・スペイン語は abcd の総合点で 4 単位まとめて評価します。前期 a/b は中間、期末の 2 回テストを実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業中に適宜指示しますが、基本的には復習中心で学習を進め、次回授業までに先回習ったことを十分にマスターしておいてください。

教科書

ディメロ ： スペイン語初級／東京大学教養学部スペイン語部会 編,東京大学教養学部,:朝日出版社, 2006

参考書

辞書や参考書については初回授業時に指示します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000236		
科目名	スペイン語ｃ		
担当教員	三浦 航太		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間：月曜４限

対象学科：医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：3−1、3−4

授業の目的、概要等

スペイン語の知識を一から身につけていきます。スペイン語は日本語を母語とする者にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。

授業の到達目標

1）スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。

2）スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読み書き出来るようになる。

3）スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	14:50−16:20	2番教室	三浦 航太
2	10/7	14:50−16:20	2番教室	三浦 航太
3	10/21	14:50−16:20	2番教室	三浦 航太
4	10/28	14:50−16:20	2番教室	三浦 航太
5	11/11	14:50−16:20	2番教室	三浦 航太
6	11/18	14:50−16:20	2番教室	三浦 航太
7	11/25	14:50−16:20	2番教室	三浦 航太
8	12/2	14:50−16:20	2番教室	三浦 航太
9	12/9	14:50−16:20	2番教室	三浦 航太
10	12/16	14:50−16:20	2番教室	三浦 航太
11	12/23	14:50−16:20	2番教室	三浦 航太
12	1/6	14:50−16:20	2番教室	三浦 航太
13	1/20	14:50−16:20	2番教室	三浦 航太
14	1/27	14:50−16:20	2番教室	三浦 航太
15	2/3	14:50−16:20	2番教室	三浦 航太

授業方法

時間割の名目上はa/b/c/dに分かれていますが、一人の教員が一冊の教科書を使い週２コマ通年で行う授業となります。

基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、それを用いた練習・演習を行います。加えて授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。

授業内容

以下の文法項目の説明と演習を行います（予定）。

第1回：ガイダンス、復習

第2回：「5課1」点過去不規則変化

第3回：「5課2」不定詞

第4回：「6課1」完了形

第5回：「6課2」関係詞

第6回：「7課1」未来（9課の内容も含む）

第7回：「7課2」無主語文

第8回：中間試験、返却解説

第9回：「8課1」比較

第10回：「8課2」再帰動詞

第11回：「10課」接続法

第12回：「11課」命令法

第13回：スペイン語圏の国々

第14回：総復習

第15回：期末試験、返却解説

成績評価の方法

評価 ： 試験 70% ・ レポート　　% ・ その他(授業参加)30%

再評価:　 有(再評価方法:「スペイン語」としての学年末再試験)

・スペイン語は abcd の総合点で 4 単位まとめて評価します。後期 c/d も中間、期末の 2 回テストを実施する予定です。最終的な成績が 60 点を下回る学生は不合格とし、年度末再試験を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業中に適宜指示しますが、基本的には復習中心で学習を進め、次回授業までに先回習ったことを十分にマスターしておいてください。

教科書

ディメロ：スペイン語初級／東京大学教養学部スペイン語部会 編,東京大学教養学部,:朝日出版社, 2006

参考書

辞書や参考書については初回授業時に指示します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000237		
科目名	スペイン語ｄ		
担当教員	三浦 航太		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間:水曜３限

対象学科:医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3−1、3−4

授業の目的、概要等

スペイン語の知識を一から身につけていきます。スペイン語は日本語を母語とする者にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。

授業の到達目標

1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。

2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読み書き出来るようになる。

3)スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/2	13:10−14:40	6 番教室	三浦 航太
2	10/9	13:10−14:40	6 番教室	三浦 航太
3	10/16	13:10−14:40	6 番教室	三浦 航太
4	10/23	13:10−14:40	6 番教室	三浦 航太
5	10/30	13:10−14:40	6 番教室	三浦 航太
6	11/6	13:10−14:40	6 番教室	三浦 航太
7	11/13	13:10−14:40	6 番教室	三浦 航太
8	11/20	13:10−14:40	6 番教室	三浦 航太
9	11/27	13:10−14:40	6 番教室	三浦 航太
10	12/4	13:10−14:40	6 番教室	三浦 航太
11	12/11	13:10−14:40	6 番教室	三浦 航太
12	12/18	13:10−14:40	6 番教室	三浦 航太
13	1/8	13:10−14:40	6 番教室	三浦 航太
14	1/15	13:10−14:40	6 番教室	三浦 航太
15	1/22	13:10−14:40	6 番教室	三浦 航太

授業方法

時間割の名目上はａ/ｂ/ｃ/ｄに分かれていますが、一人の教員が一冊の教科書を使い週２コマ通年で行う授業となります。

基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、それを用いた練習・演習を行います。加えて授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。

授業内容

以下の文法項目の説明と演習を行います(予定)。

第1回:ガイダンス、復習

第2回:「5課1」点過去不規則変化

第3回:「5課2」不定詞

第4回:「6課1」完了形

第5回:「6課2」関係詞

第6回:「7課1」未来(9課の内容も含む)

第7回:「7課2」無主語文

第8回:中間試験、返却解説

第9回:「8課1」比較

第10回:「8課2」再帰動詞

第11回:「10課」接続法

第12回:「11課」命令法

第13回:スペイン語圏の国々

第14回:総復習

第15回:期末試験、返却解説

成績評価の方法

評価 ： 試験 70% ・ レポート　　% ・ その他(授業参加)30%

再評価:　 有(再評価方法:「スペイン語」としての学年末再試験)

・スペイン語は abcd の総合点で 4 単位まとめて評価します。後期 c/d も中間、期末の 2 回テストを実施する予定です。最終的な成績が 60 点を下回る学生は不合格とし、年度末再試験を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業中に適宜指示しますが、基本的には復習中心で学習を進め、次回授業までに先回習ったことを十分にマスターしておいてください。

教科書

ディメロ：スペイン語初級／東京大学教養学部スペイン語部会 編,東京大学教養学部,:朝日出版社, 2006

参考書

辞書や参考書については初回授業時に指示します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000238				
科目名	物理学実験				
担当教員	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:金曜日・3～4時限

対象学科:医学科、歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2−2)自然現象を探求するための手法を知る

別表4−3)自然現象を探求するための基本的手法を身につける

主な講義場所

物理学生実験室(ヒポ 1F)、計算機実習室(ヒポ 2F)、物理学実験室 1(ヒポ 3F)、4 番教室

授業の目的、概要等

実験形式により、学生自らが手を動かすことで物理学の知識を深化させる。

目的を達成するための方法を考え実験計画を立て、実験中はよくみ(観・視)よく考えて行動し、その結果を確かめながら実験方法を改良しつつ、最終的に得られた結果をどのように解釈したらよいかという物理学的な思考方法を学ぶ。

授業の到達目標

1. レンズの働きを理解し、凸レンズおよび組み合わせレンズの焦点距離、主点の位置を求めることができる。
2. 自然科学に欠かせない予測手段の一つである数値シミュレーションを用い、運動方程式を解くことができる。
3. 極低温状態の固体の性質を調べ、金属、半導体、超伝導、磁性という現代物理学の主要分野である「物性物理学」の知識を得る。
4. 重力加速度の測定を通して、データの統計処理、誤差の計算方法を学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1−2	4/12	13:10−16:20		グループ A 第1回	ガイダンス、演習(誤差の取り扱いについて)	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
3−4	4/19	13:10−16:20		グループ A 第2回	実験題目1	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
5−6	4/26	13:10−16:20		グループ A 第3回	実験題目1	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
7−8	5/10	13:10−16:20		グループ A 第4回	実験題目2	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
9−10	5/17	13:10−16:20		グループ A 第5回	実験題目2	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
11−12	5/24	13:10−16:20		グループ B 第1回	ガイダンス、演習(誤差の取り扱いについて)	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
13−14	5/31	13:10−16:20		グループ B 第2回	実験題目1	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
15−16	6/7	13:10−16:20		グループ B 第3回	実験題目1	檜枝 光憲, 越野 和樹,	物理学学生実験室ほか。詳細は、

						梅崎 馨章	初回授業時に確認すること。
17-18	6/14	13:10-16:20		グループB 第4回	実験題目2	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
19-20	6/21	13:10-16:20		グループB 第5回	実験題目2	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
21-22	6/28	13:10-16:20		グループC 第1回	ガイダンス、演習(誤差の取り扱いについて)	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
23-24	7/5	13:10-16:20		グループC 第2回	実験題目1	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
25-26	7/12	13:10-16:20		グループC 第3回	実験題目1	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
27-28	7/19	13:10-16:20		グループC 第4回	実験題目2	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
29-30	7/26	13:10-16:20		グループC 第5回	実験題目2	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
31-32	10/4	13:10-16:20		グループA 第6回	実験題目3	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
33-34	10/11	13:10-16:20		グループA 第7回	実験題目3	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
35-36	10/18	13:10-16:20		グループA 第8回	実験題目3	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
37-38	10/25	13:10-16:20		グループB 第6回	実験題目3	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
39-40	11/1	13:10-16:20		グループB 第7回	実験題目3	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
41-42	11/8	13:10-16:20		グループB 第8回	実験題目3	檜枝 光憲, 越野 和樹,	物理学学生実験室ほか。詳細は、

						梅崎 馨章	初回授業時に確認すること。
43-44	11/15	13:10-16:20		グループ C 第6回	実験題目3	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
45-46	11/22	13:10-16:20		グループ C 第7回	実験題目3	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
47-48	11/29	13:10-16:20		グループ C 第8回	実験題目3	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。

授業方法

実験

授業内容

物理実験学の講義を実験初日(第 1 週)に行うので休まないこと。

下記の 3 項目の実験を、項目ごとに 2 回の実験日で行う。グループ分けは、実験初日に発表する。

1. レンズの焦点距離と主点の位置(担当:梅崎)
2. 計算機による運動方程式の解法(担当:越野)
3. 物性実験、重力加速度の測定(担当:檜枝)

成績評価の方法

実習形式のため授業の参加度およびレポートの内容を重視する。

レポート + 実験ノート 80%
その他(授業の参加度、実験態度)20%

成績評価の基準

遅刻や実験中の態度不良による減点が大きいので注意すること。
なお、「物理学実験」では、すべての授業に出席し、すべてのレポートを提出することが義務付けられている。

準備学習などについての具体的な指示

教科書

物理学実験テキスト(2019 年度版)
東京医科歯科大学教養部自然科学系物理学分野編

履修上の注意事項

原則、全ての授業に出席すること。欠席時は事務に欠席届を提出し、代替処置を教員と相談すること。 全てのレポートを提出すること。未提出のレポートがある場合、不合格とする。 他人のレポートの丸写し、データ捏造などの不正行為がある場合、不合格とする。

連絡先

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000239				
科目名	化学実験				
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:金曜日・3～4 時限(前期5回、後期 3 回)対象学生は指定された 1～3 組に分かれて化学実験、生物学実験、物理学実験を交代で行う。

対象学科:医学科、歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2−2)自然現象を探求するための手法を知る

別表4−3)自然現象を探求するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

無機定性分析および容量分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。1人1セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。

授業の到達目標

一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。

自分で実験テーマを見つけて、計画・実施することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1−2	4/12	13:10−16:20		総論／実験講義／実験準備／ノートチェック	実験講義(プライマリーレコードと報告の書き方)/実験課題・日程の説明/実験ノートの整備/席ぎめ/名札(机上・白衣)/器具・試薬の点検・整備 など。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	1組
3−4	4/19	13:10−16:20		無機定性分析(1)	混合未知試料の分析、第 1−3 属の分析 (Ag+, Pb2+, Cu2+, Cd2+ ,Al3+, Cr3+, Fe3+)を中心に。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	1組
5−6	4/26	13:10−16:20		無機定性分析(2)	混合未知試料の分析、第 3−5 族の分析 (Al3+, Cr3+, Fe3+, Co2+, Ni2+, Zn2+, Ca2+, Ba2+)を中心に。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	1組
7−8	5/10	13:10−16:20		無機定性分析(3)	混合未知試料の分析、全体を通しての分析。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	1組
9−10	5/17	13:10−16:20		考察実験/ノート面接	定性分析の範囲内で各自の興味のある実験を行う。/ノート面接を行う。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	1組
11−12	5/24	13:10−16:20		総論／実験講義／実験準備／ノートチェック	実験講義(プライマリーレコードと報告の書き方)/実験課題・日程の説明/実験ノートの整備/席ぎめ/名札(机上・白衣)/器具・試薬の点検・整備 など。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	2組
13−14	5/31	13:10−16:20		無機定性分析(1)	混合未知試料の分析、第 1−3 属の分析 (Ag+, Pb2+, Cu2+, Cd2+ ,Al3+, Cr3+, Fe3+)を中心に。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	2組
15−16	6/7	13:10−16:20		無機定性分析(2)	混合未知試料の分析、第 3−5 族の分析 (Al3+, Cr3+, Fe3+, Co2+, Ni2+, Zn2+, Ca2+, Ba2+)を中心に。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	2組
17−18	6/14	13:10−16:20		無機定性分析(3)	混合未知試料の分析、全体を通しての分析。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	2組

19–20	6/21	13:10–16:20		考察実験/ノート面接	定性分析の範囲内で各自の興味のある実験を行う。/ノート面接を行う。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	2組
21–22	6/28	13:10–16:20		総論／実験講義／実験準備／ノートチェック	実験講義(プライマリーレコードと報告の書き方)/実験課題・日程の説明/実験ノートの整備/席ぎめ/名札(机上・白衣)/器具・試薬の点検・整備 など。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	3組
23–24	7/5	13:10–16:20		無機定性分析(1)	混合未知試料の分析、第 1–3 属の分析 (Ag+, Pb2+, Cu2+, Cd2+ ,Al3+, Cr3+, Fe3+)を中心に。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	3組
25–26	7/12	13:10–16:20		無機定性分析(2)	混合未知試料の分析、第 3–5 族の分析 (Al3+, Cr3+, Fe3+, Co2+, Ni2+, Zn2+, Ca2+, Ba2+)を中心に。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	3組
27–28	7/19	13:10–16:20		無機定性分析(3)	混合未知試料の分析、全体を通しての分析。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	3組
29–30	7/26	13:10–16:20		考察実験/ノート面接	定性分析の範囲内で各自の興味のある実験を行う。/ノート面接を行う。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	3組
31–32	10/4	13:10–16:20		容量分析／中和滴定	食酢中の酢酸の定量。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	1組
33–34	10/11	13:10–16:20		キレート滴定	水道水やミネラルウォーター中に含まれるカルシウムの定量、牛乳中のカルシウムの定量	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	1組
35–36	10/18	13:10–16:20		容量分析テスト	各自配布された未知試料の概算値を求め、本定量の計画の点検を受ける。その後、未知試料の濃度の定量(本定量)。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	1組
37–38	10/25	13:10–16:20		容量分析／中和滴定	食酢中の酢酸の定量。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	2組
39–40	11/1	13:10–16:20		キレート滴定	水道水やミネラルウォーター中に含まれるカルシウムの定量、牛乳中のカルシウムの定量	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	2組
41–42	11/8	13:10–16:20		容量分析テスト	各自配布された未知試料の概算値を求め、本定量の計画の点検を受ける。その後、未知試料の濃度の定量(本定量)。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	2組
43–44	11/15	13:10–16:20		容量分析／中和滴定	食酢中の酢酸の定量。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	3組
45–46	11/22	13:10–16:20		キレート滴定	水道水やミネラルウォーター中に含まれるカルシウムの定量、牛乳中のカルシウムの定量	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	3組
47–48	11/29	13:10–16:20		容量分析テスト	各自配布された未知試料の概算値を求め、本定量の計画の点検を受ける。その後、未知試料の濃度の定量(本定量)。	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	3組

授業方法

実習および講義による

授業内容

前期

1. 化学実験総論／席決め／実験準備と講義（一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等）
2. 無機金属イオンの分析（硫化水素法） その1（1－5族混合未知試料の分析）
3. 無機金属イオンの分析（硫化水素法） その2（1－5族混合未知試料の分析）
4. 無機金属イオンの分析（硫化水素法） その3（1－5族混合未知試料の分析）
5. 考察実験（ペーパークロマトグラフィー／分光光度計をもちいた比色分析等）

後期

6. 容量分析（その1） 中和滴定の練習(食酢中の酸の定量)／誤差の取り扱い方
7. 容量分析（その2） 容量分析テスト（酒石酸または炭酸カリウムの未知試料の濃度決定）
8. 容量分析（その3） キレート滴定 牛乳、水道水中のカルシウムイオンの定量

成績評価の方法

実験のため、実験中の取り組み、記録の取り方など重視し以下の通りとする。

実験ノート（一次記録および報告）60%、

実験中の取り組み（面接、テストなどを含む）40%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

教科書

「化学実験」（東京医科歯科大学教養部化学教室編）

参考書

高木誠司著：定性分析化学中巻 イオン反応編、南江堂

高木誠司著：定量分析の実験と計算、共立出版

柴田村治著：無機クロマトグラフ法とイオン交換分離、 共立出版

D.T.Plummer 著：廣海他訳、実験で学ぶ生化学、化学同人

連絡先

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00–13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000240				
科目名	生物学実験				
担当教員	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間:金曜日3～5限

・対象学科・専攻:医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－2)自然現象を探究するための手法を知る。

4－3)自然現象を探求するための基本的手法を身につける。

主な講義場所

ヒポクラテスホール3階 生物学生実験室

授業の目的、概要等

講義で学習する内容は観察や実験によって得られたものである。これらの生物学の基本知識がどのような過程で得られたかを実際に体験することによって生物学の考え方を学ぶ。また、観察の仕方、生物と機器の取り扱い方法、観察・測定した結果の数量化などの基本を学ぶ。

授業の到達目標

1)生物を適切に取り扱うことができる。

2)実験機器を正しく使用することができる。

3)肉眼あるいは光学顕微鏡により生体の構造を観察し、その特徴を説明することができる。

4)現象から仮説を立て、仮説を検証するために適切な実験を計画・実施することができる。

5)データを整理・分析し、レポートにまとめることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
3-4	4/19	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
5-6	4/26	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
7-8	5/10	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
9-10	5/17	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
11-12	5/24	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
13-14	5/31	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
15-16	6/7	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
17-18	6/14	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
19-20	6/21	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
21-22	6/28	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
23-24	7/5	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
25-26	7/12	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
27-28	7/19	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
29-30	7/26	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
31-32	10/4	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
33-34	10/11	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
35-36	10/18	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
37-38	10/25	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
39-40	11/1	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
41-42	11/8	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
43-44	11/15	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
45-46	11/22	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久
47-48	11/29	13:10-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久

授業方法

実習による。

授業内容

肉眼あるいは光学顕微鏡下で、生物の体のつくりや生命現象を観察する。行動観察を通して、仮説とそれを証明するための実験計画を立て、実際に実験を行うことによって科学の基本的な手順を学ぶ。加えて、分子生物学の基本的な手法を学ぶ。

成績評価の方法

実習は観察とデータの処理・考察を重視する科目なので、レポート80%、授業態度20%で成績を評価する。

再評価:有

*欠席は原則認めない。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

実験を行う前に必ずテキストを読んでおくこと。

試験の受験資格

原則的には全て出席しないと、レポートを提出することはできない。教員がとる出欠を優先し、授業開始時間(13:10)に席についていない場合は遅刻とする。3回の遅刻で 1 回の欠席とする。

教科書

「新 生物学実験テキスト」 東京医科歯科大学教養部生物学教室 編(2018 年版)

参考図書は随時紹介する。

参考書

ヒューマンバイオロジー : 人体と生命/シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳:医学書院, 2005

履修上の注意事項

欠席は原則認めない。 教員がとる出欠を優先し、授業開始時間(13:10)に席についていない場合は遅刻とする。3回の遅刻で欠席とする。

時間割番号	000300				
科目名	サイエンス PBL 入門				
担当教員	服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 増田 俊平, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 吉田 靖雄, 吉井 健太郎, 中野 真樹, 大塚 淳				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

2－2)自然現象を探究するための手法を知る。

2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。

4－3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。

主な講義場所

後日、掲示する。。

授業の目的、概要等

①問題抽出、論理的思考、コミュニケーション技術の向上:
次の一連の過程において必要な技術を向上させる。「資料やデータから具体 的な問題点を抽出する → 知識を集め、整理する → 正確な知識と知識を根 拠とした正確な論理展開によって問題点を解決する → 簡潔かつ解り易い言 葉で説明し、建設的な話し合いを行う」。

②実験研究者になるための基礎づくり:
問題点を解決するために適切な実験を計画・実施する技術を向上させる。また、実験データを解り易く整理し、実験データの解析と適切な考察を行う技 術を培う。

③医療に携わるうえでの基礎づくり
測定結果から正しい結論やその背景にあるメカニズムを推論する。その過程で必要な論理的思考力を向上させる。

授業の到達目標

1. 具体的な問題点を抽出し、「正確な知識」と「知識を根拠とした正確な論理展開」によって問題点を解決することができる。
2. 簡潔かつ解り易い言葉で説明することができる。
3. 建設的な話し合いを行うことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	12/6	13:10-14:40	3 番教室, 4 番教室, 5 番教室, 6 番教室	伊藤 正則
2	12/6	14:50-16:20	3 番教室, 4 番教室, 5 番教室, 6 番教室	伊藤 正則
3	12/13	13:10-14:40	3 番教室, 4 番教室, 5 番教室, 6 番教室	伊藤 正則
4	12/13	14:50-16:20	3 番教室, 4 番教室, 5 番教室, 6 番教室	伊藤 正則
5	12/20	13:10-14:40	3 番教室, 4 番教室, 5 番教室, 6 番教室	伊藤 正則
6	12/20	14:50-16:20	3 番教室, 4 番教室,	伊藤 正則

			5 番教室, 6 番教室	
7	1/10	13:10-14:40	3 番教室, 4 番教室, 5 番教室, 6 番教室	伊藤 正則
8	1/10	14:50-16:20	3 番教室, 4 番教室, 5 番教室, 6 番教室	伊藤 正則
9	1/17	13:10-14:40	3 番教室, 4 番教室, 5 番教室, 6 番教室	伊藤 正則
10	1/17	14:50-16:20	3 番教室, 4 番教室, 5 番教室, 6 番教室	伊藤 正則
11	1/24	13:10-14:40	3 番教室, 4 番教室, 5 番教室, 6 番教室	伊藤 正則
12	1/24	14:50-16:20	3 番教室, 4 番教室, 5 番教室, 6 番教室	伊藤 正則

授業方法

problem-based learning (PBL)

授業内容

10 名程度から成るグループによる学習で、配布資料(課題シートなど)から問題点を抽出し、自然科学の知識を活用して、問題点を解決することを試みる。具体的には次の①ー③の順に行う。

①配布資料の内容を理解し、学生間での話し合い、具体的な問題点を抽出する。
②各自が問題点を解決するために必要な情報を得た後、情報を整理する。
③整理した情報を発表し、議論する。発表と議論した内容をまとめることによって、問題点
に対する答えを導き出す。

従って、この授業では学生間での話し合いが中心となり、話合いに参加するためには、明確な目的意識をもった学習が必要である。

成績評価の方法

授業への参加度、グループによる話し合いへの参加、グループごとでの発表会での発表内容、発表会での質問・返答内容、ノートの記述内容による。詳細は 1 回目の授業内でのガイダンスで述べる。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

各自が問題点を解決するために必要な情報を集め、ノートに整理しておくこと。情報を集める過程でさらに問題点をみつけること。問題点を論理的方法により解決する。

試験の受験資格

試験を行わない。

教科書

課題シートなどの資料を配布する。

参考書

必要に応じて紹介する。

連絡先

服部　淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp
澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp
勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp
伊藤　正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
松本　幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp
檜枝　光憲:hieda.las@tmd.ac.jp
中口　悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp
越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部　淳彦:毎週　水曜:12:30～14:00　金曜:10:30～12:30　ヒポ 4F　教員研究室(A2)
澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階
徳永　伸一:前期:
水曜 12:20–13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
木曜 12:20–13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:
金曜 12:20–13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階
勝又　敏行:毎週金曜日　12:00–13:00　ヒポクラテス 2 階化学実験準備室
伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00–PM.2:00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室
松本　幸久:毎週月曜日　PM.4:30–6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室
檜枝　光憲:毎週金曜日　16:30～17:30　ヒポ 4F 教員研究室 3
中口　悦史:月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける
越野　和樹:毎週月曜日　12:00—13:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000241		
科目名	科学基礎実験Ｔ		
担当教員	増田　俊平, 伊藤　正則, 服部　淳彦, 松本　幸久, 勝又　敏行, 奈良　雅之		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜3～4限（変則的）

・対象学科：保健衛生学科検査技術学専攻

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表 2-2)自然現象を探究するための手法を知る

別表 4-3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

無機定性分析、容量分析、光学顕微鏡を用いた観察を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。1人 1 セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質（硫化水素など）の扱い方、光学顕微鏡の使い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む（考察実験）。

授業の到達目標

実験ノートのきちんと取り、それを報告としてまとめ、発表することができる。さらに、自分でテーマを見つけ、実験を組み立てることができることを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	10/31	13:10-16:20				松本　幸久, 服部　淳彦, 伊藤　正則
3-4	11/7	13:10-16:20				松本　幸久, 服部　淳彦, 伊藤　正則
5-6	11/14	13:10-16:20				松本　幸久, 服部　淳彦, 伊藤　正則
7-8	11/21	13:10-16:20				増田　俊平
9-10	11/28	13:10-16:20				増田　俊平
11-12	12/5	13:10-16:20		無機定性分析(1)	金属イオンの系統分析。第1～3属の金属イオンの系統分析	奈良　雅之, 勝又　敏行
13-14	12/12	13:10-16:20		無機定性分析(2)	金属イオンの系統分析。第3～5属の金属イオンの系統分析	奈良　雅之, 勝又　敏行
15-16	12/19	13:10-16:20		中和滴定	食酢の中和滴定を行う。	奈良　雅之, 勝又　敏行
17-18	1/9	13:10-16:20		キレート滴定	水道水、牛乳中のカルシウムイオンの定量を行う。	奈良　雅之, 勝又　敏行
19-20	1/16	13:10-16:20				

授業方法

実習による

授業内容

1 物理学実験：重力加速度の測定と統計誤差の扱い（1）

2 物理学実験：重力加速度の測定と統計誤差の扱い（2）

3 生物学実験：マウスの解剖、身体のつくりの観察

4 生物学実験：光学顕微鏡の使い方、血液塗抹標本の作製・観察

5 生物学実験：魚の黒色素胞におけるメラノソームの動き

6 化学実験：無機金属イオンの分析（1）

7 化学実験：無機金属イオンの分析（2）

8 化学実験：容量分析（1） 中和滴定(食酢中の酸の定量)

9 化学実験：容量分析（2） キレート滴定（水道水中のカルシウムの定量）

成績評価の方法

実験のため、実験中の取り組み記録の作成などを重視し以下の通りとする。

物理学分野 25% 生物学分野 35% 化学分野 40%で評価する。

化学分野では実験ノート（一次記録およびレポート）50%、特別報告 20%

実験中の取り組み（面接・テストなどを含む）30%で評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

教科書

化学実験（東京医科歯科大学教養部化学教室編）

連絡先

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

服部 淳彦:毎週 水曜：12：30～14：00 金曜：10：30～12：30 ヒポ 4F 教員研究室（A2）

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00–13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00–PM.2：00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30–6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000242		
科目名	科学基礎実験N･O･K		
担当教員	澤野　頼子, 勝又　敏行		
開講時期	後期	対象年次	1

･曜日･時間:木曜日(前半8回)/3、4時限
･対象学科:保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科
･募集人数:48 名
･科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　2－2)自然現象を探求するための手法を知る
　4－3)自然現象を探求するための基本的手法を身につける

主な講義場所

化学実験室、7 番教室

授業の目的、概要等

定性分析、容量分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につけ、注意深い観察力、正確な判断力を身につける。1人1セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。

授業の到達目標

一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。
自分で実験テーマを見つけて、計画･実施することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	13:10-14:40	7 番教室	第 1 回 科学基礎実験総論	講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策、数値の取り扱い等)/席決め/実験準備	澤野　頼子, 勝又　敏行
2	10/3	14:50-16:20				澤野　頼子, 勝又　敏行
3	10/10	13:10-14:40		第 2 回 容量分析(1)	中和滴定:食酢中の酸の定量	澤野　頼子, 勝又　敏行
4	10/10	14:50-16:20				澤野　頼子, 勝又　敏行
5	10/17	13:10-14:40		第 3 回 容量分析(2)	キレート滴定による水中のカルシウムの定量	澤野　頼子, 勝又　敏行
6	10/17	14:50-16:20				澤野　頼子, 勝又　敏行
7	10/24	13:10-14:40		第 4 回 容量分析(3)	キレート滴定による牛乳中のカルシウムの定量	澤野　頼子, 勝又　敏行
8	10/24	14:50-16:20				澤野　頼子, 勝又　敏行
9	10/31	13:10-14:40		第 5 回 考察実験	各自が組みたてた実験計画を実施する	澤野　頼子, 勝又　敏行
10	10/31	14:50-16:20				澤野　頼子, 勝又　敏行
11	11/7	13:10-14:40		第 6 回 無機定性分析(1)	金属イオンの分析(硫化水素法による分属(1))	澤野　頼子, 勝又　敏行
12	11/7	14:50-16:20				澤野　頼子, 勝又　敏行
13	11/14	13:10-14:40		第 7 回 無機定性分析(2)	金属イオンの分析(硫化水素法による分属(2)、ペーパークロマトグラフィー)	澤野　頼子, 勝又　敏行
14	11/14	14:50-16:20				澤野　頼子,

						勝又 敏行
15	11/21	13:10–14:40	7 番教室	第 8 回 発表会		澤野 頼子, 勝又 敏行
16	11/21	14:50–16:20	7 番教室			澤野 頼子, 勝又 敏行

授業方法

実習および講義による

授業内容

1. 科学基礎実験総論/講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策、数値の取り扱い等)/席決め/実験準備
2. 容量分析(1)中和滴定:食酢中の酸の定量
3. 容量分析(2)キレート滴定による水中のカルシウムの定量
4. 容量分析(3)キレート滴定による牛乳中のカルシウムの定量
5. 考察実験 各自が組みたてた実験計画を実施する
6. 無機定性分析(1)金属イオンの分析(硫化水素法による分属(1))
7. 無機定性分析(2)金属イオンの分析((硫化水素法による分属(2)、ペーパークロマトグラフィー)
8. 発表会

成績評価の方法

評価:実験中の取り組みや記録の作成などを重視し、以下の通りとする。

実験ノート(一次記録、報告)60%、発表 10%、実験中の取り組み(面接・テストなどを含む)30%

再評価:有(再評価方法 再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上出席

教科書

「化学実験」(東京医科歯科大学教養部化学教室編)

参考書

生命科学のための化学実験／高橋知義 ほか:東京教学社, 2018

基礎化学実験 安全オリエンテーション／山口和也、山本仁:東京化学同人, 2007

基礎化学実験／東京大学教養学部化学部会 編:東京化学同人, 2012

他科目との関連

本科目か「科学基礎演習」のいずれかを選択すること。 夏休み前に希望調査を行い、希望者数が募集人数を超えた場合は抽選を行う。

履修上の注意事項

出欠は授業開始時に教員がとる。出席が3分の2以上を満たさないと、不合格となる。

連絡先

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

勝又 敏行katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00–13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000243				
科目名	科学基礎演習				
担当教員	越野 和樹, 澤野 頼子, 奈良 雅之				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間:木曜日・3 時限

・対象学科:保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科

・募集人数:50 名まで

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

別表4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

10 番教室

授業の目的、概要等

看護や口腔保健に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ物理学や化学の基礎を演習することを基本とする。前半は物理学(力学の基礎)について、後半は化学(物理化学の基礎)について演習を行う。

授業の到達目標

看護や口腔保健の専門科目で役立つ物理学と化学の基礎を演習を通して学ぶ。具体的には, 下記の授業計画で挙げている各項目に関して, 基礎的な演習問題に取り組むことで理解を深めること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	13:10-14:40	10 番教室	物理分野 第 1 回	運動の法則	越野 和樹
2	10/10	13:10-14:40	10 番教室	物理分野 第 2 回	運動の法則	越野 和樹
3	10/17	13:10-14:40	10 番教室	物理分野 第 3 回	簡単な運動	越野 和樹
4	10/24	13:10-14:40	10 番教室	物理分野 第 4 回	簡単な運動	越野 和樹
5	10/31	13:10-14:40	10 番教室	物理分野 第 5 回	仕事とエネルギー	越野 和樹
6	11/7	13:10-14:40	10 番教室	物理分野 第 6 回	仕事とエネルギー	越野 和樹
7	11/14	13:10-14:40	10 番教室	物理分野 第 7 回	物理分野の考査	越野 和樹
8	11/21	13:10-14:40	10 番教室	物理分野 第 8 回	物理分野のまとめ	越野 和樹
9	11/28	13:10-14:40	10 番教室	化学分野 第 1 回	酸化・還元	澤野 頼子
10	12/5	13:10-14:40	10 番教室	化学分野 第 2 回	電池	澤野 頼子
11	12/12	13:10-14:40	10 番教室	化学分野 第 3 回	反応速度(1)	澤野 頼子
12	12/19	13:10-14:40	10 番教室	化学分野 第 4 回	反応速度(2)	澤野 頼子
13	1/9	13:10-14:40	10 番教室	化学分野 第 5 回	原子・分子の構造(1)	奈良 雅之
14	1/16	13:10-14:40	10 番教室	化学分野 第 6 回	原子・分子の構造(2)	奈良 雅之
15	1/23	13:10-14:40	10 番教室	化学分野 第 7 回	化学分野の考査	奈良 雅之

授業方法

講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による

授業内容

物理学

・運動の法則

・簡単な運動

・仕事とエネルギー

・質点系の運動

化学

・酸化・還元

・電池

・反応速度

・原子・分子の構造

成績評価の方法

評価:試験(物理学分野・化学分野毎の考査)100%・レポート0%・その他(授業への参加度が考慮される)

再評価:有(再評価方法 再試験)

授業内容の理解度を測るために考査や演習を行い、その成績および授業への参加度で評価を行う。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

物理学：講義資料をあらかじめダウンロードし（URLは別途指示）印刷しておくことを前提とする。

化学：参考書等で関連分野にあらかじめ目を通しておく。

試験の受験資格

考査・再試験の受験資格：3分の2以上出席

教科書

基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著,：培風館, 2016

系統看護学講座　基礎分野　化学／奈良, 雅之,：医学書院, 2018

参考書

化学／小島一光 著,：化学同人, 2002

医療・看護系のための化学入門／塩田三千夫, 山崎昶 共著,：裳華房, 2003

他科目との関連

本科目か「科学基礎実験 N・O・K」のいずれかを選択すること。夏休み前に希望調査を行う。

履修上の注意事項

物理学分野、化学分野のいずれかの考査を受けなかった場合は、履修放棄とみなし、再評価の対象者としない。

連絡先

越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

越野　和樹:毎週月曜日 12:00―13:00 ヒポクラテス 4 階

澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000244		
科目名	情報科学 N		
担当教員	徳永 伸一, 前澤 俊一		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間:水曜4限

対象学科・専攻:保健衛生学科 看護学専攻

★ノートパソコンの持参を推奨します。

主な講義場所

計算機実習室

授業の目的、概要等

情報科学技術に関する知識と, 情報処理能力, 論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。

(1)情報処理:電子情報を活用するための基本的な技術。

(2)プログラミング:論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。

授業の到達目標

(1)情報処理:E メール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な知識および技術を習得する。

(2)プログラミング:十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/17	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 前澤 俊一
2	4/24	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 前澤 俊一
3	5/8	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 前澤 俊一
4	5/15	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 前澤 俊一
5	5/22	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 前澤 俊一
6	5/29	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 前澤 俊一
7	6/5	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 前澤 俊一
8	6/12	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 前澤 俊一
9	6/19	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 前澤 俊一
10	6/26	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 前澤 俊一
11	7/3	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 前澤 俊一
12	7/10	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 前澤 俊一
13	7/17	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 前澤 俊一
14	7/24	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 前澤 俊一
15	7/31	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 前澤 俊一

授業方法

パソコンを用いた実習を中心とする。

授業内容

第1回(情報処理1) E メール(Web メール)・LMS 利用法、キーボード操作とタイピング演習

第2回(情報処理2) パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習

第3回(情報処理3) HTML 演習

第4回(プログラミング1) 十進 BASIC の概要、プログラムの入力と実行

第5回(プログラミング2) 変数と数値式、INPUT 文、PRINT 文

第6回(プログラミング3) FOR～NEXT 構文

第7回(プログラミング4) DEF 文、組み込み関数

第8回(プログラミング5) グラフィックス

第9回(プログラミング6) IF～ENDIF 構文

第 10 回(プログラミング7) DO～LOOP 構文

第 11 回(プログラミング8) 配列

第 12 回(プログラミング9) 応用課題1

第 13 回(プログラミング 10) 応用課題2

第 14 回 タイピング試験
第 15 回 予備（成績評価に関わる演習等）

成績評価の方法

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。
（1）プログラミング： 出席、課題提出および学期末の試験による（約 70 点満点）
（2）情報処理： 出席・タイピング試験、課題提出および試験による（約 30 点満点）
なお本科目の再評価は、後期に実施する演習＋再試験 により行う。

【再評価について】
プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。またプログラミング試験の不合格者に対しては、後期に演習を課し、さらに再試験を行う。
なお再評価の上限は 70 点とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。
また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかり行うこと。

試験の受験資格

原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。
（やむを得ぬ事情で欠席する場合は、E メールにより連絡し指示を仰ぐこと）

教科書

Web 上の教材を利用する。

他科目との関連

本科目で学ぶプログラミングを後期の「S・十進BASICで学ぶ幾何学デザイン」で応用します。

履修上の注意事項

実習形式の授業を行うので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となる。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。 また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う演習の課題提出を、再評価の必須要件とします。

参照ホームページ

情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm
プログラミングテキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

連絡先

徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一:前期:
水曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）
木曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:
金曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000245		
科目名	情報科学Ｔ		
担当教員	徳永　伸一，津垣　正男		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間：月曜4限

対象学科・専攻：保健衛生学科 検査技術学専攻

★持ち込みノートパソコン使用可。

主な講義場所

計算機実習室

授業の目的、概要等

情報科学技術に関する知識と，情報処理能力，論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。

（1）情報処理：電子情報を活用するための基本的な技術。

（2）プログラミング：論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。

授業の到達目標

（1）情報処理：E メール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な知識および技術を習得する。

（2）プログラミング：十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	14:50-16:20	計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男
2	4/22	14:50-16:20	計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男
3	5/6	14:50-16:20	計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男
4	5/13	14:50-16:20	計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男
5	5/20	14:50-16:20	計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男
6	5/27	14:50-16:20	計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男
7	6/3	14:50-16:20	計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男
8	6/10	14:50-16:20	計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男
9	6/17	14:50-16:20	計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男
10	6/24	14:50-16:20	計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男
11	7/1	14:50-16:20	計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男
12	7/8	14:50-16:20	計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男
13	7/15	14:50-16:20	計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男
14	7/22	14:50-16:20	計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男
15	7/29	14:50-16:20	計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男

授業方法

パソコンを用いた実習を中心とする。

授業内容

第1回（情報処理1） E メール（Web メール）・LMS 利用法、キーボード操作とタイピング演習

第2回（情報処理2） パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習

第3回（情報処理3） HTML 演習

第4回（プログラミング1） 十進 BASIC の概要、プログラムの入力と実行

第5回（プログラミング2） 変数と数値式、INPUT 文、PRINT 文

第6回（プログラミング3） FOR～NEXT 構文

第7回（プログラミング4） DEF 文、組み込み関数

第8回（プログラミング5） グラフィックス

第9回（プログラミング6） IF～ENDIF 構文

第 10 回（プログラミング7） DO～LOOP 構文

第 11 回（プログラミング8） 配列

第 12 回（プログラミング9） 応用課題1

第 13 回（プログラミング 10） 応用課題2

第 14 回 タイピング試験

第 15 回　予備（成績評価に関わる演習等）

成績評価の方法

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。

（1）プログラミング：　出席、課題提出および学期末の試験による（約 70 点満点）

（2）情報処理：　出席・タイピング試験、課題提出および試験による（約 30 点満点）

なお本科目の再評価は、後期に実施する演習＋再試験　により行う。

【再評価について】

プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。またプログラミング試験の不合格者に対しては、後期に演習を課し、さらに再試験を行う。

なお再評価の上限は 70 点とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。

また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかり行うこと。

試験の受験資格

原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。

（やむを得ぬ事情で欠席する場合は、E メールにより連絡し指示を仰ぐこと）

教科書

Web 上の教材を利用する。

他科目との関連

本科目で学ぶプログラミングを後期の「S・十進BASICで学ぶ幾何学デザイン」で応用します。

履修上の注意事項

実習形式の授業を行うので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となる。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。　　また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う演習の課題提出を、再評価の必須要件とします。

参照ホームページ

情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

プログラミングテキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

連絡先

徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永　伸一:前期:

水曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

木曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:

金曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。

上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000246		
科目名	情報科学 O・K		
担当教員	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間：木曜 3 限

対象学科・専攻：口腔保健科

★持ち込みノートパソコン使用可。

主な講義場所

計算機実習室

授業の目的、概要等

情報科学技術に関する知識と，情報処理能力，論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。

（1）情報処理：電子情報を活用するための基本的な技術。

（2）プログラミング：論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。

授業の到達目標

（1）情報処理：E メール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な知識および技術を習得する。

（2）プログラミング：十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
2	4/18	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
3	4/25	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
4	5/9	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
5	5/16	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
6	5/23	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
7	5/30	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
8	6/6	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
9	6/13	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
10	6/20	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
11	6/27	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
12	7/4	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
13	7/11	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
14	7/18	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
15	7/25	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一

授業方法

パソコンを用いた実習を中心とする。

授業内容

第1回（情報処理1） E メール（Web メール）・LMS 利用法、キーボード操作とタイピング演習

第2回（情報処理2） パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習

第3回（情報処理3） HTML 演習

第4回（プログラミング1） 十進 BASIC の概要、プログラムの入力と実行

第5回（プログラミング2） 変数と数値式、INPUT 文、PRINT 文

第6回（プログラミング3） FOR～NEXT 構文

第7回（プログラミング4） DEF 文、組み込み関数

第8回（プログラミング5） グラフィックス

第9回（プログラミング6） IF～ENDIF 構文

第 10 回（プログラミング7） DO～LOOP 構文

第 11 回（プログラミング8） 配列

第 12 回（プログラミング9） 応用課題1

第 13 回（プログラミング 10） 応用課題2

第 14 回 タイピング試験
第 15 回 予備（成績評価に関わる演習等）

成績評価の方法

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。
（1）プログラミング： 出席、課題提出および学期末の試験による（約 70 点満点）
（2）情報処理： 出席・タイピング試験、課題提出および試験による（約 30 点満点）
なお本科目の再評価は、後期に実施する演習＋再試験 により行う。

【再評価について】
プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。またプログラミング試験の不合格者に対しては、後期に演習を課し、さらに再試験を行う。
なお再評価の上限は 70 点とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。
また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかり行うこと。

試験の受験資格

原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。
（やむを得ぬ事情で欠席する場合は、E メールにより連絡し指示を仰ぐこと）

教科書

Web 上の教材を利用する。

他科目との関連

本科目で学ぶプログラミングを後期の「S・十進BASICで学ぶ幾何学デザイン」で応用します。

履修上の注意事項

実習形式の授業を行うので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となる。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。 また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う演習の課題提出を、再評価の必須要件とします。

参照ホームページ

情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm
プログラミングテキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

連絡先

徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一:前期:
水曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）
木曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:
金曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000248		
科目名	情報処理(α)		
担当教員	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間:木曜 1 限

対象学科・専攻:医学科および歯学科(英語を 2 限に履修する学生)

★持ち込みノートパソコン使用可。

主な講義場所

計算機実習室および 6 番教室

(詳細は掲示等にて通知するので各自確認すること)

授業の目的、概要等

医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。

単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。

授業の到達目標

・E メール、テキストエディタ、タイピング、表計算ソフト(Excel)、HTML 等の基本的な技術を習得する。

・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
2	4/18	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
3	4/25	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
4	5/9	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
5	5/16	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
6	5/23	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
7	5/30	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
8	6/6	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
9	6/13	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
10	6/20	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
11	6/27	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
12	7/4	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
13	7/11	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
14	7/18	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
15	7/25	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一

授業内容

第 1 回　情報セキュリティ、著作権

第 2 回　[計]E メール(Web メール)・LMS 利用法

第 3 回　パソコン・インターネットの基礎

第 4 回　[計]タイピング演習

第 5 回　無線 LAN 接続

第 6 回　[計]テキストエディタ演習

第 7 回　HTML 基礎

第 8 回　[計]HTML 演習

第 9 回　Excel 基礎

第 10 回　[計]Excel 演習(1)

第 11 回　データ処理の基礎

第 12 回　[計]Excel 演習(2)

第 13 回　総合演習

第 14 回　[計]Excel 演習(3)

第 15 回 ［計］タイピング試験
（［計］は計算機実習室で行う授業。医歯学科全体で計4クラスに分け、うち 2 クラスは第 2 回の内容から開始し、14 週目付近に第 1 回の内容を行う。詳細は掲示等で確認すること）

成績評価の方法

出席および提出課題，タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。
習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席の上、すべての課題を規定通り提出して合格し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

実習に先立って講義が行われるので、講義内容をよく理解し、実習に備えること。またパソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。特に、タイピング練習を日常的に行うこと。

教科書

Web 上の教材を利用する。

履修上の注意事項

無断欠席は履修の意思がないものと見なす。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

連絡先

徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永　伸一:前期:
水曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）
木曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:
金曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000249		
科目名	情報処理(β		
担当教員	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間:木曜 2 限

対象学科・専攻:医学科および歯学科(英語を 1 限に履修する学生)

★持ち込みノートパソコン使用可。

主な講義場所

計算機実習室および 6 番教室

(詳細は掲示等にて通知するので各自確認すること)

授業の目的、概要等

医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。

単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。

授業の到達目標

・E メール、テキストエディタ、タイピング、表計算ソフト(Excel)、HTML 等の基本的な技術を習得する。

・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
2	4/18	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
3	4/25	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
4	5/9	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
5	5/16	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
6	5/23	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
7	5/30	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
8	6/6	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
9	6/13	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
10	6/20	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
11	6/27	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
12	7/4	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
13	7/11	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
14	7/18	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一
15	7/25	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 八島 高将, 前澤 俊一

授業内容

第 1 回　情報セキュリティ、著作権

第 2 回　[計]E メール(Web メール)・LMS 利用法

第 3 回　パソコン・インターネットの基礎

第 4 回　[計]タイピング演習

第 5 回　無線 LAN 接続

第 6 回　[計]テキストエディタ演習

第 7 回　HTML 基礎

第 8 回　[計]HTML 演習

第 9 回　Excel 基礎

第 10 回　[計]Excel 演習(1)

第 11 回　データ処理の基礎

第 12 回　[計]Excel 演習(2)

第 13 回　総合演習

第 14 回　[計]Excel 演習(3)

第 15 回 ［計］タイピング試験
（［計］は計算機実習室で行う授業。医歯学科全体で計4クラスに分け、うち 2 クラスは第 2 回の内容から開始し、14 週目付近に第 1 回の内容を行う。詳細は掲示等で確認すること）

成績評価の方法

出席および提出課題，タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。
習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席の上、すべての課題を規定通り提出して合格し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

実習に先立って講義が行われるので、講義内容をよく理解し、実習に備えること。またパソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。特に、タイピング練習を日常的に行うこと。

教科書

Web 上の教材を利用する。

履修上の注意事項

無断欠席は履修の意思がないものと見なす。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

連絡先

徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一:前期:
水曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）
木曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:
金曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000250				
科目名	スポーツ・健康科学				
担当教員	水野 哲也				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:後期 木曜3限

対象学科:医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

主な講義場所

1番教室

授業の目的、概要等

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。本授業ではこれらの目的達成にむけての基盤として、スポーツ・身体活動及び健康に関する科学的基礎理論を学びます。具体的には、生涯における健康的で有意義な人生設計に欠かせないより良いライフスタイル形成ついての基礎理論とそのより効果的な実践能力育成のための基礎を学びます。従って、この授業は原則して全学科の1年生を対象とし、特に専門教育以前に学生自身の健康管理並びにスポーツに関する一般的な教養を身に就けることをその目的とします。

本授業はスポーツ並びに健康科学に関する基礎理論を中心とした授業で、その内容は、スポーツと健康に関する人文・社会科学及び自然科学です。

授業の到達目標

本授業の到達目標のひとつは、スポーツ並びに健康科学に関する理論を学び、それを十分に理解することです。特に本授業では、主体的(能動的)な学習態度を心がけ、単なる知識の習得に留まらず、実習系授業等の中で実施される測定、評価並びに体験との有機的な融合を図る中で、学生自身の自己管理能力の基盤と心身及び社会環境に関する基礎的な実践的教養を身に就けて頂きたいと考えています。またさらに、その結果として、本授業で学んだ内容を基盤にして、スポーツ並びに健康に関する一般的な命題に対して、自らの考えを簡潔に述べることが出来る能力を有することを授業の到達目標としています。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/3	13:10-14:40	1番教室	水野 哲也
2	10/10	13:10-14:40	1番教室	水野 哲也
3	10/17	13:10-14:40	1番教室	水野 哲也
4	10/24	13:10-14:40	1番教室	水野 哲也
5	10/31	13:10-14:40	1番教室	水野 哲也
6	11/7	13:10-14:40	1番教室	水野 哲也
7	11/14	13:10-14:40	1番教室	水野 哲也
8	11/21	13:10-14:40	1番教室	水野 哲也
9	11/28	13:10-14:40	1番教室	水野 哲也
10	12/5	13:10-14:40	1番教室	水野 哲也
11	12/12	13:10-14:40	1番教室	水野 哲也
12	12/19	13:10-14:40	1番教室	水野 哲也
13	1/9	13:10-14:40	1番教室	水野 哲也
14	1/16	13:10-14:40	1番教室	水野 哲也
15	1/23	13:10-14:40	1番教室	水野 哲也

授業方法

授業は講義形式が中心ですが、その中での討論(意見交換)も重視しています。授業は、内容別にそれぞれの専門家が分担で行います。

授業内容

1. 身体並びに健康に関する文化論

スポーツを含む身体活動並びに身体表現に着目し、人文・社会学的視座からその文化的価値並びにその現代的意味を考えていくとともに、広くヒトの身体と社会との関わり、またその教育の重要性及び意義について考えます。

2. 保健医学

感染症・薬物・生活習慣・エイジングなど健康を巡るさまざまな問題を取り上げ、実例を紹介しながら、検討し、医学や医療従事者とし

て今後どのような心構えが必要なのかについても共に考えます。
3. フィットネス科学
健康生成の観点からヒトの身体運動の生理学的メカニズムや予防医学的手段としての価値や適正量など、その現代的意義を中心に考えるとともに食事(栄養、食品、調理、献立やその適切な組み合わせ方法)と休養(リラクセーション、睡眠など)の重要性とそのメカニズムについて解説し、ストレスマネジメントを含むトータルなフィットネスマネジメント(健全なライフスタイルの形成)の意義について考えます。

成績評価の方法

評価:定期試験期間に考査を実施し、その理解度を評価します。 試験 100%
(担当教員によっては、授業中に理解度評価を実施する場合があります)
再評価: 有 (レポートによる)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

生きる力の原点である"健康と体力"の意義について、主体的(能動的)に学ぶことにより、"自分の健康を守る"ことはもとより、"家族"、"地域"そして"地球"へと意識を拡大し、その健康を守るために何が重要で、時代が何を求めているかをしっかり考えてください。よって、少なくとも準備学習として受験準備では重要視して来なかった高校までの保健体育に関する授業内容を主体的に事前準備することを前提条件とします。
。

参考書

現代霊性論／内田樹, 釈徹宗 [著],:講談社, 2013
スポーツ文化を学ぶ人のために／井上俊, 亀山佳明 編,:世界思想社, 1999
生き方としての健康科学／山崎喜比古, 朝倉隆司 編,:有信堂高文社, 2011
教養としてのスポーツ心理学／徳永幹雄 編著,:大修館書店, 2005
ストレス対処能力 SOC／山崎喜比古 ほか:有信堂, 2008

他科目との関連

実習系科目であるフィットネスマネジメント並びに保健体育学分野が実施する S 科目、セミナーとの有機的な融合を図ることで、より効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2 階 水野研究室

時間割番号	000251				
科目名	スポーツ・健康科学				
担当教員	水野 哲也				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:後期 金曜3限

対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

主な講義場所

1 番教室

授業の目的、概要等

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。本授業ではこれらの目的達成にむけての基盤として、スポーツ・身体活動及び健康に関する科学的基礎理論を学びます。具体的には、生涯における健康的で有意義な人生設計に欠かせないより良いライフスタイル形成ついての基礎理論とそのより効果的な実践能力育成のための基礎を学びます。従って、この授業は原則して全学科の1年生を対象とし、特に専門教育以前に学生自身の健康管理並びにスポーツに関する一般的な教養を身に就けることをその目的とします。

本授業はスポーツ並びに健康科学に関する基礎理論を中心とした授業で、その内容は、スポーツと健康に関する人文・社会科学及び自然科学です。

授業の到達目標

本授業の到達目標のひとつは、スポーツ並びに健康科学に関する理論を学び、それを十分に理解することです。特に本授業では、主体的(能動的)な学習態度を心がけ、単なる知識の習得に留まらず、実習系授業等の中で実施される測定、評価並びに体験との有機的な融合を図る中で、学生自身の自己管理能力の基盤と心身及び社会環境に関する基礎的な実践的教養を身に就けて頂きたいと考えています。またさらに、その結果として、本授業で学んだ内容を基盤にして、スポーツ並びに健康に関する一般的な命題に対して、自らの考えを簡潔に述べることが出来る能力を有することを授業の到達目標としています。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	13:10-14:40	1 番教室	水野 哲也
2	10/11	13:10-14:40	1 番教室	水野 哲也
3	10/18	13:10-14:40	1 番教室	水野 哲也
4	10/25	13:10-14:40	1 番教室	水野 哲也
5	11/1	13:10-14:40	1 番教室	水野 哲也
6	11/8	13:10-14:40	1 番教室	水野 哲也
7	11/15	13:10-14:40	1 番教室	水野 哲也
8	11/22	13:10-14:40	1 番教室	水野 哲也
9	11/29	13:10-14:40	1 番教室	水野 哲也
10	12/6	13:10-14:40	1 番教室	水野 哲也
11	12/13	13:10-14:40	1 番教室	水野 哲也
12	12/20	13:10-14:40	1 番教室	水野 哲也
13	1/10	13:10-14:40	1 番教室	水野 哲也
14	1/17	13:10-14:40	1 番教室	水野 哲也
15	1/24	13:10-14:40	1 番教室	水野 哲也

授業方法

授業は講義形式が中心ですが、その中での討論(意見交換)も重視しています。授業は、内容別にそれぞれの専門家が分担で行います。

授業内容

1. 身体並びに健康に関する文化論

スポーツを含む身体活動並びに身体表現に着目し、人文・社会学的視座からその文化的価値並びにその現代的意味を考えていくとともに、広くヒトの身体と社会との関わり、またその教育の重要性及び意義について考えます。

2. 保健医学

感染症・薬物・生活習慣・エイジングなど健康を巡るさまざまな問題を取り上げ、実例を紹介しながら、検討し、医学や医療従事者とし

て今後どのような心構えが必要なのかについても共に考えます。
3. フィットネス科学
健康生成の観点からヒトの身体運動の生理学的メカニズムや予防医学的手段としての価値や適正量など、その現代的意義を中心に考えるとともに食事(栄養、食品、調理、献立やその適切な組み合わせ方法)と休養(リラクセーション、睡眠など)の重要性とそのメカニズムについて解説し、ストレスマネジメントを含むトータルなフィットネスマネジメント(健全なライフスタイルの形成)の意義について考えます。

成績評価の方法

評価:定期試験期間に考査を実施し、その理解度を評価します。 試験 100%
(担当教員によっては、授業中に理解度評価を実施する場合があります)
再評価: 有 (レポートによる)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

生きる力の原点である"健康と体力"の意義について、主体的(能動的)に学ぶことにより、"自分の健康を守る"ことはもとより、"家族"、"地域"そして"地球"へと意識を拡大し、その健康を守るために何が重要で、時代が何を求めているかをしっかり考えてください。よって、少なくとも準備学習として受験準備では重要視して来なかった高校までの保健体育に関する授業内容を主体的に事前準備することを前提条件とします。
。

参考書

現代霊性論／内田樹, 釈徹宗 [著],:講談社, 2013
スポーツ文化を学ぶ人のために／井上俊, 亀山佳明 編,:世界思想社, 1999
生き方としての健康科学／山崎喜比古, 朝倉隆司 編,:有信堂高文社, 2011
教養としてのスポーツ心理学／徳永幹雄 編著,:大修館書店, 2005
ストレス対処能力 SOC／山崎喜比古 ほか:有信堂, 2008

他科目との関連

実習系科目であるフィットネスマネジメント並びに保健体育学分野が実施する S 科目、セミナーとの有機的な融合を図ることで、より効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2 階 水野研究室

時間割番号	000878				
科目名	フィットネスマネージメント				
担当教員	水野 哲也, 髙岡 英氣, 今野 和志, 菊政 俊平				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:[前期]木曜3限、4限、金曜3限、4限／[後期]木曜4限、金曜4限

対象学科:医学科・歯学科・保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsotrt Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験（評価対象）の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.: 北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎／北川 薫: 市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古: 有信堂, 2017

健康格差社会　何が心と健康を蝕むのか／近藤克則: 医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

水野　哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野　哲也:毎週金曜日　AM. 10:30 ～ 12:00　管理研究棟 2 階　水野研究室

時間割番号	000924		
科目名	フィットネスマネージメント(前期 木3)		
担当教員	水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平		
開講時期	前期	対象年次	1

対象学科:医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	13:10-14:40		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
2	4/18	13:10-14:40		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
3	4/25	13:10-14:40		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
4	5/9	13:10-14:40		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
5	5/16	13:10-14:40		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
6	5/23	13:10-14:40		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
7	5/30	13:10-14:40		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
8	6/6	13:10-14:40		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
9	6/13	13:10-14:40		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
10	6/20	13:10-14:40		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
11	6/27	13:10-14:40		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
12	7/4	13:10-14:40		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
13	7/11	13:10-14:40		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
14	7/18	13:10-14:40		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
15	7/25	13:10-14:40		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に

従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。
前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。
また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます（後期は隔週）。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsotrt Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価：参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%
再評価： 有 （レポート等による）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験（評価対象）の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.：北大路書房, 2000
健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005
健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017
健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10：30 ～ 12：00 管理研究棟 2 階 水野研究室

時間割番号	000925		
科目名	フィットネスマネージメント(前期 木4)		
担当教員	水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平		
開講時期	前期	対象年次	1

対象学科:医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
2	4/18	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
3	4/25	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
4	5/9	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
5	5/16	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
6	5/23	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
7	5/30	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
8	6/6	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
9	6/13	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
10	6/20	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
11	6/27	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
12	7/4	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
13	7/11	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
14	7/18	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
15	7/25	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に

従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。
前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。
また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます（後期は隔週）。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsotrt Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価：参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%
再評価： 有 （レポート等による）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験（評価対象）の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.：北大路書房, 2000
健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005
健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017
健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10：30 ～ 12：00 管理研究棟 2 階 水野研究室

時間割番号	000926		
科目名	フィットネスマネージメント(前期 金3)		
担当教員	水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平		
開講時期	前期	対象年次	1

対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	13:10-14:40		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
2	4/19	13:10-14:40		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
3	4/26	13:10-14:40		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
4	5/10	13:10-14:40		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
5	5/17	13:10-14:40		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
6	5/24	13:10-14:40		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
7	5/31	13:10-14:40		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
8	6/7	13:10-14:40		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
9	6/14	13:10-14:40		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
10	6/21	13:10-14:40		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
11	6/28	13:10-14:40		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
12	7/5	13:10-14:40		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
13	7/12	13:10-14:40		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
14	7/19	13:10-14:40		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
15	7/26	13:10-14:40		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に

従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。
前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。
また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます（後期は隔週）。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsotrt Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価：参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%
再評価： 有 （レポート等による）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験（評価対象）の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.：北大路書房, 2000
健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005
健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017
健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10：30 ～ 12：00 管理研究棟 2 階 水野研究室

時間割番号	000927		
科目名	フィットネスマネージメント(前期 金4)		
担当教員	水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平		
開講時期	前期	対象年次	1

対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
2	4/19	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
3	4/26	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
4	5/10	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
5	5/17	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
6	5/24	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
7	5/31	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
8	6/7	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
9	6/14	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
10	6/21	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
11	6/28	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
12	7/5	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
13	7/12	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
14	7/19	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
15	7/26	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に

従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。
前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。
また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます（後期は隔週）。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsotrt Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価：参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%
再評価： 有 （レポート等による）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験（評価対象）の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.：北大路書房, 2000
健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005
健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017
健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10：30 ～ 12：00 管理研究棟 2階 水野研究室

時間割番号	000932		
科目名	フィットネスマネージメント(夏季集中)		
担当教員	水野 哲也, 髙岡 英氣, 今野 和志, 菊政 俊平, 松浦 佑希他		
開講時期	夏季集中	対象年次	1

対象学科:医学科・歯学科・保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考
1	8/29	10:50-12:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 今野 和志, 菊政 俊平, 松浦 佑希他	フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある
2	8/30	10:50-12:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 今野 和志, 菊政 俊平, 松浦 佑希他	フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある
3	8/31	10:50-12:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 今野 和志, 菊政 俊平, 松浦 佑希他	フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある
4	9/1	10:50-12:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 今野 和志, 菊政 俊平, 松浦 佑希他	フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある
	10/3	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 今野 和志, 菊政 俊平,	第2回体力測定
	10/4	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 今野 和志, 菊政 俊平	第2回体力測定
	10/10	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 今野 和志, 菊政 俊平	第2回体力測定
	10/11	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 今野 和志, 菊政 俊平	第2回体力測定
	1/9	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 今野 和志, 菊政 俊平	第3回体力測定

	1/10	14:50-16:20		水野 哲也, 高岡 英氣, 今野 和志, 菊政 俊平	第3回体力測定	
	1/16	14:50-16:20		水野 哲也, 高岡 英氣, 今野 和志, 菊政 俊平	第3回体力測定	
	1/17	14:50-16:20		水野 哲也, 高岡 英氣, 今野 和志, 菊政 俊平	第3回体力測定	

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsotrt Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして/J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.:北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎/北川 薫:市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会/山崎喜比古:有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか/近藤克則:医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2階 水野研究室

時間割番号	000928		
科目名	フィットネスマネージメント(後期 木A)		
担当教員	水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平		
開講時期	後期	対象年次	1

対象学科:医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/3	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
2	10/17	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
3	10/31	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
4	11/14	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
5	11/28	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
6	12/12	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
7	1/9	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます（後期は隔週）。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsotrt Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価：参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価： 有 （レポート等による）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験（評価対象）の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.：北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10：30 ～ 12：00 管理研究棟 2 階 水野研究室

時間割番号	000929		
科目名	フィットネスマネージメント(後期 木B)		
担当教員	水野 哲也, 今野 和志,, 菊政 俊平		
開講時期	後期	対象年次	1

対象学科:医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/10	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
2	10/24	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
3	11/7	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
4	11/21	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
5	12/5	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
6	12/19	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平
7	1/16	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 菊政 俊平

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます（後期は隔週）。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsotrt Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価：参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価： 有 （レポート等による）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験（評価対象）の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.：北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10：30 ～ 12：00 管理研究棟 2 階 水野研究室

時間割番号	000930		
科目名	フィットネスマネージメント(後期 金 A)		
担当教員	水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平		
開講時期	後期	対象年次	1

対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
2	10/18	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
3	11/1	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
4	11/15	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
5	11/29	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
6	12/13	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
7	1/10	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます（後期は隔週）。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsotrt Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価：参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価： 有 （レポート等による）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験（評価対象）の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.：北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10：30 ～ 12：00 管理研究棟 2 階 水野研究室

時間割番号	000931		
科目名	フィットネスマネージメント(後期 金B)		
担当教員	水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平		
開講時期	後期	対象年次	1

対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/11	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
2	10/25	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
3	11/8	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
4	11/22	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
5	12/6	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
6	12/20	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平
7	1/17	14:50-16:20		水野 哲也, 髙岡 英氣, 菊政 俊平

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます（後期は隔週）。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsotrt Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価：参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価： 有 （レポート等による）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験（評価対象）の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.：北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10：30 ～ 12：00 管理研究棟 2 階 水野研究室

時間割番号	000303				
科目名	S・メンタルトレーニング				
担当教員	谷木 龍男, 水野 哲也				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間: 月曜1限

受講資格: スポーツの心理的側面, スポーツ心理学及びメンタルトレーニング(MT)に興味・関心があり, MT の練習を継続し, 習得する意欲があること

なんらかのスポーツあるいは競技(competition)経験を有し, 現在も継続していることが望ましい

募集人数: 14人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－5), 7), 8)

授業の目的、概要等

競技を始めとして, 実力を発揮し, 卓越したパフォーマンスと実力発揮を求められる活動において, 自己の心身の状態に気づき, 調える心理的スキルを獲得することが不可欠です。

メンタルトレーニング(MT)とは, スポーツ心理学や心理学の理論や技法に基づいて, 心理的スキルを習得し, 実際に競技で使えるように体系化したものです。

今日では, MT は, スポーツ領域に留まらず, 医療領域, 教育領域など, 様々な領域に応用されています。

本授業では, 講義形式でスポーツ心理学やメンタルトレーニングの理論と実践方法を学び, 実習形式で心理的スキル技法を練習・習得します。

授業の到達目標

基本的な心理的スキル技法を習得し, 日常生活の様々な場面で応用できるようになることを目指します。特に, 自律訓練法の標準練習はしっかりと練習・習得をします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也
2	4/22	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也
3	5/6	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也
4	5/13	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也
5	5/20	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也
6	5/27	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也
7	6/3	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也
8	6/10	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也
9	6/17	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也
10	6/24	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也
11	7/1	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也
12	7/8	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也
13	7/15	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也
14	7/22	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也
15	7/29	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也

授業方法

スポーツ心理学やメンタルトレーニングの基礎的な知識を講義した後, その技法を実習します。練習・習得状況について集団で熟議・討議した後, 発表を課します。

授業内容

1. ガイダンス
2. メンタルトレーニングとは何か？
3. 自己への気づき①
4. リラクセーション
5. 自己への気づき②
6. 自己への気づき③
7. イメージ
8. ピークパフォーマンス
9. Life History
10. 人生目標

11. 目標設定
12. 暗示技法
13. マインドフルネス＆セルフ･コンパッション
14. エンカウンター
15. 総括

成績評価の方法

評価 : 試験　　% ・ レポート　　40% ・ その他(受講態度)60%

再評価:　有(再評価方法)　・ 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書･参考書の通読, メンタルトレーニングの練習及び練習記録の提出

教科書

スポーツメンタルトレーニング教本 三訂版, 日本スポーツ心理学会編, 2016, 大修館書店

履修上の注意事項

･出欠管理システムを優先する。 ･出欠管理システムへの登録を失念したなどの場合は当該授業中に速やかに申し出ること。

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2 階　水野研究室

時間割番号	000920				
科目名	S・ニュースで読む中国				
担当教員	包 敏				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間: 月曜 2 限

対象学科: 全学科

募集人数:30 人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3-4、3-5

授業の目的、概要等

日本と中国の新聞記事＜和訳したものを提示する＞を使い、中国の政治・経済・社会・文化に関するトピックを紹介する。

日本と中国で発行された全国紙の記事を通し、現代中国のありのままの姿を理解する。

授業の到達目標

1)新聞記事を通し、激動する中国の今を知る。2)日本と中国での報道を複眼的に読むことにより、より中国社会を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	6 番教室	包 敏
2	4/22	10:50-12:20	6 番教室	包 敏
3	5/6	10:50-12:20	6 番教室	包 敏
4	5/13	10:50-12:20	6 番教室	包 敏
5	5/20	10:50-12:20	6 番教室	包 敏
6	5/27	10:50-12:20	6 番教室	包 敏
7	6/3	10:50-12:20	6 番教室	包 敏
8	6/10	10:50-12:20	6 番教室	包 敏
9	6/17	10:50-12:20	6 番教室	包 敏
10	6/24	10:50-12:20	6 番教室	包 敏
11	7/1	10:50-12:20	6 番教室	包 敏
12	7/8	10:50-12:20	6 番教室	包 敏
13	7/15	10:50-12:20	6 番教室	包 敏
14	7/22	10:50-12:20	6 番教室	包 敏
15	7/29	10:50-12:20	6 番教室	包 敏

授業方法

演習による。

受講生の関心テーマに基づき、日本で発行された新聞記事をそれぞれ集め、中国で発行された記事を教員が用意する。参加者によるプレゼン、教員による解説、全体でディスカッションするスタイル。

授業内容

第 1 回 ガイダンス、担当を決める。第 2 回から第 14 回 新聞記事に基づき、プレゼン、解説、ディスカッション 第 15 回 まとめ

成績評価の方法

評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(授業参加、授業の準備、発表) 100%

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

事前に受講者が日本の新聞記事を用意し、提出し、プレゼンの内容を考えること。

試験の受験資格

①原則3分の2以上出席、②授業中の課題をクリアすること。

教科書

教科書は用いない。適宜プリントを配布する。

参考書

必要な資料を配布する。

履修上の注意事項

原則 3 分の 2 以上出席すること

時間割番号	000888				
科目名	S・英語で学ぶ医学哲学				
担当教員	田中　智彦				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

◇ 曜日・時間: 月曜 2 限

◇ 対象学科：全学科

◇ 科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表 1-1）言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表 1-5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 1-7）人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

20 世紀の哲学者ガダマーが医学・医療、生と死、健康と病などについて探究した論文集 Hans-Georg Gadamer, The Enigma of Health: The Art of Healing in a Scientific Age, translated. by J.Gaiger and N.Walker (Polity Press, 1996) に収められた論文をとりあげ、参加者みなでじっくり読み解いてゆく。またそのことを通じて、「人間にとって健康とは」「医療者に必要な批判的思考とは」についても考えてゆくことにしたい。

授業の到達目標

(1)英語の学術論文を「読める」ようになる基礎を作ること。

(2)医学・医療に関する哲学的・倫理的な論点について理解を深めること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	4 番教室	田中　智彦
2	4/22	10:50-12:20	4 番教室	田中　智彦
3	5/6	10:50-12:20	4 番教室	田中　智彦
4	5/13	10:50-12:20	4 番教室	田中　智彦
5	5/20	10:50-12:20	4 番教室	田中　智彦
6	5/27	10:50-12:20	4 番教室	田中　智彦
7	6/3	10:50-12:20	4 番教室	田中　智彦
8	6/10	10:50-12:20	4 番教室	田中　智彦
9	6/17	10:50-12:20	4 番教室	田中　智彦
10	6/24	10:50-12:20	4 番教室	田中　智彦
11	7/1	10:50-12:20	4 番教室	田中　智彦
12	7/8	10:50-12:20	4 番教室	田中　智彦
13	7/15	10:50-12:20	4 番教室	田中　智彦
14	7/22	10:50-12:20	4 番教室	田中　智彦
15	7/29	10:50-12:20	4 番教室	田中　智彦

授業方法

授業はセミナー形式で進める。テキストは毎回少なくとも1頁は読むこととし、受講者にはあらかじめ訳文を準備しておくことが求められる。授業では訳文の発表・検討をもとに読み進めてゆくとともに、その中で現れてくる論点について解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。

授業内容

The Enigma of Health 所収の論文から次の 2 本をとりあげ、読み解いてゆく。

(1) On the Enigmatic Character of Health

(2) Authority and Critical Freedom

成績評価の方法

◇評価：期末レポート　40%

授業への参加度　60%（事前課題への取り組み、議論への参加度など）

◇再評価：有（レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

受講者には授業の前に、テキストの該当箇所をあらかじめ読み、日本語として適切な訳文を作っておくことが求められる。それはまず

自分なりにテキストを理解し、その時点での到達点を言葉にした上で授業に臨むということである。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。こうしたプロセスを経ることで、英語の学術論文を読む基礎が作られるとともに、その内容をも理解することができるようになる。そのためにも、準備段階から授業における解説・議論までの能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。

試験の受験資格

◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則として 3 分の 2 以上の出席

教科書

授業で用いる論文はコピーして配布する。

参考書

参考書等は授業の中で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。

連絡先

tanaka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:毎週月曜日 12:30～13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室
後期:第 1・第 3 水曜日 12:30～15:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号	000879				
科目名	S・フランスとヨーロッパの現在				
担当教員	中島 ひかる				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時限:授業明細参照

対象学科:医学科・歯学科・検査技術学科

受講資格:特になし

募集人数:15 名

コンピテンシー:別表3−4)外国文化を理解する

授業の目的、概要等

目的:主としてフランスの社会・文化に関わる時事問題を通して、ヨーロッパやアフリカも視野に入れながらフランス現代社会の一端を知る。

概要:フランスで最近話題になった社会現象や、文化的な出来事を取り上げ、その背景となる歴史や地理、社会制度についても理解を深めます。できるだけ直近のニュース報道から、今、話題になっている出来事を取り上げることで、現在のフランスやヨーロッパへの関心を高めます。

授業の到達目標

1)フランスやヨーロッパに対する興味を深め、基本的知識を得る。

2)フランス社会やフランスから見た世界の一端に触れ、社会や文化に対する関心の幅を広げるとともに、日本を世界の中で相対化する視点を獲得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/23	14:50−16:20	11 番教室	授業紹介	授業の概要の紹介	中島 ひかる
2	5/7	14:50−16:20	11 番教室	ニュース解説	教員によるニュースの解説と意見交換	中島 ひかる
3	5/14	14:50−16:20	11 番教室	ニュース解説	教員によるニュースの解説と意見交換	中島 ひかる
4	6/4	13:10−14:40	11 番教室	ニュース解説	教員によるニュースの解説	中島 ひかる
5	6/4	14:50−16:20	11 番教室	学生発表・意見交換	学生発表と意見交換	中島 ひかる
6	6/18	13:10−14:40	11 番教室	ニュース解説	教員によるニュースの解説	中島 ひかる
7	6/18	14:50−16:20	11 番教室	学生発表・意見交換	学生発表と意見交換	中島 ひかる
8	7/2	13:10−14:40	11 番教室	ニュース解説	教員によるニュースの解説	中島 ひかる
9	7/2	14:50−16:20	11 番教室	学生発表・意見交換	学生発表と意見交換	中島 ひかる
10	7/16	13:10−14:40	11 番教室	ニュース解説	教員によるニュースの解説	中島 ひかる
11	7/16	14:50−16:20	11 番教室	学生発表・意見交換	学生発表と意見交換	中島 ひかる
12	9/9	13:10−14:40	11 番教室	ニュース解説	教員によるニュースの解説	中島 ひかる
13	9/9	14:50−16:20	11 番教室	学生発表・意見交換	学生発表と意見交換	中島 ひかる
14	9/10	13:10−14:40	11 番教室	まとめ	レポート発表会	中島 ひかる
15	9/10	14:50−16:20	11 番教室	まとめ	レポート発表会	中島 ひかる

授業方法

講義と演習(発表と討論)による。

最初3回は主として講義形式で、最近のフランスのニュース報道で話題になった社会現象や文化的な出来事から、幾つかのトピックスを選んで解説し、その背景となる歴史や地理、社会制度について触れます。

6 月 4 日以降は 2 コマ連続の授業となりますので、教員が解説したトピックスに対する各自のコメントを求めるほか、毎回担当を決めて、各自の興味のあるテーマを選んで教室で発表して頂き、皆で意見交換を行います。

授業内容

昨年扱った Topics の例をあげます。

・マクロンとトランプ

・移民問題

・ハリウッドのセクハラ問題

・フランスの食文化(ソルベコンテスト、ヌッテラの格安販売、ミシュラン格付け etc.)
・中国人観光客の増加
・パリ大気汚染
・イギリスの EU 離脱
・スペイン産ワインによるワインの価格破壊
・延命治療をめぐる賛否
・ノートルダム寺院修復とメセナ
・兵役の復活？
・農薬とミツバチ
・サウジアラビアにおける女性の権利

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)0%・レポート 60 %・
その他 40 %(授業中の質疑応答、発表等)

再評価:無

期末レポート、及び授業中の発表や質疑応答・議論等への参加度で評価します。フランスやヨーロッパの現代社会に興味を持って頂くのが目的の授業ですので、授業中の発表や期末レポートは、フランスやヨーロッパの文化や出来事について、自分でテーマを選んで分析・コメントして頂きます。また、教員の解説や他の人の発表に対する授業中の積極的な発言も評価します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教員が取り上げるトピックスについては、できる範囲で自分でも情報を収集し、日本社会や文化との差について考えておいて下さい。授業中にコメントや自分の考えを述べてもらう機会を設けます。

また、フランスやヨーロッパの社会や文化について自分が興味があるテーマに関して、情報を収集し、発表できるよう準備して下さい。順番に担当して頂きます。

試験の受験資格

3 分の 2 以上に出席したものにレポート提出資格を与える。

教科書

・francetvinfo
http://www.francetvinfo.fr/

映像付きで最新ニュースを報道していますので、主にこのサイトから記事を選んで、受講者に URL を配信します。内容は日本語で解説します。

他科目との関連

ヨーロッパの社会や文化に興味があって、積極的にニュースに触れようという意欲があれば、フランス語選択者以外も選択できます。授業中は教員が日本語で解説しますが、テキストにはフランス語も含まれますので、フランス語選択者は、時事問題のフランス語の表現に興味を持って頂けるとフランス語への理解も深まります。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000306				
科目名	R・講義と実習によるバイオサイエンス 1				
担当教員	服部 淳彦				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：火曜日 3・4限（第1・3週を除く）

・対象学科・専攻：医学・歯学・検査学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

2－1）自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

2－5）自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる力を養う。

授業の目的、概要等

この科目は，バイオサイエンス 1（前期）と 2（後期）を合わせて完結する実習セミナー系の科目である。したがって、両方を取ることを条件にする。また、本年度は前期から研究（実験）をはじめる。

この科目では，

1）現代のバイオサイエンスの研究で用いられている新しい手法の原理を学ぶ。

2）また，英語で書かれたオリジナルの研究論文を読む。

3）次に，それらの技術の一部を用いた実験を実際に行う。

4）さらにその発展バージョンとして，自由にテーマを設定し，実験のプランニングをし，そのプランに従った実験を実際に行う。前期は、自分の研究に関して「背景，方法，結果と考察」を中間発表にまとめてもらう。

したがって，実験を行う日は，4時限以降にずれ込むこともありうるので，その事も考慮するように。

授業の到達目標

将来研究者になるために必要な基本的なものの考え方や技術を修得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/23	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦
2	5/7	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦
3	5/14	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦
4	6/4	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦
5	6/4	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦
6	6/18	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦
7	6/18	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦
8	7/2	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦
9	7/2	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦
10	7/16	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦
11	7/16	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦
12	9/9	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦
13	9/9	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦
14	9/10	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦
15	9/10	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦

授業方法

主に、論文紹介と実験とその中間発表による。

授業内容

1. 本年度のテーマに沿った内容の講義
2. 英語で書かれたオリジナルの研究論文を読む
3. 研究に必要な実験の基本テクニックを習得する
4. テーマを設定し，独自の実験計画を立て，実際に実験を行う（前期と夏休み）
5. 結果をパワーポイントにまとめて発表する

＊ 実験形式の授業なので，募集人数は8名をMAXとし、希望者が多い場合は，申し訳ないが人数を絞らせていただく。

成績評価の方法

評価:その他　100%

英語論文に関する理解度や中間発表時のプレゼンテーションやディスカッションの様子などから総合的に判断する。

再評価:　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

渡された英語の論文は早めに読み、研究テーマや実験の進め方に関しては適宜相談に来ること。

教科書

参考論文などは，随時紹介する。

連絡先

ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週　水曜:12:30～14:00　金曜:10:30～12:30　ヒポ 4F　教員研究室(A2)

時間割番号	000862				
科目名	S・Essentials of Molecular and Cellular Biology				
担当教員	JEANETTE DENNISSON				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

This course is a general biology course taught in English.

The content in this course complements material taught in your regular biology course [生物学(細胞・遺伝子)]. The purpose of this course is to prepare motivated students to learn and review biology concepts through English. The course should support learning of your regular biology course content.

授業の目的、概要等

The purpose of this course is to build on your molecular and cellular biology knowledge through class discussions and self-directed study of English reading materials.

Goals

1) Build science vocabulary in English

2) Improve English oral discussion ability on biology topics

3) Present on current trends in biology primary literature

4) Summarize in written forms important concepts in biology

授業の到達目標

By the end of this course, you will be able to:

1) write short summaries about biology concepts in English

2) Skim and scan through primary and secondary literature in English to learn important biology concepts.

3) Use reliable sources of primary and secondary literature of biology available in English

4) Communicate in class discussion in English on biology concepts

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/23	14:50-16:20	12 番教室	Introduction		JEANETTE DENNISSON
2	5/7	14:50-16:20	12 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 1	Research/Literature Review	JEANETTE DENNISSON
3	5/14	14:50-16:20	12 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 1	Lecture/Presentation	JEANETTE DENNISSON
4	6/4	13:10-14:40	12 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 2	Research/Literature Review	JEANETTE DENNISSON
5	6/4	14:50-16:20	12 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 2	Lecture/Presentation	JEANETTE DENNISSON
6	6/18	13:10-14:40	12 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 3	Research/Literature Review	JEANETTE DENNISSON
7	6/18	14:50-16:20	12 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 3	Lecture/Presentation	JEANETTE DENNISSON
8	7/2	13:10-14:40	12 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 4	Research/Literature Review	JEANETTE DENNISSON
9	7/2	14:50-16:20	12 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 4	Lecture/Presentation	JEANETTE DENNISSON
10	7/16	13:10-14:40	12 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 5	Research/Literature Review	JEANETTE DENNISSON

11	7/16	14:50-16:20	12 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 5	Lecture/Presentation	JEANETTE DE NNISSON
12	9/9	13:10-14:40	12 番教室	Final Evaluation	Written Examination	JEANETTE DE NNISSON
13	9/9	14:50-16:20	12 番教室	Final Evaluation	Written Examination	JEANETTE DE NNISSON
14	9/10	13:10-14:40	12 番教室	Final Student Presention	Oral Examination	JEANETTE DE NNISSON
15	9/10	14:50-16:20	12 番教室	Final Student Presention	Oral Examination	JEANETTE DE NNISSON

授業方法

Students will listen to teacher mini-lectures and work in small groups to learn about biology topics each week.

For each topic, there will be the following components.

1) At home reading assignment on a biology subtopic

2) At home literature search on biology subtopic

3) Summary of teacher mini-lecture and suptopic

4) Small group work discussion on each subtopic

5) Group presentation of each subtopic with student Q/A

授業内容

Selected topics covered in regular the biology course taught in Japanese [生物学(細胞・遺伝子)] will be reviewed and discussed in this course.

成績評価の方法

Students will work in small groups to complete class tasks.

For each topic, there will be the following components.

1) Written summaries of teacher mini-lectures and suptopics each week 30%

2) Performance on small group presentations of each subtopic and ability to answer questions 30%

3) Final individual presentation on a current trend in biology 20%

4) Final written examination on all biology topics covered 20%

成績評価の基準

Refer to「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

This course is recommended for students with TOEFL 500+.

教科書

Main textbook:

Essential Cell Biology 4th Ed. by Alberts et al. (2014)

**Note: Purchase of this textbook is NOT required. There is a copy available in the Kounodai Library. Reading materials will be provided by the instructor.

参考書

Japanese version of textbook:

Essential 細胞生物学(原書第 4 版)

Additional supplemental materials will be provided on the course folder.

他科目との関連

生物学(細胞・遺伝子)

履修上の注意事項

You will need to access the course folder for reading materials during each lesson. You should bring a laptop or tablet each week. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

The course materials will be accessed through the online course folder on Google Drive. Students will be required to have a Google account to access this material.

連絡先

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000344				
科目名	R・離散構造				
担当教員	徳永 伸一				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：火曜 3-4 限

対象学科・専攻：医学科・歯学科

授業の目的、概要等

この授業で扱うのは、たとえば以下のような問題です：

「m×nの長方形が単位正方形を4つ張り合わせたL字型のタイルで隙間無く敷き詰められるための、mとnの　必要十分条件を求めよ」

「3×4 の長方形の中に 6 つの点があるとき、それら 6 点のうち距離√5 以下の 2 点が存在することを示せ」

「6 人が参加したパーティにおいて、互いに知り合いである 3 人か、または互いに 2 知り合いでない 3 人のいずれかが存在することを示せ」

「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」といい、離散数学が扱う対象を総称して「離散構造」と呼びます。本科目では離散構造に関する書籍を1つ取り上げ、輪読形式のセミナーを行います。扱われる命題の大部分は直観的に理解可能で高度な知識や数式を必要としませんが、その分、論理を正確に理解し言葉で的確に説明する能力が重視されます。

本年度は

V. Boltyanski & A. Soifer 著「Geometric Etude in Combinatorial Mathematics」

（「組合せ数学における幾何的なエチュード」）

の適当な Chapter を選んで読むことにします。

（ただし他に適当な教材があれば受講者の希望も勘案して変更する可能性あり）

本書の英文は極めて平易であり、扱われる問題も直感的に理解しやすいものであるため、高度な読解力や数学および数学専門用語の知識は必要としません（その都度調べれば充分対応可能）。結果的に、英文を「論理的に読む」ための教材として非常に適しており、医療系の英語論文を読む際にも大いに役立つと思われます。なお、冒頭の問題は本書の例題・演習問題から選びました。

授業の到達目標

英語で書かれた数学の平易なテキストを論理的に解読し、理解したことを整理して解説できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/23	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一
2	5/7	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一
3	5/14	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一
4	6/4	13:10-14:40	3 番教室	徳永 伸一
5	6/4	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一
6	6/18	13:10-14:40	3 番教室	徳永 伸一
7	6/18	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一
8	7/2	13:10-14:40	3 番教室	徳永 伸一
9	7/2	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一
10	7/16	13:10-14:40	3 番教室	徳永 伸一
11	7/16	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一
12	9/9	13:10-14:40	3 番教室	徳永 伸一
13	9/9	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一
14	9/10	13:10-14:40	3 番教室	徳永 伸一
15	9/10	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一

授業方法

輪読によるセミナー形式。

授業内容

毎回 1～2名の発表者に、各自の担当範囲（概ね1セクションの半分程度）を解説してもらいます。

ただし状況に応じて担当教員が関連分野の講義を行うこともあります。
また発表者には担当範囲の全訳およびそれを補足するレジュメの提出を義務付けます。

成績評価の方法

発表・レジュメの内容や授業参加への積極性を総合的に評価します。

成績評価の基準

到達目標をある程度達成したと見なせること。

準備学習などについての具体的な指示

テキストを事前に読み、未知の英単語・概念等を調べて、大まかな内容を把握しておくこと。

参考書

やさしい幾何学問題ゼミナール／ピーター・フランクル, 前原濶 著,:共立出版, 1992
入門組合せ論／ラスロウ・ロバース 他著,秋山仁, ピーター・フランクル 翻案,:共立出版, 1985

他科目との関連

後期の「数学Ⅱ（β）」で本科目の内容と関連する問題を一部扱います。

連絡先

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:
水曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）
木曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:
金曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前にＥメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000921				
科目名	S・現代中国社会研究				
担当教員	包 敏				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間: 火曜 3-4 限

対象学科: 全学科

募集人数:30人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3-4、3-5

授業の目的、概要等

現代中国社会における政治、経済、外交、民族、教育、社会保障、人口政策などの現状を紹介したうえ、中国社会が直面する問題を検討することにより、現代中国社会を理解することを目指す。

本講義は 2 部から構成する。第 1 部は、中国の政治体制をはじめ、経済、外交、民族、教育、社会保障、人口に関する具体的な状況を紹介する。第 2 部は、現代中国社会が抱える問題を取り上げ、中国の実情を具体的にイメージし、適切な中国認識を持つようにつなげる。講義を通してボーダーレスな時代において中国の人と交流する基礎的な知識を身につけてもらいたい。

授業の到達目標

中国社会の構造を知ることにより、中国を知り、中国に関する知識を深める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/4	13:10-14:40	8 番教室	包 敏
2	6/4	14:50-16:20	8 番教室	包 敏
3	6/18	13:10-14:40	8 番教室	包 敏
4	6/18	14:50-16:20	8 番教室	包 敏
5	7/2	13:10-14:40	8 番教室	包 敏
6	7/2	14:50-16:20	8 番教室	包 敏
7	7/16	13:10-14:40	8 番教室	包 敏
8	7/16	14:50-16:20	8 番教室	包 敏

授業方法

講義形式。

授業内容

授業計画

第1回:授業の進め方 中国とは何か

第2回:現代中国政治の概要

第3回:中国経済の概況

第4回:中国の対外関係

第5回:中華民族とは

第6回:中国の教育体制

第7回:中国の社会保障

第8回:中国人口政策の変遷

第9回:中国共産党のメカニズム

第10回:改革開放政策の功罪

第11回:都市部と農村部における教育格差

第12回:一人っ子時代における中国の高齢化問題

第13回:中国の少数民族問題

第14回:和諧社会実現の理想と現実

第15回:まとめ 講義全体を振り返り、解説を行う

成績評価の方法

評価 :レポート 50% ・ その他(授業参加、授業中課題)50%

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

プリントを配布する。予習は特に必要ではないが、授業の内容を整理し、レポートに活かす。

試験の受験資格

①原則3分の2以上出席、②授業中の課題を提出すること。

教科書

教科書は用いない。適宜プリントを配布する。

参考書

高原明生他編『東大塾 社会人のための現代中国講義』東京大学出版会 2014 年

光田剛編『現代中国入門』ちくま新書 2017 年

天児慧編著『習近平が変えた中国』小学館 2018 年

履修上の注意事項

原則 3 分の 2 以上出席すること

時間割番号	000889				
科目名	S・平面と立体の幾何学				
担当教員	中口 悦史				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

対象学科：全学科（高校数学Ⅲ未履修者も可）

募集人数：40名以内

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），4−1），4−2）

授業の目的、概要等

高校までに学習した幾何学の内容の捉え直しから出発して，公理的幾何学から CAD/CG や画像診断のための図学（図法幾何学）までを，体系的に学習する。

授業の到達目標

幾何学に関する基本的な公理や定理を理解し，基礎的な計算問題や証明問題を解くことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1−2	6/4	13:10−16:20	6 番教室	平面図形（1）	ユークリッドの幾何学の公理，三角比と三角関数，図形の計量	中口 悦史
3−4	6/18	13:10−16:20	6 番教室	平面図形（2）	座標平面と平面ベクトル，一次変換と行列表現	中口 悦史
5−6	7/2	13:10−16:20	6 番教室	平面図形（3）	曲線のパラメータ表現，曲線論の基本定理，曲線の多角形近似	中口 悦史
7−8	7/16	13:10−16:20	6 番教室	立体図形（1）	代表的な立体図形，球面三角比，図形の計量	中口 悦史
9−10	9/9	13:10−16:20	6 番教室	立体図形（2）	座標空間と空間ベクトル，図形の回転とクラインのパラメータ	中口 悦史
11−12	9/10	13:10−16:20	6 番教室	立体図形（3）	曲面のパラメータ表現，曲面の多面体近似，立体図形の投影	中口 悦史

授業方法

板書による講義と演習を交えながら授業を進める。

授業内容

代表的な平面図形と立体図形，図形の計量，座標とベクトル，一次変換と行列表現，曲線と曲面の関数表示など，平面幾何と空間幾何を体系的に比較しながら，演習を交えて学習する。折に触れて CAD のための形状モデルや図学（図法幾何学）についても取り上げる。

成績評価の方法

評価 ： 試験 60% ・ レポート 0% ・ その他（授業中の演習） 40%

再評価： 無

試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は，問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ，論証や計算の精確さを総合的に評価するために，期末に筆記試験によって行う。期末試験に代えて発表（板書）形式の総合演習を行うことがある。

「試験の受験資格」を満たし，かつ期末試験を受験したもののみを，評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

高校数学の内容をよく思い出し，不明な点を整理して授業に臨むことが望ましい。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに，出席回の演習への参加。

教科書

特に指定しない。適宜プリント等を配布する。

参考書

デザインのための数学／牟田淳 著,牟田，淳,：オーム社，2010

正多面体を解く／一松信 著,一松，信，1926−,：東海大学出版会，2002

工系数学講座／伊理正夫／〔ほか〕編集,伊理 || 正夫,金谷：共立出版，1998

初めて学ぶ図学と製図／松井悟, 竹之内和樹, 藤智亮, 森山茂章 著,松井, 悟,竹之内, 和樹,藤, 智亮,:朝倉書店, 2011
代数曲線の幾何学／難波誠 著,難波, 誠, 1943-,:現代数学社, 2018
幾何学と代数系 = Geometric Algebra : ハミルトン,グラスマン,クリフォード／金谷健一 著,金谷, 健一, 1947-,:森北出版, 2014
新数学講座 幾何学／西川 青季:朝倉書店, 2002
曲線と曲面 : 計算機による作図と追跡／森正武／著,森正武,:教育出版, 1984
曲線と曲面の微分幾何／小林昭七著,小林, 昭七(1932-),:裳華房, 1995-09
曲線と曲面 : 微分幾何的アプローチ／梅原雅顕, 山田光太郎 共著,梅原, 雅顕, 1962-,山田, 光太郎, 1961-,:裳華房, 2015

履修上の注意事項

・出欠確認は出欠管理システムと, 授業中の点呼等を併用する。 ・授業日程をよく確認のこと。夏季集中日程については, 履修者と相談して決定する。

連絡先

nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000861				
科目名	S・タンパク質の科学				
担当教員	澤野 頼子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:火曜(6/4～9/10 の隔週)および 9/9(月)3・4 時限、夏季休業期間中に集中講義(3 コマ分)

対象学科:全学科

受講資格:タンパク質に興味のある者

募集人数:24 名

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

別表2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける

主な講義場所

9番教室

授業の目的、概要等

タンパク質は食品に含まれる物質としてなじみがありますが、生命現象に直接かかわる物質(酵素、抗体、情報受容・伝達タンパク質など)として非常に重要です。この授業では化学、生命科学のおけるタンパク質およびそれを構成するアミノ酸について、基本概念の導入講義を行った上で、少人数のグループに分かれて学生自らが問題提起・討論・解決を行う PBL(Problem Based Learning)を通して学習し、受講者が発表する機会も設けます。希望と必要に応じて、実験も実施します。

授業の到達目標

講義、PBL、および発表を通して、化学、生命科学におけるタンパク質およびアミノ酸の基礎を理解し、レポートにまとめる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/4	13:10-14:40	9 番教室	イントロダクション、アミノ酸に関する導入講義	澤野 頼子
2	6/4	14:50-16:20	9 番教室	アミノ酸に関する PBL(1)	澤野 頼子
3	6/18	13:10-14:40	9 番教室	アミノ酸に関する PBL(2)	澤野 頼子
4	6/18	14:50-16:20	9 番教室	アミノ酸に関する PBL(3)	澤野 頼子
5	7/2	13:10-14:40	9 番教室	アミノ酸に関する PBL(4)	澤野 頼子
6	7/2	14:50-16:20	9 番教室	アミノ酸に関する PBL(5)	澤野 頼子
7	7/16	13:10-14:40	9 番教室	アミノ酸に関する発表会(1)	澤野 頼子
8	7/16	14:50-16:20	9 番教室	アミノ酸に関する発表会(2)	澤野 頼子
9	9/9	13:10-14:40	9 番教室	タンパク質に関する PBL(4)	澤野 頼子
10	9/9	14:50-16:20	9 番教室	タンパク質に関する PBL(5)	澤野 頼子
11	9/10	13:10-14:40	9 番教室	タンパク質に関する発表会(1)	澤野 頼子
12	9/10	14:50-16:20	9 番教室	タンパク質に関する発表会(2)	澤野 頼子

授業方法

講義およびアクティブラーニング(PBL、課題発表、実習など)による

授業内容

1. アミノ酸に関する講義、PBL、実験(希望と必要に応じて)、発表会

2. タンパク質に関する講義、PBL、実験(希望と必要に応じて)、発表会

成績評価の方法

評価 : レポート 20% ・ その他(授業への参加度、発表等など) 80%

再評価: 無

授業時の取り組み状況(PBL での活動状況、発表会など)を重視し、それに関連したレポートとともに評価を行う。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

講義資料(WebClass の掲載)に目を通しておく。

アミノ酸やタンパク質に関してインターネットや書籍等から情報収集を行う。

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

参考書

ヴォート基礎生化学／D.Voet, J.G.Voet, C.W.Pratt 著,田宮信雄, 村松正實, 八木達彦, 遠藤斗志也 訳,:東京化学同人, 2010

タンパク質の構造と機能 : カラー図説／グレゴリー A. ペツコ／著,ダグマール リンゲ／著,横山 茂之／監訳,宮島 郁子／訳,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005

タンパク質の構造入門／Carl Branden, John Tooze 著,勝部幸輝 [ほか]監訳,:ニュートンプレス, 2000

タンパク質入門 : その化学構造とライフサイエンスへの招待／高山光男 著,:内田老鶴圃, 2006

タンパク質科学 : 構造・物性・機能／後藤祐児, 桑島邦博, 谷澤克行 編,:化学同人, 2005

アミノ酸 : タンパク質と生命活動の化学／船山信次 著,:東京電機大学出版局, 2009

タンパク質・アミノ酸の新栄養学／岸恭一, 木戸康博 編,:講談社, 2007

履修上の注意事項

開講前に説明会を実施するので、受講希望者は必ず出席すること。受講希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。

連絡先

sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000347				
科目名	S・分子分光学演習:基礎編				
担当教員	奈良 雅之				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

火曜日3, 4時限(変則)＋夏季集中型:

・対象学科:全学科

・募集人数:10名

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1・2・3)科学的思考方法を知る

4－3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける

主な講義場所

分光測定は化学教員実験室で行います。

オプションとして、分析展の見学ツアーを予定しています。

授業の目的、概要等

近年の技術的な進歩に伴って、医歯学や生命科学の分野における分子分光学の果たす役割は大きくなっています。この科目では担当教員の専門分野である“分子分光学”を通じて「ミクロのものの見方」を学びます。まずは化学の基礎として、原子の構造、分子の構造を講義ならびに演習を通じて理解します。次に、実際に分光装置を用いて分光測定の基本操作に慣れます。実験テーマを決めて、分光測定で得られたスペクトルをコンピュータで解析します。

授業の到達目標

(1)原子の構造、分子の構造について理解できる。

(2)基本操作を習得することにより、一人で分光測定ができる。

(3)基本物質の振動スペクトルから構造を読み取ることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/4	13:10-14:40	4番教室	奈良 雅之
2	6/4	14:50-16:20	4番教室	奈良 雅之
3	6/18	13:10-14:40	4番教室	奈良 雅之
4	6/18	14:50-16:20	4番教室	奈良 雅之
5	7/2	13:10-14:40	4番教室	奈良 雅之
6	7/2	14:50-16:20	4番教室	奈良 雅之
7	7/16	13:10-14:40	4番教室	奈良 雅之
8	7/16	14:50-16:20	4番教室	奈良 雅之
9	9/9	13:10-14:40	4番教室	奈良 雅之
10	9/9	14:50-16:20	4番教室	奈良 雅之
11	9/10	13:10-14:40	4番教室	奈良 雅之
12	9/10	14:50-16:20	4番教室	奈良 雅之

授業方法

演習・実験形式を取り入れたアクティブラーニングを行う。

授業内容

タンパク質や脂質などの生体高分子や生体材料などを研究対象として、分光学的手法(主として赤外分光法もしくはラマン分光法)によるアプローチにより、対象となる分子の構造と機能の相関を解析する。

1,2.(初回) ガイダンス、 原子の構造(おもに講義)

3,4. 原子の構造、分子の構造(講義ならびに演習)

5,6. 分子分光学,量子化学に関する概説

7,8. 分子分光学,量子化学に関する概説

9,10. 分光学に関する基本操作を習得する。

11-14. 実験テーマを決めて、取り組む。(実験ならびに結果解析)(夏休み期間)

15. 実験経過、研究成果を発表する。

実験レポート(報告書)として報告する。

履修者が多い場合は、実験は 2 もしくは 3 つのグループに分けて行う場合があります。

成績評価の方法

評価:報告会での発表・レポート　70%・

　　その他　30%（実験の取り組み方）

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

ガイダンスの折に資料を配付しますので、配付資料を事前に読んでください。

試験の受験資格

考査の受験資格:原則3分の2以上出席

教科書

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein　共著,一国雅巳　訳:オーム社, 1995

必要な文献はコピーして配付します

参考書

系統看護学講座／奈良雅之:医学書院, 2018

赤外分光測定法 : 基礎と最新手法／田隅　三生　編著,日本分光学会編集委員会　編,:エス・ティ・ジャパン, 2012

ハート基礎有機化学／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート　原著,秋葉欣哉, 奥彬　訳:培風館, 2002

他科目との関連

一般化学では講義しない原子、分子の構造を取り扱います。

履修上の注意事項

分子分光学についてさらに理解を深めたい方は、後期の S・生体分子分光学演習をお勧めします。

連絡先

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000856				
科目名	S・基礎力学				
担当教員	越野 和樹, 増田 俊平				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間:時間割を参照のこと

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表2－1)

別表4－2)

授業の目的、概要等

ボールの運動から太陽のまわりを回る惑星の運動にいたるまで、我々の身の回りで見られる殆どの運動は、17世紀にニュートンによりまとめられた「ニュートン力学」によって定量的に説明できます。ニュートン力学によれば、運動方程式や万有引力の法則などの数個の基本法則に基づいて、あらゆる物理現象を統一的かつ定量的に説明することができます。また、基本法則を発展させることによって、エネルギー保存のような新しい概念を導出することができます。力学を学ぶことによって、物体の運動の基本法則を知ると同時に、基本法則に基づいて物理現象を理解しようとする考え方や、基本法則をどのように具体的事象に適用してゆくかを学びます。具体的には、(ⅰ)物体の運動が微分方程式という言葉で表現されること、(ⅱ)基本方程式から様々な保存則が導かれること、(ⅲ)それらを適用して実際の物体の運動を予言すること、を学びます。

物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。

授業の到達目標

ニュートン力学の提供する世界観を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には,

- 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されることを理解する。
- 基本方程式から様々な保存則を導出する。
- 運動方程式や保存則を適用して実際の物体の運動を予言できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	14:50-16:20	7番教室	第1回	運動と力	越野 和樹
2	4/24	14:50-16:20	7番教室	第2回	運動と力	越野 和樹
3	5/8	14:50-16:20	7番教室	第3回	運動と力	越野 和樹
4	5/15	14:50-16:20	7番教室	第4回	さまざまな力	越野 和樹
5	5/22	14:50-16:20	7番教室	第5回	さまざまな力	越野 和樹
6	5/29	14:50-16:20	7番教室	第6回	さまざまな力	越野 和樹
7	6/5	14:50-16:20	7番教室	第7回	エネルギー保存則	増田 俊平
8	6/12	14:50-16:20	7番教室	第8回	エネルギー保存則	増田 俊平
9	6/19	14:50-16:20	7番教室	第9回	運動量保存則	増田 俊平
10	6/26	14:50-16:20	7番教室	第10回	運動量保存則	増田 俊平
11	7/3	14:50-16:20	7番教室	第11回	さまざまな運動	増田 俊平
12	7/10	14:50-16:20	7番教室	第12回	さまざまな運動	増田 俊平
13	7/17	14:50-16:20	7番教室	第13回	剛体の力学	増田 俊平
14	7/24	14:50-16:20	7番教室	第14回	期末テスト	越野 和樹
15	7/31	14:50-16:20	7番教室	第15回	まとめ	越野 和樹

授業方法

講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による

授業内容

運動と力／さまざまな力／エネルギー保存則・運動量保存則／さまざまな運動

成績評価の方法

評価:期末考査および授業への参加度

再評価:上記評価が6割未満の者に対して再試験を行う

授業内容の理解度を測るために期末考査や演習を行い，その成績および授業への参加度で評価を行う.

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

講義資料をあらかじめダウンロードし（URLは別途指示）印刷しておくことを前提とする.

試験の受験資格

初回の講義において説明する

教科書

基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著,:培風館, 2016

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる.

連絡先

越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

越野　和樹:毎週月曜日 12:00―13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000312				
科目名	S・水の科学				
担当教員	奈良 雅之				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間:金曜1時限

・対象学科:全学科

・募集人数:25 名

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける

別表2－5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う

授業の目的、概要等

水に対する世間の関心が高いことはご存じのことでしょう。例えば、水道水に対する不安、不満、嗜好飲料に対するブランド志向などからミネラルウォーターが一般家庭の中で定着しています。また、十分な科学的な根拠なしに、水に新しい機能を求める風潮がありますし、本屋の棚には「水で病気が治った？」といった怪しげな本も見受けられます。日常生活の中で当たり前としてとらえがちな「水」ですが、実は非常に複雑で奥が深く、なかなか一筋縄で理解できるものではありません。そこで、「水」に関するテーマを科学的な視点はもちろん、社会的な視点からも眺めることにより、その広さと深さを勉強します。

授業の到達目標

1. 水、水溶液を科学的な視点で理解できる。

2.「水」に関連する興味のあるテーマについて、自分で調べてプレゼンテーションを行うことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之
2	4/19	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之
3	4/26	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之
4	5/10	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之
5	5/17	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之
6	5/24	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之
7	5/31	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之
8	6/7	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之
9	6/14	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之
10	6/21	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之
11	6/28	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之
12	7/5	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之
13	7/12	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之
14	7/19	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之
15	7/26	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之

授業方法

教員による講義の部分はできるだけ少なくてし、受講者が積極的に参加するように、輪読、グループ学習、発表会など能動学習(アクティブラーニング)を実践します。特に、机上の議論だけでなく、「どの水がうまいか？」「どの水を使うと、おいしいコーヒーが飲めるか？」など実際に比較実験を行う(自分の舌で確かめる)ことにより、朝の眠気を吹き飛ばすようにしたいと思います。

授業内容

1.ガイダンス

2.水に関する講義

3.水,水溶液に関連する文献の輪読

4.ミネラルウォーターの試飲会 and/or コーヒーの試飲会

5. 水に関する簡単な実験(←実験希望者を対象)

6.報告会 など

成績評価の方法

評価:授業中のグループ活動が特に重要ですので、授業への貢献度(50%)、発表・プレゼンテーション(20%)、レポート(30%)で評価します。
アクティブラーニングの提出物(レポート)よりもアクティブラーニングの活動を評価として重視します。
再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

新聞記事、インターネットなどから水に関する情報を収集してください。

試験の受験資格

期末考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席

教科書

水を科学する／川瀬義矩　著,:東京電機大学出版局, 2011

参考書

水の話・十講 : その科学と環境問題／鈴木啓三　著,:化学同人, 1997
水とはなにか : ミクロに見たそのふるまい／上平　恒／著,:講談社, 1979
系統看護学講座　化学／奈良雅之:医学書院, 2018

他科目との関連

分子レベルの化学に興味を持っている方は、「分子分光学演習:基礎編」の履修をお勧めします。

履修上の注意事項

1限の授業に遅刻、無断欠席する人は、グループ活動の妨げになりますので、履修しないでください。　グループ学習が嫌いな人には向いていません。

連絡先

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000812				
科目名	S・Topics in the News				
担当教員	PATRICK FOSS				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：金曜1限

・対象：医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学

・募集人数：24名

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表3－5）

授業の目的、概要等

Do you keep up with the news? What's happening these days in Japan and around the world? More importantly, why are these events happenings? How might they affect you and other people in the future? What's your opinion about them?

It's essential to know what's going on in the world around you in order to have intelligent conversations with others and be a responsible citizen. However, understanding the news is not easy, particularly when it is in a foreign language. In this course, students will improve their understanding of current events and develop both their critical thinking skills and English abilities through reading, analyzing, and discussing articles on newsworthy topics.

授業の到達目標

By the end of this course, students will be able to:

1. Critically read news articles in English

2. Intelligently discuss (in English) a variety of current issues and events taking place in Japan and around the world

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	10番教室	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS
2	4/19	09:10-10:40	10番教室	Topic 1	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
3	4/26	09:10-10:40	10番教室	Topic 2	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
4	5/10	09:10-10:40	10番教室	Topic 3	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
5	5/17	09:10-10:40	10番教室	Topic 4	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
6	5/24	09:10-10:40	10番教室	Topic 5	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
7	5/31	09:10-10:40	10番教室	Topic 6	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
8	6/7	09:10-10:40	10番教室	Topic 7	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
9	6/14	09:10-10:40	10番教室	Topic 8	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
10	6/21	09:10-10:40	10番教室	Topic 9	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
11	6/28	09:10-10:40	10番教室	Topic 10	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
12	7/5	09:10-10:40	10番教室	Topic 11	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
13	7/12	09:10-10:40	10番教室	Topic 12	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
14	7/19	09:10-10:40	10番教室	Topic 13	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
15	7/26	09:10-10:40	10番教室	Course Review	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS

授業方法

Discussion

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Group Discussions, Skills Instruction, and Assessment
Week 15: Review and/or Final Assessment

Because this course will focus on current issues and events, the topic for any particular class will depend on what is newsworthy at that time. Students will also occasionally choose articles to present and discuss. Throughout the course, the following critical reading/thinking skills will likely be addressed:

Separating fact from opinion
Identifying missing information
Differentiating causes and effects
Identifying perspectives and bias
Identifying generalizations, assumptions, and stereotypes
Evaluating tone and word choice
Distinguishing between emotional and logical arguments
Evaluating inferences
Evaluating evidence and credibility
Determining the validity of conclusions
Evaluating one's own reactions and opinions

成績評価の方法

評価: quizzes/response papers 20% participation/discussion presentations 50% comprehensive test or assignment 30%

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000901				
科目名	S・Writing in English				
担当教員	PATRICK FOSS				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：金曜2限

・対象：医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学

・募集人数：20名

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

This class will help you write faster and better in English. Along the way you will improve your critical thinking skills as well.

授業の到達目標

By the end of this course, students will be able to:

1. Write effective paragraphs and essays in English.

2. Write more fluently on general topics.

3. Critically analyze the written work of others.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	計算機実習室	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
2	4/19	10:50-12:20	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
3	4/26	10:50-12:20	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
4	5/10	10:50-12:20	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
5	5/17	10:50-12:20	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
6	5/24	10:50-12:20	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
7	5/31	10:50-12:20	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
8	6/7	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
9	6/14	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
10	6/21	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
11	6/28	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
12	7/5	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
13	7/12	10:50-12:20	計算機実習室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
14	7/19	10:50-12:20	計算機実習室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
15	7/26	10:50-12:20	計算機実習室	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価： writing assignments 70%　journal 10%　participation/quizzes 20%

再評価：無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。　This course is intended for students with TOEFL scores between 450–550. If your score is outside this range, please consult the instructor. Students taking English B with Patrick Foss are not permitted to take this course.

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000852				
科目名	S・Calculus for medical students				
担当教員	Eckhard HITZER, 中口 悦史				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

受講資格: High school level mathematics and English are required. Good listening understanding is helpful.

募集人数: 10 students.

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2−1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

2−4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける

3−1)国際的に活躍するための語学力を養う

4−2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

English is the common language on the international scene, not only in science but also in biology, sports, dentistry and medicine. Many Japanese researchers have had the experience of having had trouble with English. Thus, for your future preparations, it is meaningful to early on take a class of calculus in English as freshman. In this lecture, you will learn elementary topics of calculus by using English: Inverse Trigonometric Functions, Probability, Infinite Series, Taylor Series, Polar Coordinates, Partial Derivatives, The Chain Rule; and if time suffices we will also study Tangent Planes, Extreme Values and Lagrange Multipliers. The course is also aiming at obtaining not only knowledge of mathematics but also a communicative competence in English.

授業の到達目標

As for the purpose of this lecture, you will acquire the ability to adsorb useful information in mathematics from English lecture, internet and literature.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	4/12	10:50−12:20	8 番教室	Course guidance	Eckhard HITZER, 中口 悦史
2	4/19	10:50−12:20	8 番教室	Inverse Trigonometric Functions (1)	Eckhard HITZER, 中口 悦史
3	4/26	10:50−12:20	8 番教室	Inverse Trigonometric Functions (2)	Eckhard HITZER, 中口 悦史
4	5/10	10:50−12:20	8 番教室	Probability (1)	Eckhard HITZER, 中口 悦史
5	5/17	10:50−12:20	8 番教室	Probability (2)	Eckhard HITZER, 中口 悦史
6	5/24	10:50−12:20	8 番教室	Infinite Series, Taylor Series (1)	Eckhard HITZER, 中口 悦史
7	5/31	10:50−12:20	8 番教室	Infinite Series, Taylor Series (2)	Eckhard HITZER, 中口 悦史
8	6/7	10:50−12:20	8 番教室	Polar Coordinates	Eckhard HITZER, 中口 悦史
9	6/14	10:50−12:20	8 番教室	Partial Derivatives, The Chain Rule (1)	Eckhard HITZER, 中口 悦史
10	6/21	10:50−12:20	8 番教室	Partial Derivatives, The Chain Rule (2)	Eckhard HITZER, 中口 悦史
11	6/28	10:50−12:20	8 番教室	Tangent Planes, Extreme Values, Lagrange Multipliers	Eckhard HITZER, 中口 悦史
12	7/5	10:50−12:20	8 番教室	TBA	Eckhard HITZER, 中口 悦史
13	7/12	10:50−12:20	8 番教室	TBA	Eckhard HITZER, 中口 悦史
14	7/19	10:50−12:20	8 番教室	TBA	Eckhard HITZER, 中口 悦史
15	7/26	10:50−12:20	8 番教室	Presentations by students	Eckhard HITZER, 中口 悦史

授業方法

Lecture with online homework, and presentations by students.

授業内容

Inverse Trigonometric Functions

Probability

Infinite Series, Taylor Series

Polar Coordinates

Partial Derivatives, The Chain Rule

(If time permits: Tangent Planes, Extreme Values, Lagrange Multipliers.)

成績評価の方法

評価 : 試験 0 % ・ レポート 0 % ・ その他 100 %（課題提出 70 %, 授業中の演習と発表 30 %）

再評価: 無

授業時間中のリアクションや，最終回のプレゼンテーションだけでなく，時間外のオンライン学習および課題提出も重視し，その成果を評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Review your high school mathematics well before the course. You can prepare each class by already looking through the next chapter of the online textbook. Try to learn English words, which are new to you. There will be regular online homework after each class, for which you have a certain deadline, and repeated trials. This homework provides important score. It is best to get online textbook access license in the first week of term.

試験の受験資格

授業回数の 3 分の 2 回以上の出席，ならびに要求されたすべての提出物の提出。

教科書

Thomas' Calculus, 13th ed. (E-Text version)／George B. Thomas：Pearson, 2014

IMPORTANT: Every student is most STRONGLY recommended to purchase the Pearson MyMathLab access code. With the one-year access online E-Text, you have full electronic multimedia access to the whole text and the test quizzes, examples, feedback and solution assistance. The question score will be registered online, and be a major part of the grading. Purchase and registration instruction will be given in the first class.

履修上の注意事項

〇出欠確認について　出欠確認は出欠管理システムと，リアクションペーパーの提出による確認を併用する。 〇授業日程について　担当教員の事情により，授業日程の変更（一部回の休講と，夏季休業中・8月下旬～9月上旬の補講設定）を行うことがあるので，履修申請の際は注意すること。補講設定の場合は，履修者と相談して日程を決定する。 〇履修申請について　授業初回の出席者で履修希望受入れを打ち切ることがある。ただし初回のみ，人文社会科目に合わせて，前半あるいは後半の45分のみの出席でも可とする。　初回で履修希望者多数の場合は，人文社会科目1次抽選結果発表後に，担当教員が抽選を行って，履修受入れの可否を通知する。

連絡先

中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中口 悦史:月・水 12:00～13:00，いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000819				
科目名	S・英語で学ぶ力学				
担当教員	越野 和樹				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表2－1)

別表4－2)

授業の目的、概要等

ニュートンの運動方程式にもとづく古典力学を英文テキストにより学ぶことにより，科学英語に親しむことを目的とする.

授業の到達目標

下記トピックについて英文教材に基づいて理解し，演習問題を解けることを目標とする:

NEWTON'S LAWS OF DYNAMICS, CONSERVATION OF MOMENTUM, WORK AND POTENTIAL ENERGY, CENTER OF MASS, MOMENT OF INERTIA

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	8/1	09:10-16:20		第 1-4 回	英文テキスト読解，演習	越野 和樹	講義室・日程は変更となる場合がある
5-8	8/2	09:10-16:20		第 5-8 回	英文テキスト読解，演習	越野 和樹	講義室・日程は変更となる場合がある
9-12	8/5	09:10-16:20		第 9-12 回	英文テキスト読解，演習	越野 和樹	講義室・日程は変更となる場合がある
13-15	8/6	09:10-14:40		第 13-15 回	英文テキスト読解，演習	越野 和樹	講義室・日程は変更となる場合がある

授業方法

講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による

授業内容

NEWTON'S LAWS OF DYNAMICS, CONSERVATION OF MOMENTUM, WORK AND POTENTIAL ENERGY, CENTER OF MASS, MOMENT OF INERTIA

成績評価の方法

評価:授業への参加度およびレポート

再評価:無

授業内容の理解度を測るためにレポート課題を課し，その成績および授業への参加度で評価を行う.

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

前期「力学」を更に発展させた内容を学ぶため，前期「力学」の内容に関する極めて深い理解および演習能力を前提条件とする. .

履修上の注意事項

前期「力学」において優秀な成績をおさめている者，あるいは同等以上の学力を有することを受講資格とする. 出欠管理システムの記録より，教員がとる出欠を優先させる.

連絡先

ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000353				
科目名	S・現代ﾊﾟﾌｫｰﾐﾝｸﾞｱｰﾂ入門				
担当教員	徳永　伸一				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

8 月下旬または 9 月上旬(予定)に開講する短期集中科目です。スケジュールの詳細は掲示にて通知します。
対象学科・専攻:全学科

主な講義場所

湯島キャンパスで開講します。詳細は掲示にて確認してください。

授業の目的、概要等

「パフォーミング・アーツ(Performing Arts)」とは音楽、演劇、ダンス等「演じられる」芸術の総称です。
「現代」と謳っていますが、いわゆる「現代的」なものを扱うという意味ではなく、現在活動中のアーチスト(＋彼らに直接的に影響を与えた人たち)にスポットを当てます。生のパフォーマンス体験に勝る「学習」はありませんが、教室内では難しいので主に代用品としてCD・DVD 等の記録媒体やインターネット上のコンテンツを用います。現在までのところ、入手可能なソフトの都合で音楽(ジャズ、クラシックからロック、J-POP まで何でも)の比重が高いですが、他のジャンル(音楽＋ビジュアルによるパフォーマンス、コンテンポラリーダンス等)も徐々に増やす予定。

より重要なのは聴衆・観客としてパフォーマンスに「参加」することで、結果として生涯にわたって芸術と主体的に関わる術を学ぶことが究極の目標です
(よって必ずしも単位取得は重要ではなく、単位と関係なく野次馬的・娯楽的に参加する学生も歓迎します)。

授業の到達目標

・様々なパフォーミングアートに対し、自分の言葉で批評し、感想を整理してわかりやすく述べることができる。
・未知のアートに対する興味に基づいて自ら探究し、文化的背景を学習すると共に、体験(鑑賞)行動に発展させることができる。

授業方法

講義、映像・音源鑑賞およびディスカッション。

授業内容

各授業ごとに大まかなテーマ(ジャンルやアーチスト個人等)を決め、関連するソフトやインターネット上のコンテンツを鑑賞します。

また 2014 年度より、授業期間中に開催した、外部講師(演奏家等)による公開講座を、授業の一部として取り入れています。

成績評価の方法

評価項目は以下の2点:
(1) 各回の授業の関するレポート
(2) 授業時間外に各自が体験したコンサートやパフォーマンス公演に関する詳細なレポート

(1)と(2)は同等に評価するので、欠席した場合はその回数に応じて(2)のレポートを余分に提出することによって穴埋めしてもらいます。

成績評価の基準

到達目標をある程度達成したと見なせること。

準備学習などについての具体的な指示

授業のための特別な準備は必要ありませんが、日頃からアートに関心を持ち、積極的に鑑賞して、感性を磨くよう心掛けてください。

教科書

特にありませんが、主にインターネットで得られる情報を積極的に活用します。

他科目との関連

直接の関連はありませんが、「芸術Ⅱ」(室田尚子先生)の履修を推奨します。

参照ホームページ

過去の記録(の一部):
http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/cparts.htm

2014 年度の公開講座(「Saigenji と旅するブラジル」)の様子:
https://www.facebook.com/tmdu.public/posts/720148531368330

2015 年度の公開講座(「レオナルド・ブラーボと旅するブラジル」)の様子:
https://www.facebook.com/tmdu.public/posts/890552230994625

2017 年度の公開講座「岩川光とケーナ大解剖」は、大学公開講座の情報サイト「まななび」(https://mananavi.com/)にレポート記事が公開予定です。

連絡先

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:
水曜 12:20–13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
木曜 12:20–13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:
金曜 12:20–13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前にＥメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000349				
科目名	S・ウニの発生と海産生物の観察実習				
担当教員	服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・夏季集中(8 月上旬に教養部においてガイダンスを行い、光学顕微鏡の使用方法を学ぶ。8 月 21 日(水)～23 日(金)に金沢大学能登臨海実験施設においていて実習を行う)

・対象学科:全学科(20 名の定員で、定員を超えたときは抽選を行う)

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

2－2)自然現象を探究するための手法を知る。

4－3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。

主な講義場所

8 月上旬(1 日間)に教養部生物学学生実験室においてガイダンスを行う。また、光学顕微鏡の使い方を学ぶ。8 月 21 日(水)～23 日(金)に金沢大学能登臨海実験施設において実習を行う。

授業の目的、概要等

[目的] ウニの発生を光学顕微鏡で観察し、その発生過程で起こる現象を理解する。また、海に生息する様々な生物の形態、生態及び行動を観察し、その多様性を理解する。観察実習から能動的に知識を広げ、深める。

[概要] この実習の大部分は、新潟大学佐渡臨海実験施設において実施される。実習内容は、①棘皮動物であるウニの発生の観察、②沿岸域でのプランクトンの採集とその形態及び行動の観察、③潮間態に生息する生物の採集とその形態、生態及び行動の観察である。

授業の到達目標

1. ウニの発生過程の特徴を説明することができる。
2. 海に生息する生物の多様性を具体的に説明することができる。

授業方法

講義と実習による。

授業内容

教養部で行われる実習ガイダンスを受講する。また、光学顕微鏡の使い方を理解する。新潟大学佐渡臨海実験所では、①棘皮動物であるウニの発生の観察、②沿岸域でのプランクトンの採集とその形態及び行動の観察、③潮間態に生息する生物の採集とその形態、生態及び行動の観察を行う。

成績評価の方法

レポート内容によって評価する。再評価は行わない。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。

準備学習などについての具体的な指示

事前に配布された資料をよく読んでおく。ウニの発生過程と海に生息する生物に関して予め知識を得ておく。実習では主に観察力を向上させる。

試験の受験資格

試験を行わない。

教科書

資料を配布する。

参考書

図解生物科学講座／浅島誠 編:朝倉書店, 1996

日本海洋プランクトン検索図説／千原光雄 , 村野正昭 編.:東海大学出版会, 1997-01

原色検索日本海岸動物図鑑／西村三郎 編著.:保育社, 1995

履修上の注意事項

定員は 20 名で、履修希望者が 20 名を超えたときは抽選で履修者を決める。　8 月上旬に教養部で行われる実習ガイダンスに必ず出席すること。21 日(水)－23 日(金)(2 泊 3 日)に金沢大学能登臨海実験施設で実習を行うが、集合時間から解散時間まで、スケジュールに従って行動すること。　台風、その他の災害のために中止になる可能性がある。

連絡先

松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

松本　幸久:毎週月曜日　PM.4:30-6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室
服部　淳彦:毎週　水曜:12:30～14:00　金曜:10:30～12:30　ヒポ 4F　教員研究室(A2)
伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00-PM.2:00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000855				
科目名	S・Essentials of Medical Language				
担当教員	JEANETTE DENNISSON				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

This course is an introduction to medical terminology in English. As a medical professional, you will need to know technical medical vocabulary presented in textbooks and literature. You will also need to understand how to use non-technical vocabulary that you use with non-medical professionals, such as patients. In this class, you will learn technical medical language to describe systems of the body. You will also practice how to communicate with patients in English using non-technical language.

授業の目的、概要等

The purpose of this course is to build medical terminology and understand how to communicate with patients in English.

Goals

1) Learn medical language and how it is used in written and oral forms

2) Identify and "translate" medical language into lay term (non-technical) language

3) Apply medical and lay terminology in written and oral forms.

授業の到達目標

By the end of this course, you will be able to:

1) Break down medical language into elements (for example, prefix, suffix, root words)

2) Describe medical language used for major body systems

3) Create own English conversation with a patient using non-technical language

4) Communicate with patients about subjective and objective symptoms, and provide an assessment and plan for common diseases.

授業方法

Students will work in small groups to complete tasks in class.

For each unit, there will be the following two components.

1) Group tasks related to vocabulary building for each body system

2) One-on-one patient encounter based on a common disease for each body system

授業内容

The 4 main units covered in this course are organized by body system:

1) Whole body (systemic)

2) Digestive system (from mouth to rectum)

3) Cardiovascular/Circulatory system (heart and blood)

4) Respiratory system (nose, lungs)

For each unit, medical language will be introduced, including body parts and their functions, diseases and medical procedures. You will be tested on the content of these units through in-class activities, weekly quizzes, patient encounters and a final written examination.

成績評価の方法

Class participation: 50%

Quizzes: 10%

Final patient encounter: 20%

Written Examination: 20%

準備学習などについての具体的な指示

Before Class:

You should read the selected parts of the textbook before each class. Reading materials will be provided online course folder.

In Class:

Your active participation is mandatory for class activities. As part of the class, you will be roleplaying doctor-patient conversations.

Vocabulary List:

Creating your own vocabulary list throughout the course is greatly encouraged.

Online Course Folder:
Regular access to the online course folder will be required in and outside of class. A laptop or tablet is recommended for every class.

Patient encounters:
For roleplaying with patients, you should prepare a white coat, stethoscope (if available), and mask. Students should wear comfortable clothes that allow them to lay, sit, and move their body parts with ease. Short skirts, shorts or low-cut shirts should be avoided.

試験の受験資格

Any English level is welcome.

教科書

Main textbook:
Bedside Manner by Simon Capper (2013)

Essentials of Medical Language 3rd Ed. by Locker and Allan (2015)

**Note: Purchase of the textbooks is NOT required. Chapters used in class will be available by the instructor.

履修上の注意事項

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

We will use Google Drive to share course materials and submit assignments. A Google account is required.

連絡先

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000849				
科目名	S・イギリス文学講読				
担当教員	猪熊　恵子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

集中講義形式で行う。詳しい開講日程については追って掲示する。

授業の目的、概要等

19 世紀後半から 20 世紀前半のイギリスで書かれた「探偵小説」を英語で読む。
主にコナン・ドイルの「シャーロック・ホームズ」の中編・短編、アガサ・クリスティーの短編などを取り上げ、可能な限り精読する。
また、近代社会の成立と個人のアイデンティティという問題と探偵小説というジャンルが、どのようにかかわっているのかについても考察する。
あわせて、「探偵小説」というジャンルにしばしば与えられる「芸術性が低い」「芸術的価値を認められない」との批判的評価の背景についても考える。

授業の到達目標

英文をざっくり適当に読むのではなく、きちんと精読・吟読するように努め、その過程で文脈や背景知識を調べながら、一つ一つの言葉の裏にある大きな社会の枠組みを想像してみる。
また、調べた知識や、丁寧に英文を読んだうえでの感想を、他の学生と議論・共有する。この議論を通して、同じ英文を読んだときに、読んだ人の数だけ異なる感想があるという当たり前の事実を改めてよく理解するとともに、翻って自らの読解力・想像力・嗜好・思考などを相対的に把握することを目指す。

授業方法

セミナー形式を取る。
一日3時限続きの授業形式であるため、事前に十分な予習をしたうえで授業に臨むことが求められる。
授業内では予習してきた英文の訳出確認、個々の学生の訳出の違いについての意見交換をおこなったうえで、個々の作家の生きた時代背景などの大きな枠組みの確認と、それに関するディスカッションをする。あわせて、その短編を翻案した映像資料などを確認し、同一作品の受容法がメディアの違いや文化・時代の流れにしたがってどのように変化していくかを議論する。

授業内容

第一回:ガイダンス
第二回から第五回:シャーロック・ホームズ短編「踊る人形」(The Adventure of the Dancing Men)、およびベネディクト・カンバーバッチ主演『シャーロック』第一シリーズ_The Blind Banker_
第六回から第九回:シャーロック・ホームズ中編『バスカヴィル家の犬』(_The hound of the Baskervilles_) ※教員の抜粋する箇所のみ、およびグラナダ・テレビシリーズ 『シャーロック・ホームズの冒険』第四シリーズの同作品映像
第十回から第十三回:アガサ・クリスティー『ポワロ登場』のなかからいくつかの短編、およびデヴィッド・スーシエ主演のポワロシリーズ
第十四回:総括およびディスカッション回
第十五回:最終レポート提出および意見交換

成績評価の方法

評価:クラス内での議論への参加・貢献度:40%、授業内発表(訳出課題の提出含む):30%、最終レポート 30%
再評価:　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

上記授業内容からも明らかなように、英語の短編(および長編の抜粋)を三作品分読む授業である。そのため、授業開始前に十全な準備が要求される。
履修が決定した学生には、授業前にメール等で予習課題と予習方法などを通知する。指定された箇所を十分に読んで、授業内発表用の資料を作成し、そのうえで授業に臨むことが必須。その後も、授業内で指定された箇所を訳出したり、その短編の書かれた社会や時代背景について十分に調査することが求められる。

試験の受験資格

試験ではなく、レポートおよび授業内発表を評価する。全体の 3 分の 1 以上欠席した者には原則として単位を認定しない。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。

参照ホームページ

参考文献および使用テクストは、教員からコピーを配布する。

時間割番号	000339				
科目名	S・彫刻(塑造)				
担当教員	高見　直宏				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

夏期集中講義
対象学科:医・看・検・口腔衛生・口腔工学(医を優先とする)
募集人数:16 人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1―5、1―6、1―7

主な講義場所
13 番教室

授業の目的、概要等
人間の骨格や筋肉がその外部形態に及ぼす影響を観察するだけでなく、人間の内面に視野を向け、人間の存在そのものを探求する。水粘土を使用し、塑造による頭像制作を行う実技演習授業。

授業の到達目標
素材とする水粘土に触れる。造形を追求する。観察によって得られる人体の力強さや美しさ等を表現することを目標とする。人間の魅力を感じ取り、芸術に深く触れることを目標とする。

授業方法
全 16 回の授業は全て実技実習。

授業内容
第 1、2 回 彫刻についての講義 /第 3、4 回 デッサンについての講義とデッサン実技(モデル)/第 5、6 回心棒についての講義と塑造制作(モデル)/第 7、8 回 粘土についての講義と塑造制作(モデル)/第 9、10 回 塑造制作(モデル)/第 11、12 回 塑造制作(モデル)/第 13、14 回 塑造制作(モデル)/第 15、16 回 作品の講評会

成績評価の方法
評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(実習作品、出席点)100%
再評価: 無

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示
料理・メイク・DIY など普段からのクリエイティブな活動を積極的に行い、日常生活において、想像した物事を自らの手で形作ろうとする姿勢を持つことが望ましい。

教科書
なし

参考書
なし

履修上の注意事項
出席重視　出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先させる

備考
準備するもの:スケッチブック(A4 以上)、鉛筆(2B のものを 3 本)、カッターナイフ、作業着(白衣も可)

時間割番号	000337				
科目名	S・生体分子分光学演習				
担当教員	奈良 雅之				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：月曜1限（変則）＋冬季集中

・対象学科：全学科

・募集人数： 5名

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

2－1、2、3）科学的思考方法を知る

4－3）自然現象を探究するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

担当教員の専門分野（生体分子分光学）に関連した研究テーマに実際に参加することにより、研究の取り組み方を学ぶことを目的としています。研究計画から実験報告まで、将来研究者として欠かすことのできない重要事項を一通り体系的に学べるでしょう。

授業の到達目標

少し高度な学生実験レベルから研究レベルまで、学生が希望したレベルの演習を体験できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	09:10-10:40		奈良 雅之
2	10/7	09:10-10:40		奈良 雅之
3	10/21	09:10-10:40		奈良 雅之
4	10/28	09:10-10:40		奈良 雅之
5	11/11	09:10-10:40		奈良 雅之
6	11/18	09:10-10:40		奈良 雅之
7	11/25	09:10-10:40		奈良 雅之
8	12/2	09:10-10:40		奈良 雅之
9	12/9	09:10-10:40		奈良 雅之
10	12/16	09:10-10:40		奈良 雅之
11	12/23	09:10-10:40		奈良 雅之
12	1/6	09:10-10:40		奈良 雅之
13	1/20	09:10-10:40		奈良 雅之
14	1/27	09:10-10:40		奈良 雅之
15	2/3	09:10-10:40		奈良 雅之

授業方法

実験ならびに研究ミーティングによるアクティブラーニングを実践する。

授業内容

タンパク質や脂質などの生体高分子や生体材料そのものを研究対象として、分光学的手法（主として赤外分光法もしくはラマン分光法）によるアプローチにより、対象となる分子の構造と機能の相関を解析する。

1. 分光学に関する基本操作を習得する。
2. 実験テーマ、研究テーマを決める。
3. 各自の目標設定を定めた上で、達成するための計画を立てる。
4. 研究を行う。（実験ならびに結果解析）
5. 研究結果についてのディスカッションを行う。ー個別指導
6. 実験経過、研究成果を発表する。
7. 実験レポート（報告書）として報告する。

成績評価の方法

評価：報告・レポート：80%

その他20%（授業中の取り組み方、参加度）

再評価 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習:配付資料で分光学の原理について勉強する
復習:実験結果を整理して、報告できるようにまとめる

試験の受験資格

定期試験の受験資格:原則3分の2以上出席
(報告・レポートをもって定期試験とする)

連絡先

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000322				
科目名	S･フランス語でニュースを読む				
担当教員	中島 ひかる				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日･時限: 月曜 2 限

対象学科: 全学科

受講資格: フランス語前期履修者(あるいは同等のフランス語力のある者)

募集人数: 10 名

コンピテンシー: 別表3−4)外国文化を理解する

授業の目的、概要等

目的: フランス語文法の知識をもとに、フランス語で書かれたフランス、ヨーロッパ、世界のニュースや文化記事を読み、現代的な語彙や表現に触れるとともに、フランス現代社会の一端を知る。

概要: 4 月以来学習してきたフランス語の文法知識を使って、フランスで実際に読まれている時事的な文章に触れ、現代を特徴的に表す単語や表現を中心に、内容を把握します。後期の初めは難しいと感じることがあるかも知れませんが、その時点でまだ学習していない文法項目については解説しますし、ニュース記事には英語と共通する単語も多いので、内容に興味があれば理解できます。

前期終了のフランス語の学力があり、少し先取りして文法を学習し、今のフランスや世界を知りたいという意欲のある人の参加を歓迎します。

授業の到達目標

1)1 年生の文法知識で、リライトしないフランス語の文章が読めるという実感を得る。

2)現代的な時事表現に触れ、ニュース記事の読解の中で基本的な文法事項や語彙を確認する。

3)ニュースを通してフランス社会やフランスから見た世界の一端に触れ、社会や文化に対する関心を広げる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	10:50−12:20	11 番教室	授業紹介	授業方法説明、サンプル記事購読	中島 ひかる
2	10/7	10:50−12:20	11 番教室		ニュース記事講読･解説	中島 ひかる
3	10/21	10:50−12:20	11 番教室		ニュース記事講読･解説	中島 ひかる
4	10/28	10:50−12:20	11 番教室		ニュース記事講読･解説	中島 ひかる
5	11/11	10:50−12:20	11 番教室		ニュース記事講読･解説	中島 ひかる
6	11/18	10:50−12:20	11 番教室		ニュース記事講読･解説	中島 ひかる
7	11/25	10:50−12:20	11 番教室		ニュース記事講読･解説	中島 ひかる
8	12/2	10:50−12:20	11 番教室		ニュース記事講読･解説	中島 ひかる
9	12/9	10:50−12:20	11 番教室		ニュース記事講読･解説	中島 ひかる
10	12/16	10:50−12:20	11 番教室		ニュース記事講読･解説	中島 ひかる
11	12/23	10:50−12:20	11 番教室		ニュース記事講読･解説	中島 ひかる
12	1/6	10:50−12:20	11 番教室		ニュース記事講読･解説	中島 ひかる
13	1/20	10:50−12:20	11 番教室		ニュース記事講読･解説	中島 ひかる
14	1/27	10:50−12:20	11 番教室		ニュース記事講読･解説	中島 ひかる
15	2/3	10:50−12:20	11 番教室	まとめ	意見交換	中島 ひかる

授業方法

演習による。

初めに、ニュースサイトを幾つか提示します。受講者は、その中から毎週、自分が興味ある記事を選んで、私に URL を送って下さい。それを教室で、皆で読んでいきます。細かい点にはあまりこだわらず、内容が理解できるよう指導しますが、適宜、文法が実際の記事でどう使われているかや、ニュース記事に特徴的な文体に注意を促します。

授業内容

毎回、各自で選んだ記事を教室で訳して頂きながら、理解があやふやなところやニュースの背景を説明します。また、文法における学習事項と照らし合わせながら、重要なフランス語の構文や単語を解説します。受講者が多い場合は、2 回に 1 回度程度担当して頂きます。

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)0%・レポート0 %・
その他 100 %(授業への準備・授業の発表等)
再評価:無

フランス現代社会に興味を持って頂くことが授業の大きな目的ですので、自分の興味のある、自分の力で読解可能な記事を選び、責任を持って授業への準備を行い、教室で皆にわかるように訳読、コメントをおこなったか、という点を評価します。
学力に差があると思いますが、多少わからない文法事項があっても構いません。自分が興味をもったニュースを選び、積極的に予習して授業に参加することを重視します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

自分の力にあった、興味の持てる記事を選ぶところから授業の準備が始まります。各授業の前の週の金曜日 18 時までには各自で1つずつ記事を選んで、その URL を私に送信して下さい。
短い記事を選んでも結構ですので、選んだ記事については概略を説明でき、主要な部分は訳せるように準備して下さい。理解できない箇所、訳せない箇所があっても構いませんので、不明な点は明確にして授業に臨んで下さい。
国際ニュースの場合は、関連記事が日本語でも読める場合が多いので、日本語のニュースを検索して事件の概略を理解してからフランス語を読むと、フランス語も理解しやすくなります。授業をきっかけに、世界の出来事に目を向けるのも授業の目的の一つです。

試験の受験資格

試験は行わず、授業における発表で評価する

教科書

・francetvinfo
http://www.francetvinfo.fr/
テレビ報道を文字に起こした記事なので、構文が比較的わかりやすく、映像付きの記事も多い。

・パリジアン
http://www.leparisien.fr/

・パリマッチ
http://www.parismatch.com/

・フィガロ
http://www.lefigaro.fr/

・リベラシオン
http://www.liberation.fr/

・ネット新聞
http://www.20minutes.fr/

・ル・モンド
http://www.lemonde.fr/
無料購読の場合、一ヶ月の閲覧数に制限あり

参考書

・テレビ放送(1 週間分のニュース報道のアーカイブ)
閲覧には silverlight(無料でダウンロードできます)が必要です。
http://jt.france2.fr/20h/

他科目との関連

フランス語の必修授業より先行して文法項目が出てきますが、最初は細かい文法事項にはあまりこだわらず、理解に必要な概略にのみ触れて授業を進めます。
履修上の注意事項 少人数授業ですので出席は必須です。体調不良等で休む場合は、教員にメールで連絡して下さい。
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜　12:30～13:00　教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000890				
科目名	R・けいすけのドイツ旅行				
担当教員	SCHINZINGER EMI				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間:後期:月曜 2 限
・対象学科:全学科
・受講資格:ドイツ語を履修していること
・募集人数:20 人
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
別表1－1)言語を通した人間の創造的営みを理解する
別表1－4)異なる空間の文化を理解する
別表1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る
別表1－6)優れた芸術作品に触れて感性を高める
別表1－7)人間の心への理解を深める
別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う
別表3－4)外国文化を理解する

主な講義場所
教養部

授業の目的、概要等
ドイツ語の中級教科書を読みながら、ドイツと周りの国々、ドイツの様々な町について学んでいきます。同時にドイツの日常生活や文化についても学ぶことになります。
この教科書は、日本の大学生が、ドイツの友人とともにドイツ旅行をする、という設定で、フランクフルト、ミュンヘン、ザルツブルク、ベルリン、と旅をしますが、同時にゲーテやデューラー、クラーナッハなどの芸術家やベルリンの壁崩壊、ドイツ再統一などについても学んでいきます。

授業の到達目標
原文講読ですので、なるべく多く原文を読んでいきます。全 11 課を読み終えることが目標ですが、内容が多すぎるため、第 9 課、ベルリンの壁についての課までしか読み終えることができない可能性もあります。進度はあくまでも目安、と考えてください。この本を読むことによってドイツと周りの国々、そしてドイツの様々な町、ドイツの再統一などについて学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/30	10:50-12:20	4 番教室	R・けいすけのドイツ旅行1	オリエンテーション。第 1 課、2 ページと 3 ページを読む。地図を見ながらドイツについて話す。	SCHINZINGER EMI	生協で教科書を購入し、辞書と 1 年生の文法の教科書も持ってくること。 次週に向けて:第 2 課、6 ページと 7 ページを予習してくること。
2	10/7	10:50-12:20	4 番教室	R・けいすけのドイツ旅行2	第 2 課、6 ページと 7 ページを読む。地図を見ながらドイツとスイスとオーストリアについて話す。	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書、文法の教科書は毎回必携。次週に向けて:第 3 課、10 ページと 11 ページを予習してくる。
3	10/21	10:50-12:20	4 番教室	R・けいすけのドイツ旅行3	第 3 課、10 ページと 11 ページを読む。フランクフルトとザクセンハウゼンについて話す。	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書、文法の教科書は毎回必携。次週に向けて:第 4 課、14 ページと 15 ページを予習してく

							る。
4	10/28	10:50-12:20	4番教室	R・けいすけのドイツ旅行4	第4課、14ページと15ページを読む。インターネットなど見ながらゲーテについて話す。	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書、文法の教科書は毎回必携。次週に向けて:第5課、18ページと19ページを予習してくる。
5	11/11	10:50-12:20	4番教室	R・けいすけのドイツ旅行5	第5課、18ページと19ページを読む。インターネットなど見ながらミュンヘンについて話す。	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書、文法の教科書は毎回必携。次週に向けて:第6課前半、22ページを予習してくる。
6	11/18	10:50-12:20	4番教室	R・けいすけのドイツ旅行6	第6課(1)、22ページを読む。インターネットなど見ながらミュンヘンの美術館について話す。	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書、文法の教科書は毎回必携。次週に向けて:第6課後半、23ページを予習してくる。
7	11/25	10:50-12:20	4番教室	R・けいすけのドイツ旅行7	第6課(2)、23ページを読む。インターネットなど見ながらドイツの画家、特にデューラーとクラーナッハについて話す。	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書、文法の教科書は毎回必携。次週に向けて:第7課、26ページと27ページを予習してくる。
8	12/2	10:50-12:20	4番教室	R・けいすけのドイツ旅行8	第7課、できれば26ページと27ページを読む。インターネットなど見ながらオーストリア、ザルツブルク、ザルツカンマーグートについて話す。	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書、文法の教科書は毎回必携。次週に向けて:第8課、30ページと31ページを予習してくる。
9	12/9	10:50-12:20	4番教室	R・けいすけのドイツ旅行9	第7課の続きを読んでから、第8課(1)、30ページを読んで、インターネットや地図などを見ながらベルリンについて話す。	SCHINZINGER EMI	同上
10	12/16	10:50-12:20	4番教室	R・けいすけのドイツ旅行10	第8課(2)、31ページを読んでから、インターネットやDVDを見ながら、ベルリンの壁ができるに至った経緯を考える。	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書、文法の教科書は毎回必携。次週に向けて:第9課、34ページと35ページを予習してくる。
11	12/23	10:50-12:20	4番教室	R・けいすけのドイツ旅行11	第9課(1)、34ページを読み、インターネットやDVDなど見ながら、ベルリンの壁崩壊に至った経緯など考える。クリスマス前なので、少し早めに切り上げて、ドイツの有名なクリスマスソングを2曲、読んで訳してから歌ってみる。	SCHINZINGER EMI	同上
12	1/6	10:50-12:20	4番教室	R・けいすけのドイツ旅	第9課(2)、35ページを読んでか	SCHINZING	教科書と辞書、文

				行12	ら、インターネットや DVD など見ながら、東西ベルリン、そしてドイツが再統一することになった経緯について考える。	ER EMI	法の教科書は毎回必携。次週に向けて：第 10 課、38 ページと 39 ページを予習してくる。
13	1/20	10:50-12:20	4 番教室	R・けいすけのドイツ旅行13	第 10 課、38 ページと 39 ページを読む。インターネットなど見ながらドレスデンについて話す。	SCHINZING ER EMI	教科書と辞書、文法の教科書は毎回必携。次週に向けて：第 11 課、42 ページを予習してくる。
14	1/27	10:50-12:20	4 番教室	R・けいすけのドイツ旅行14	第 11 課、42 ページを読む。	SCHINZING ER EMI	試験勉強。今まで読んだところを復習して日本語に訳してみる。
15	2/3	10:50-12:20	4 番教室	R・けいすけのドイツ旅行15	試験	SCHINZING ER EMI	遅刻・欠席をしないこと。

授業方法

ゼミナー形式。毎回予習をしてきてもらって、授業中に原文を読んで訳していきます。教員が説明・解説しなければならないところもたくさんあります。インターネットのホームページ・DVD 等も使います。

授業内容

毎回次の週までに予習してきてもらうところを決めます。授業中は原文を読んで訳していき、DVD やインターネットのホームページを見たりして理解を深めます。

最終回に理解の度合いを確かめるために試験を行います。

成績評価の方法

予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。

最終回に行う試験の成績がが 50 パーセント。

再評価：無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

毎回原文をたくさん読んでいきますので、予習がとても重要です。

毎回指示がある箇所まで辞書を使って自宅で予習してきてください。

1 年前期に習った文法事項では足りないので、後期に習う文法事項も先取りしながら読んでいきます。1 年生が使っているドイツ語の教科書を持ってきてください。ドイツ語をたくさん読みますので覚悟が必要です。

受講前の準備としては、前期に習ったドイツ語の文法をよく復習しておいてください。

試験の受験資格

原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ語、次のステップへ！Weiter auf Deutsch!／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明：同学社, 2019

参考書

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,：三修社, 2008

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934-,恒吉, 良隆, 1938-,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936-,新保, 弼彬,本田, 義昭,：同学社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきました。

電子辞書よりも紙の辞書の方が詳しいのでよいのですが、

電子辞書のほうが早く調べられます。

もし電子辞書をこれから購入するのであれば、

そしてこれからもドイツ語を続けるのであれば、

カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。

履修上の注意事項

原文を読むので、ドイツ語を履修していない人は取れません。 毎回予習してくることが履修条件です。
連絡先 schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30－18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000326				
科目名	S・糖の科学				
担当教員	勝又 敏行				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間: 月曜日 2 限(後期)

募集人数: 5名

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2−2)自然現象を探求するための手法を知る

別表4−3)自然現象を探求するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

糖と聞くとまず思い浮かぶのが砂糖である。砂糖は料理などで気軽に使われ、身近にたくさんあるが、ほかにも様々なところで糖は私たちに関わっている。糖の仲間であるデンプンは米やパンの主成分であり、人間のエネルギー源として毎日の生活に欠かせないものである。食品以外でも木や紙の主成分はセルロースという多糖であり、軟膏や手術糸などはアルギン酸という多糖が使われている。このように糖はもっとも身近にある有機化合物である。分子レベルで見た時も、生物の構成成分としてもエネルギー源として使われるのをはじめとしてタンパク質、核酸、脂質などと結合して、生体内で起こる反応に重要な機能を担っていることが明らかになってきている。中でもタンパク質の多くは糖鎖の修飾をもち、生理活性や構造の維持に糖鎖が重要や役割を果たしていると考えられている。
この実習では糖の働きに関する英文のレビューを読み、糖の機能や構造に関する理解を深め、論文購読や糖鎖分析に関する実験を体験することを通して生体における糖の役割や重要性について最新の知識を勉強していく予定である。

授業の到達目標

糖に関する基礎知識を習得し、自分で実験計画を立て実験を行い、成果をまとめることができることを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	10:50−12:20		ガイダンス	糖について	勝又 敏行
2	10/7	10:50−12:20		糖タンパク質の電気泳動	実験準備、論文購読	勝又 敏行
3	10/21	10:50−12:20		糖タンパク質の電気泳動	実験、論文購読	勝又 敏行
4	10/28	10:50−12:20		レクチンの利用法	レクチンブロット法実験準備、論文購読	勝又 敏行
5	11/11	10:50−12:20		レクチンの利用法	レクチンブロット法実験、論文購読	勝又 敏行
6	11/18	10:50−12:20		糖鎖の標識法	糖鎖の標識化実験準備、論文購読	勝又 敏行
7	11/25	10:50−12:20		糖鎖の標識法	糖鎖の標識化実験、論文購読	勝又 敏行
8	12/2	10:50−12:20		HPLC の利用	実験準備、論文購読	勝又 敏行
9	12/9	10:50−12:20		HPLC の利用(ゲルろ過)	実験、論文購読	勝又 敏行
10	12/16	10:50−12:20		HPLC の利用(陰イオン交換)	実験、論文購読	勝又 敏行
11	12/23	10:50−12:20		HPLC の利用(陰イオン交換)	実験、論文購読	勝又 敏行
12	1/6	10:50−12:20		HPLC の利用(2次元マッピング)	実験、論文購読	勝又 敏行
13	1/20	10:50−12:20		HPLC の利用(2次元マッピング)	実験、論文購読	勝又 敏行
14	1/27	10:50−12:20		実験まとめ、発表	プレゼンテーション、レポートチェック	勝又 敏行
15	2/3	10:50−12:20		実験まとめ、発表	プレゼンテーション、レポートチェック	勝又 敏行

授業方法

実習と講義による

授業内容

1. 糖のペーパークロマトグラフィー
2. 化学的な糖タンパク質の検出
3. 抗体、レクチンを使った特異的な構造の検出
4. 糖の組成分析
5. HPLC を用いた糖鎖構造解析
6. 論文講読

成績評価の方法

実験と演習を中心として行うため以下の通りとする。
評価：試験　0%、レポート　50%、その他（実験中の参加度や実験ノートなど）50%
再評価　有（レポート再提出）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

実験後に考察をし、次回の実験のテーマ設定にいかせるようにすること。

参考書

コールドスプリングハーバー糖鎖生物学／Ajit Varki [ほか編],鈴木康夫, 木全弘治 監訳：丸善, 2010
ポストゲノム時代の糖鎖生物学がわかる／谷口直之 編,：羊土社, 2002
糖鎖科学への招待／辻崇一 共著,梶本哲也 共著,：三共出版, 2008

連絡先

katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000317				
科目名	S・数学解析				
担当教員	中口 悦史				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

対象学科:口腔保健学科口腔保健工学専攻

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2−1), 4−1), 4−2)

授業の目的、概要等

口腔保健工学専攻専門科目履修のために知っておくべき, 数学・応用数学・計算科学の基礎分野を概観する。そのために最低限必要な高校数学の知識を復習しながら, 関連する項目を学習する。

授業の到達目標

微積分, 線形代数, 数値計算の基本的な考え方を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	09:10−10:40	2番教室	ガイダンス	中口 悦史
2	10/9	09:10−10:40	2番教室	数の体系と代数方程式(1)	中口 悦史
3	10/16	09:10−10:40	2番教室	数の体系と代数方程式(2)	中口 悦史
4	10/23	09:10−10:40	2番教室	図形と関数(1)	中口 悦史
5	10/30	09:10−10:40	2番教室	図形と関数(2)	中口 悦史
6	11/6	09:10−10:40	2番教室	図形と関数(3)	中口 悦史
7	11/13	09:10−10:40	2番教室	場合の数と確率(1)	中口 悦史
8	11/20	09:10−10:40	2番教室	場合の数と確率(2)	中口 悦史
9	11/27	09:10−10:40	2番教室	線形代数入門(1)	中口 悦史
10	12/4	09:10−10:40	2番教室	線形代数入門(2)	中口 悦史
11	12/11	09:10−10:40	2番教室	線形代数入門(3)	中口 悦史
12	12/18	09:10−10:40	2番教室	微積分入門(1)	中口 悦史
13	1/8	09:10−10:40	2番教室	微積分入門(2)	中口 悦史
14	1/15	09:10−10:40	2番教室	微積分入門(3)	中口 悦史
15	1/22	09:10−10:40	2番教室	総合演習	中口 悦史

授業方法

板書による講義と演習を交えながら授業を進める。

授業内容

前半は高校の数学Ⅰ・Ⅱ・Aの内容を復習しながら概観し, 体系的に捉え直す。

後半は大学の線形代数と微積分の基礎を, 演習を交えながら学習する。

さらに全体を通して, コンピュータにおける数値計算や画像処理の観点からの解説を加える。

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 50%

再評価: 無

試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は, 問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ, 論証や計算の精確さを総合的に評価するために, 期末に筆記試験によって行う。期末試験に代えて発表(板書)形式の総合演習を行うことがある。

「試験の受験資格」を満たし, かつ期末試験を受験したもののみを, 評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

高校までの数学の学習内容をよく復習し, 不明な点を整理して授業に臨むことが望ましい。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席, ならびに, 出席回の演習への参加。

教科書

数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山舘周恒, 熊坂一成 著,:医歯薬出版, 2005

参考書

数学入門 （大学生のための基礎シリーズ1）／上村豊, 坪井堅二：東京化学同人, 2002
数学入門 Ⅱ ～偏微分・重積分・線形代数～（大学生のための基礎シリーズ6）／上村豊, 坪井堅二：東京化学同人, 2004
数学概論 －線形代数／微分積分－／田代嘉宏：裳華房, 1993
数値計算／洲之内治男 著,：サイエンス社, 2002
初めて学ぶ図学と製図／松井悟, 竹之内和樹, 藤智亮, 森山茂章 著,：朝倉書店, 2011
アートのための数学／牟田淳 著,：オーム社, 2008
デザインのための数学／牟田淳 著,：オーム社, 2010
いかにして問題をとくか／G. ポリア 著,柿内 賢信 訳：丸善株式会社出版事業部
その他, 高校数学の参考書。

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと, 授業中の点呼等を併用する。

連絡先

nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000853				
科目名	S・実用統計学				
担当教員	徳永 伸一				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:金曜１限

対象学科:保健衛生学科、口腔保健学科

授業の目的、概要等

保健衛生学科・口腔保健学科の皆さんが学ぶ「統計学」を補完する形で、講義と演習を交えながら、より実践的な統計学を学習します。

保健衛生学科や口腔保健学科の卒業研究では統計処理が多用されますが、これに対処するためには、必修科目の「統計学」だけでは充分とはいえません。この授業では、「統計学」の学習内容をより確かなものとすると共に、将来卒業研究等で必要になると思われるレベルの統計学や、Excel を用いた簡単な統計処理の技術を習得することを目指します。担当者は皆さんの先輩から相談を受け、指導を行った経験がありますので、その内容も反映させていく予定です。

授業の到達目標

・必修科目「統計学」の理解をより確実なものとし、実際の統計処理に応用できるようにする。
理を理解し、実際の問題に応用できるようにする。
・Excel の基本的な使用法を習得する。特に、本格的な統計処理ソフトを使う前段階として、Excel を用いた簡単な統計処理を実行できるようにする。
・クロス表の検定や初歩的なノンパラメトリック検定など、実用上重要となる統計手法の原

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一
2	10/11	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一
3	10/18	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一
4	10/25	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一
5	11/1	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一
6	11/8	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一
7	11/15	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一
8	11/22	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一
9	11/29	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一
10	12/6	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一
11	12/13	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一
12	12/20	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一
13	1/10	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一
14	1/17	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一
15	1/24	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一

授業内容

（以下は仮のスケジュールです。履修者のレベルや希望に応じて調整予定）
第1回 :ガイダンス
第2回 :Excel 入門
第3回 :乱数の分布と標本平均の分布1（講義）
第4回 :乱数の分布と標本平均の分布2（演習）
第5回 :正規分布1（講義）
第6回 :正規分布2（演習）
第7回 :2項分布と正規近似1（講義）
第8回 :2項分布と正規近似2（演習）
第9回 :t分布1（講義）
第10回:t分布2（演習）
第11回:相関と回帰、散布図1（講義）
第12回:相関と回帰、散布図2（演習）
第13回:カイ二乗検定、ノンパラメトリック検定、ANOCA と多重検定法1（講義）
第14回:カイ二乗検定、ノンパラメトリック検定、ANOCA と多重検定法2（演習）

第15回:(予備)

成績評価の方法

原則として出席および授業中に行う演習課題により評価しますが、それらの評価が一定基準に達しない履修者を対象に、評価の不足を補うためのレポート課題や試験を課す可能性があります。

準備学習などについての具体的な指示

必修科目「統計学」の授業内容をよく把握しておくこと。また自宅のパソコンに Excel をインストールし、使えるようにしておくこと。

参考書

数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山舘周恒, 熊坂一成 著,:医歯薬出版, 2005

やさしい医療系の統計学／佐藤敏雄, 村松宰 著,:医歯薬出版, 2002

入門統計解析／松原望 著,:東京図書, 2007

バイオサイエンスの統計学 : 正しく活用するための実践理論／市原清志 著,:南江堂, 1990

他科目との関連

「統計学」の進行に合わせ、内容を確認しながら進めます。

連絡先

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:

水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。

上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000816				
科目名	S・Discussions on Human Behavior				
担当教員	PATRICK FOSS				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：金曜1限

・対象：医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学

・募集人数：12名

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表3－5）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Why do students usually wait until the last minute to do an assignment? Why is dieting so difficult? Why do some people drink Aquarius and others drink Pocari Sweat? How much would you pay for a piece of great chocolate? Would you be happy or unhappy if your grandparents gave you 5000 yen on New Year's Day? What if you won the same 5000 yen in a contest?

This course will look at some of the ways people behave in their daily lives and what influences their behavior, using the popular book "Predictably Irrational" by Dan Ariely as a base. The course goals are to deepen students' understanding of the behavior of others and their own behavior while at the same time improving their overall English abilities and critical thinking skills.

授業の到達目標

By the end of this course, students will be able to:

1. Better understand why people make certain types of decisions

2. Make better personal decisions

3. Reflect and discuss (in English) on their own behavior and the behavior of others

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/4	09:10-10:40	12 番教室	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS
2	10/11	09:10-10:40	12 番教室	Topic 1	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
3	10/18	09:10-10:40	12 番教室	Topic 2	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
4	10/25	09:10-10:40	12 番教室	Topic 3	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
5	11/1	09:10-10:40	12 番教室	Topic 4	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
6	11/8	09:10-10:40	12 番教室	Topic 5	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
7	11/15	09:10-10:40	12 番教室	Topic 6	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
8	11/22	09:10-10:40	12 番教室	Topic 7	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
9	11/29	09:10-10:40	12 番教室	Topic 8	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
10	12/6	09:10-10:40	12 番教室	Topic 9	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
11	12/13	09:10-10:40	12 番教室	Topic 10	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
12	12/20	09:10-10:40	12 番教室	Topic 11	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
13	1/10	09:10-10:40	12 番教室	Topic 12	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
14	1/17	09:10-10:40	12 番教室	Topic 13	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
15	1/24	09:10-10:40	12 番教室	Course Review	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS

授業方法

Discussion

Presentation

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Individual reports and group discussions

Week 15: Review/Final assignment due

Each week, the instructor and/or one or more students will report on a short section of the course textbook and lead a discussion based on it. Once every three classes, students will write short response papers on topics that have been discussed or that they are researching on their own. The final writing assignment will be an essay that is related to the content of the course. There will be no quizzes or tests.

成績評価の方法

評価:　class presentations 30% participation 30% response papers 20% final assignment 20%

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

教科書

Predictably Irrational／Ariely, Dan:Harper, 2010

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000323				
科目名	S・一般化学演習				
担当教員	奈良 雅之				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間:金曜1時限

・対象学科:医学科、歯学科、保健衛生学科検査技術学専攻

・募集人数 40名

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

化学の講義だけではなかなか理解ができない方、演習を通して一般化学(主にPart1 とPart2 の分野)の理解を深めたい方を対象に「マグロウヒル大学演習 一般化学」の補充問題や市販の問題集を主な題材として演習を行います。受講者は単に問題を解くだけでなく、その解説をみんなの前で行いますので、プレゼンテーションの練習になるでしょう。受講する側は、その説明を通して理解できたかどうかを評価したり、議論したりしますので、履修者全員が参加しなければいけません。予習にかなりの時間が費やさなければならないことを覚悟の上で授業に臨んで下さい。

授業の到達目標

「マグロウヒル大学演習 一般化学」の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。

演習形式の授業に参加することを通して、能動的に学習態度を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	09:10-10:40	5番教室	奈良 雅之
2	10/11	09:10-10:40	5番教室	奈良 雅之
3	10/18	09:10-10:40	5番教室	奈良 雅之
4	10/25	09:10-10:40	5番教室	奈良 雅之
5	11/1	09:10-10:40	5番教室	奈良 雅之
6	11/8	09:10-10:40	5番教室	奈良 雅之
7	11/15	09:10-10:40	5番教室	奈良 雅之
8	11/22	09:10-10:40	5番教室	奈良 雅之
9	11/29	09:10-10:40	5番教室	奈良 雅之
10	12/6	09:10-10:40	5番教室	奈良 雅之
11	12/13	09:10-10:40	5番教室	奈良 雅之
12	12/20	09:10-10:40	5番教室	奈良 雅之
13	1/10	09:10-10:40	5番教室	奈良 雅之
14	1/17	09:10-10:40	5番教室	奈良 雅之
15	1/24	09:10-10:40	5番教室	奈良 雅之

授業方法

学生参加型の発表形式で授業が進行します。

授業内容

第1・2回 序論:単位、気体の測定、気体の分子量

第3・4回 電離平衡(酸・塩基)

第5・6回 電離平衡 (錯体と沈殿)

第7・8回 化学熱力学分野

第9・10回 化学熱力学分野

第11・12回 原子の構造

第13・14回 分子の構造

第15回 総合演習

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)30%・レポート(学習実践記録)30%

その他40%(授業中の発表、参加度)

授業中の演習への参加度を重視しますので、その他のウエイトを高くしました。

再評価：無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習：指定された問題をノートに解いておく。

復習：授業中の解説を聞いて、自分で理解できるまでの過程を学習実践記録として記す

試験の受験資格

定期試験の受験資格：原則3分の2以上の出席

教科書

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳：オーム社, 1995

参考書

フレンドリー基礎物理化学演習／田中潔, 荒井貞夫 共著,：三共出版, 2013

系統看護学講座／奈良, 雅之,：医学書院, 2018

他科目との関連

一般化学 M・D Part1, part2 の理解ができなかった方にもお勧めします。

連絡先

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000833				
科目名	S・Basic Concepts in Physics				
担当教員	檜枝 光憲				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：金曜1限

対象学科：医学科、歯学科

（英語で物理を学ぶ意欲のある人）

募集人数：10人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表2－1)別表3－1)別表4－2)

授業の目的、概要等

English is the common language on an international scene in not only natural science but also medicine and dentistry. Many Japanese researchers including me have the experience that had trouble with English. Thus, for your future preparations, it is meaningful to take a class of the natural science in English early at the stage of the freshman. In this lecture, you will learn various topics of physics by using English: classical mechanics, thermodynamics, sound wave, and introductory electrodynamics. It is also aim at obtaining not only the knowledge of the physics but also a communicative competence in English.

授業の到達目標

As for the purpose of this lecture, you will acquire the ability to adsorb useful information in physics from English lecture and text.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/4	09:10-10:40	4番教室	1st lecture	Introduction	檜枝 光憲
2	10/11	09:10-10:40	4番教室	2nd lecture	Mechanics	檜枝 光憲
3	10/18	09:10-10:40	4番教室	3rd lecture	Mechanics	檜枝 光憲
4	10/25	09:10-10:40	4番教室	4th lecture	Mechanics	檜枝 光憲
5	11/1	09:10-10:40	4番教室	5th lecture	Temperature and Heat	檜枝 光憲
6	11/8	09:10-10:40	4番教室	6th lecture	Temperature and Heat	檜枝 光憲
7	11/15	09:10-10:40	4番教室	7th lecture	Temperature and Heat	檜枝 光憲
8	11/22	09:10-10:40	4番教室	8th lecture	Temperature and Heat	檜枝 光憲
9	11/29	09:10-10:40	4番教室	9th lecture	Electromagnetic Induction	檜枝 光憲
10	12/6	09:10-10:40	4番教室	10th lecture	Electromagnetic Induction	檜枝 光憲
11	12/13	09:10-10:40	4番教室	11th lecture	Electromagnetic Induction	檜枝 光憲
12	12/20	09:10-10:40	4番教室	12th lecture	Student presentation	檜枝 光憲
13	1/10	09:10-10:40	4番教室	13th lecture	Student presentation	檜枝 光憲
14	1/17	09:10-10:40	4番教室	14th lecture	Student presentation	檜枝 光憲
15	1/24	09:10-10:40	4番教室	15th lecture	Student presentation	檜枝 光憲

授業方法

Lecture

Presentation

Practice

授業内容

Classical mechanics

Introductory thermodynamics

Nuclear Physics

成績評価の方法

attendance/participation 30%

class assignments/quizzes 40%

presentation 30%

再評価：無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

Check all unknown English words and read through the text book before the class.

参考書

University Physics with Modern Physics Technology Update / Hugh D. Young and Roger A. Freedman: Pearson Education Limited, 2013

履修上の注意事項

出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させます。

連絡先

hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000332				
科目名	R・講義と実習によるバイオサイエンス 2				
担当教員	服部 淳彦				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：金曜日2限

・対象学科・専攻：医学・歯学・検査学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

2－1）自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

2－5）自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる力を養う。

授業の目的、概要等

この科目は，バイオサイエンス 1（前期）と 2（後期）を合わせて完結する実習セミナー系の科目である。したがって、両方を取ることを条件にする。また、本年度は前期から研究（実験）をはじめる。

この科目では，

1）現代のバイオサイエンスの研究で用いられている新しい手法の原理を学ぶ。

2）また，英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み，その内容をレジュメにまとめて，それぞれ発表してもらう。

3）次に，それらの技術の一部を用いた実験を実際に行う。

4）さらにその発展バージョンとして，自由にテーマを設定し，実験のプランニングをし，そのプランに従った実験を実際に行い，その結果を発表，ミニ卒論（論文形式）の形にまとめてもらう。

したがって，実験は必ずしも時間内に終わらない。空き時間を使って実験を行うこともあるので，そのつもりでいてほしい。

授業の到達目標

将来研究者になるために必要な基本的なものの考え方や技術を修得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	10:50-12:20	4 番教室	服部 淳彦
2	10/11	10:50-12:20	4 番教室	服部 淳彦
3	10/18	10:50-12:20	4 番教室	服部 淳彦
4	10/25	10:50-12:20	4 番教室	服部 淳彦
5	11/1	10:50-12:20	4 番教室	服部 淳彦
6	11/8	10:50-12:20	4 番教室	服部 淳彦
7	11/15	10:50-12:20	4 番教室	服部 淳彦
8	11/22	10:50-12:20	4 番教室	服部 淳彦
9	11/29	10:50-12:20	4 番教室	服部 淳彦
10	12/6	10:50-12:20	4 番教室	服部 淳彦
11	12/13	10:50-12:20	4 番教室	服部 淳彦
12	12/20	10:50-12:20	4 番教室	服部 淳彦
13	1/10	10:50-12:20	4 番教室	服部 淳彦
14	1/17	10:50-12:20	4 番教室	服部 淳彦
15	1/24	10:50-12:20	4 番教室	服部 淳彦

授業方法

主に、論文紹介と実験とその最終発表、ミニ卒論（論文）による。

授業内容

1. 本年度のテーマに沿った内容の講義（前期）
2. 英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み，その内容をレジュメにまとめて発表
3. 研究に必要な実験の基本テクニックを習得
4. テーマを設定し，独自の実験計画を立て，実際に実験を行う
5. 結果をパワーポイントにまとめて発表し，ミニ卒論としてまとめる

＊ 実験形式の授業なので，募集人数は8名を MAX にし，希望者が多い場合は，申し訳ないが人数を絞らせていただく。

成績評価の方法

評価:その他　100%

英語論文の紹介に関するプレゼンテーションやディスカッションの様子，さらに，実際に行った研究（実験）の内容やミニ卒論などから総合的に判断する。

再評価:　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

渡された英語の論文は早めに読んでおくこと。また，実験計画は随時相談に来ること。

教科書

参考論文などは，随時紹介する。

連絡先

ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週　水曜:12:30～14:00　金曜:10:30～12:30　ヒポ 4F　教員研究室（A2）

時間割番号	000815				
科目名	S・翻訳演習				
担当教員	畔柳 和代				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：火曜3－4限

・対象学科：医学科　歯学科　保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表1－1）

別表3－4）

授業の目的、概要等

目的：互いの訳文について前向きに意見を交換しながら、読む力と、読みとったことを伝える力をつけること。

概要：英文を日本語に訳す課題（授業内課題を含めて 10 回ほど）を通して、翻訳について考えます。受講者は訳文をつくり、提出することになります。

授業の到達目標

1）精読。

2）文脈の理解につとめる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/4	10:50-12:20	2 番教室	イントロダクション	課題1配布と紹介。	畔柳 和代
2	10/11	10:50-12:20	2 番教室	Non-fiction (1) ノンフィクション	課題1の訳文を検討する。課題2配布と紹介。	畔柳 和代
3	10/18	10:50-12:20	2 番教室	Non-fiction (2)	課題2の訳文を検討する。課題3配布と紹介。	畔柳 和代
4	10/25	10:50-12:20	2 番教室	Non-fiction (3)	課題3の訳文を検討する。課題4配布と紹介。	畔柳 和代
5	11/1	10:50-12:20	2 番教室	Beginnings (1) 小説の出だし	課題4の訳文を検討する。 課題5の配布と紹介。	畔柳 和代
6	11/8	10:50-12:20	2 番教室	Beginnings (2)	課題5の訳文を検討する。	畔柳 和代
7	11/15	10:50-12:20	2 番教室	Beginnings (3)	課題5の訳文を修正し、授業内に提出する。課題6の配布と紹介。	畔柳 和代
8	11/22	10:50-12:20	2 番教室	ニュースの中の翻訳(1)	課題 6 の訳文を検討する。 課題7の配布と紹介。	畔柳 和代
9	11/29	10:50-12:20	2 番教室	ニュースの中の翻訳(2)	ニュースの中の翻訳についてディスカッション	畔柳 和代
10	12/6	10:50-12:20	2 番教室	Short stories (1) 短編小説	課題 7 の訳文を検討する。課題8の配布と紹介。	畔柳 和代
11	12/13	10:50-12:20	2 番教室	Short stories (2)	課題8の訳文を検討する。 課題9の配布と紹介。	畔柳 和代
12	12/20	10:50-12:20	2 番教室	Short stories (3)	課題9の訳文を検討する。 課題10 および特別課題の配布と紹介。	畔柳 和代
13	1/10	10:50-12:20	2 番教室	名翻訳について 日本文学の英訳例を見る。	課題 10 の訳文を集める。	畔柳 和代
14	1/17	10:50-12:20	2 番教室	名翻訳について その2	課題 10 の訳文を検討する。 特別課題を集める。	畔柳 和代

15	1/24	10:50-12:20	2 番教室	まとめ	まとめ	畔柳 和代	

授業方法

授業では互いの訳文を検討するほか、翻訳に関するエッセイ等を読みます。
数回の講義も含みます。

課題の訳文は、フィクションとノンフィクション、両方です。

授業内容

第 1 回　イントロダクション
第 2 回～第 14 回 訳文について意見交換 （講義数回を含む）
　　受講者から事前に提出された訳文を検討する。
第 15 回 まとめ

成績評価の方法

評価:　課題(提出状況と内容のふたつで評価):50%、参加度:50%、
再評価:　なし

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

わからなかったら、辞書を引く。調べる。考える。

※空白だらけの訳文を提出してはいけません。最後まで訳してください。

参考書

イエスの言葉 : ケセン語訳／山浦玄嗣 著,:文藝春秋, 2011
翻訳に遊ぶ／木村榮一 著,:岩波書店, 2012
さあ、見張りを立てよ／ハーパー・リー 著,上岡伸雄 訳:早川書房, 2016

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000872				
科目名	S・十進BASICで学ぶ幾何学デザイン				
担当教員	徳永 伸一				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:金曜 2 限

対象学科:全学科

(ただし医学科・歯学科の学生は、十進 BASIC または他のプログラミング言語を事前にある程度独習しておく必要があります)

主な講義場所

計算機実習室

授業の目的、概要等

前期「情報科学」の授業でおなったプログラミング言語「十進 BASIC」によるグラフィクスの応用として、様々な幾何学模様を描くプログラミングの技法を学習します。

(他のプログラミング言語を独自に学習して使用しても構いません)

授業の到達目標

様々な幾何学デザインの構造を理解し、それらを描画するプログラムを作成できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一
2	10/11	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一
3	10/18	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一
4	10/25	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一
5	11/1	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一
6	11/8	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一
7	11/15	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一
8	11/22	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一
9	11/29	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一
10	12/6	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一
11	12/13	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一
12	12/20	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一
13	1/10	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一
14	1/17	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一
15	1/24	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一

授業方法

講義およびパソコンを用いた実習

授業内容

前半は主にサンプルプログラムや幾何学デザインの解説を行い、それに基づいてプログラムを作成します。

後半は各自が考案または収集した幾何学デザインを実現するプログラムを作成し、発表を行ってもらいます。

成績評価の方法

提出課題による

成績評価の基準

原則として各授業での課題プログラムをすべて作成・提出し、さらにオリジナルのプログラムを提出することが必須となります。

プログラミングの技術より、独創的なアイディアや幾何学的なセンスを重視して評価します。

準備学習などについての具体的な指示

幾何学デザインに必要な数学的知識およびプログラミング技法を事前に予習しておくこと。

他科目との関連

前期の「情報科学」で学習したプログラミングの技法を発展的に活用します。

履修上の注意事項

前期の「情報科学」で扱った幾何学図形グラフィックスのプログラミング技法(あるいは他のプログラミング言語による同程度の技法)を習得しておくことが必須です。

参照ホームページ

http://www.thepictaram.club/instagram/shin1tok
（授業で扱う可能性のある幾何学模様のサンプルです）

http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm
（前期「情報科学」のプログラミングテキスト）

連絡先

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:
水曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）
木曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:
金曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前にＥメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000297				
科目名	教養総合講座				
担当教員	PATRICK FOSS, 檜枝 光憲, 髙尾 千津子, 田中 智彦, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 畔柳 和代, JEANETTE DENNISSON, 猪熊 恵子, SCHINZINGER EMI, 中島 ひかる, 水野 哲也, 勝又 敏行, 松本 幸久				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：火曜日3・4限

・対象学科・専攻：全学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

1－10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる。

2－4）自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。

3－2）自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける

3－3）チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける。

4－4）情報についての基本技能を身につける

授業の目的、概要等

（1）人文社会科学から自然科学までの学問領域を横断して、共通のテーマを深く考察する機会を与えることによって、自発的な学びの態度と幅広い視野を身につけさせる。

（2）すべての学生が共に学ぶ教養部の特性を活かし、学科の枠を超えた相互理解を育むことを通じて、将来のチーム医療の基盤となるグループ学習、グループディスカッションを初年次より体験する。

（3）学問を身につける上で基礎的な技能となる、コミュニケーション、文章表現、情報活用、プレゼンテーションの能力の向上を図る。

授業の到達目標

大学での学習に必要な討論、文章表現および情報活用に関する基本的なスキルを身に付ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	5/21	14:45-17:30	鈴木章夫記念講堂	教養総合講座1	ガイダンス、基調講演	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳 和代, SCHINZINGER EMI, 中島 ひかる, 中野 真樹	
3	5/28	13:10-14:40	8番教室, 9番教室, 10番教室, 1番	教養総合講座2	情報活用Ⅰ、基礎ゼミ1	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史,	班・教室は配布資料にて確認のこと。

			教室, 6番教室			越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳 和代, SCHINZINGER EMI, 中島 ひかる, 中野 真樹	
4	5/28	14:50-16:20	8番教室, 9番教室, 10番教室, 1番教室, 6番教室	教養総合講座2	基礎ゼミ1	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳 和代, SCHINZINGER EMI, 中島 ひかる, 中野 真樹	班・教室は配布資料にて確認のこと。
5	6/11	13:10-14:40	8番教室, 9番教室, 10番教室, 1番教室, 6番教室	教養総合講座3	文章表現Ⅰ、基礎ゼミ2	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FO	班・教室は配布資料にて確認のこと。

						SS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳 和代, SCHINZINGER EMI, 中島 ひかる, 中野 真樹	
6	6/11	14:50-16:20	8番教室, 9番教室, 10番教室, 1番教室, 6番教室	教養総合講座3	基礎ゼミ2	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳 和代, SCHINZINGER EMI, 中島 ひかる, 中野 真樹	班・教室は配布資料にて確認のこと。
7	6/25	13:10-14:40	8番教室, 9番教室, 10番教室, 1番教室, 6番教室	教養総合講座4	情報活用Ⅱ、基礎ゼミ3	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳 和代, SCHINZINGER EMI, 中島 ひかる, 中野 真樹	班・教室は配布資料にて確認のこと。

8	6/25	14:50-16:20	8番教室, 9番教室, 10番教室, 1番教室, 6番教室	教養総合講座4	基礎ゼミ3	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳 和代, SCHINZINGER EMI, 中島 ひかる, 中野 真樹	班・教室は配布資料にて確認のこと。
9	7/9	13:10-14:40	8番教室, 9番教室, 10番教室, 1番教室, 6番教室	教養総合講座5	文章表現Ⅱ、基礎ゼミ4	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳 和代, SCHINZINGER EMI, 中島 ひかる, 中野 真樹	班・教室は配布資料にて確認のこと。
10	7/9	14:50-16:20	8番教室, 9番教室, 10番教室, 1番教室, 6番教室	教養総合講座5	基礎ゼミ4	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之,	班・教室は配布資料にて確認のこと。

						松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳 和代, SCHINZINGER EMI, 中島 ひかる, 中野 真樹	
11	7/23	13:10-14:40	8番教室, 9番教室, 10番教室, 1番教室, 6番教室	教養総合講座6	基礎ゼミ交流戦	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳 和代, SCHINZINGER EMI, 中島 ひかる, 中野 真樹	班・教室は配布資料にて確認のこと。
12	7/23	14:50-16:20	8番教室, 9番教室, 10番教室, 1番教室, 6番教室	教養総合講座6	基礎ゼミ交流戦、反省会	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳 和代, SCHIN	班・教室は配布資料にて確認のこと。

						ZINGER E MI, 中島 ひかる, 中野 真樹	
13	7/30	13:10-14:40	8 番教室, 9 番教室, 10 番教室, 1 番教室, 6 番教室	教養総合講座7	基礎ゼミ5、理系文系教員の交換による文理融合	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳 和代, SCHINZINGER E MI, 中島 ひかる, 中野 真樹	班・教室は配布資料にて確認のこと。
14	7/30	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室, 10 番教室, 1 番教室, 6 番教室	教養総合講座7	基礎ゼミ5	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳 和代, SCHINZINGER E MI, 中島 ひかる, 中野 真樹	班・教室は配布資料にて確認のこと。
15	9/17	13:10-14:40	8 番教室, 9 番教室, 10 番教室, 1 番教室, 6	教養総合講座8	発表会直前リハーサル	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹,	班・教室は配布資料にて確認のこと。

			番教室			檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳 和代, SCHINZINGER EMI, 中島 ひかる, 中野 真樹	
16	9/17	14:50-16:20	8番教室, 9番教室, 10番教室, 1番教室, 6番教室	教養総合講座8	発表会直前リハーサル	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳 和代, SCHINZINGER EMI, 中島 ひかる, 中野 真樹	班・教室は配布資料にて確認のこと。
17	9/20	13:10-14:40	8番教室, 9番教室, 10番教室, 1番教室, 6番教室	教養総合講座9	全体発表会	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵	

						子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳和代, SCHINZINGER EMI, 中島 ひかる, 中野真樹	
18	9/20	14:50-16:20	8番教室, 9番教室, 10番教室, 1番教室, 6番教室	教養総合講座9	全体発表会	田中 智彦, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, 畔柳和代, SCHINZINGER EMI, 中島 ひかる, 中野真樹	

授業方法

講義とセミナー形式を基本とし、添削・演習や発表も課す。

教養部ガイダンスや第1回目の日(5月21日)に、詳細な説明を行う。

授業内容

本授業は(1)基礎ゼミ、(2)文章表現リテラシー、(3)情報活用リテラシーの3つの内容から構成される。これらは、対象学生全員を8名程度のグループに分けて、並行して進められる。

(1)基礎ゼミでは、指定された課題図書と初回の基調講演を参考にして、班ごとに大きなテーマに沿って課題を見つけ、問題を抽出し、情報収集と討論を行い、最終回(発表会)で班の考えを述べる。2グループに1名ずつ、教養部教員がチュータとして参加する。

(2)文章表現リテラシーでは、講義と添削により、論理的文章の書き方を実践的に学ぶ。

(3)情報活用リテラシーでは、情報の収集・分析・提示について、演習を交えながら学ぶ。

「基礎ゼミ」内の主なイベント予定は下記のとおり。一部変更の可能性があるので、開講後もウェブクラスでの通知に注意すること。

5月21日(火) 外部講師による基調講演、ガイダンス
7月23日(火) 基礎ゼミ交流戦 ＋ 反省会
9月17日(火) 最終発表会前リハーサル
9月20日(金) 最終発表会

成績評価の方法

評価:その他　100%

基礎ゼミ(60%)、文章表現リテラシー(20%)、情報活用リテラシー(20%)

出席状況や課題への取り組み方、授業への参加態度などをもとに総合的に評価する。

なお、指定した期日までにレポートの提出が無い場合は、不可とする。

再評価:　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

「基礎ゼミ指定教科書」および「文章表現リテラシーの課題図書」は第 1 回の授業時までに手元に準備し、必ず読んでおくこと。

教科書

＜基礎ゼミ指定教科書＞

ジョン・T・カシオポ, ウィリアム・パトリック『孤独の科学 : 人はなぜ寂しくなるのか』(河出書房新社、20018 年)。

講演前後に通読すること。

＜文章表現リテラシー指定教科書＞

1. 藤垣裕子 『科学者の社会的責任』(岩波科学ライブラリー、2018 年)
2. 古川安 『科学の社会史 ―ルネサンスから20世紀まで』(ちくま学芸文庫、2018 年)

第 1 回の授業時までに手元に準備し、必ず読んでおくこと。

参考書

レポートの作り方 : 情報収集からプレゼンテーションまで／江下雅之:中央公論新社, 2003 年

悪文 : 伝わる文章の作法／岩淵悦太郎 編著,岩淵, 悦太郎, 1905-1978,:KADOKAWA, 2016

レポートの組み立て方／木下　是雄 著,木下／是雄,:筑摩書房

日本語の思考法／木下是雄 著,木下, 是雄, 1917-2014,:中央公論新社, 2009

(注意)

上記、江下雅之『レポートの作り方 : 情報収集からプレゼンテーションまで』(中央公論新社、2003 年)は「文章表現リテラシー」および「情報活用リテラシー」で参照を求める指定参考書です。